平成 28 年度国土交通省補助事業

平成 28 年度　住宅市場整備推進等事業

大工・職人の実態に関するアンケート調査
報告書

平成２９年３月

一般社団法人　木を活かす建築推進協議会

大工・職人の実態に関するアンケート調査　報告書

目次

1章　アンケート調査の目的および概要　1

１．背景・目的　1

２．アンケート調査実施概要　2

３．アンケート回答者の属性　5

2章　アンケート調査結果の概要　8

3章　アンケート調査　集計結果

１．職種別集計　16

２．地域別集計　43

３．年齢別集計　70

４．経験年数別集計　92

５．雇用形態別集計　113

６．賃金別集計　136

資料編　アンケート調査　自由記述回答

１．設問（3）職種 【その他】の自由記述回答　資料編-1-

２．設問（10）-3 健康保険 【その他】の自由記述回答　資料編-9-

３．設問（21）なぜ育てる予定はないのですか【その他】の自由記述回答　資料編-10-

４．設問（23）担い手育成についての意見（自由記述）　資料編-11-

1章　アンケート調査の目的および概要

１．背景・目的

木造住宅・建築物の施工の中核的な存在である大工の不足が危惧されている。大工数は，特に若い世代の大工就業者が少ないため高齢化が進み，年々減少傾向にある。国勢調査によれば2005年に54万人いた大工は2010年には40万人に減少しており，この5年間でこれまでで最大の14万人の減少を招いた。2015年の国勢調査では37万人と減少のペースは緩やかとなったものの，近い将来に高齢化した大工の引退により大工が減少し，不足する状況に陥ることは明らかである。

木造住宅の新築工事では，プレカットの9割に達する普及により施工の合理化が進み，部材の墨付けや加工といった作業は大工の手から離れ，造作を含め加工済みの部材の組立・取付が，今日の大工の主たる作業となった。しかし，増改築やリフォームの現場では，大工が構造から造作・仕上げ，工事の進捗管理と工事を担う重要な役割を演じ，本来大工が備えるべき技術が不可欠となっている。

一方，プレカットの普及により新築の現場では，熟練した技術よりパワーと早さが求められたため，高い賃金を得やすい一人親方の増加を招き，大工技術の習熟度による賃金体系を崩壊させ，特に大規模なビルダーの世界では，大工技術を持たない中堅大工が増加し，将来性が見いだせない組立工の職に嫌気をさして，多くの離職者を生み出している。

大工以外の設計者や工務店の現場監督，プレカット技術者等も，木造住宅・建築物を支える重要な技術者で，職業倫理とコンプライアンスが求められ，適切な設計や施工を遂行する上で，彼等の木造に関する知識・ノウハウ等が不可欠となっている。

これらの技術者の多くは，大学や工業高校といった教育機関における建築専門課程を経て，就職することが一般的であるが，これらの教育機関では，木造に関わる講義・実習の機会はほとんどなく，大学や工業高校等で木造建築に関わる知識やノウハウを習得することは困難な状況にある。

企業や個人の努力に負って来た木造技術や知識の習得が，業界の停滞により，急速に衰え，今後の健全な木造の生産活動が危倶される状況となっている。

木造建築を理解し，関連する専門的な職能を備えた担い手を育成しなければ，人材の空洞化は今後一層深刻になることは明らかで，健全な市場形成が危ぶまれる。木造建築の担い手のあり様や育成の枠組みを包括的に検討・提言することが求められている。

本調査では，木造技能者としての大工・職人の実態に関するアンケート調査を実施し，大工・職人の実態を明らかにし，現状を把握することを目的とする。

２．アンケート調査実施概要

（１）大工・職人の実態調査実施概要

①調査対象

平成 28 年度 住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会に参加した木造技能者等

②実施期間

2016 年 7 月～2017 年 2 月

③調査場所

全国 47 都道府県で開催の講習会(平成 28 年度 住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会)会場。

④アンケート票配布及び回収方法

講習会で教材と共に配布。終了考査解答用紙と共に提出を原則義務付けた。

⑤アンケート票回収数

全国で 7,032 票。

うち大工職種（内装大工含む）は 3,279 票。（３．アンケート回答者の属性において後述）

過去のアンケート票回収数の推移を以下の表に示す。(図 1-2-1)

図 1-2-1.アンケート票回収数推移

年度	前回調査 2015 （H27）	今回調査 2016 （H28）
アンケート票 回収総数	8,392票	7,032票
大工職種 （内装大工を含む）	5,021票	3,279票

（２）アンケート調査票

大工・職人の実態調査で用いたアンケート調査票を次頁に示す。(図 1-2-2)

H27 年度調査からアンケート票の設問等の変更点はない。

図 1-2-2.アンケート調査票

受講日：平成　　年　　月　　日（　）　会場：＿＿＿＿＿＿＿＿会場（都道府県名でお書きください）

大工の実態に関するアンケート調査　　施工C

現在、地域に根ざした木造住宅等の生産体制の強化に向けて、大工の実態把握に向けた調査を実施しております。
お分かりの範囲内で結構ですので、ご回答をお願い致します。
※なお、お答えいただいた情報は、個人を特定できる情報として外部に公表されることはありません。
全国木造住宅生産体制推進協議会

■あなたの職業等について、お答え下さい。

（１）年齢　［　　］歳　　（２）性別　［1. 男　2. 女］

（３）職種（下欄のあてはまるもの１つに○をつけてください）

1. 建築大工　2. 内装大工　3. 設備組立工　4. その他［　　］

（４）上記の職種の経験年数（下欄のあてはまるもの１つに○をつけてください）

1. 3年未満　2. 3～5年　3. 6～10 年　4. 11～20 年
5. 21～30 年　6. 31～40 年　7. 41～50 年　8. 51 年以上

（５）あなたはこの職種においてベテランだと思いますか。（下欄のあてはまるもの１つに○をつけてください）

1. ベテラン　2. ややベテラン　3. 中堅　4. やや中堅　5. 見習い

■あなたの雇用形態について、お答え下さい。

（６）あなたの雇用形態（工務店等との）は次のうちどれですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

1. 工務店社員　2. 外注常用（日当制）　3. 外注常用（坪請主体）　4. その都度契約
5. 元請として仕事　6. その他（アルバイト等）

（７）就業規則　［1. 有　2. 無］　（８）有給休暇　［1. 有　2. 無］　（９）年間就業日数　約［　　］日

（10）保険等について、あなたが現在加入しているものをそれぞれお選びください。（複数選択可）

10-1）年金　：1. 厚生年金　2. 国民年金　3. 企業年金
10-2）労働保険：1. 雇用保険　2. 労災保険　3. 一人親方労災保険
10-3）健康保険：1. 国民健康保険　2. 組合健康保険（建設国保）　3. 組合保険（建設国保以外）
4. その他の健康保険（　　）

（11）賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの全てに○をつけてください。（複数選択可）

1. 手道具　2. 電動工具　3. ｸｷﾞ金物　4. 車（保険含む）　5. ｶﾞｿﾘﾝ　6. 全て所属する工務店等が負担

（12）あなたのおおよその賃金（（10）、（11）の諸経費が含まれた１日あたりの平均単価）をお答えください。１日あたりの平均単価が不明な場合は、総月収を労働日数で割ったおおよその額でご回答ください。

1. 8,000 円未満　2. 8,000～10,000 円未満　3. 10,000～15,000 円未満
4. 15,000～20,000 円未満　5. 20,000～25,000 円未満　6. 25,000 円以上

■あなたがお持ちの資格や技能について、お答え下さい。

（13）次の１～12 の資格のうち、あなたがお持ちのもの全てに○をつけてください。

1. 1級建築士　2. 2級建築士　3. 木造建築士　4. 1級建築施工管理技士
5. 2級建築施工管理技士　6. 1 級建築大工技能士　7. 2 級建築大工技能士
8. 枠組壁建築技能士　9. 職業訓練指導員　10. 増改築相談員
11. 足場の組立て等作業主任者　12. 木造建築物組立て作業主任者　13. 玉掛け技能講習修了者
14. ｸﾚｰﾝ運転技能講習修了者　15. 木材加工用機械作業主任者

1

⇒大工職の方のみご回答ください。

(14) 次の各項目について、「はい」か「いいえ」のどちらかあてはまる方に○をつけてください。

①墨付けができますか。 [1. はい　2. いいえ]

②今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（新築） [1. はい　2. いいえ]

③今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（増改築） [1. はい　2. いいえ]

④和室造作ができますか。 [1. はい　2. いいえ]

⑤２×４工法の住宅の施工ができますか。 [1. はい　2. いいえ]

■仕事に対する満足度や今後の意向について、お答え下さい。

(15) あなたは現在の仕事の内容について満足していますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

1. とても満足している　2. まあ満足している　3. あまり満足していない　4. 満足していない

(16) あなたは現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

1. とても満足している　2. まあ満足している　3. あまり満足していない　4. 満足していない

(17) あなたは今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

1. 60 歳で引退する　2. 65 歳で引退する　3. 70 歳で引退する　4. 75 歳で引退する
5. 仕事が出来る限り続ける　6. 仕事がないため近々退職･引退する予定である

■担い手育成について、お答え下さい。

(18) 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

1. 現在育てている　2. 現在は育てていないが、人材がいれば育てたい
3. 現在は育てていないし、今後も育てる予定はない

⇒「１．現在育てている」と答えた方のみご回答ください。

(19) 育成期間の担い手の立場は次のうちどれですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

1. 正社員（職業訓練校）　2. 正社員（弟子として）
3. 一人親方等にあずける（職業訓練校）　4. 一人親方等にあずける(弟子として)

(20) 上記の育成にかかる費用負担を行っていますか [1. 有　2. 無]

⇒「３．現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」と答えた方のみご回答ください。

(21) なぜ育てる予定はないのですか。その理由として、１～８のうちあてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 育てても、一人前になると辞めてしまうため　2. 教えるのが面倒なため
3. 費用がかかるため　4. 言うことを聞かないため　5. 人材がいないため
6. 育てる自信がないため　7. 将来の保障ができないため　8. 年齢のため
9. 仕事がプレカットのため　10. 新築が少ないため　11. その他[　　]

(22) 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、１人/月当たりどの程度必要と考えますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

1. 3 万円/月　2. 5 万円/月　3. 10 万円/月　4. 15 万円/月　5. 必要ない

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたら、下欄にご自由にご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

2

３．アンケート回答者の属性

（１）都道府県，エリア

アンケート回答者を都道府県別の割合が大きい順でみると，「愛知県」（5.7%），「福島県」（4.6%），「神奈川県」（4.6%）。

地域別の割合では，「関東」（25.0%），「東北」（16.9%），「中部」（16.9%）。

図 1-3-1-1.アンケート回答者属性：都道府県

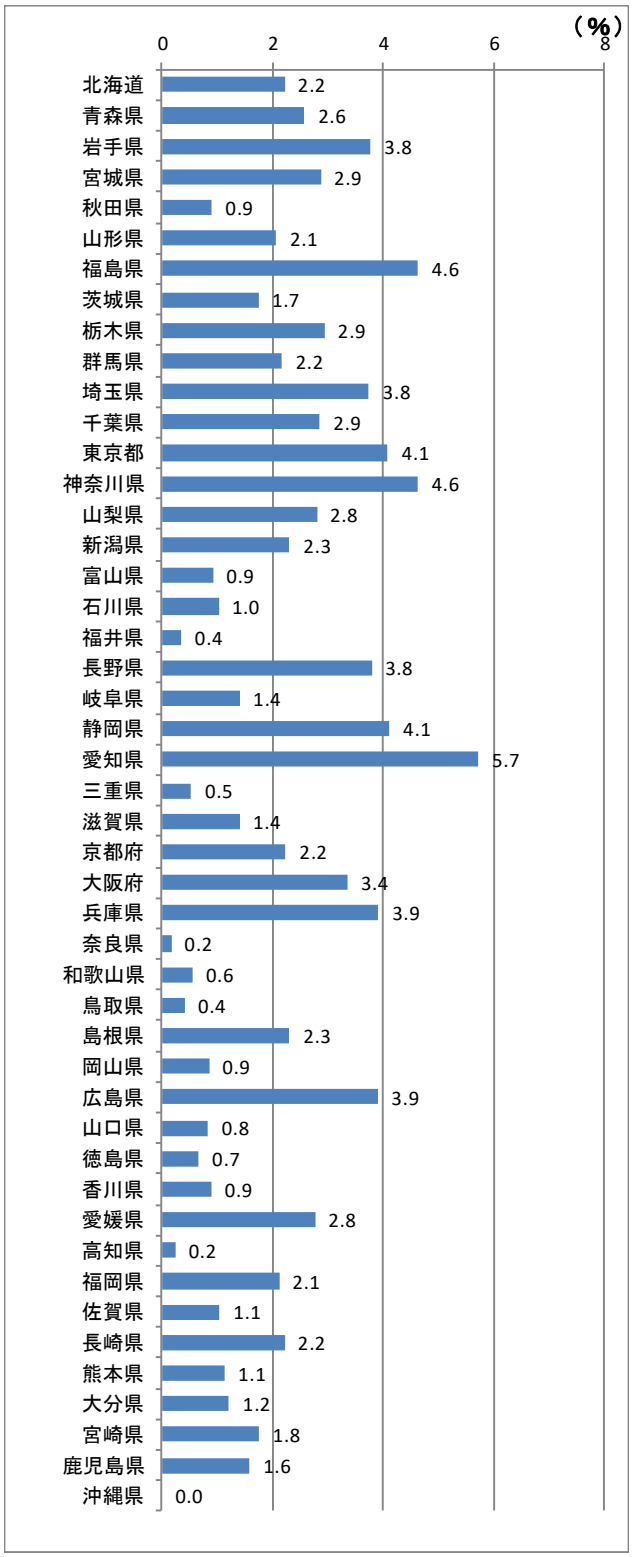
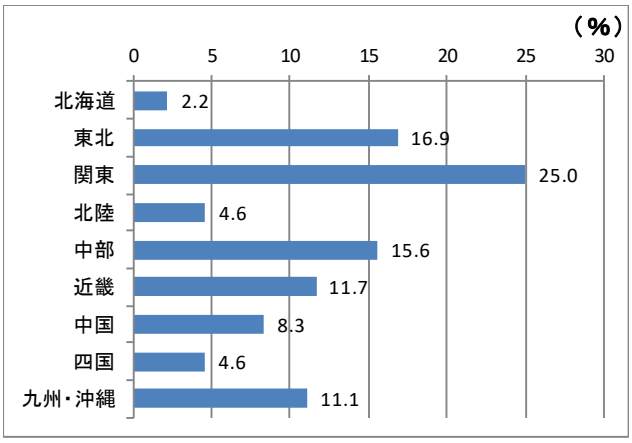


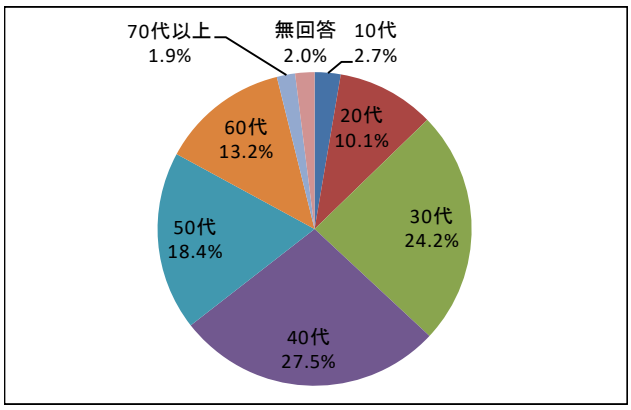
図 1-3-1-2.アンケート回答者属性：エリア



（２）年齢

アンケート回答者を年齢別でみると，「40 代」（27.5%），次いで「30 代」（24.2%），「50 代」（18.4%）。

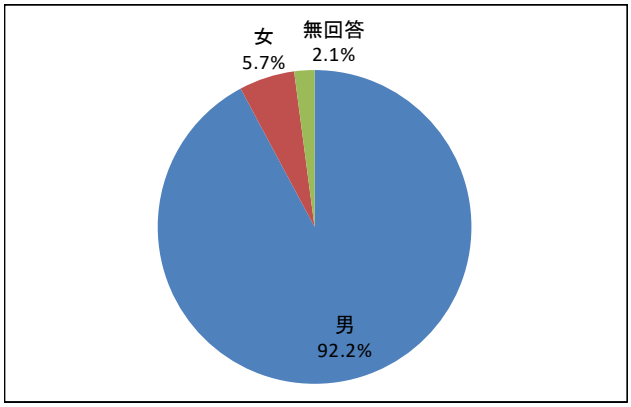
図 1-3-2.アンケート回答者属性：年齢



（３）性別

男女別でみると，「男性」（92.2%），「女性」（5.7%）。ほとんどが男性の回答であった。

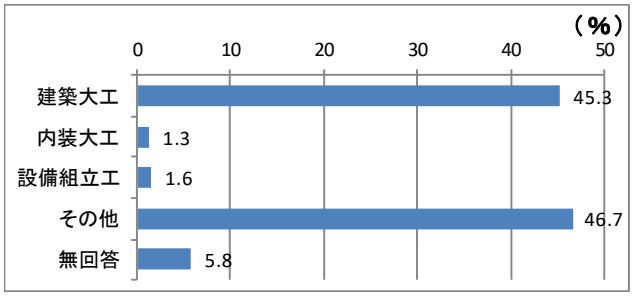
図 1-3-3.アンケート回答者属性：性別



（４）職種

職種では「建築大工」（45.3%）の割合が大きく，「内装大工」（1.3%），「設備組立工」（1.6%）は少数であった。 「その他」（46.7%）の内訳としては現場管理，設計，営業という回答が多くみられた。

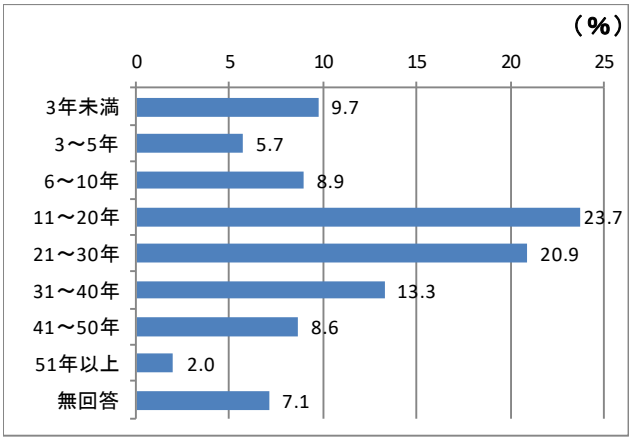
図 1-3-4.アンケート回答者属性：職種



（５）職種の経験年数

職種の経験年数では，回答の割合が大きい経験年数層は「11～20 年」（23.7%），次いで「21～30 年」（20.9%），「31～40 年」（13.3%）。

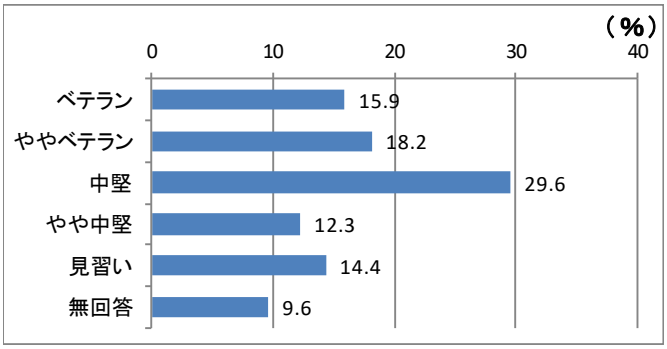
図 1-3-5.アンケート回答者属性：経験年数



（６）職種のベテラン度合い

自身のベテラン度合いについて，割合が大きいものは「中堅」（29.6%），次いで「ややベテラン」（18.2%），「ベテラン」（15.9%）。

図 1-3-6.アンケート回答者属性：ベテラン度合い



2章　アンケート調査　結果概要

（1）職業等について

①年齢

・アンケートに回答した大工の平均年齢は45.04歳であった。
・地域ごとの平均年齢では，「四国」が47.32歳で最も高く，「北海道」が42.89歳で最も低いという結果であった。

②性別

・アンケートに回答した大工の性別は97.8%が男性であった。
・地域ごとの性別について，女性の割合が大きかったのは「四国」（1.6%），「中部」（1.3%），「中国」（0.9%）であった。

③職種の経験年数

・大工の経験年数は，「6～10年」が25.2%で最も多い。次いで「11～20年」が23.2%，「21～30年」が15.3%であった。前回調査（H27年度）と比較して，経験年数3年未満の大工の割合は2.5ポイント増加している。
・地域別では，いずれの地域においても，大工の経験年数は「6～10年」および「11～20年」の割合が大きく，「3年未満」から「31～40年」までの範囲にいる大工が 9割以上を占めている。
・年齢別では，経験年数「3 年未満」の入職初期の大工は「30 代」（10.3%）より上の年齢層ではごく少数となるものの，「60代」（0.2%）まで回答がみられた。

④職種においてベテランだと思いますか

・大工のベテラン度合いは「中堅」の割合が32.6%で最も大きい。次いで「ややベテラン」が20.5%，「ベテラン」が19.8%であった。
・地域毎で各回答の割合が大きい地域は「ベテラン」は「中部」（24.3%），「ややベテラン」は「近畿」（26.3%），「中堅」は「北陸」（39.7%），「やや中堅」は「北海道」（16.1%），「見習い」は「北海道」（17.9%）。
・年齢別で各回答の割合が大きい年齢層は「ベテラン」は「70代以上」（59.0%），「ややベテラン」は「50代」・「60代」（32.1%），「中堅」は「30代」（47.4%），「やや中堅」は「30代」（20.6%），「見習い」は「10代」（100.0%）。
・経験年数別で各回答の割合が大きい経験年数は「ベテラン」は「41～50年」（52.5%），「ややベテラン」は「31～40 年」（37.8%），「中堅」は「11～20 年」（54.8%），「やや中堅」は「6～10 年」（41.7%），「見習い」は「5年未満」（81.6%）。
・雇用形態別で各回答の割合が大きい雇用形態は「ベテラン」は「元請として仕事」（32.3%），「ややベテラン」は「元請として仕事」（26.9%），「中堅」は「外注常用（坪請主体」（44.5%），「やや中堅」は「工務店社員」（16.2%），「見習い」は「その他（アルバイト等)」（51.7%）。
・賃金別で各回答の割合が大きい賃金帯は「ベテラン」は「25,000 円以上」（41.9%），「ややベテラン」は「20,000～25,000円未満」（27.4%），「中堅」は「10,000～15,000円未満」（40.6%），「やや中堅」は「8,000～10,000円未満」（20.5%），「見習い」は「8,000円未満」（72.4%）。

（２）雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

・大工の雇用形態では，「工務店社員」が最も多く 40.3%，次いで「元請として仕事」が 33.5%，「外注常用（日当制）」が 10.3%という構成だった。
・地域毎で各回答の割合が大きい地域は「工務店社員」は「北海道」(66.1%)，「外注常用（日給制）」は「四国」(14.9%)，「外注常用（坪請主体）」は「中国」(15.5%)，「その都度契約」は「中国」(7.9%)，「元請として仕事」は「近畿」(41.9%)，「その他（アルバイト等）は「関東」(1.3%)。
・年齢別で各回答の割合が大きい年齢層は「工務店社員」は「20 代」(76.3%)，「外注常用（日当制）」は「60 代」(14.2%)，「外注常用（坪請主体）」は「40 代」(11.5%)，「その都度契約」は「50 代」(4.6%)，「元請として仕事」は「70 代以上」(83.6%)，「その他（アルバイト等）」は「20 代」(3.0%)。
・経験年数別で各回答の割合が大きい経験年数は「工務店社員」は「5 年未満」(75.2%)，「外注常用（日当制）」は「41～50 年」(14.4%)，「外注常用（坪請主体）」は「21～30 年」(13.1%)，「その都度契約」は「11～20 年」(5.0%)，「元請として仕事」は「51 年以上」(62.1%)，「その他（アルバイト等）」は「5 年未満」(3.1%)。

②就業規則

・大工で就業規則が「有る」と回答した割合は 29.2%，「無い」と回答した割合は 50.0%，「不明」と回答した割合は 20.8%であった。
・就業規則が「有る」と回答した割合が大きい地域は「北海道」(44.6%)。
・就業規則が「有る」と回答した割合が大きい年齢層は「10 代」(57.1%)。「無い」と回答した割合が大きい年齢層は「40 代」(56.9%)。
・就業規則が「有る」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」(46.3%)。「無い」と回答した割合が大きい経験年数は「21~30 年」(59.3%)。
・就業規則が「有る」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」(45.1%)。「無い」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」(73.0%)。

③有給休暇

・大工で有給休暇が「有る」と回答した割合は 15.3%，「無い」と回答した割合は 61.7%，「不明」と回答した割合は 23.0%であった。
・有給休暇が「有る」と回答した割合が高い地域は「北海道」(28.6%)。
・有給休暇が「有る」と回答した割合が大きい年齢層は「10 代」(51.0%)。「無い」と回答した割合が大きい年齢層は「30 代」(69.8%)。
・有給休暇が「有る」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」(31.5%)。「無い」と回答した割合が大きい経験年数は「11～20 年」(70.1%)。
・有給休暇が「有る」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」(45.1%)。「無い」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」(73.0%)。

④年間就業日数

・平均年間就業日数は 266.22 日であった。「不明」と回答した割合は 45.5%と高く，年間就業日数を把握できていない実態も窺える結果であった。
・平均年間就業日数が最も多い地域は「北海道」(285.34 日)。最も少ない地域は「四国」(247.84 日)。
・平均年間就業日数が最も多かった年齢層は，「20 代」(273.07 日)。最も少なかった年齢層は，「70 代以上」(225.81 日)。
・平均年間就業日数が最も多い経験年数は「11～20 年」(273.58 日)。最も少ない経験年数は「51 年以上」(237.06 日)。

・平均年間就業日数が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（276.54 日）。最も低い雇用形態は「その他（アルバイト等）」（256.25 日）。

⑤保険等について

１）年金保険

・「大工では「国民年金」の割合が 49.6%で最も多く，次いで「厚生年金」が 36.6%だった．年金保険についての「不明」と回答した割合は 14.6%だった。
・年金保険に加入している割合の合計値が最も高かったのは「中部」（92.7%）。最も低い地域は「四国」（76.0%）。
・雇用形態毎の回答では，「厚生年金」の加入している割合が大きいのは「工務店社員」（60.4%）。「国民年金」の加入している割合が大きいのは「外注常用（坪請主体）」（81.0%）。「企業年金」の加入している割合は「外注常用（坪請主体）」・「元請として仕事」（1.8%）。

２）労働保険

・「雇用保険」に加入している割合は 22.5%であった。「労災保険（一人親方労災保険を含む）」に加入している割合は 60.7%（労災保険：33.8%，一人親方労災保険：26.9%）であった。
・雇用保険に加入している割合が大きい地域は「北海道」（58.9%）。「労災保険」に加入している割合が大きい地域は「関東」（37.2%）。「一人親方労災保険」に加入している割合が大きい地域は「中国」（38.0%）。
・雇用形態毎の回答では，「雇用保険」の割合が大きいのは「工務店社員」（42.0%）。「労災保険」の割合が大きいのは「元請として仕事」（45.7%）。「一人親方労災保険」の割合が大きいのは「外注常用（坪請主体）」（65.0%）。

３）健康保険

・健康保険の割合は，「組合健康保険（建設国保）」が 26.5%で最も高く，次いで「国民健康保険」が 29.4%であった。
・健康保険に加入していると回答した割合の合計値が最も高かったのは「中国」（81.0%）。最も低かったのは「東北」（66.3%）。
・雇用形態毎の回答では，「国民健康保険」の割合が大きいのは「外注常用（日当制）」（38.4%）。「組合健康保険（建設国保）」の割合が大きいのは「外注常用（坪請主体）」（52.6%）。「組合健康保険（建設国保以外）」の割合が大きいのは「その都度契約」（4.2%）。「その他の健康保険」の割合が大きいのは「工務店社員」（5.9%）。

⑥賃金の中に含まれ，自己負担となっているもの

・大工で，賃金の中に含まれ，自己負担となっているものの割合を合計すると，250.7%であった。自己負担となっているものの中では，割合が大きいのは「手道具」が 69.8%，次いで「電動工具」が 63.0%，「車（保険含む）」と「ガソリン」は，それぞれ 49.1%，47.8%でほぼ同割合だった。「クギ金物」は 21.0%であり，回答選択肢の中では比較的割合が低かった。
・自己負担の割合の合計が大きい地域は「中国」（304.7%）。小さい地域は「関東」（219.7%）。
・自己負担となっているものの割合の合計が大きい年齢層は「60 代」（265.3%）。小さい年齢層は「10 代」（130.6%）。
・自己負担となっているものの割合の合計値が大きい経験年数は「41~50 年」（288.9%）。最も小さいのは「5 年未満」（189.3%）。
・自己負担となっているものの割合の合計が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（421.2%）。

小さい雇用形態は「工務店社員」（188.8%）。

⑦おおよその賃金（諸経費が含まれた１日あたりの平均単価）

・大工の一日あたりのおおよその賃金の平均値は 14,985 円だった。
・地域別の回答では，平均賃金が最も高かった地域は「近畿」（16,678 円）。最も低かった地域は「東北」（12,609 円）。
・年齢別の回答では，平均賃金が最も高かった年齢層は「50 代」（16,445 円）。最も低かった年齢層は「10 代」（8,440 円）。
・経験年数別の回答では，平均賃金が最も高かった経験年数は「21~30 年」（16,739 円）。最も低かった経験年数は「5 年未満」（9,764 円）。
・雇用形態別の回答では，平均賃金が大きいのは「外注常用（坪請主体）」（17,196 円）。最も低いのは「その他（アルバイト等）」（12,055 円）。

（３）資格や技能について

①持っている資格

・大工では，「玉掛け技能講習修了者」（43.3%），「木造建築物組立て作業主任者」（38.5%），「足場の組立て等作業主任者」（36.8%）の労働安全衛生法に係る資格の取得割合が大きい結果であった。
・地域別の回答では，持っている資格の割合の合計値が最も高かった地域は「北陸」（312.9%）。最も低かった地域は「四国」（158.1%）。
・年齢別の回答では，持っている資格の合計値が大きい年齢層は「70 代以上」（426.2%）。小さい年齢層は「10 代」（53.1%）。
・経験年数別の回答では，持っている資格の割合の合計が大きい経験年数は「51 年以上」（376.7%）。小さい経験年数は「5 年未満」（85.4%）。
・雇用形態別の回答では，持っている資格の割合の合計値が大きい雇用形態は「元請として仕事」（321.1%）。小さい雇用形態は「その他（アルバイト等）」（144.8%）。
・賃金別の回答では，持っている資格の割合の合計が大きい賃金帯は「25,000 円以上」（308.1%）。小さい賃金帯は「8,000 未満」（118.7%）。

②墨付けができますか

・大工で墨付けができると回答した割合は 69.9%であった。
・「はい」と回答した割合が大きい地域は，「北陸」（80.9%）。「いいえ」と回答した割合が大きい地域は，「北海道」（30.4%）。
・「はい」と回答した割合が大きい年齢層は「60 代」（81.1%）。「いいえ」と回答した割合が大きい年齢層は「20 代」（48.2%）。
・「はい」と回答した割合が大きい経験年数は「41～50 年」（84.3%）。「いいえ」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」（52.4%）。
・「はい」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（82.5%）。「いいえ」と回答した割合が大きい雇用形態は「その他（アルバイト等）」（37.9%）。
・「はい」と回答した割合が大きい賃金帯は「15,000～20,000 円未満」（79.5%）。「いいえ」と回答した割合が大きい賃金帯は「8,000 円未満」（49.3%）

③今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（新築）

・新築の手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていると回答した割合は，24.1%であった。
・「はい」と回答した割合が最も高かった地域は「東北」（31.4%）。「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」（73.2%）。

・「はい」と回答した割合が最も高かった年齢層は「60 代」および「70 代以上」（31.1%）。「いいえ」と回答した割合が最も高かった年齢層は「10 代」（73.5%）。
・「はい」と回答した割合が大きい経験年数は「51 年以上」（37.9%）。「いいえ」と回答した割合が大きい経験年数は「11～20 年」（67.8%）。
・「はい」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」（27.7%）。「いいえ」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（74.8%）。
・「はい」と回答した割合が大きい賃金帯は「10,000～15,000 円未満」（26.8%）。「いいえ」と回答した割合が大きい賃金帯は「20,000～25,000 円未満」（68.6%）。

④今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（増改築）

・増改築の手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていると回答した割合は，46.4%であった。「いいえ」と回答した割合は 37.8%であった。
・「はい」と回答した割合が最も高かった地域は「中部」（52.7%）。「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」（60.7%）。
・「はい」と回答した割合が大きい年齢層は「70 代以上」（54.1%）。「いいえ」と回答した割合が大きい年齢層は「10 代」（67.3%）。
・「はい」と回答した割合が大きい経験年数は「41～50 年」（53.9%）。「いいえ」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」（50.6%）。
・「はい」と回答した割合が大きい雇用形態は「元請として仕事」（56.5%）。「いいえ」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（58.8%）。
・「はい」と回答した割合が大きい賃金帯は「10,000～15,000 円未満」（51.0%）。「いいえ」と回答した割合が大きい賃金帯は「8,000 円未満」（50.2%）。

⑤和室造作ができますか。

・和室造作ができると回答した大工の割合は 64.7%。「いいえ」と回答した割合は 20.0%であった。
・「はい」と回答した割合が最も高かった地域は「北陸」（78.9%）。「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」（42.9%）。
・「はい」と回答した割合が高い年齢層は「60 代」（79.1%）。「いいえ」と回答した割合が高い年齢層は「10 代」（79.6%）。
・「はい」と回答した割合が大きい経験年数は「41～50 年」（82.2%）。「いいえ」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」（73.1%）。
・「はい」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（84.7%）。「いいえ」と回答した割合が大きい雇用形態は「その他（アルバイト等）」（62.1%）。
・「はい」と回答した割合が高い賃金帯は「15,000～20,000 円未満」（78.3%）。「いいえ」と回答した割合が高い賃金帯は「8,000 円未満」（64.0%）。

⑥2×4 工法の住宅の施工ができますか。

・2×4 工法の住宅の施工ができると回答した大工の割合は 26.7%。「いいえ」と回答した割合は 56.4%であった。
・「はい」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」（42.9%）。「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は「北陸」（66.5%）。
・「はい」と回答した割合が高い年齢層は「60 代」（34.2%）。「いいえ」と回答した割合が高い年齢層は「20 代」（68.6%）。
・「はい」と回答した割合が大きい経験年数は「41～50 年」（36.6%）。「いいえ」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」（69.6%）。
・「はい」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（44.5%）。「いいえ」と回答した割合が大きい雇用形態は「その他（アルバイト等）」（65.5%）。
・「はい」と回答した割合が大きい賃金帯は「25,000 円以上」（37.8%）。「いいえ」と回答した割合が大きい賃金帯は「8,000 円未満」（72.9%）。

（４）仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

・仕事の内容に対して「満足している」割合は 59.7%，「満足していない」割合は 28.9%だった。大工の約 6 割が仕事の内容について満足しているという結果であった。
・「満足している」割合が最も高かった地域は「四国」（64.4%）。「満足していない」割合が最も高かった地域は「北陸」（34.0%）。
・「満足している」割合が大きい年齢層は「10 代」（71.4%）。「満足していない」割合が大きい年齢層は「20 代」（65.9%）。
・「満足している」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」（67.3%）。「満足していない」と回答した割合が大きい経験年数は「21～30 年」（32.2%）。
・「満足している」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」（63.8%）。「満足していない」と回答した割合が大きい雇用形態は「その都度契約」（47.5%）。
・「満足している」と回答した割合が大きい賃金帯は「25,000 円以上」（67.6%）。「満足していない」と回答した割合が大きい賃金帯は「8,000 円未満」（33.5%）。

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

・仕事で得られる収入等について「満足している」割合は 35.5%，「満足していない」割合は 53.6%だった。大工の約 5 割は，仕事で得られる収入等について満足していないという結果であった。
・「満足している」割合が最も高かった地域は「北海道」（55.4%）。「満足していない」割合が最も高かった地域は「中国」（59.8%）。
・「満足している」割合が大きい年齢層は「70 代以上」（44.3%）。「満足していない」割合が大きい年齢層は「40 代」（59.3%）。
・「満足している」と回答した割合が大きい経験年数は「51 年以上」（46.6%）。「満足していない」と回答した割合が大きい経験年数は「11～20 年」（58.3%）。
・「満足している」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」（39.4%）。「満足していない」と回答した割合が大きいのは「その都度契約」（70.8%）。
・「満足している」と回答した割合が大きい賃金帯は「25,000 円以上」（59.5%）。「満足していない」と回答した割合が大きい賃金帯は「8,000 円未満」（63.5%）。

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

・大工では，「仕事が出来る限り続ける」の割合が 50.4%で最も高く，次いで「65 歳で引退する」が 15.7%であった。
・「仕事が出来る限り続ける」と回答した割合が最も高かった地域は，「九州・沖縄」（53.5%）。
・「仕事が出来る限り続ける」と回答した割合が大きい年齢層は「20 代」（70.1%）。小さい年齢層は「60 代」（32.3%）。
・「仕事が出来る限り続ける」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」（65.2%）。
・「仕事が出来る限り続ける」と回答した割合が大きい雇用形態は「その都度契約」（56.7%）。

（５）担い手育成について

①現在，担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

・「現在は育てていないが，人材がいれば育てたい」が 39.4%で最も高く，次いで「現在は育てていないし，今後も育てる予定はない」が 28.4%だった。「現在育てている」と回答した割合は，15.3%だった。
・「現在育てている」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」（25.0%）。
・「現在育てている」と回答した割合が大きい年齢層は「70 代以上」（21.3%）。
・「現在育てている」と回答した割合が大きい経験年数は「41～50 年」（20.1%）。
・「現在育てている」と回答した割合が大きい雇用形態は「元請として仕事」（20.2%）。

②育成期間の担い手の立場

・育成期間の担い手の立場として，「正社員（弟子として）」が 64.4%で最も割合が高く，次いで「正社員（職業訓練校）」が 19.1%，「一人親方等にあずける（弟子として）」が 9.3%であった。
・地域毎で各回答の割合が大きい地域は「正社員（職業訓練校）」は「東北」（35.7%）「正社員（弟子として）」は「北海道」，「中国」，「九州・沖縄」（71.4%），「一人親方にあずける（職業訓練校）」は「北陸」（8.6%），「一人親方にあずける（弟子として）」は「近畿」（22.9%）。
・年齢毎で各回答の割合が大きい年齢層は「正社員（職業訓練校）」は「20 代」（32.3%），「正社員（弟子として）」は「10 代」（100%），「一人親方にあずける（職業訓練校）」は「50 代」（3.9%），「一人親方にあずける（弟子として）」は「70 代以上」（15.4%）。
・経験年数毎で各回答の割合が大きい経験年数は「正社員（職業訓練校）」は「5 年未満」（45.2%），「正社員（弟子として）」は「21～30 年」（74.0%），「一人親方にあずける（職業訓練校）」は「51 年以上」（11.1%），「一人親方にあずける（弟子として）」は「11~20 年」および「51 年以上」（16.7%）。
・雇用形態毎で各回答の割合が大きい雇用形態は「正社員（職業訓練校）」は「工務店社員」（29.8%），「正社員（弟子として）」は「外注常用（坪請主体）」（71.0%），「一人親方にあずける（職業訓練校）」は「外注常用（日当制）」（4.8%），「一人親方にあずける（弟子として）」は「外注常用（日当制）」（28.6%）。

③育成にかかる費用負担

・育成期間にかかる費用の負担について，大工で「有る」と回答した割合は 27.4%，「無い」と回答した割合は 14.3%，無回答などの「不明」は 58.4%であった。
・「有る」と回答した割合が最も高かった地域は「北陸」（42.9%）。「無い」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」（21.4%）。
・「有る」と回答した割合が最も高かった年齢層は「40 代」（35.5%）。「無い」と回答した割合が最も高かった年齢層は「10 代」（50.0%）。
・「有る」と回答した割合が大きい経験年数は「31～40 年」（35.2%）。「無い」と回答した割合が大きい経験年数は「6～10 年」（25.0%）。

・「有る」と回答した割合が大きい雇用形態は「元請として仕事」(30.9%)。「無い」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（日当制)」(23.8%)。

④なぜ育てる予定はないのか。

・大工では，育てる予定がない理由として，「将来の保障ができないため」が 38.5%で最も高く，次いで「人材がいないため」が 21.1%，「新築が少ないため」が 18.7%であった。
・育てる予定はない理由の回答した割合の合計値が大きいのは「中国」(172.6%)。いずれの地域においても「将来に保証ができないため」，「人材がいないため」，「費用がかかるため」，「新築が少ないため」という回等の割合が大きい。
・年齢別の回答では，育てる予定がない理由としては「50 代」が最も多く回答しており，合計値は 169.7%。「30 代」から「60 代」では「将来の保障ができないため」と回答した割合が大きい。「70 代以上」では「年齢のため」(38.5%）の割合が大きい。
・経験年数別の回答では，「将来の保障ができないため」と回答した割合が大きい経験年数は「21～30 年」(53.6%)。「費用がかかるため」の割合が大きいのは「11~20 年」(28.4%)。「人材がいないため」の割合が大きいのは「11~20 年」(28.4%)。
・雇用形態別の回答では，「将来の保障ができないため」と回答した割合が大きい雇用形態は「その都度契約」(52.9%)。「人材がいないため」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」(25.8%)。「費用がかかるため」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体)」(38.1%)。

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について，１人／月当たりどの程度必要と考えますか。

・大工では担い手にかかる費用の公的補助について 1 人／月当たり必要な額として，「10 万円／月」と回答した割合が 27.7%で最も大きく，次いで「15 万円／月」が 17.5%であった。
・地域毎の回答では，各地域で「10 万円/月」への回答が多くみられた。
・年齢毎の回答では，「10 代」では「5 万円/月」(14.3%）と回答した割合が大きく，「20 代」から「70 代以上」の年齢層では「10 万円/月」と回答した割合が大きい。
・経験年数毎の回答では，各経験年数で「10 万円/月」への回答が多くみられた。
・雇用形態毎の回答では，各雇用形態で「10 万円/月」への回答が多くみられた。

3 章　アンケート調査　集計結果

1.　職種別集計

（１）職業等について

①年齢

大工の平均年齢は 45.04 歳であった。

30 代の割合が 25.8%と最も高く，次いで 40 代が 25.2%，50 代が 18.1%，60 代が 16.3%であった。

前回調査（H27 年度）と大工の平均年齢は変化なく，アンケート調査回答者の年齢構成にも大きな変化はみられなかった。

		合計	(1)年齢								
			10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	平均
全体		7,032	2.7	10.1	24.2	27.5	18.4	13.2	1.9	2.0	44.37
職種	大工	3,253	1.5	10.3	25.8	25.2	18.1	16.3	1.9	1.0	45.04
	設備組立工	110	0.0	3.6	26.4	29.1	24.5	10.0	4.5	1.8	46.57
	その他	3,283	4.0	10.2	23.1	30.4	18.8	10.3	1.8	1.4	43.52

表 3.1.1 年齢（H28 年度）　（割合%）

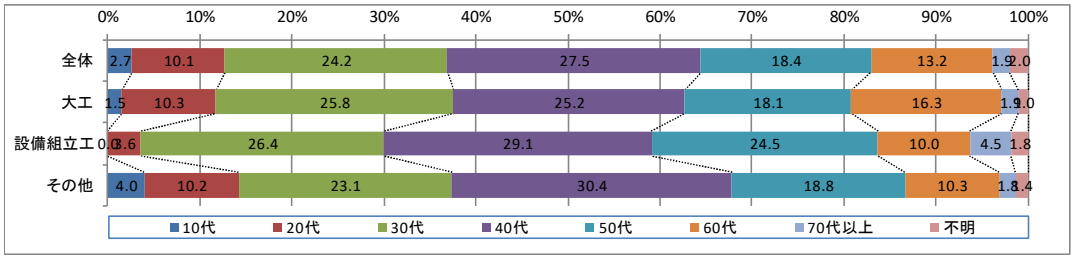


図 3.1.1 年齢（H28 年度）

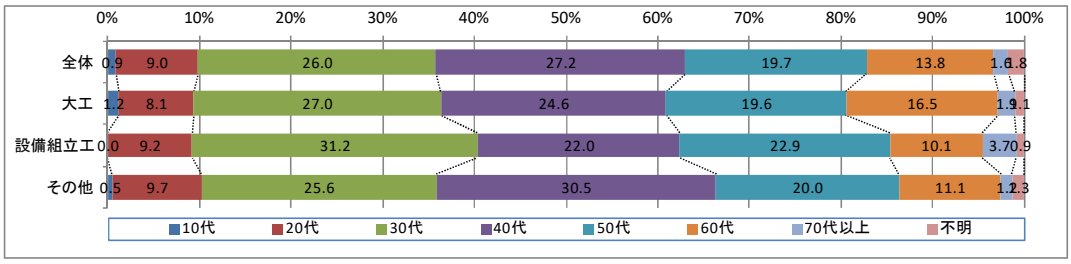


図 3.1.1# 年齢（H27 年度）

性別

大工の性別は 97.8%が男性であった。

女性の割合は 0.6 で，今回のアンケート票数の合計 3,253 票に対して，20 票が女性である。

アンケート調査に回答した設備組立工，その他の職種と比較して大工の女性の割合は小さい。

前回調査（H27 年度）と比較して，アンケート調査回答者の性別構成に大きな変化はみられなかった。

		合計	(2)性別		
			男	女	不明
全体		7,032	92.2	5.7	2.1
職種	大工	3,253	97.8	0.6	1.6
	設備組立工	110	96.4	0.9	2.7
	その他	3,283	88.2	10.4	1.4

表 3.1.2 性別（H28 年度）　（割合%）

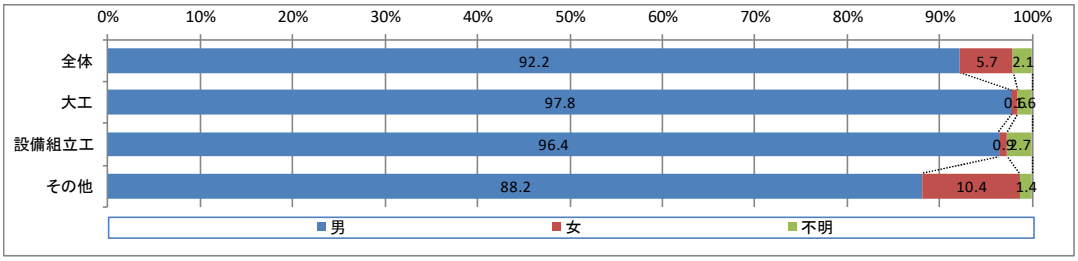


図 3.1.2 性別（H28 年度）

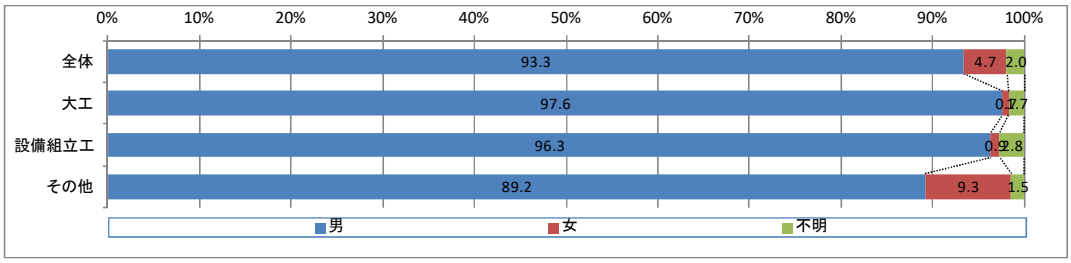


図 3.1.2♯ 性別（H27 年度）

③職種の経験年数

大工の経験年数は，「6～10 年」が 25.2%で最も多い。次いで「11～20 年」が 23.2%，「21～30 年」が 15.3%であった。

前回調査（H27 年度）と比較して，経験年数 3 年未満の大工の割合は 2.5 ポイント増加している。

		合計	(4)職種の経験年数								
			3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明
全体		7,032	15.4	8.9	23.7	20.9	13.3	8.6	2.0	7.1	5.4
職種	大工	3,253	12.0	7.6	25.2	23.2	15.3	13.3	3.2	0.2	0.5
	設備組立工	110	9.1	14.5	32.7	25.5	11.8	3.6	2.7	0.0	1.0
	その他	3,283	20.0	11.0	24.0	19.9	12.2	4.9	0.9	7.2	3.9

表 3.1.3 職種の経験年数（H28 年度）　（割合%）

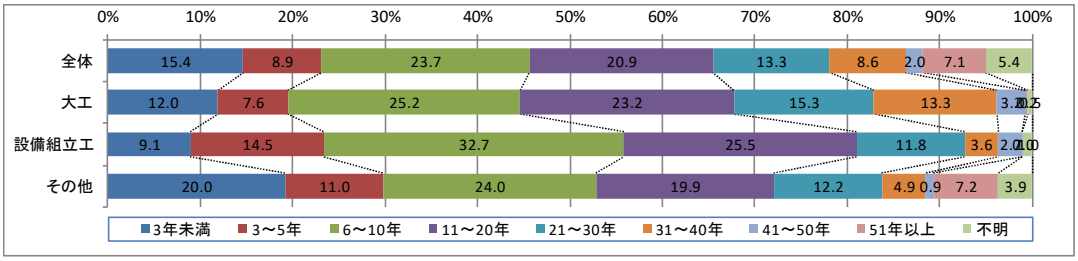


図 3.1.3 職種の経験年数（H28 年度）

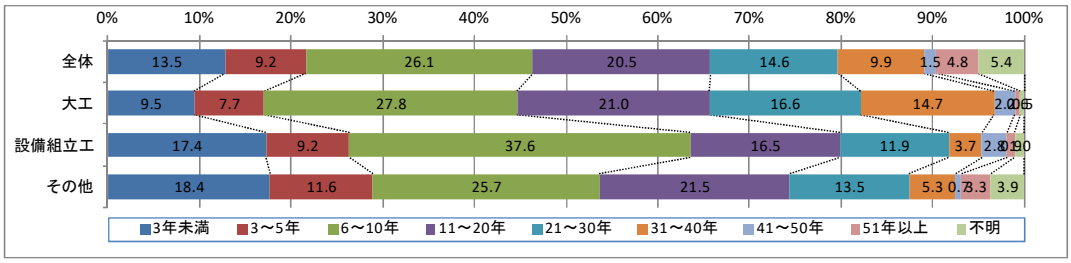


図 3.1.3ｷ 職種の経験年数（H27 年度）

④職種においてベテランだと思いますか.

大工のベテラン度合いは「中堅」の割合が 32.6%で最も大きい。次いで「ややベテラン」が 20.5%,「ベテラン」が 19.8%であった。

前回調査（H27 年度）と比較してベテラン度合いの割合構成には，大きな変化は見られなかった。

		合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
			ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
	全体	7032	15.9	18.2	29.6	12.3	14.4	9.6
職種	大工	3253	19.8	20.5	32.6	11.0	13.2	3.0
	設備組立工	110	11.8	26.4	38.2	12.7	7.3	3.6
	その他	3283	13.6	17.0	28.4	14.4	17.0	9.6

表 3.1.4 職種のベテラン度合（H28 年度）　（割合%）

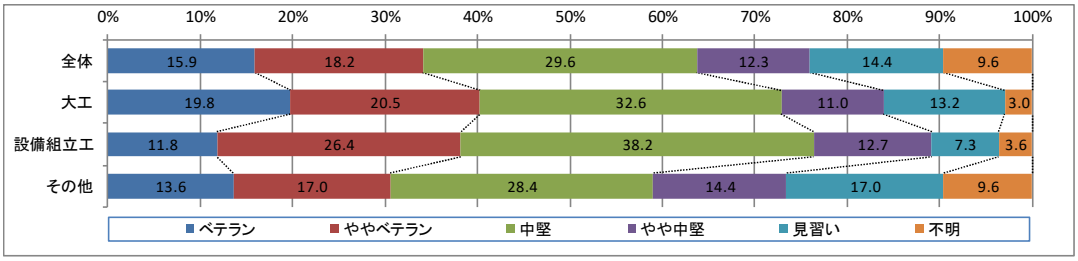


図 3.1.4 職種のベテラン度合（H28 年度）

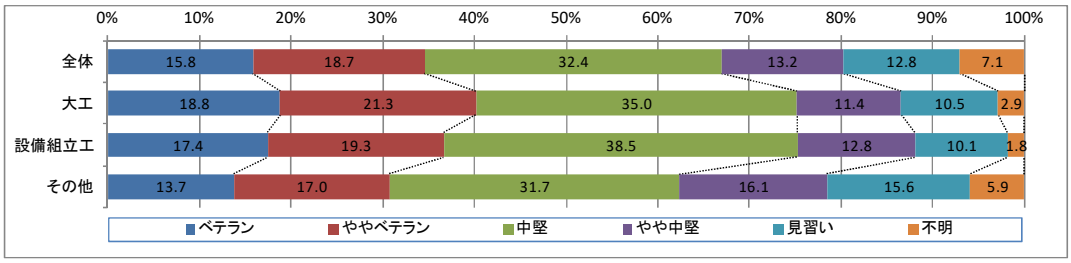


図 3.1.4♯ 職種のベテラン度合（H27 年度）

（２）雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

大工の雇用形態では，「工務店社員」が最も多く 40.3%，次いで「元請として仕事」が 33.5%，「外注常用（日当制）」が 10.3%という構成だった。

前回調査（H27 年度）と比較すると，工務店社員の大工の割合は 4.0 ポイント増加が見られた。

		合計	(6)あなたの雇用形態						
			工務店社員	外注常用（日当制）	外注常用（坪請主体）	その都度契約	元請として仕事	その他（アルバイト等）	不明
	全体	7032	41.3	5.4	4.3	2.9	28.5	2.8	14.8
職種	大工	3253	40.3	10.3	8.4	3.7	33.5	0.9	2.9
	設備組立工	110	40.0	4.5	8.2	9.1	31.8	1.8	4.5
	その他	3283	44.4	1.0	0.5	2.1	25.4	5.0	21.5

表 3.1.5 雇用形態（H28 年度）　（割合%）

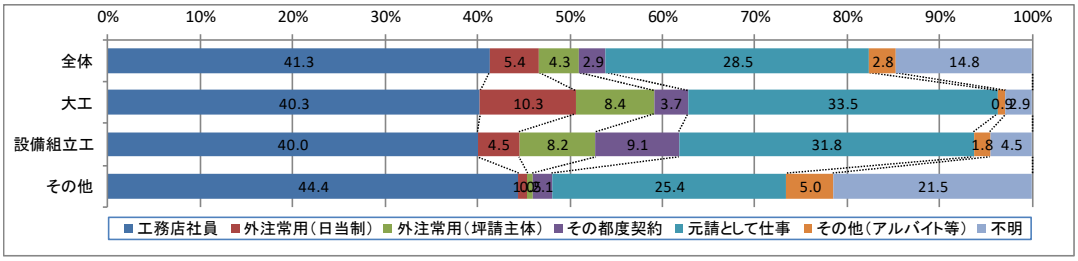


図 3.1.5 雇用形態（H28 年度）

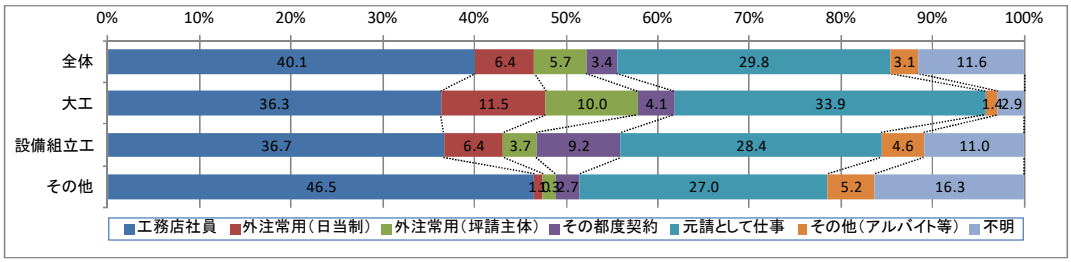


図 3.1.5♯ 雇用形態（H27 年度）

②就業規則

大工で就業規則が「有る」と回答した割合は 29.2%，「無い」と回答した割合は 50.0%，「不明」と回答した割合は 20.8%であった。

大工以外の職種では，就業規則が「有る」と回答した割合は，設備組立工（58.2%），その他（60.9%）で，半数以上が「有る」と回答している。他の職種と比較して，大工は就業規則が整備されていないといえる。

前回調査（H27 年度）との比較でも，ほぼ同様の結果であり，大きな変化は見られなかった。

		合計	(7)就業規則		
			有	無	不明
全体		7032	44.2	31.1	24.8
職種	大工	3253	29.2	50.0	20.8
	設備組立工	110	58.2	26.4	15.5
	その他	3283	60.9	15.1	24.0

表 3.1.5 就業規則（H28 年度）　（割合%）

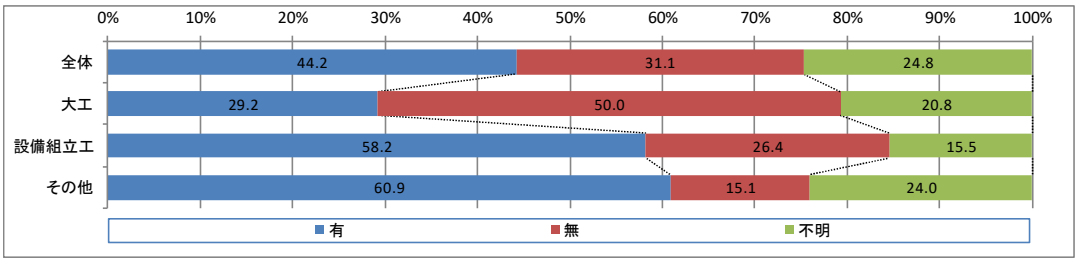


図 3.1.5 就業規則（H28 年度）

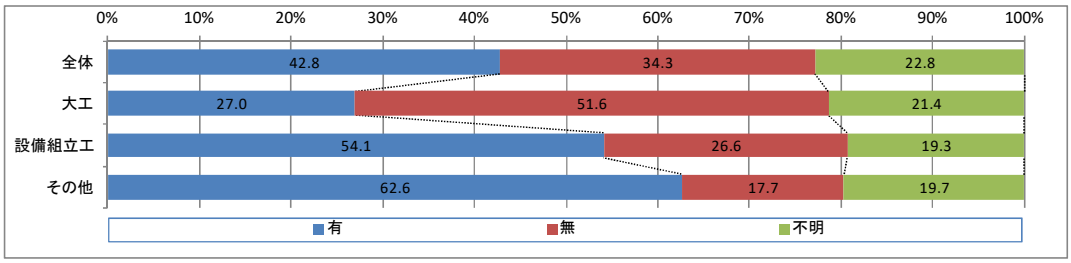


図 3.1.5♯ 就業規則（H27 年度）

③有給休暇

大工で有給休暇が「有る」と回答した割合は 15.3%，「無い」と回答した割合は 61.7%，「不明」と回答した割合は 23.0%であった。

大工以外の職種では，有給休暇が「有る」と回答した割合は，設備組立工（55.5%），その他（27.3%）であった。他の職種と比較して大工は有給休暇が整備されていない状況にあると考えられる。

前回調査（H27 年度）においても，大工についてはほぼ同様の結果であった。設備組立工については前回調査（H27 年度）から，有給休暇が有る割合が 15.1 ポイント増加している。

		合計	(8)有給休暇		
			有	無	不明
全体		7032	34.0	39.0	27.0
職種	大工	3253	15.3	61.7	23.0
	設備組立工	110	55.5	27.3	17.3
	その他	3283	53.3	20.3	26.4

表 3.1.7 有給休暇（H28 年度）　（割合%）

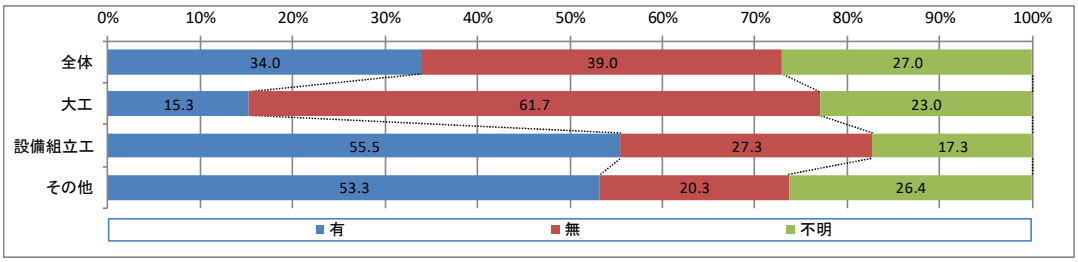


図 3.1.7 有給休暇（H28 年度）

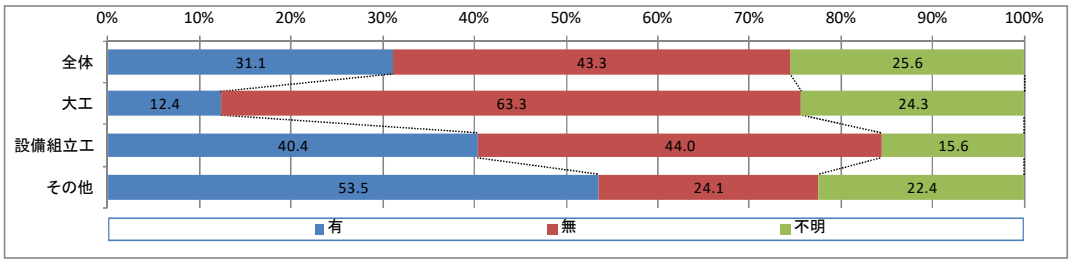


図 3.1.7♯ 有給休暇（H27 年度）

④年間就業日数

大工全体の平均年間就業日数は 266.22 日であった。

大工以外の職種の平均年間就業日数では，設備組立工（241.63 日），その他（238.23 日）で，他の職種と比較して大工の平均年間就業日数が多い結果となった。

大工の年間就業日数の割合は「300 日以上」が 26.2%で最も多く，次いで「250 日~300 日未満」が 18.5%であった．しかしながら「不明」と回答した割合は 45.5%と多く，大工以外の職種においても同様に約半数が「不明」と回答している。職種に関わらず，そもそも年間就業日数を本人が把握していない実態が窺える結果であった．

前回調査（H27 年度）では，大工についてはほぼ同様の結果であり，大きな変化は見られなかった。

		合計	(9)年間就業日数							
			100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	平均
	全体	7032	3.1	2.8	0.4	5.3	18.4	18.2	51.7	252.81
職種	大工	3253	2.9	0.8	0.5	5.7	18.5	26.2	45.5	266.22
	設備組立工	110	3.6	4.5	0.9	8.2	20.0	14.5	48.2	241.63
	その他	3283	3.7	4.9	0.4	5.3	19.9	12.2	53.7	238.23

表 3.1.8 年間就業日数（H28 年度）　（割合%）

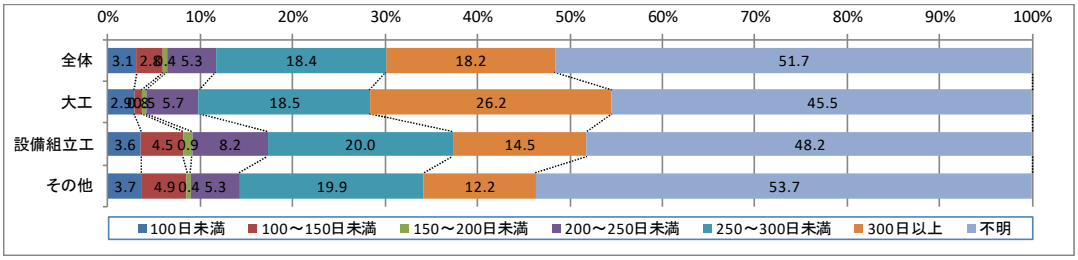


図 3.1.8 年間就業日数（H28 年度）

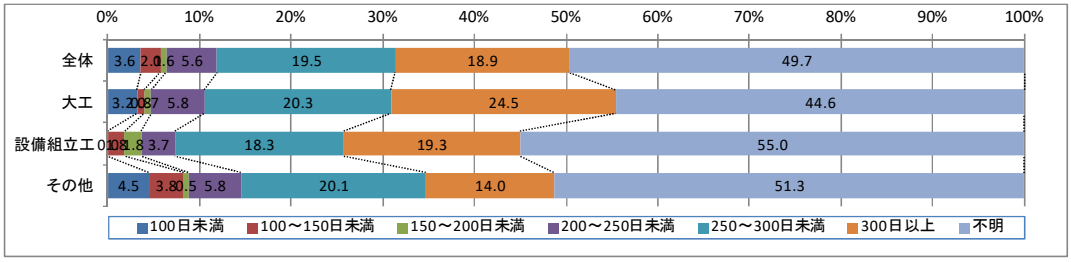


図 3.1.8ｃ 年間就業日数（H27 年度）

⑤保険等について

1）年金保険

大工では「国民年金」の割合が 49.6%で最も多く，次いで「厚生年金」が 36.6%だった．年金保険についての「不明」と回答した割合は 14.6%だった。

大工以外の職種では，設備組立工（「厚生年金」62.7%，「国民年金」27.3%，「不明」12.7%），その他（「厚生年金」67.5%，「国民年金」13.5%，「不明」20.9%）であった。

大工では「国民年金」が，大工以外の職種では「厚生年金」がの割合が大きい。

前回調査（H27 年度）と比較して，大工は「厚生年金」の割合が 6.9 ポイント増加している。

		合計	(10-1)加入している年金			
			厚生年金	国民年金	企業年金	不明
	全体	7032	51.1	30.2	1.6	20.1
職種	大工	3253	36.6	49.6	1.2	14.6
	設備組立工	110	62.7	27.3	5.5	12.7
	その他	3283	67.5	13.5	2.0	20.9

図 3.1.9 年金保険（H28 年度）　（割合%）

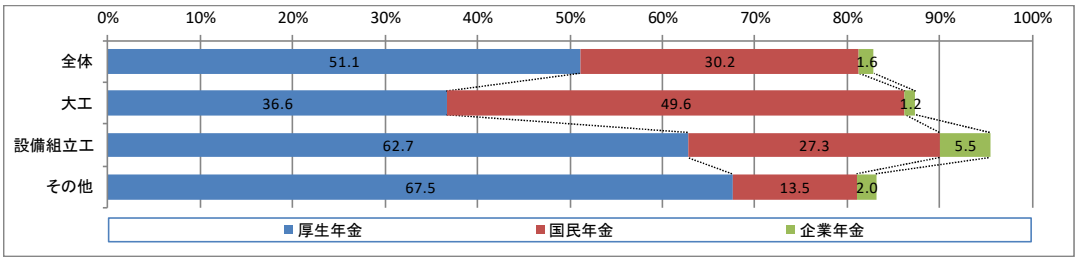


図 3.1.9 年金保険（H28 年度）

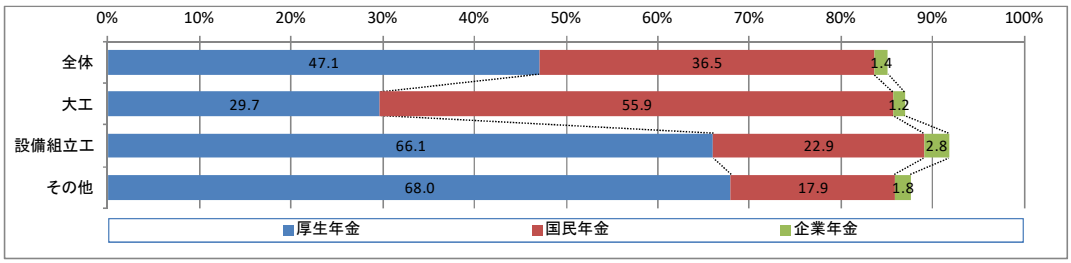


図 3.1.9♯ 年金保険（H27 年度）

２）労働保険

大工では，「雇用保険」に加入している割合は 22.5%であった。大工以外の職種では，設備組立工（47.3%），その他（50.2%）であった。「（２）①雇用形態（工務店等との）」において「工務店社員」と回答した大工の割合（40.3%）に対して，「雇用保険」に加入している大工の割合は小さい。

大工全体で,「労災保険（一人親方労災保険を含む）」に加入している割合は 60.7%（労災保険：33.8%，一人親方労災保険：26.9%）であった。大工以外の職種では，設備組立工が 39.1%（労災保険 23.6%，一人親方労災保険 15.5%），その他が 24.5%（労災保険 20.9%，一人親方労災保険 3.6%）であった。

前回調査（H27 年度）と比較しても，大工の労働保険への加入の割合は同様の結果であった。

		合計	(10-2)加入している労働保険			
			雇用保険	労災保険	一人親方労災保険	不明
	全体	7032	35.6	26.5	14.6	34.5
職種	大工	3253	22.5	33.8	26.9	28.9
	設備組立工	110	47.3	23.6	15.5	28.2
	その他	3283	50.2	20.9	3.6	36.2

表 3.1.10 労働保険（H28 年度）　（割合%）

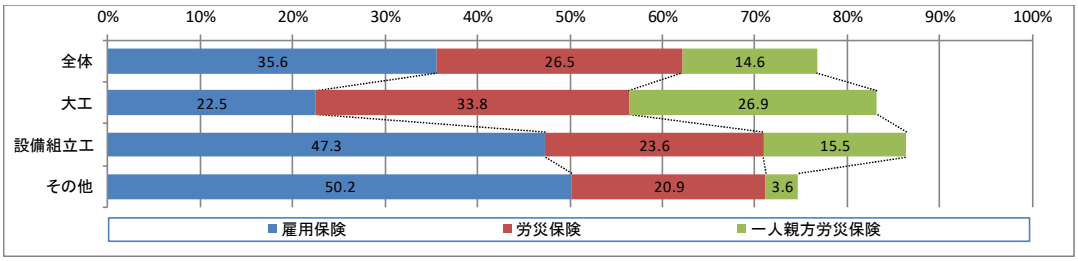


図 3.1.10 労働保険（H28 年度）

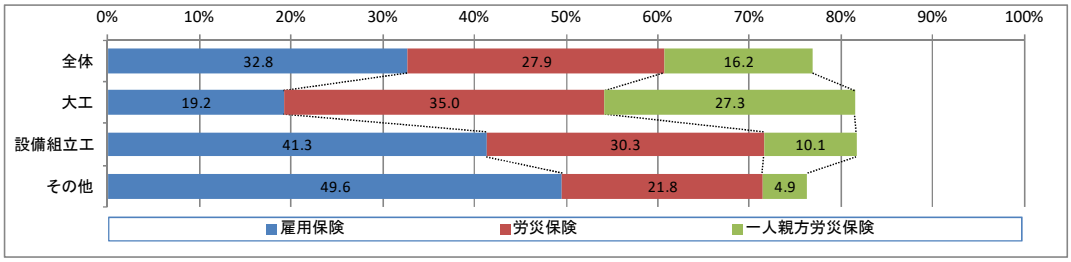


図 3.1.10♯ 労働保険（H27 年度）

３）健康保険

大工が加入している健康保険の割合は，「組合健康保険（建設国保）」が 26.5%で最も高く，次いで「国民健康保険」が 29.4%であった。

前回調査（H27 年度）においても，加入している健康保険の割合構成はほぼ同様であった。

大工以外の職種においては，「組合健康保険（建設国保）」よりも「国民健康保険」と回答する割合が多くみられた。

		合計	(10-3)加入している健康保険				
			国民健康保険	組合健康保険（建設国保）	組合保険（建設国保以外）	その他の健康保険	不明
	全体	7032	27.2	25.7	5.0	7.2	35.4
職種	大工	3253	29.4	36.5	3.4	4.3	27.1
	設備組立工	110	34.5	22.7	2.7	10.9	29.1
	その他	3283	26.7	16.8	7.1	10.5	39.4

表 3.1.11 健康保険（H28 年度）　（割合%）

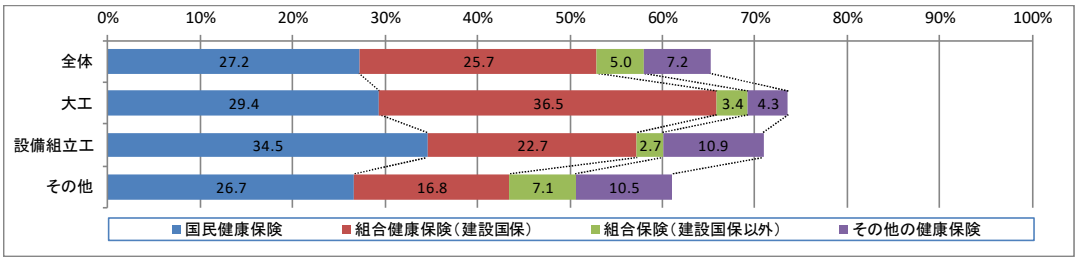


図 3.1.11 健康保険（H28 年度）

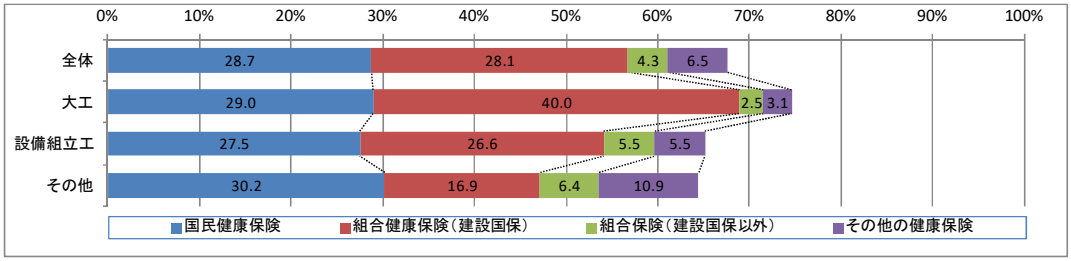


図 3.1.11♯ 健康保険（H27 年度）

⑥賃金の中に含まれ，自己負担となっているもの

大工で，賃金の中に含まれ，自己負担となっているものの割合を合計すると，250.7%であった。大工以外の職種と比較すると，設備組立工（112.6%），その他（49.9%）であり，大工は自己負担とされているものが多いことがいえる。

大工で自己負担となっているものの中では，最も割合が大きいのは「手道具」が 69.8%であった。次いで，「電動工具」が 63.0%，「車（保険含む）」と「ガソリン」は，それぞれ 49.1%，47.8%でほぼ同割合だった。「クギ金物」は 21.0%であり，回答選択肢の中では比較的割合が低かった。

前回調査（H27 年度）の結果においても，ほぼ同様の割合構成であった。

		合計	(11)自己負担となっているもの						
			手道具	電動工具	クギ金物	車（保険含む）	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体		7032	39.0	33.9	11.5	30.5	27.9	22.8	29.1
職種	大工	3253	69.8	63.0	21.0	49.1	47.8	15.5	8.8
	設備組立工	110	30.9	21.8	14.5	22.7	22.7	41.8	16.4
	その他	3283	12.2	8.6	3.0	15.2	10.9	30.9	44.2

表 3.1.12 自己負担となっているもの（H28 年度）　（割合%）

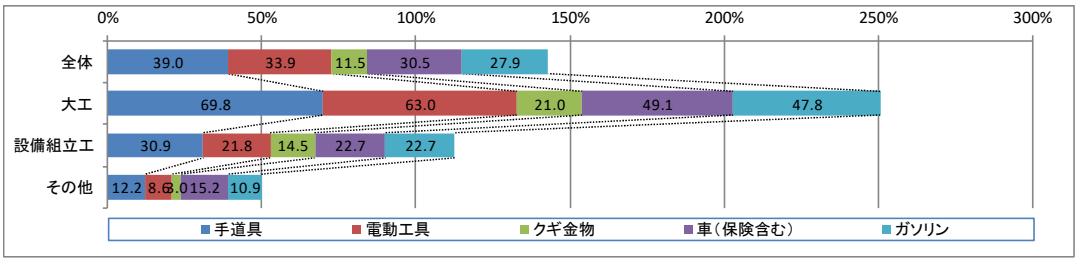


図 3.1.12.1 自己負担となっているもの（H28 年度）

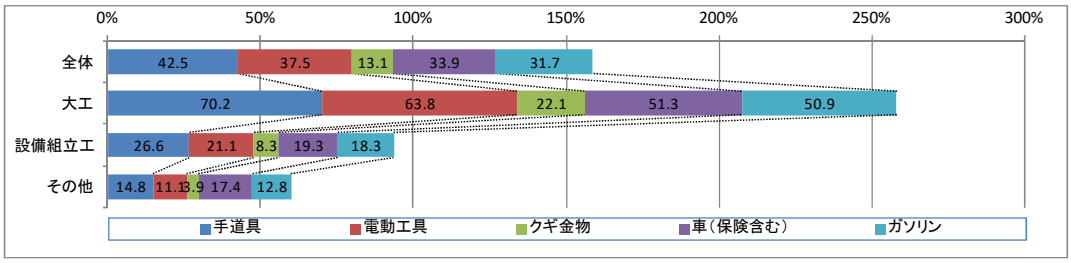


図 3.1.12.1＃ 自己負担となっているもの（H27 年度）

⑦おおよその賃金（諸経費が含まれた１日あたりの平均単価）

大工の一日あたりのおおよその賃金の平均値は 14,985 円だった。設備組立工は 14,823 円，その他の職種では 14,542 円であった。

大工については，「10,000~15,000 円未満」の割合が最も大きく 35.2%，次いで「15,000~20,000 円未満」が 33.8%であった。

前回調査（H27 年度）においてもほぼ同様の結果で変化はみられなかった。

		合計	(12)1日あたりのおおよその賃金						
			8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明
全体		7032	5.9	8.5	27.8	22.9	7.9	3.0	23.9
職種	大工	3253	6.2	7.7	35.2	33.8	9.2	2.3	5.7
	設備組立工	110	5.5	11.8	37.3	17.3	15.5	2.7	10.0
	その他	3283	6.0	9.7	22.5	14.0	7.0	4.0	36.8

表 3.1.13 一日当たりのおおよその賃金（H28 年度）　（割合%）

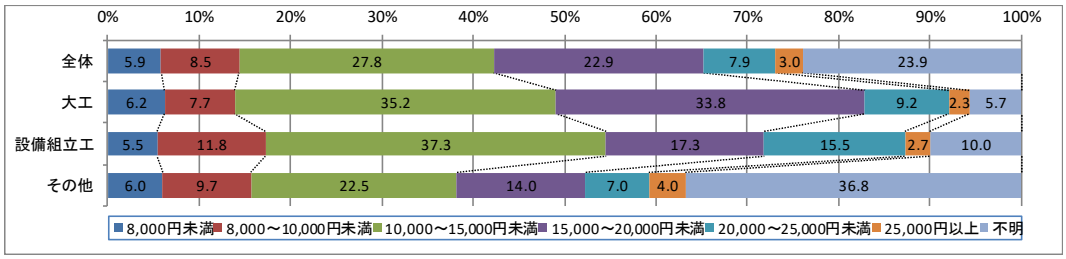


図 3.1.13 一日当たりのおおよその賃金（H28 年度）

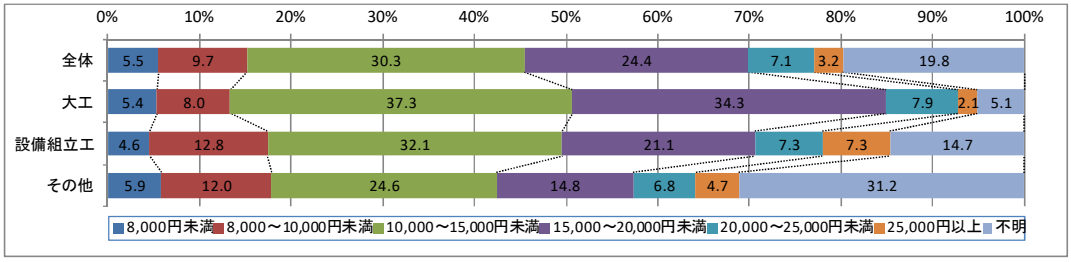


図 3.1.13♯ 一日当たりのおおよその賃金（H27 年度）

（3）資格や技能について

①持っている資格

大工では，「玉掛け技能講習修了者」（43.3%），「木造建築物組立て作業主任者」（38.5%），「足場の組立て等作業主任者」（36.8%）の労働安全衛生法に係る資格の取得割合が大きい結果であった。

「2 級建築士」は 29.5%，「建築大工技能士」は 1 級，2 級を合わせて 22.9%の取得率で「足場の組立て等作業主任者」に次いで取得割合が高い資格であった。

前回調査（H27 年度）においてもほぼ同様の結果であり，大きな変化はみられなかった。

		合計	(13)お持ちの資格														
			1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級･2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体		7032	11.1	27.8	1.9	12.1	13.2	11.2	1.2	6.2	5.6	26.6	24.0	32.0	13.5	5.6	29.3
職種	大工	3253	5.4	29.5	3.0	4.2	13.7	22.9	2.0	11.2	7.0	36.8	38.5	43.3	18.2	10.5	20.0
	設備組立工	110	2.7	2.7	0.9	3.6	15.5	1.8	0.0	0.0	10.9	17.3	6.4	30.9	16.4	0.0	44.5
	その他	3283	17.0	28.3	0.9	20.5	13.2	0.9	0.5	2.0	4.4	18.4	11.9	22.9	9.5	1.5	34.2

表 3.1.14 持っている資格（H28 年度）　（割合%）

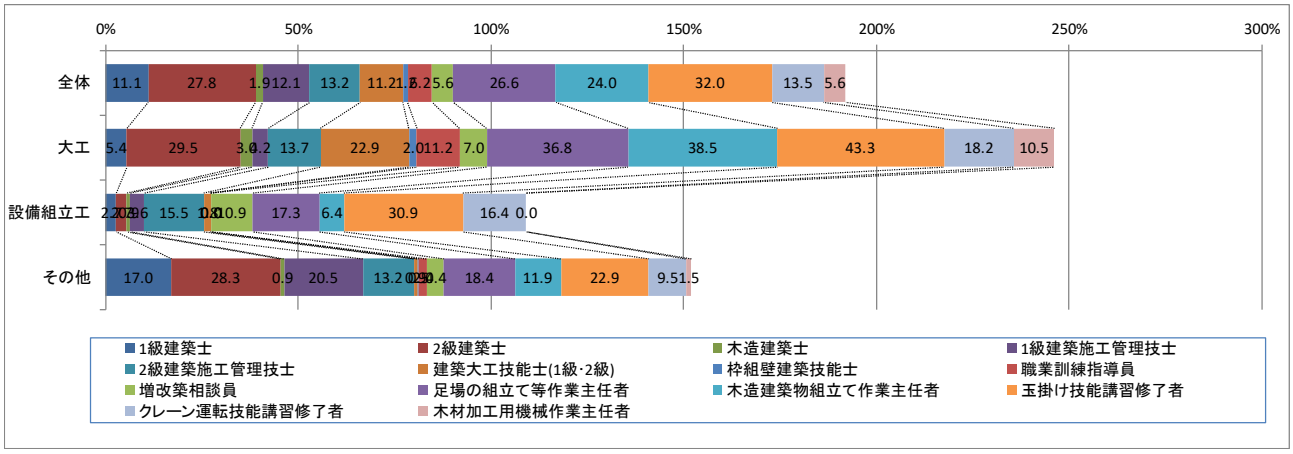


図 3.1.14 持っている資格（H28 年度）

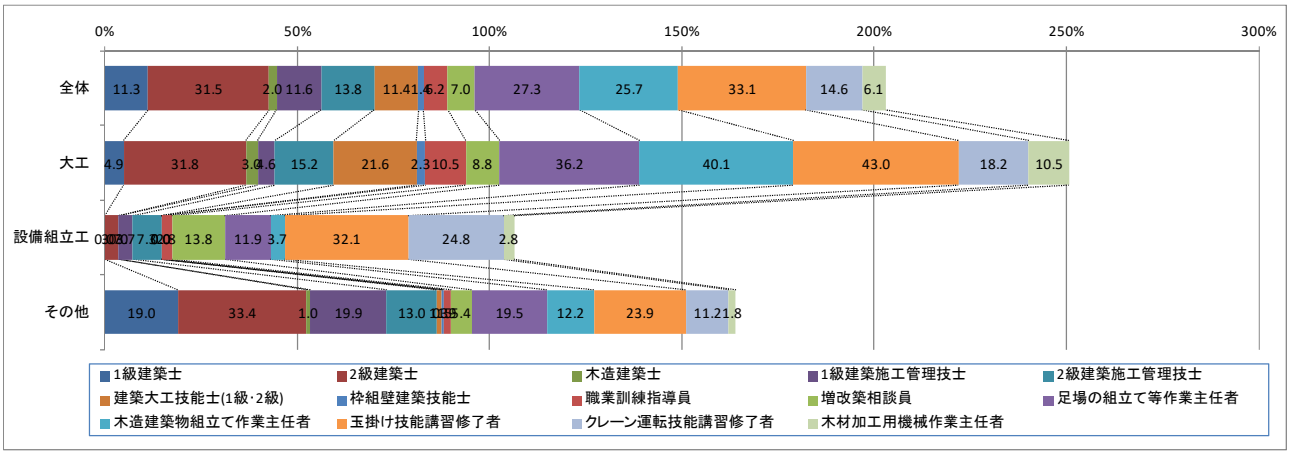


図 3.1.14♯ 持っている資格（H27 年度）

②大工職のみ回答　墨付けができますか.

大工で墨付けができると回答した割合は 69.9%であった。

前回調査（H27 年度）と比較すると「できる」の割合は僅かだが，1.7 ポイント減少している。

		合計	(14)①墨付けができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		3253	69.9	15.9	14.3
職種	大工	3253	69.9	15.9	14.3
	設備組立工	3	33.3	0.0	66.7
	その他	15	60.0	13.3	26.7

表 3.1.15 墨付け（H28 年度）　（割合%）

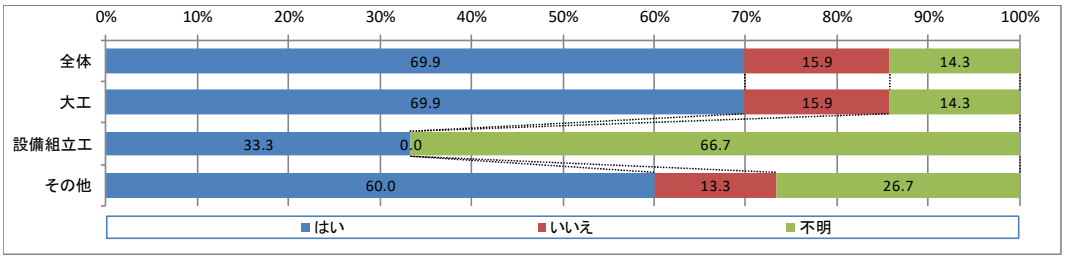


図 3.1.15 墨付け（H28 年度）

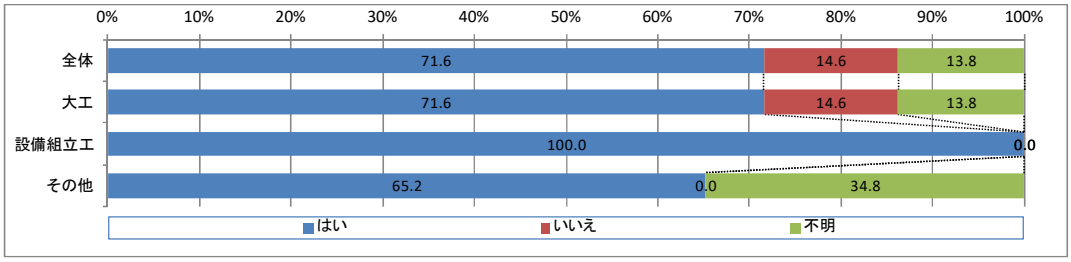


図 3.1.15♯ 墨付け（H27 年度）

③大工職のみ回答　今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか．（新築）

大工で今でも新築の手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていると回答した割合は，24.1%であった。「いいえ」と回答した大工の割合は 60.3%で，半数以上の大工は新築の手刻み加工の仕事を行っていないという結果であった。

前回調査（H27 年度）との比較では，「はい」の割合は 0.2 ポイント増加，「いいえ」の割合は 0.2 ポイント減少している。

		合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
全体		3253	24.1	60.3	15.6
職種	大工	3253	24.1	60.3	15.6
	設備組立工	3	33.3	0.0	66.7
	その他	15	20.0	40.0	40.0

表 3.1.16 手刻み加工の仕事（新築）（H28 年度）　（割合%）

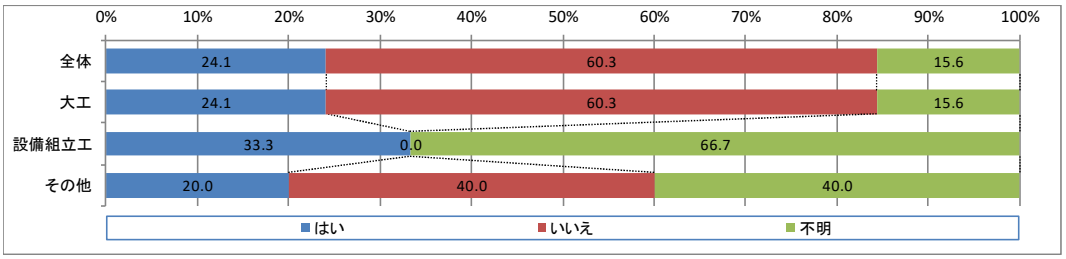


図 3.1.16 手刻み加工の仕事（新築）（H28 年度）

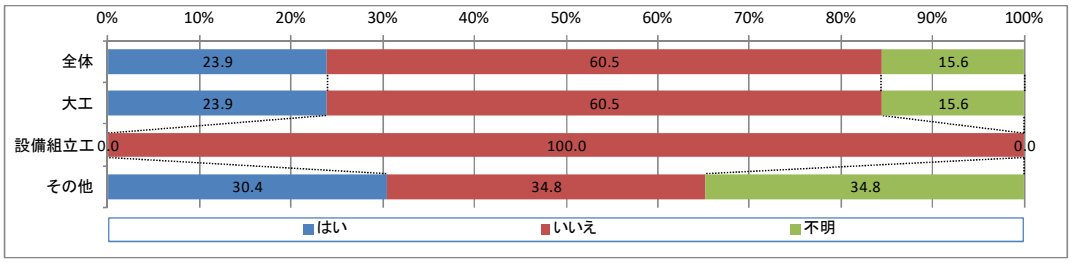


図 3.1.16ｷ 手刻み加工の仕事（新築）（H27 年度）

④大工職のみ回答　今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか．（増改築）

大工で，今でも増改築の手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていると回答した割合は 46.4%であった。また「いいえ」と回答した割合は 37.8%であった。

前設問を踏まえてみると，現在の大工における手刻み加工の技能は，実態的に新築の仕事では用いる機会がなくなってきており，増改築の仕事で主に発揮する機会が多いということが考えられる。

前回調査（H27 年度）との比較では，ほぼ同様の結果となっているが，「はい」と回答した割合は 0.7 ポイント微減している。

		合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
全体		3253	46.4	37.8	15.8
職種	大工	3253	46.4	37.8	15.8
	設備組立工	3	33.3	0.0	66.7
	その他	15	26.7	33.3	40.0

表 3.1.17 手刻み加工の仕事（増改築）（H28 年度）　（割合%）

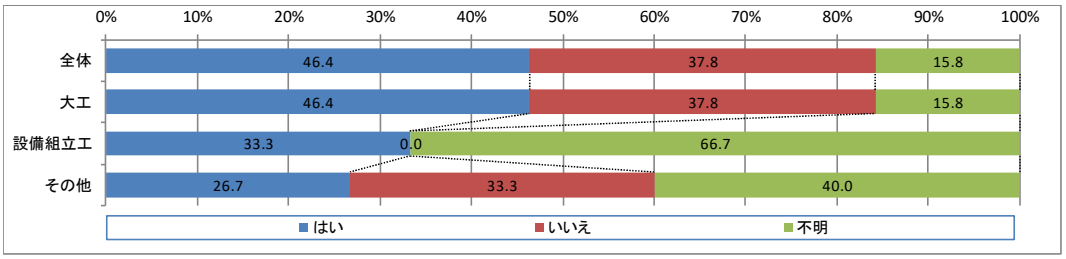


図 3.1.17 手刻み加工の仕事（増改築）（H28 年度）

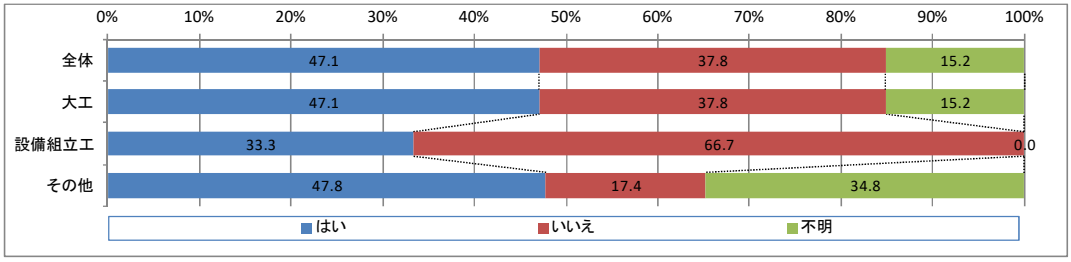


図 3.1.17♯ 手刻み加工の仕事（増改築）（H27 年度）

⑤大工職のみ回答　和室造作ができますか.

和室造作ができると回答した大工の割合は 64.7%，「いいえ」と回答した割合は 20.0%であった。半数以上の大工は，和室造作ができるという結果であった。

前回調査（H27 年度）と比較すると，回答の割合に大きな変化はみられないが，今回調査では「はい」が 1.7 ポイント微減し，「いいえ」は 1.2 ポイント微増している。

		合計	(14)④和室造作ができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		3253	64.7	20.0	15.3
職種	大工	3253	64.7	20.0	15.3
	設備組立工	3	0.0	33.3	66.7
	その他	15	40.0	20.0	40.0

表 3.1.18 和室造作（H28 年度）　（割合%）

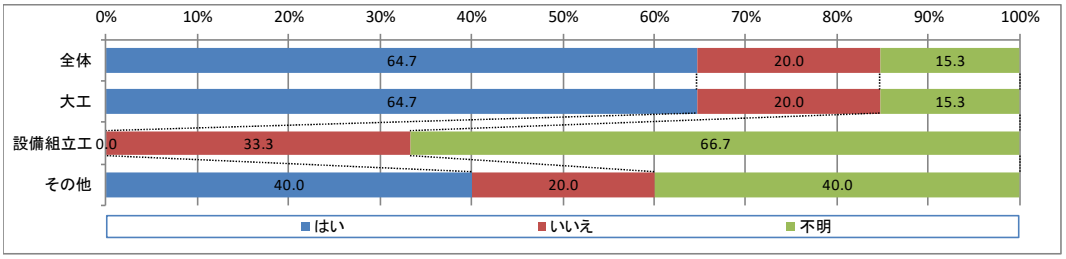


図 3.1.18 和室造作（H28 年度）

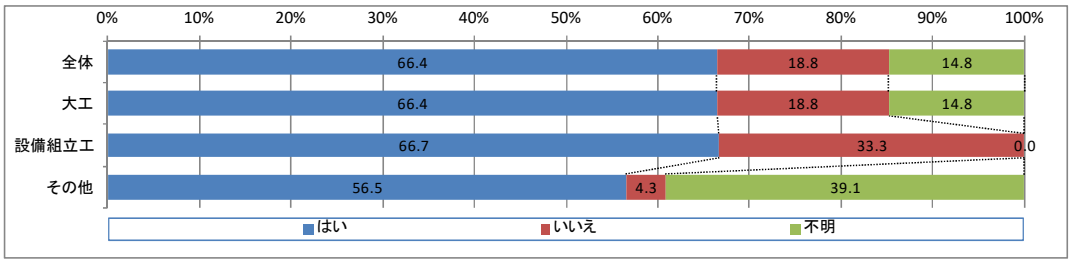


図 3.1.18♯ 和室造作（H27 年度）

⑥大工職のみ回答　2×4 工法の住宅の施工ができますか.

2×4 工法の住宅の施工ができると回答した大工の割合は 26.7%.「いいえ」と回答した割合は 56.4% であった。

前回調査（H27 年度）と比較して，ほぼ同様の結果であったが，「はい」の割合は 0.6 ポイント微増，「いいえ」の割合は 1.9 ポイント微減している。

		合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		3253	26.7	56.4	16.9
職種	大工	3253	26.7	56.4	16.9
	設備組立工	3	0.0	33.3	66.7
	その他	15	40.0	20.0	40.0

表 3.1.19 2×4 工法の住宅の施工（H28 年度）　（割合%）

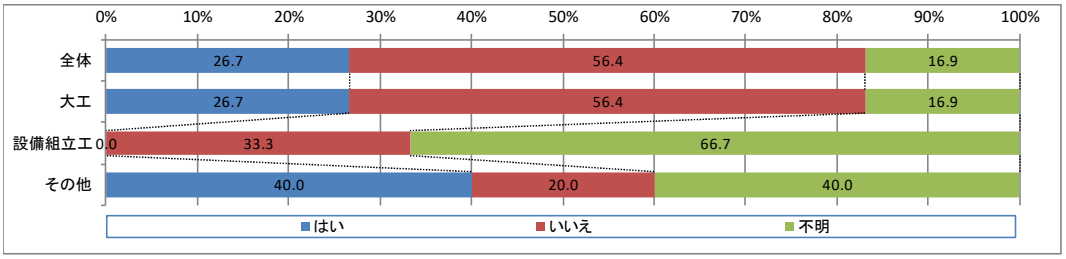


図 3.1.19 2×4 工法の住宅の施工（H28 年度）

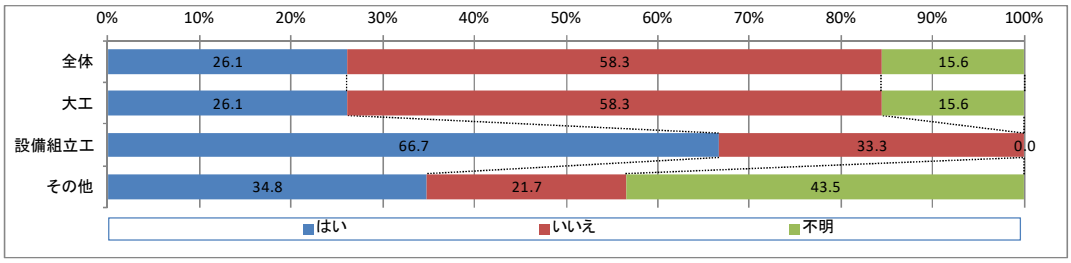


図 3.1.19♯ 2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）

（4）仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか.

大工で,「とても満足している」(10.8%),「まあ満足している」(48.9%）を合計した「満足している」割合は 59.7%であった。一方で,「あまり満足していない」(23.5%),「満足していない」(5.4%）を合計した「満足していない」割合は 28.9%であった。大工の約 6 割が仕事の内容について満足しているという結果であった。

大工以外の職種と比較すると,「満足していない」と回答した割合は，設備組立工（18.2%），その他の職種（18.9%）であり，大工は「満足していない」と回答する割合が高い傾向がみられた。

前回調査（H27 年度）においても，ほぼ同様の結果であった。前回調査では大工の「満足している」と回答した割合は 61.0%であり，今回調査では満足度は 1.3 ポイント微減している。また「満足していない」割合は前回調査の 28.6%から 0.2 ポイント微増している。

		合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
	全体	7032	9.1	45.7	18.9	3.9	22.3
職種	大工	3253	10.8	48.9	23.5	5.4	11.4
	設備組立工	110	9.1	54.5	15.5	2.7	18.2
	その他	3283	8.1	44.5	16.1	2.8	28.6

表 3.1.20 仕事の内容についての満足度（H28 年度）　（割合%）

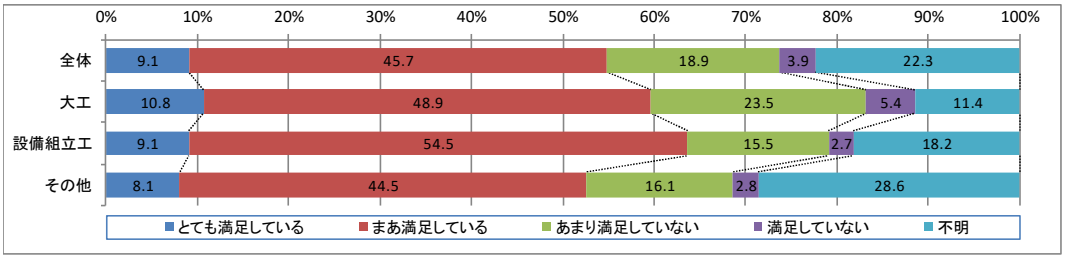


図 3.1.20 仕事の内容についての満足度（H28 年度）

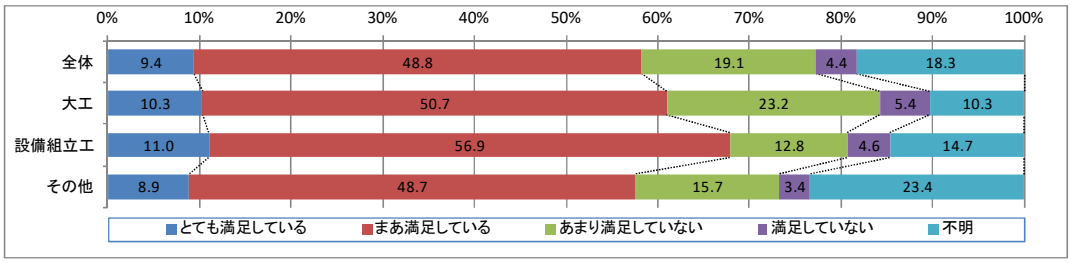


図 3.20♯　仕事の内容についての満足度（H27 年度）

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか.

大工で,「とても満足している」(4.1%),「まあ満足している」(31.4%) を合計した「満足している」割合は 35.5%であった。一方で,「あまり満足していない」(38.1%),「満足していない」(15.5%) を合計した「満足していない」割合は 53.6%であった。このことから,大工の約 5 割は仕事で得られる収入等について満足していないという結果であった。

大工以外の職種と比較すると,「満足していない」と回答した割合は,設備組立工 (36.4%),その他の職種 (37.0%) であり,大工は「満足していない」と回答する割合が高い傾向がみられた。

前回調査 (H27 年度) においても,ほぼ同様の結果であった。大工の「満足している」割合は前回調査の 36.7%から 1.2 ポイント微減しており,「満足していない」割合は前回調査の 53.0%から 0.6 ポイント微増している。

		合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
	全体	7032	3.7	30.5	31.8	11.8	22.2
職種	大工	3253	4.1	31.4	38.1	15.5	11.1
	設備組立工	110	3.6	42.7	27.3	9.1	17.3
	その他	3283	3.6	30.7	28.1	8.9	28.8

表 3.1.21 収入等についての満足度 (H28 年度)　(割合%)

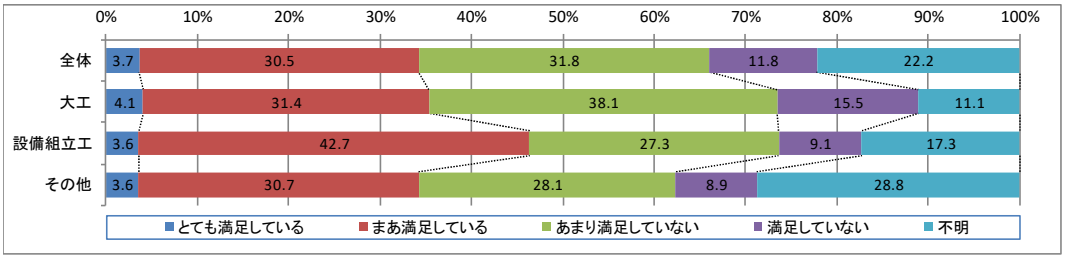


図 3.1.21 収入等についての満足度 (H28 年度)

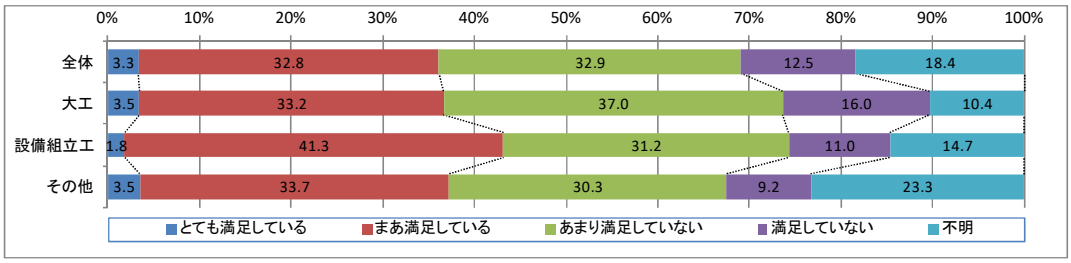


図 3.1.21♯ 収入等についての満足度 (H27 年度)

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか.

大工では,「仕事が出来る限り続ける」の割合が 50.4%で最も高く, 次いで「65 歳で引退する」が 15.7%であった。

「仕事が出来る限り続ける」の割合は設備組立工（33.6%），その他の職種（29.5%）であり，大工が最も割合が大きい。

前回調査（H27 年度）でも，大工の回答の割合構成はほぼ等しく，大きな変化は見られなかった。

		合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
			60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事が出来る限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体		7032	8.0	18.5	8.7	2.4	38.6	0.7	23.1
職種	大工	3253	6.4	15.7	11.6	3.2	50.4	0.7	12.0
	設備組立工	110	11.8	20.0	10.9	2.7	33.6	1.8	19.1
	その他	3283	9.9	22.3	6.2	1.7	29.5	0.6	29.7

表 3.1.22 何歳まで仕事を続ける予定か（H28 年度）　（割合%）

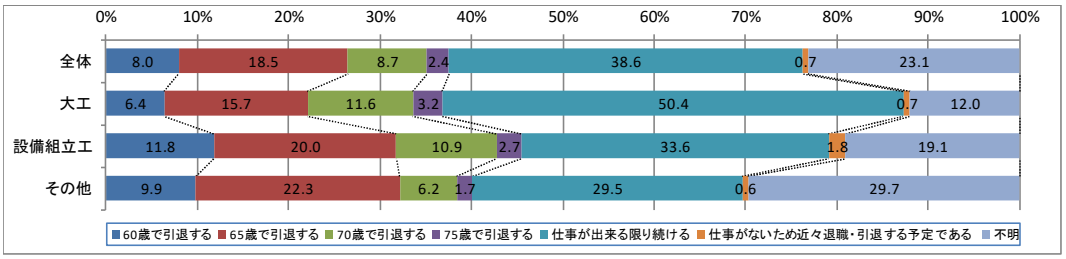


図 3.1.22 何歳まで仕事を続ける予定か（H28 年度）

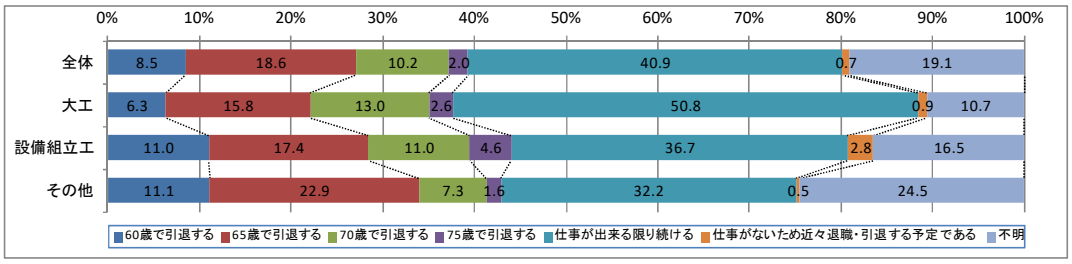


図 3.1.22♯ 何歳まで仕事を続ける予定か（H27 年度）

（５）担い手育成について

①現在，担い手（見習い等）の育成を行っていますか.

大工では，「現在は育てていないが，人材がいれば育てたい」が 39.4%で最も高く，次いで「現在は育てていないし，今後も育てる予定はない」が 28.4%だった.「現在育てている」と回答した割合は，15.3%だった。

設備組立工，その他の職種と比較すると，「現在は育てていないし，今後も育てる予定はない」は設備組立工（15.5%），その他の職種（14.1%）であり，大工では育成について「今後も育てる予定はない」と考える傾向が見られた。

前回調査（H27 年度）との比較では，ほぼ同等の結果であり，大きな変化はみられなかった。

		合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
			現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体		7032	13.4	35.3	20.6	30.6
職種	大工	3253	15.3	39.4	28.4	16.9
	設備組立工	110	23.6	37.3	15.5	23.6
	その他	3283	12.2	33.6	14.1	40.1

表 3.1.23 担い手の育成状況（H28 年度）　（割合%）

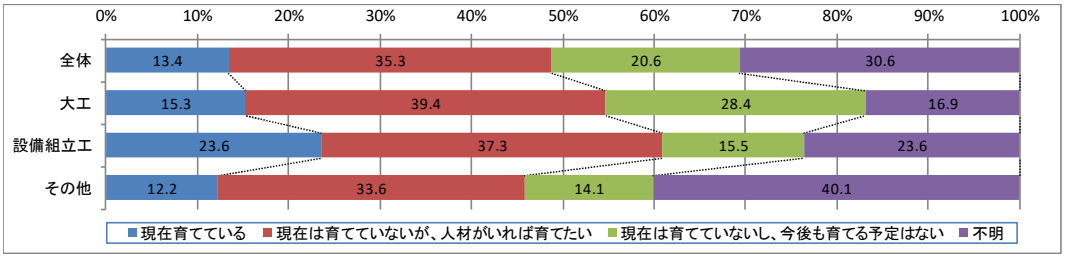


図 3.1.23 担い手の育成状況（H28 年度）

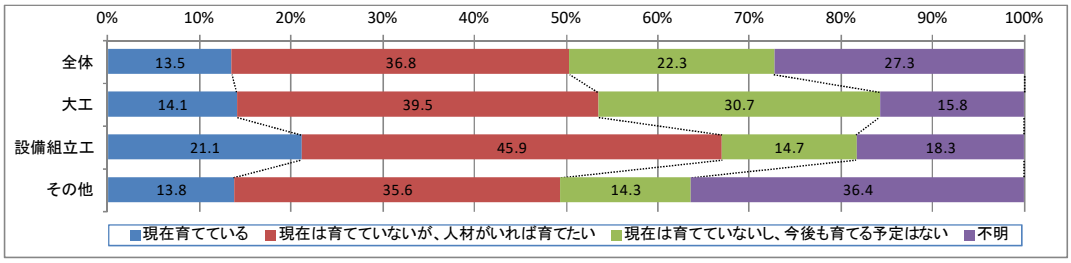


図 3.1.23♯ 担い手の育成状況（H27 年度）

②「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

大工では，育成期間の担い手の立場として，「正社員（弟子として）」が 64.4%で最も割合が高く，次いで「正社員（職業訓練校）」が 19.1%，「一人親方等にあずける（弟子として）」が 9.3%であった。

設備組立工，その他の職種では，「正社員（弟子として）」と回答した割合が設備組立工（65.4%），その他の職種（45.1%）で最も高く，次いで「正社員（職業訓練校）」が設備組立工（26.9%），その他の職種（37.4%）であった。

大工における育成期間の担い手の立場としては，「正社員」が 83.5%，「一人親方等にあずける」は 11.1%であった。

前回調査（H27 年度）と比較して，大工の育成期間の担い手の立場については同様の結果であり，大きな変化はみられなかった。

		合計	(19)育成期間の担い手の立場				
			正社員（職業訓練校）	正社員（弟子として）	一人親方等にあずける（職業訓練校）	一人親方等にあずける（弟子として）	不明
	全体	945	27.0	56.4	1.4	7.0	8.3
職種	大工	497	19.1	64.4	1.8	9.3	5.4
	設備組立工	26	26.9	65.4	0.0	7.7	0.0
	その他	401	37.4	45.1	0.5	4.5	12.5

表 3.1.24 育成期間の担い手の立場（H27+年度）　（割合%）

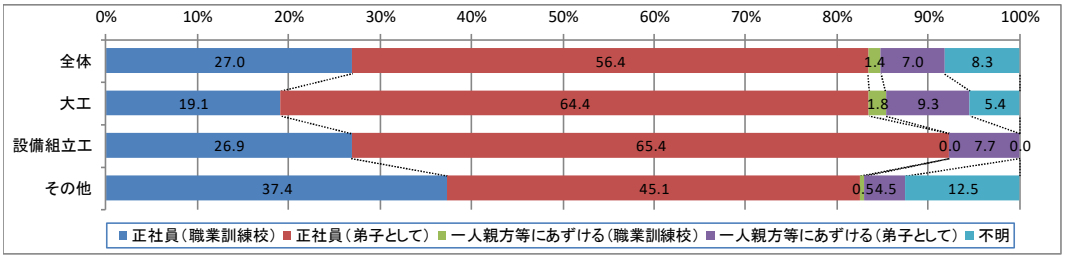


図 3.1.24 育成期間の担い手の立場（H28 年度）

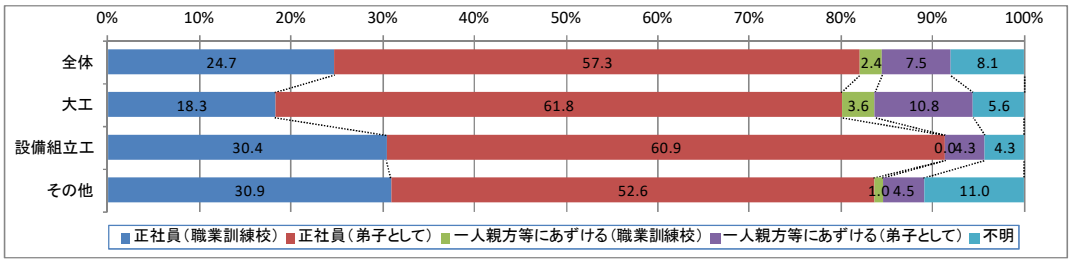


図 3.1.24♯ 育成期間の担い手の立場（H27 年度）

③「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

育成期間にかかる費用の負担について，大工で「有る」と回答した割合は 27.4%，「無い」と回答した割合は 14.3%，無回答などの「不明」は 58.4%であった．

前回調査（H27 年度）においても同様の結果であり，大きな変化はみられなかった．

		合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
			有	無	不明
全体		945	25.0	14.7	60.3
職種	大工	497	27.4	14.3	58.4
	設備組立工	26	23.1	23.1	53.8
	その他	401	22.7	14.7	62.6

表 3.1.25 育成期間にかかる費用負担（H28 年度）　（割合%）

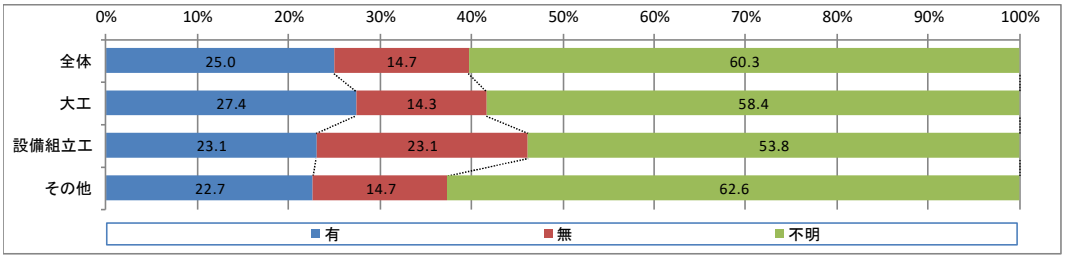


図 3.1.25 育成期間にかかる費用負担（H28 年度）

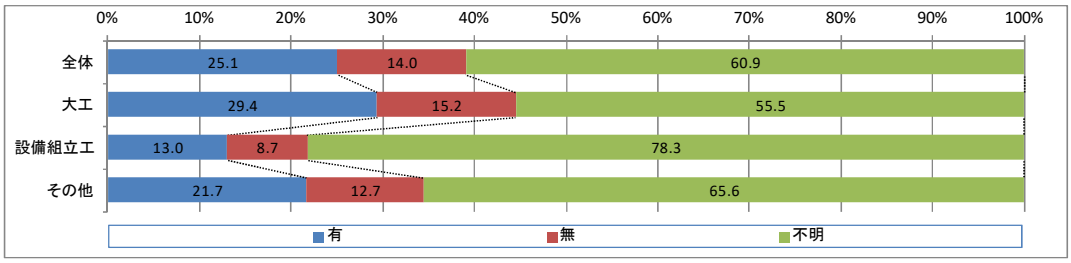


図 3.1.25♯ 育成期間にかかる費用負担（H27 年度）

④「4.現在は育てていないし，今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか.

大工では，育てる予定がない理由として，「将来の保障ができないため」が 38.5%で最も高く，次いで「人材がいないため」が 21.1%，「新築が少ないため」が 18.7%であった。

設備組立工では「将来の保証ができないため」（35.3%），その他の職種では「人材がいないため」の回答が多くみられた。

大工では「将来の保障ができないため」の割合が突出しており，大工自身が将来性に大きな不安を抱いていることが考えられる。

前回調査（H27 年度）においても同様の結果であった。

		合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
			育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がいないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
全体		1447	9.4	7.5	15.4	2.1	21.6	9.7	30.8	12.2	5.7	14.3	7.5	18.2
職種	大工	925	10.4	9.3	18.5	2.8	21.1	11.4	38.5	13.3	8.3	18.7	2.8	14.6
	設備組立工	17	17.6	0.0	17.6	11.8	17.6	5.9	35.3	17.6	0.0	17.6	5.9	17.6
	その他	462	6.7	4.5	8.9	0.6	22.7	6.9	15.8	10.0	0.6	5.6	16.9	25.1

表 3.1.26 なぜ育てる予定はないのか（H28 年度）　（割合%）

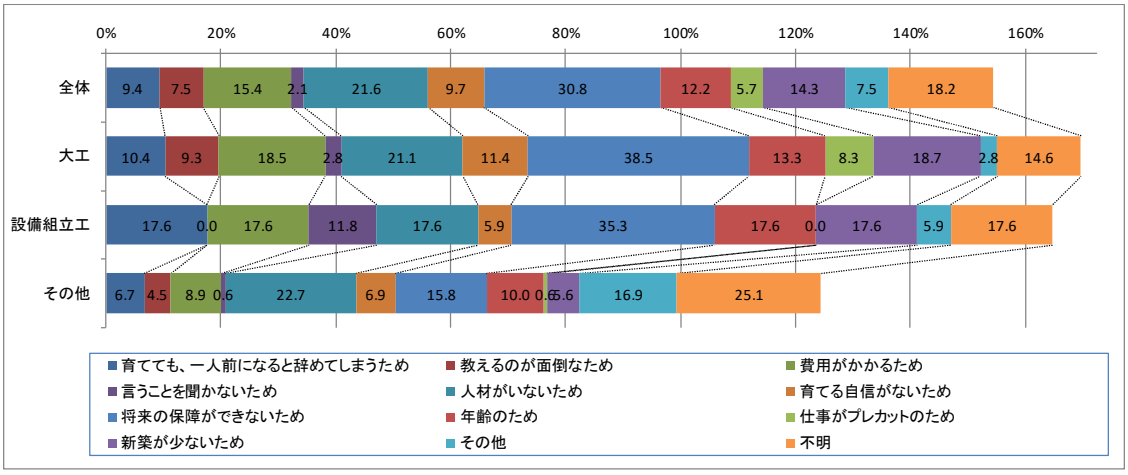


図 3.1.26 なぜ育てる予定はないのか（H28 年度）

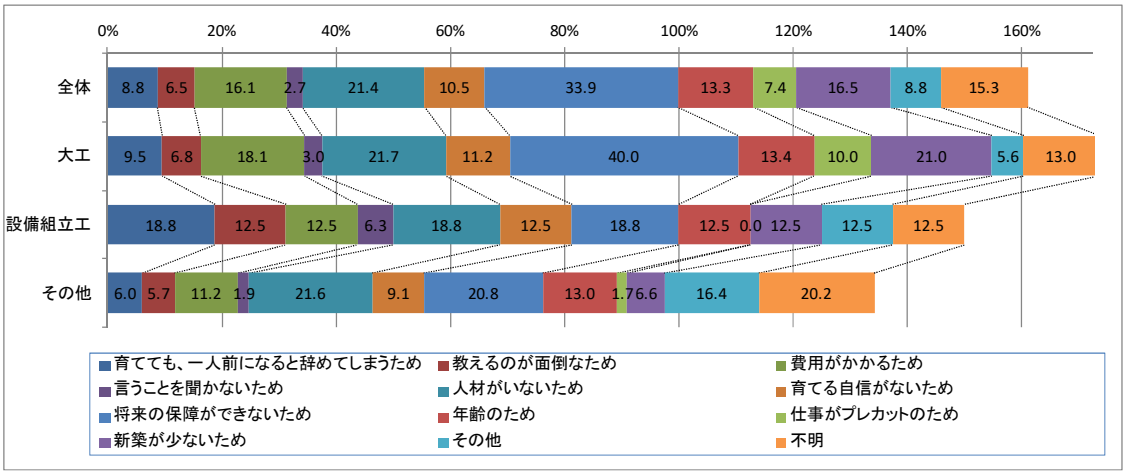


図 3.1.26♯ なぜ育てる予定はないのか（H27 年度）

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について，１人／月当たりどの程度必要と考えますか.

大工では担い手にかかる費用の公的補助について１人／月当たり必要な額として，「10 万円／月」と回答した割合が 27.7%で最も大きく，次いで「15 万円／月」が 17.5%であった。

前回調査（H27 年度）と比較しても，同様の結果であり，大きな変化はみられなかった.

		合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
			3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
	全体	7032	3.6	12.4	21.5	13.4	2.9	46.1
職種	大工	3253	4.2	14.2	27.7	17.5	3.1	33.3
	設備組立工	110	3.6	19.1	15.5	19.1	4.5	38.2
	その他	3283	3.4	11.3	17.1	10.1	2.9	55.2

表 3.1.27　公的補助について，１人／月当たりどの程度必要か（H28 年度）　（割合%）

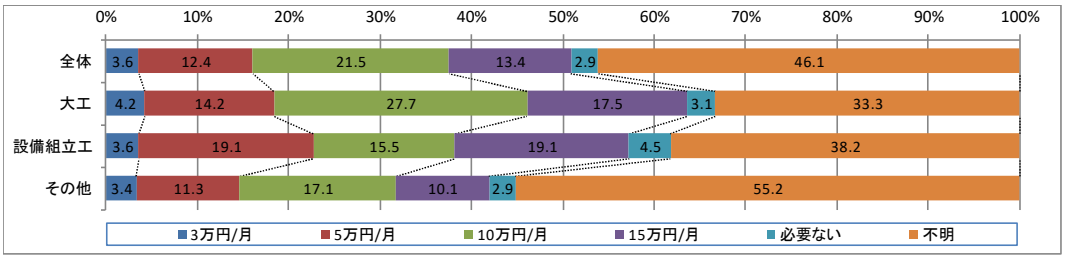


図 3.1.27　公的補助について，１人／月当たりどの程度必要か（H28 年度）

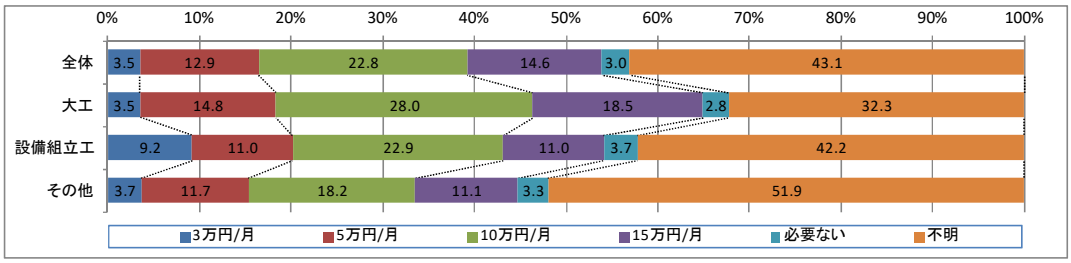


図 3.1.27＃　公的補助について，１人／月当たりどの程度必要か（H27 年度）

2.　地域別集計

（１）職業等について

①年齢

地域ごとの平均年齢は，四国が 47.32 歳で最も高く，北海道が 42.89 歳で最も低かった。

前回調査（H27 年度）と比較すると，北海道では「20 代」，「30 代」の割合が小さくなり，四国では「60 代」の割合が大きくなった。

		合計	(1)年齢								
			10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	平均
全体		3253	1.5	10.3	25.8	25.2	18.1	16.3	1.9	1.0	45.04
地域	北海道	56	1.8	12.5	26.8	28.6	16.1	10.7	1.8	1.8	42.89
	東北	656	1.7	12.7	25.9	18.6	17.4	20.7	1.7	1.4	45.12
	関東	780	3.1	10.6	20.4	32.6	17.4	12.3	2.6	1.0	44.35
	北陸	194	0.5	7.7	32.5	25.8	16.5	15.5	1.5	0.0	44.81
	中部	522	0.4	11.5	27.4	23.9	19.7	15.3	0.8	1.0	44.59
	近畿	327	0.3	8.6	20.8	26.6	23.2	15.3	4.0	1.2	47.24
	中国	316	0.9	5.4	32.3	22.8	17.4	19.0	0.9	1.3	45.80
	四国	129	1.6	7.0	31.0	17.8	12.4	26.4	2.3	1.6	47.32
	九州・沖縄	273	1.5	11.7	28.6	25.6	17.2	13.9	1.1	0.4	43.70

表 3.2.1 年齢(H28 年度)　（割合%）

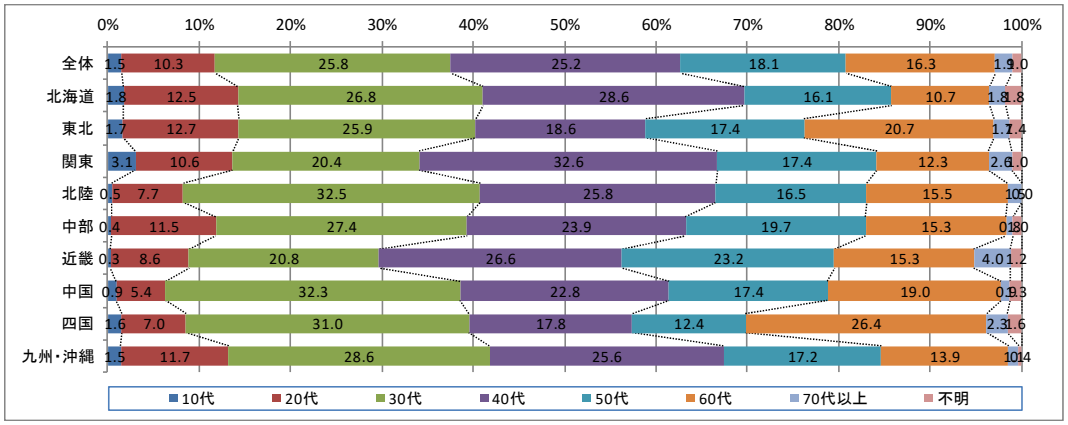


図 3.2.1 年齢(H28 年度)

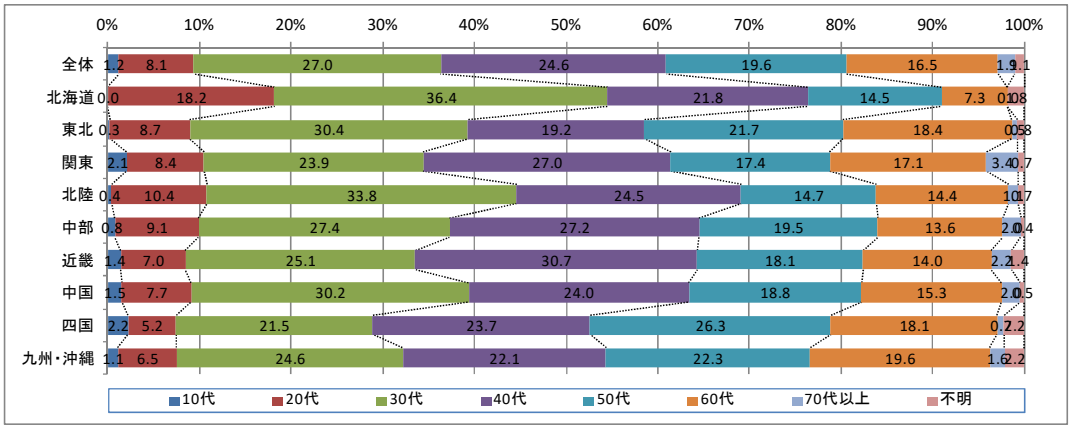


図 3.2.1♯ 年齢(H27 年度)

②性別

地域ごとの性別について，女性の割合が高かったのは「四国」(1.6%)，「中部」(1.3%)，「中国」(0.9%)であった。

今年度の調査では，「北海道」および「近畿」では女性の割合が０だった。

		合計	(2)性別		
			男	女	不明
全体		3253	97.8	0.6	1.6
地域	北海道	56	98.2	0.0	1.8
	東北	656	97.7	0.8	1.5
	関東	780	97.8	0.3	1.9
	北陸	194	99.5	0.5	0.0
	中部	522	97.5	1.3	1.1
	近畿	327	97.6	0.0	2.4
	中国	316	97.5	0.9	1.6
	四国	129	97.7	1.6	0.8
	九州・沖縄	273	97.4	0.4	2.2

表 3.2.2 性別(H28 年度)　（割合%）

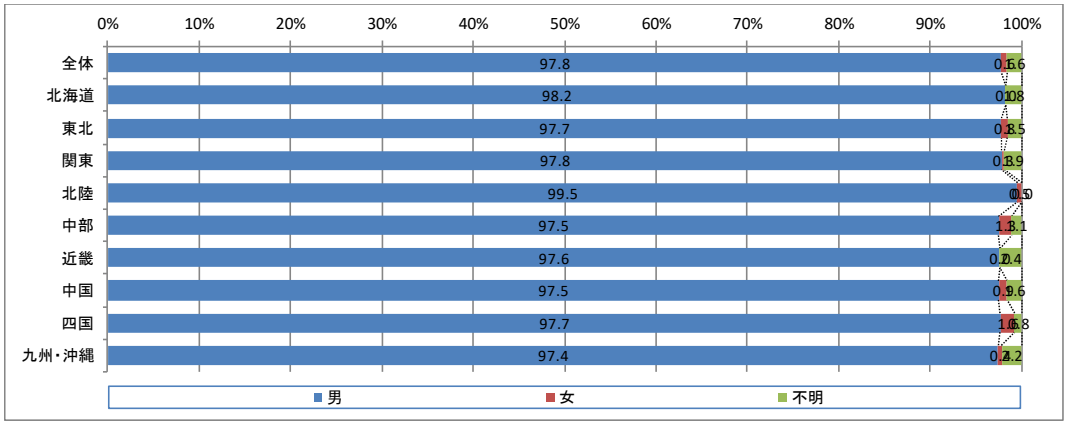


図 3.2.2 性別(H28 年度)

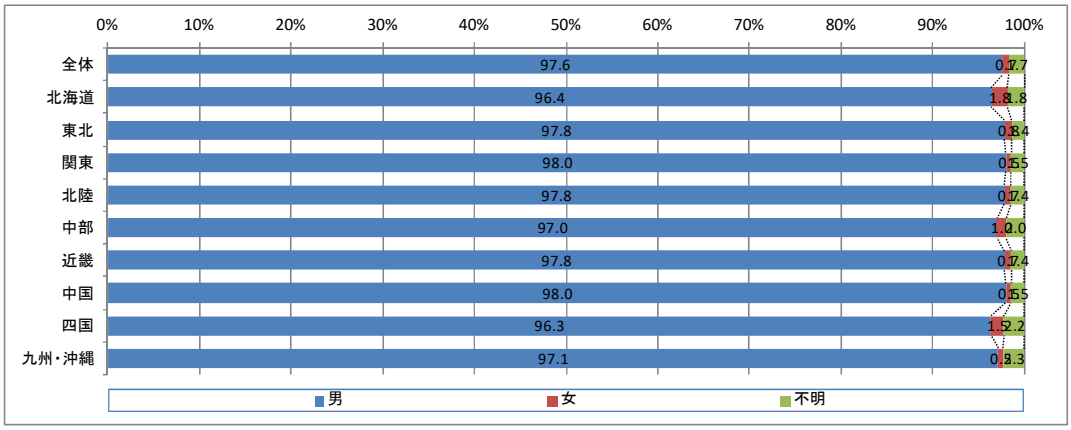


図 3.2.2♯ 性別(H27 年度)

③職種の経験年数

いずれの地域においても，大工の経験年数は「6～10 年」および「11～20 年」の割合が大きい。

いずれの地域においても，経験年数が「3 年未満」から「31～40 年」までの範囲にいる大工が 9 割以上を占めている。

「3 年未満」の割合は「北海道」が最も大きい。

「31～40 年」の割合は「四国」が最も大きい。

		合計	(4)職種の経験年数								
			3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明
全体		3253	12.0	7.6	25.2	23.2	15.3	13.3	3.2	0.2	0.5
地域	北海道	56	17.9	12.5	21.4	19.6	19.6	7.1	1.8	0.0	0.0
	東北	656	15.5	6.9	24.8	15.9	15.2	16.9	4.3	0.5	0.8
	関東	780	13.6	7.4	22.9	29.6	12.4	10.0	3.6	0.4	0.4
	北陸	194	6.2	8.8	33.0	20.1	17.0	12.9	1.5	0.5	0.7
	中部	522	9.6	7.5	27.0	23.8	16.1	14.0	1.9	0.2	0.4
	近畿	327	7.6	8.6	20.2	28.1	19.3	11.9	4.3	0.0	0.3
	中国	316	10.8	6.0	29.7	18.7	15.5	16.8	2.5	0.0	1.0
	四国	129	9.3	6.2	30.2	16.3	14.7	18.6	4.7	0.0	0.4
	九州・沖縄	273	14.7	9.5	22.7	27.1	15.0	9.2	1.8	0.0	0.0

表 3.2.3 職種の経験年数(H28 年度)　（割合%）

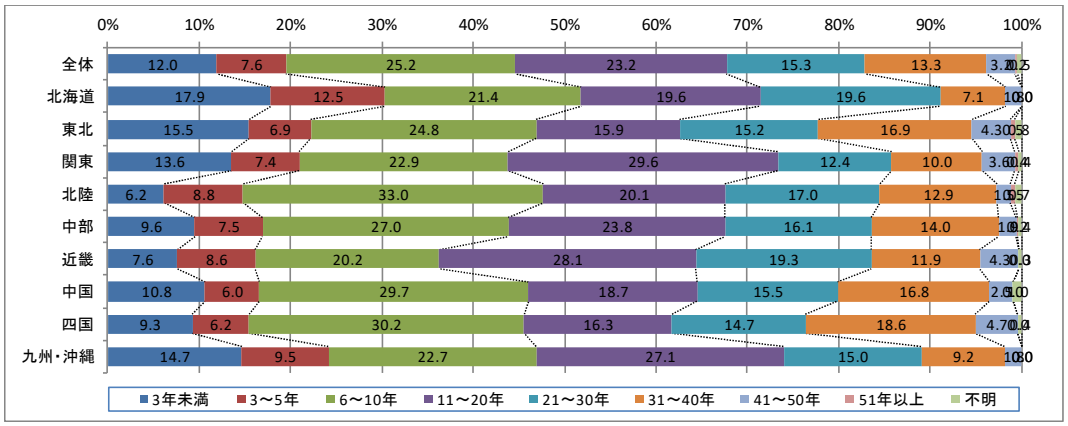


図 3.2.3 職種の経験年数(H28 年度)

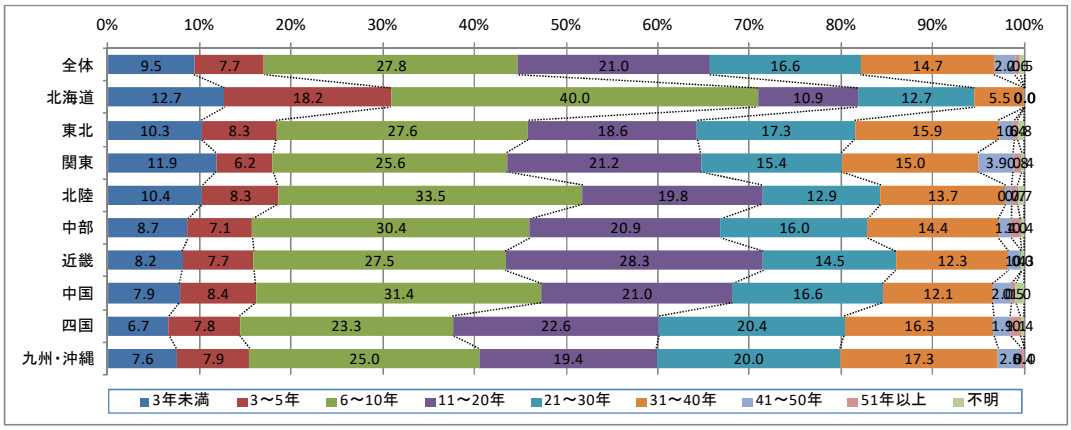


図 3.2.3ｃ 職種の経験年数(H27 年度)

⑤職種においてベテランだと思いますか。

「ベテラン」と回答した割合が最も大きい地域は「中部」(24.3%)。
「ややベテラン」と回答した割合が最も大きい地域は「近畿」(26.3%)。
「中堅」と回答した割合が最も大きい地域は「北陸」(39.7%)。
「やや中堅」と回答した割合が最も大きい地域は「北海道」(16.1%)。
「見習い」と回答した割合が最も大きい地域は「北海道」(17.9%)。
「近畿」では,「中堅」より上の「ベテラン」および「ややベテラン」の割合が比較的大きい。

		合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
			ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体		3253	19.8	20.5	32.6	11.0	13.2	3.0
地域	北海道	56	14.3	23.2	28.6	16.1	17.9	0.0
	東北	656	19.7	19.7	30.8	10.2	16.3	3.4
	関東	780	17.9	21.5	32.1	11.2	15.3	2.1
	北陸	194	17.0	19.1	39.7	11.9	10.3	2.1
	中部	522	24.3	17.2	34.5	9.2	11.5	3.3
	近畿	327	23.2	26.3	28.7	12.5	6.7	2.4
	中国	316	18.7	19.6	32.6	10.8	13.0	5.4
	四国	129	21.7	16.3	34.9	13.2	9.3	4.7
	九州・沖縄	273	15.8	22.0	34.4	12.1	13.6	2.2

表 3.2.4 職種のベテラン度合(H28 年度)　(割合%)

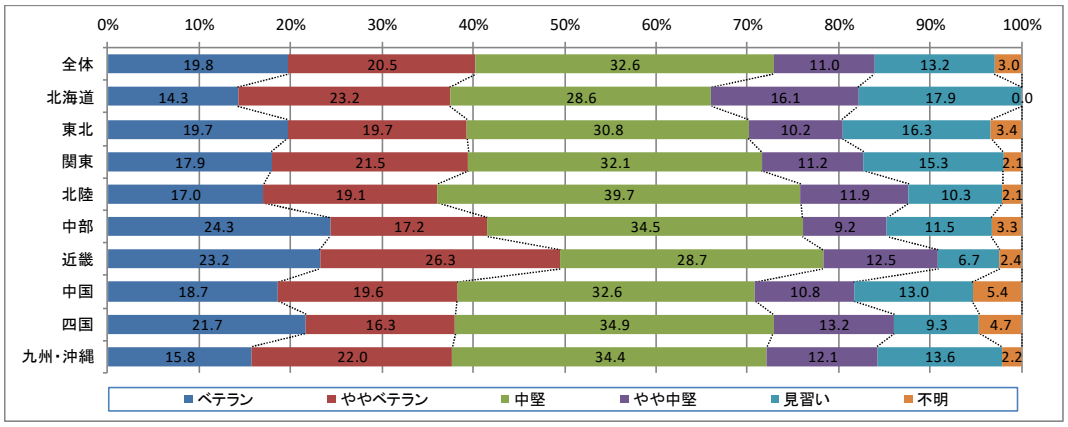


図 3.2.4 職種のベテラン度合(H28 年度)

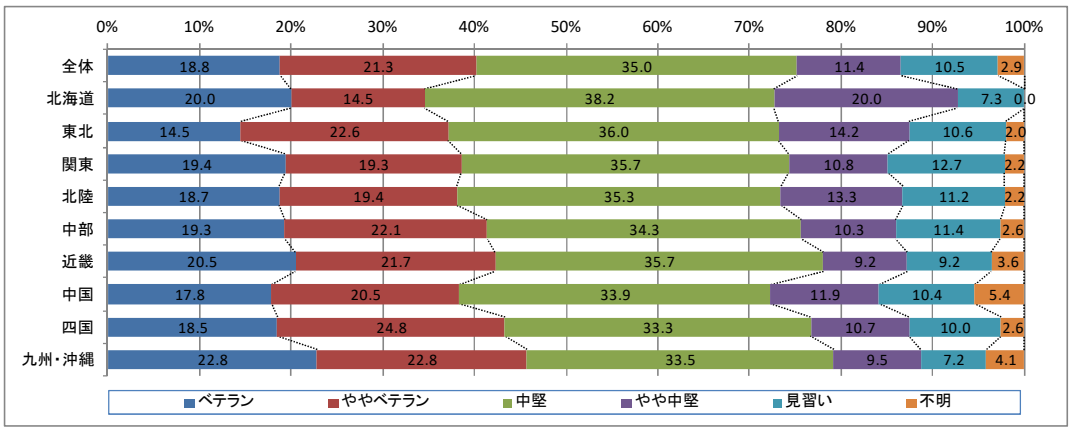


図 3.2.4♯ 職種のベテラン度合(H27 年度)

（２）雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

「工務店社員」と回答した割合が最も大きい地域は「北海道」（66.1%）。
「外注常用（日給制）」と回答した割合が最も大きい地域は「中国」（14.9%）。
「外注常用（坪請主体）」と回答した割合が最も大きい地域は「中国」（15.5%）。
「その都度契約」と回答した割合が最も大きい地域は「中国」（7.9%）。
「元請として仕事」と回答した割合が最も大きい地域は「近畿」（41.9%）。
「その他（アルバイト等）」と回答した割合が最も大きい地域は「関東」（1.3%）。

		合計	(6)あなたの雇用形態						
			工務店社員	外注常用（日当制）	外注常用（坪請主体）	その都度契約	元請として仕事	その他（アルバイト等）	不明
	全体	3253	40.3	10.3	8.4	3.7	33.5	0.9	2.9
地域	北海道	56	66.1	7.1	3.6	5.4	12.5	0.0	5.4
	東北	656	54.7	7.9	4.0	2.6	26.1	1.2	3.5
	関東	780	40.4	8.3	8.3	2.3	36.9	1.3	2.4
	北陸	194	38.7	10.3	11.3	3.6	35.6	0.5	0.0
	中部	522	33.0	10.7	11.1	5.2	37.4	0.2	2.5
	近畿	327	31.8	13.8	6.4	3.1	41.9	1.2	1.8
	中国	316	33.5	14.9	15.5	7.9	23.7	0.9	3.5
	四国	129	31.0	10.9	10.9	4.7	36.4	0.0	6.2
	九州・沖縄	273	37.7	12.1	6.2	2.6	37.0	0.7	3.7

表 3.2.5 雇用形態(H28 年度)　（割合%）

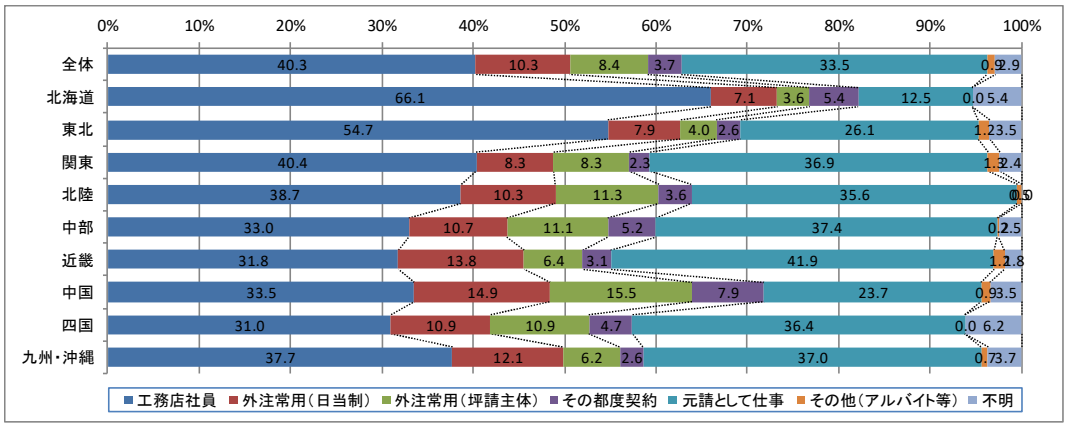


図 3.2.5 雇用形態(H28 年度)

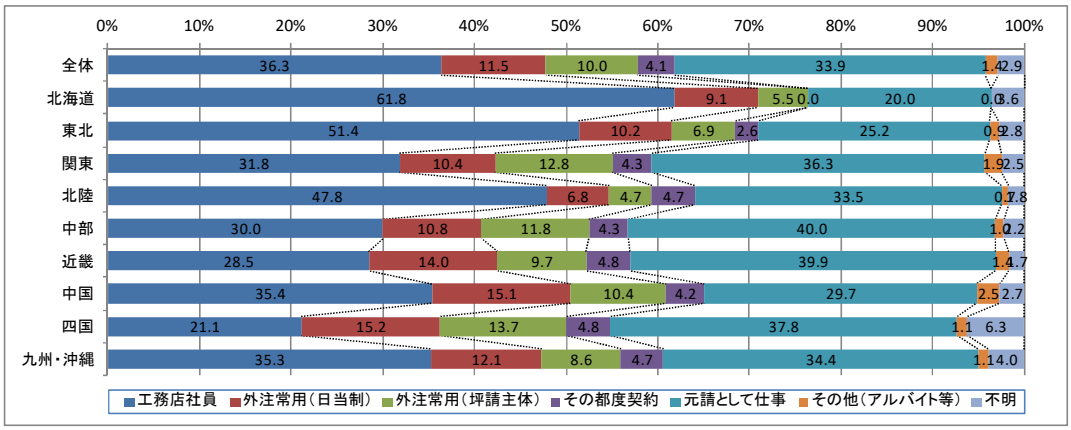


図 3.2.5♯ 雇用形態(H27 年度)

②就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合が大きい地域は「北海道」(44.6%)，次いで「東北」(41.8%)，「中部」(28.4%)。

「無い」と回答した割合が大きい地域は「近畿」(64.2%)，次いで「四国」(58.1%)，「中国」(55.4%)。

前回調査（H27 年度）においても，「北海道」および「東北」では就業規則が有る割合が比較的大きい。

		合計	(7)就業規則		
			有	無	不明
全体		3253	29.2	50.0	20.8
地域	北海道	56	44.6	14.3	41.1
	東北	656	41.8	34.9	23.3
	関東	780	27.9	53.2	18.8
	北陸	194	27.3	55.2	17.5
	中部	522	28.4	53.1	18.6
	近畿	327	15.9	64.2	19.9
	中国	316	25.0	55.4	19.6
	四国	129	20.2	58.1	21.7
	九州・沖縄	273	27.8	47.6	24.5

表 3.2.6 就業規則(H28 年度)　（割合%）

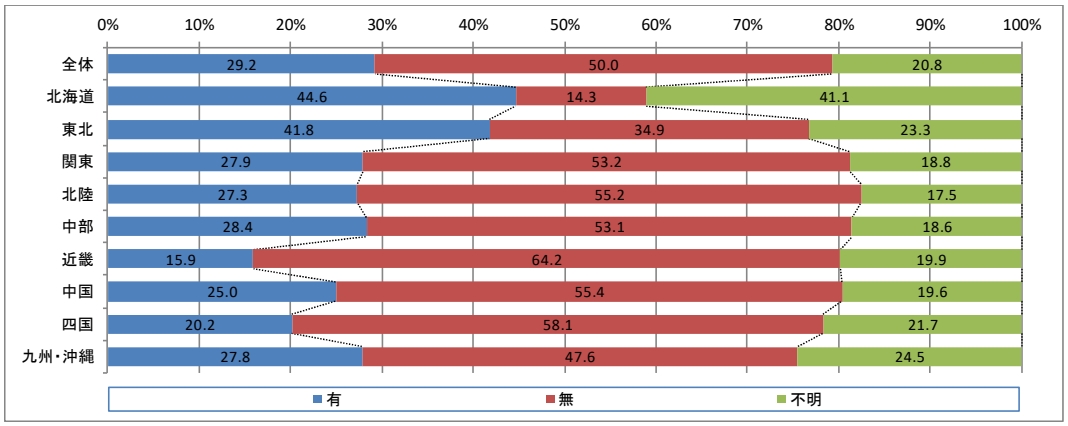


図 3.2.6 就業規則(H28 年度)

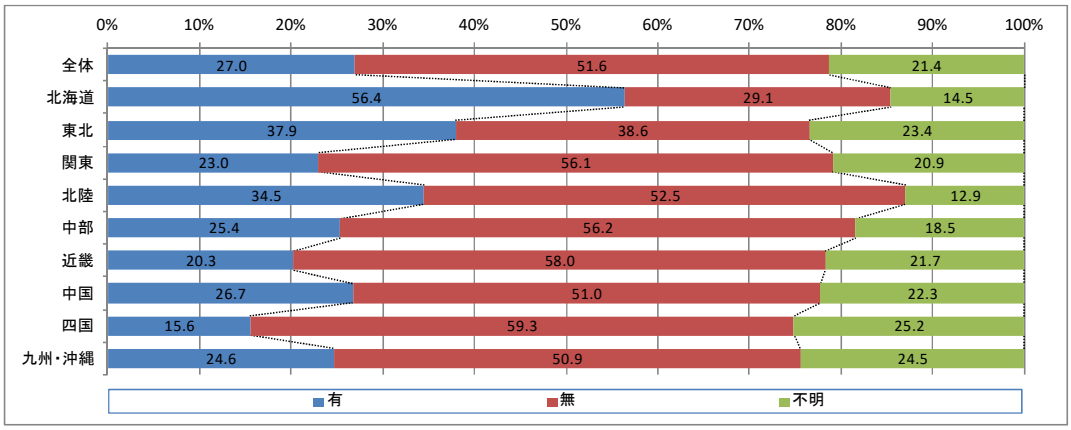


図 3.2.6♯ 就業規則(H27 年度)

③有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が大きい地域は「北海道」(28.6%)，次いで「東北」(19.2%)。

有給休暇が「無い」と回答した割合が大きい地域は「北陸」(68.6%)，次いで「中国」(6.1%)。

前回調査（H27 年度）と比較すると有給休暇が「有る」と回答した割合は全般的に増加の傾向が見られた。また，前設問②就業規則と同じく「北海道」，「東北」は有ると回答した割合が比較的大きい。

		合計	(8)有給休暇		
			有	無	不明
	全体	3253	15.3	61.7	23.0
地域	北海道	56	28.6	37.5	33.9
	東北	656	19.2	56.7	24.1
	関東	780	16.5	61.5	21.9
	北陸	194	14.9	68.6	16.5
	中部	522	15.7	64.8	19.5
	近畿	327	12.2	64.2	23.5
	中国	316	9.5	66.1	24.4
	四国	129	11.6	58.9	29.5
	九州・沖縄	273	11.0	61.5	27.5

表 3.2.7 有給休暇(H28 年度)　（割合%）

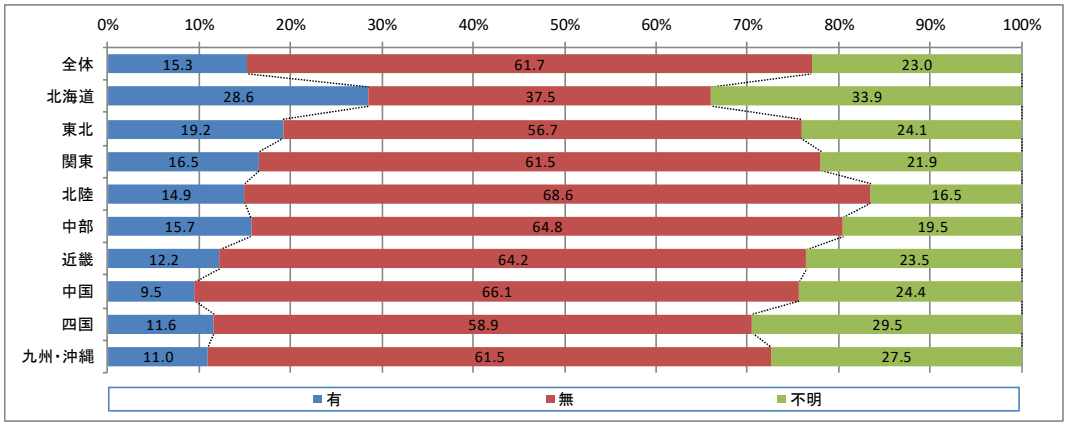


図 3.2.7 有給休暇(H28 年度)

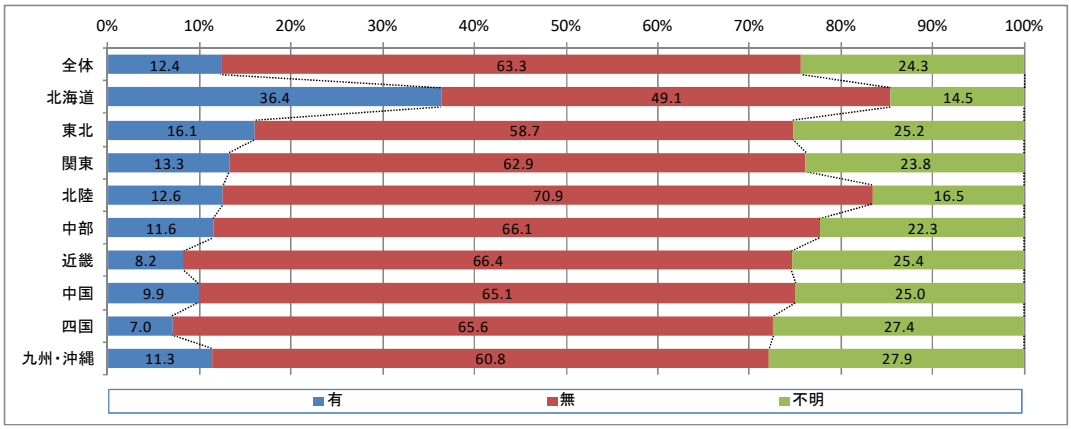


図 3.2.7＃ 有給休暇(H27 年度)

④年間就業日数

平均年間就業日数が最も多い地域は「北海道」で 285.34 日。

平均年間就業日数が最も少ない地域は「四国」で 247.84 日。

平均年間就業日数が最も多い地域と少ない地域では 37.5 日の差がみられた。

		合計	(9)年間就業日数							
			100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	平均
	全体	3253	2.9	0.8	0.5	5.7	18.5	26.2	45.5	266.22
地域	北海道	56	0.0	0.0	0.0	3.6	16.1	32.1	48.2	285.34
	東北	656	2.6	0.5	0.8	8.5	20.6	18.8	48.3	258.83
	関東	780	2.4	1.0	0.4	4.5	16.0	29.4	46.3	272.27
	北陸	194	3.6	0.5	1.0	5.2	25.8	26.3	37.6	264.52
	中部	522	3.3	1.7	0.8	4.2	19.9	30.7	39.5	267.46
	近畿	327	3.4	0.3	0.0	4.3	14.4	32.4	45.3	271.41
	中国	316	2.2	0.3	0.3	6.6	23.4	22.2	44.9	265.95
	四国	129	7.0	0.8	0.0	2.3	12.4	21.7	55.8	247.84
	九州・沖縄	273	2.2	0.7	0.7	8.1	15.0	24.5	48.7	261.87

表 3.2.8 年間就業日数(H28 年度)　（割合%）

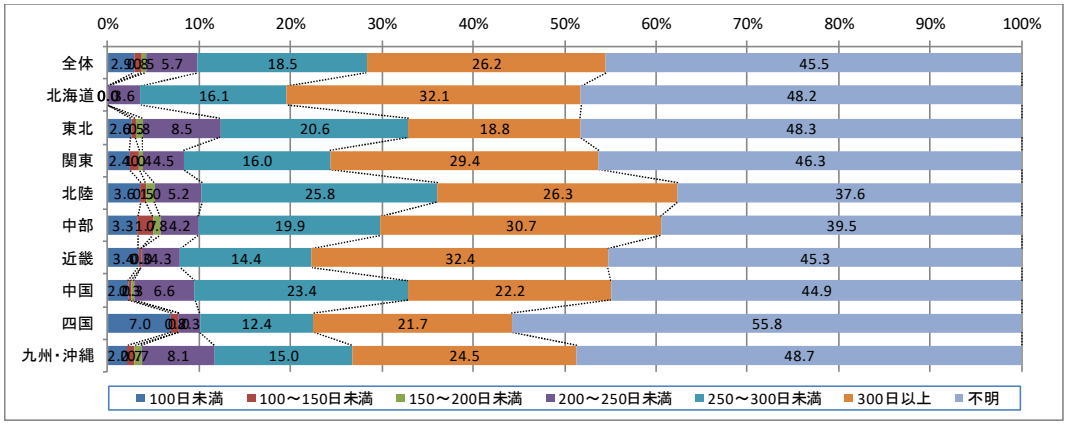


図 3.2.8 年間就業日数(H28 年度)

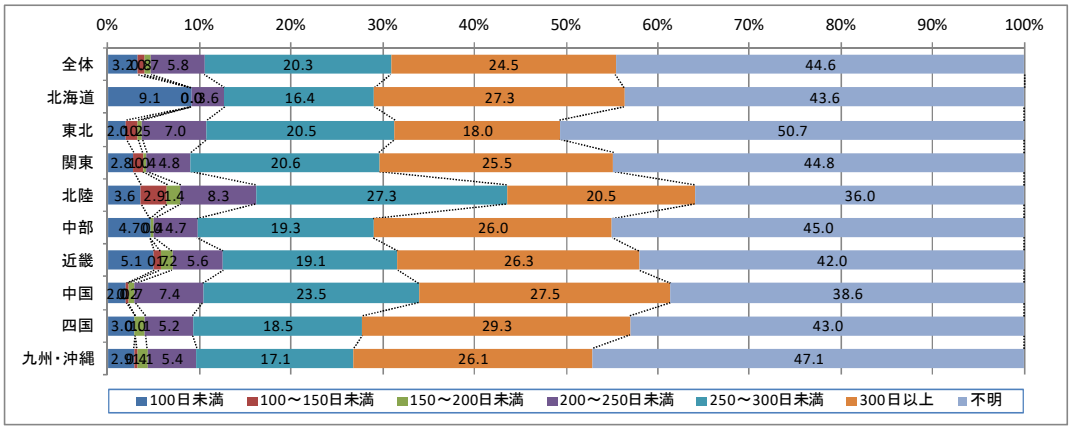


図 3.2.8♯ 年間就業日数(H27 年度)

⑤保険等について

１）年金保険

年金保険に加入している割合の合計値が最も大きいのは「中部」（92.7%）。最も低い地域は「四国」で 76.0%だった。

厚生年金に加入している割合が最も大きいのは「北海道」（76.8%）。

国民年金に加入している割合が最も大きいのは「中国」（58.9%）。

		合計	(10-1)加入している年金			
			厚生年金	国民年金	企業年金	不明
全体		3253	36.6	49.6	1.2	14.6
地域	北海道	56	76.8	10.7	1.8	12.5
	東北	656	48.2	38.6	0.9	13.3
	関東	780	36.7	48.6	0.4	16.3
	北陸	194	33.0	55.2	0.0	12.4
	中部	522	35.2	55.4	2.1	10.9
	近畿	327	24.8	58.4	2.8	16.5
	中国	316	29.4	58.9	1.9	13.0
	四国	129	31.0	44.2	0.8	26.4
	九州・沖縄	273	31.1	52.7	0.4	16.5

表 3.2.9 年金保険(H28 年度)　（割合%）

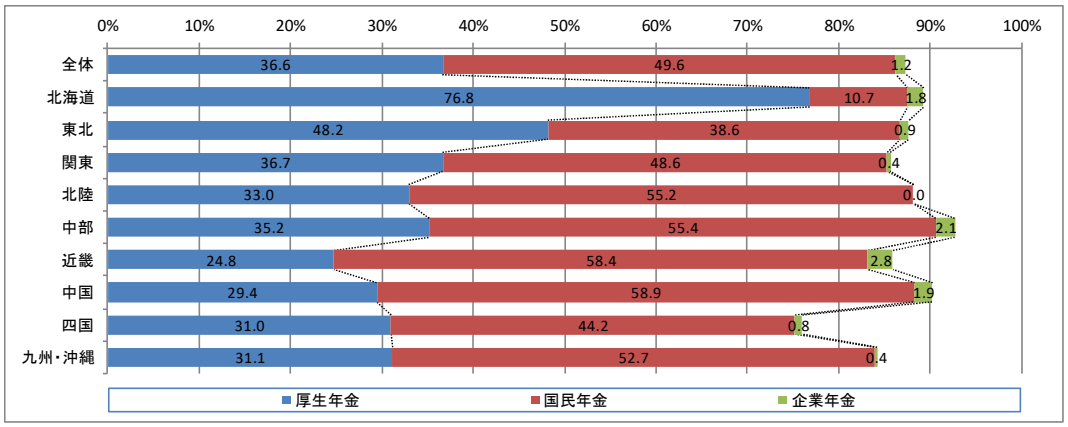


図 3.2.9 年金保険(H28 年度)

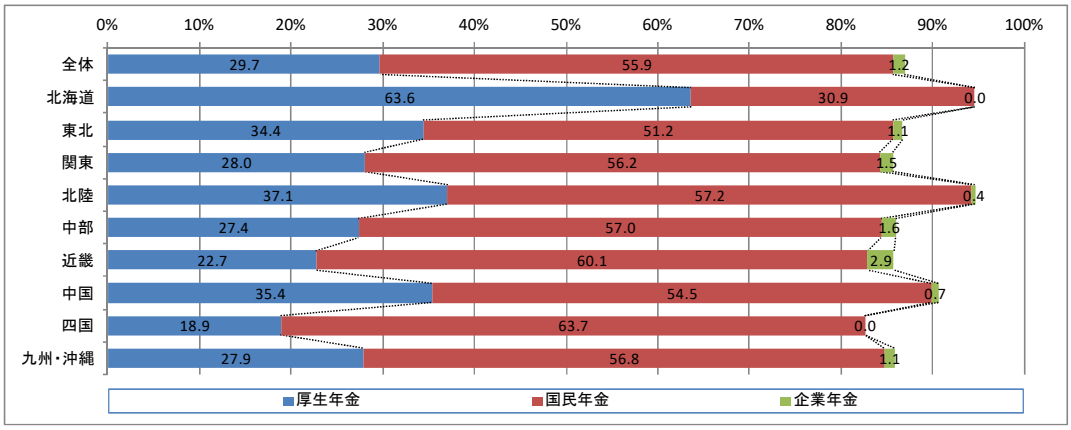


図 3.2.9♯ 年金保険(H27 年度)

２）労働保険

雇用保険に加入している割合が最も大きい地域は「北海道」(58.9%)，「東北」(37.3%)。
「労災保険」に加入している割合が大きい地域は「関東」(37.2%)，次いで「北陸」(37.1%)。
「一人親方労災保険」に加入している割合が大きい地域は「中国」(38.0%)，次いで「中部」(35.2%)。

		合計	(10-2)加入している労働保険			
			雇用保険	労災保険	一人親方労災保険	不明
全体		3253	22.5	33.8	26.9	28.9
地域	北海道	56	58.9	17.9	1.8	30.4
	東北	656	37.3	35.7	15.7	28.8
	関東	780	16.8	37.2	25.9	29.7
	北陸	194	24.7	37.1	28.4	22.7
	中部	522	20.3	32.8	35.2	24.3
	近畿	327	13.8	30.6	33.6	33.6
	中国	316	16.8	27.5	38.0	26.6
	四国	129	14.0	31.8	24.8	38.8
	九州・沖縄	273	19.0	35.2	24.9	31.5

表 3.2.10 労働保険(H28 年度)　　(割合%)

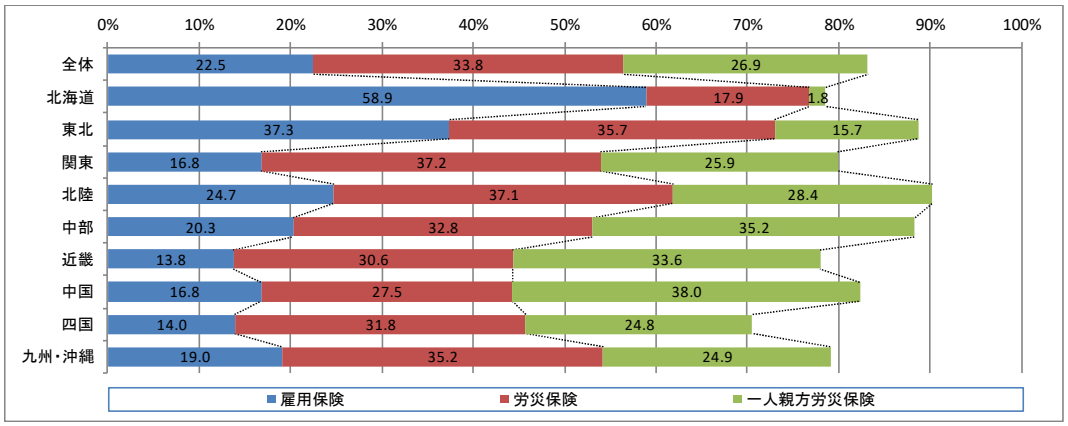


図 3.2.10 労働保険(H28 年度)

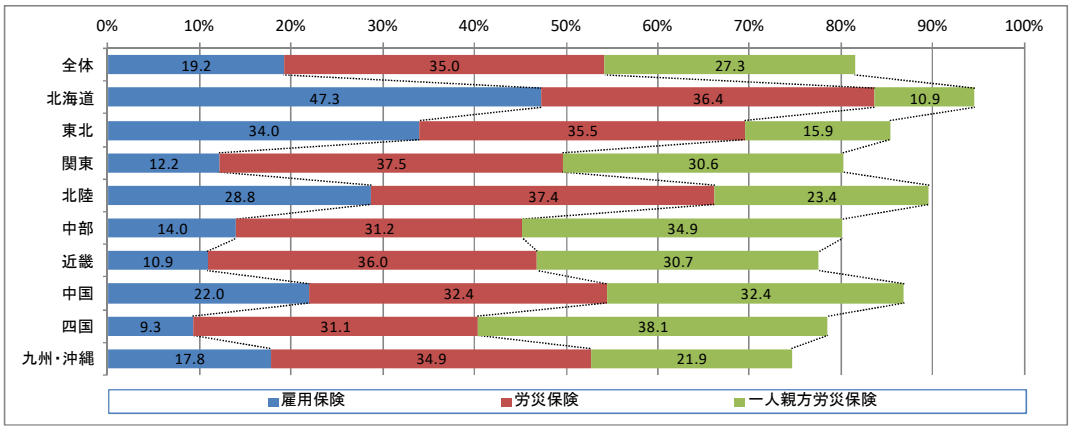


図 3.2.10♯ 労働保険(H27 年度)

３）健康保険

「国民健康保険」の加入している割合が最も大きい地域は,「中部」(34.7%), 次いで「近畿」(33.0%)。
「組合健康保険（建設国保)」の割合が最も大きい地域は「中国」(54.7%), 次いで「北陸」(46.4%)。
「組合健康保険(建設国保以外)」の割合が最も大きい地域は「北海道」(7.1%), 次いで「四国」(6.2%)。
「その他の健康保険」の割合が最も大きい地域は「北海道」(10.7%), 次いで「北陸」(6.2%)。

		合計	(10-3)加入している健康保険				
			国民健康保険	組合健康保険（建設国保）	組合保険（建設国保以外）	その他の健康保険	不明
全体		3253	29.4	36.5	3.4	4.3	27.1
地域	北海道	56	21.4	30.4	7.1	10.7	30.4
	東北	656	28.2	27.4	4.6	6.1	34.6
	関東	780	31.0	36.3	3.2	4.1	26.2
	北陸	194	23.7	46.4	4.6	6.2	20.1
	中部	522	34.7	35.8	2.3	3.1	24.7
	近畿	327	33.0	37.9	2.1	3.7	23.9
	中国	316	22.8	54.7	2.2	1.3	19.6
	四国	129	30.2	29.5	6.2	4.7	29.5
	九州・沖縄	273	26.0	34.4	3.3	4.8	31.9

表 3.2.11 健康保険(H28 年度)　（割合%）

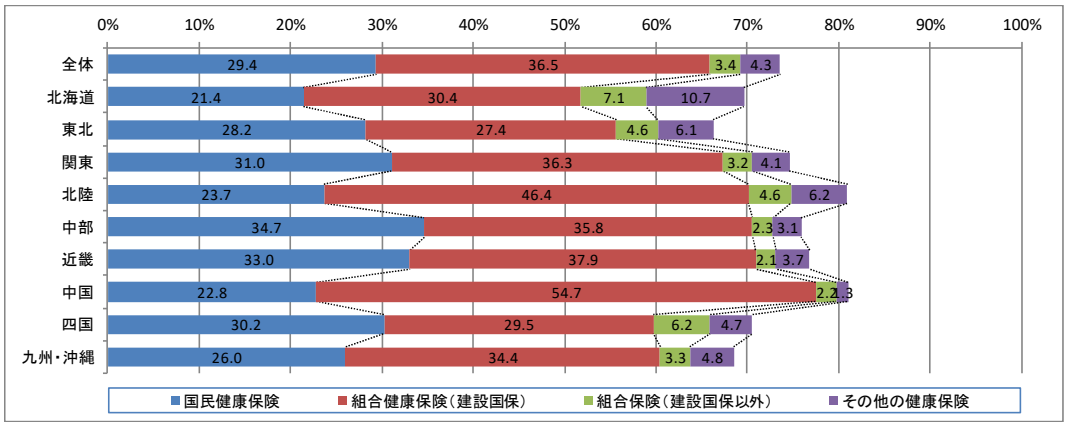


図 3.2.11 健康保険(H28 年度)

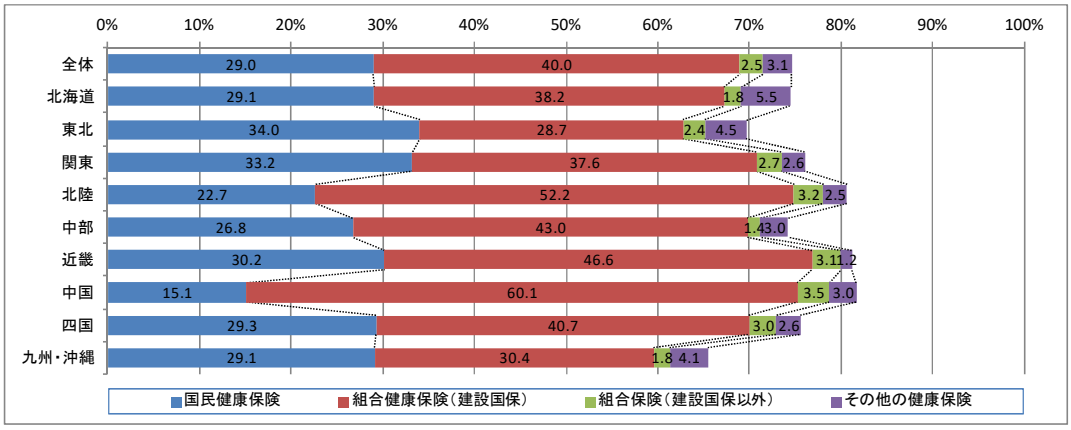


図 3.2.11♯ 健康保険(H27 年度)

⑥賃金の中に含まれ，自己負担となっているもの

自己負担の割合の合計値が最も大きい地域は「中国」(304.7%)，次いで「北海道」(280.3%)。

自己負担の割合の合計値が最も小さい地域は「関東」(219.7%)。

「全て所属する工務店等が負担」と回答した割合が最も大きい地域は「関東」(23.1%)，最も低かった地域は「東北」(9.9%)。

		合計	(11)自己負担となっているもの						
			手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体		3253	69.8	63.0	21.0	49.1	47.8	15.5	8.8
地域	北海道	56	82.1	73.2	1.8	66.1	57.1	12.5	1.8
	東北	656	73.0	62.8	6.4	45.6	45.1	9.9	9.3
	関東	780	63.3	53.7	23.3	40.9	38.5	23.1	9.2
	北陸	194	73.2	70.1	26.8	54.6	54.6	10.3	6.7
	中部	522	71.5	64.9	28.5	53.3	49.6	17.0	7.5
	近畿	327	68.2	65.1	22.9	51.4	51.7	16.5	9.2
	中国	316	78.5	73.7	31.0	61.4	60.1	10.1	7.0
	四国	129	60.5	65.9	20.9	48.1	52.7	14.0	14.7
	九州・沖縄	273	69.2	62.3	21.2	49.5	49.8	14.7	10.6

表 3.2.12 自己負担となっているもの(H28 年度)　(割合%)

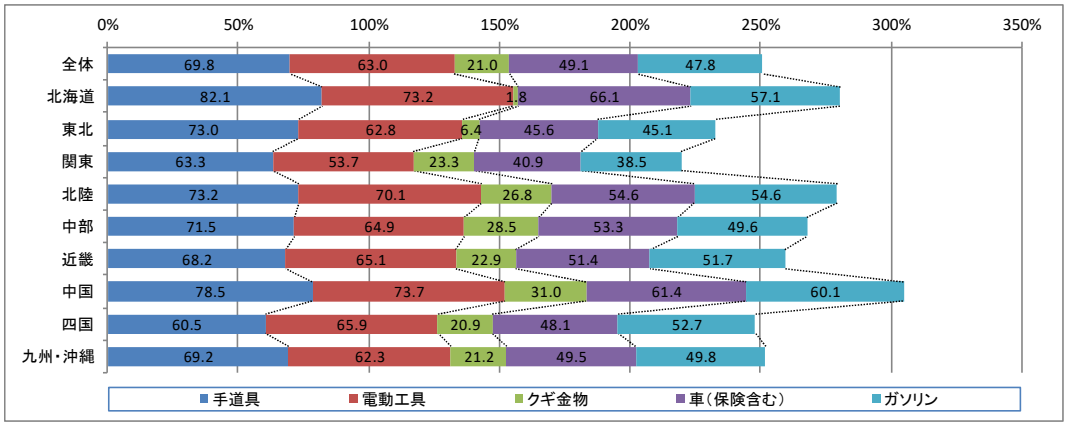


図 3.2.12 自己負担となっているもの(H28 年度)

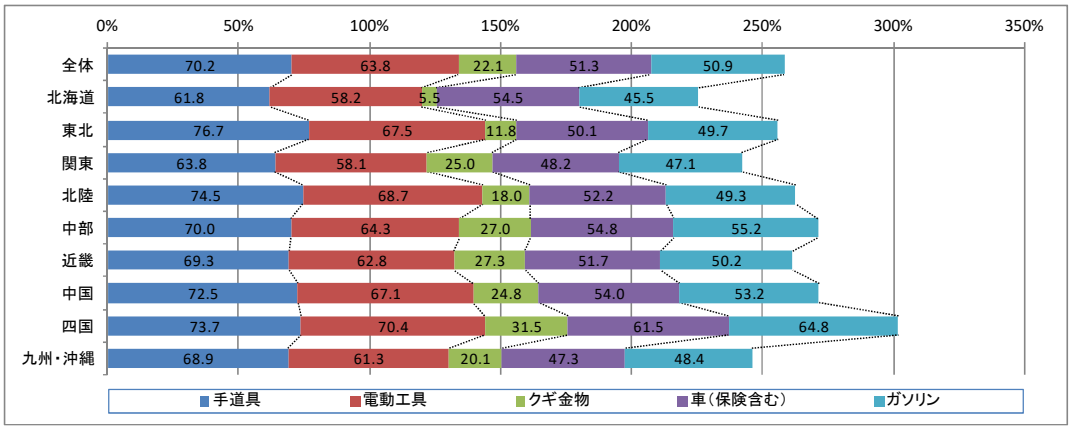


図 3.2.12♯ 自己負担となっているもの(H27 年度)

⑦おおよその賃金（諸経費が含まれた１日あたりの平均単価）

平均賃金が最も大きい地域は「近畿」で 16,678 円。

平均賃金が最も小さい地域は「東北」で 12,609 円。

「10,000～15,000 円未満」の割合が大きいのは「北海道」(66.1%),「東北」(56.7%),「北陸」(39.2%),「四国」（50.4%），「九州・沖縄」（45.1%）。

「15,000～20,000 円未満」の割合が大きいのは「関東」(37.2%),「中部」(43.3%),「近畿」(51.7%),「中国」（44.6%）。

前回調査（H27 年度）においても各地域の賃金毎の割合は同様の結果であった。

		合計	(12)1日あたりのおおよその賃金						
			8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明
	全体	3253	6.2	7.7	35.2	33.8	9.2	2.3	5.7
地域	北海道	56	8.9	10.7	66.1	7.1	3.6	1.8	1.8
	東北	656	9.6	12.0	56.7	13.0	2.1	0.8	5.8
	関東	780	5.5	7.9	23.2	37.2	15.0	3.7	7.4
	北陸	194	4.6	6.2	39.2	38.7	4.6	2.6	4.1
	中部	522	4.0	5.7	25.3	43.3	14.4	2.9	4.4
	近畿	327	4.0	1.8	22.3	51.7	13.1	2.8	4.3
	中国	316	5.7	7.0	26.9	44.6	9.2	1.9	4.7
	四国	129	4.7	7.8	50.4	26.4	2.3	0.8	7.8
	九州・沖縄	273	9.2	8.1	45.1	27.5	2.6	1.1	6.6

表 3.2.13　１日当たりのおおよその賃金(H28 年度)　　（割合%）

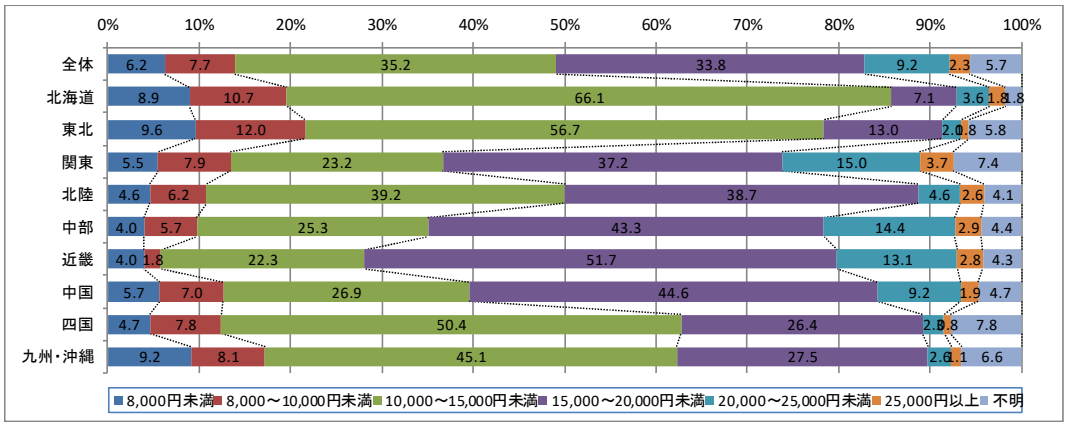


図 3.2.13　１日当たりのおおよその賃金(H28 年度)

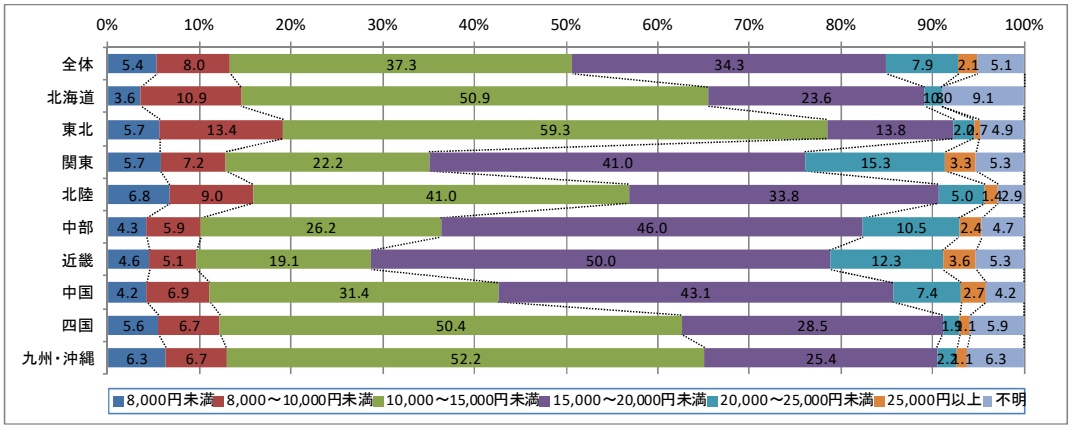


図 3.2.13#　１日当たりのおおよその賃金(H27 年度)

（3）資格や技能について

①持っている資格

持っている資格の割合の合計値が最も大きい地域は「北陸」（312.9%）。

持っている資格の割合の合計値が最も小さい地域は「四国」（158.1%）。

「北海道」では，他地域と比較して「クレーン運転技能講習修了者」の割合が高い。

前回調査（H27 年度）と比較して，持っている資格の割合の合計値が比較的小さかった四国・近畿では，今年度の調査では合計値がより小さくなっている。

		合計	(13)お持ちの資格														
			1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級･2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
	全体	3253	5.4	29.5	3.0	4.2	13.7	22.9	2.0	11.2	7.0	36.8	38.5	43.3	18.2	10.5	20.0
地域	北海道	56	0.0	16.1	0.0	8.9	14.3	32.1	3.6	7.1	3.6	39.3	32.1	69.6	46.4	5.4	14.3
	東北	656	4.0	28.5	1.5	3.7	17.4	32.6	2.1	20.6	6.4	36.7	45.6	50.8	28.4	9.6	15.5
	関東	780	6.7	29.1	1.3	3.6	11.5	17.4	1.7	7.9	8.8	36.9	33.7	33.1	14.9	10.1	23.7
	北陸	194	7.2	36.6	5.2	1.5	11.9	33.5	0.5	14.4	7.2	41.8	53.6	62.9	16.5	20.1	11.9
	中部	522	5.0	28.0	5.7	3.8	13.0	28.9	2.1	14.9	6.9	42.1	42.7	51.5	22.6	18.0	15.7
	近畿	327	7.6	31.8	2.8	4.9	19.6	13.8	1.2	5.5	7.0	29.4	25.7	27.2	10.4	6.1	29.1
	中国	316	2.5	25.0	7.3	3.8	8.9	19.3	2.5	6.6	6.6	48.4	50.9	51.9	12.0	11.4	15.8
	四国	129	3.9	34.9	1.6	2.3	10.1	6.2	2.3	3.9	4.7	20.2	25.6	31.8	9.3	1.6	28.7
	九州･沖縄	273	7.7	33.3	1.8	8.8	13.9	17.2	3.3	4.8	5.1	25.3	25.3	34.1	10.6	1.8	25.6

表 3.2.14 持っている資格(H28 年度)　（割合%）

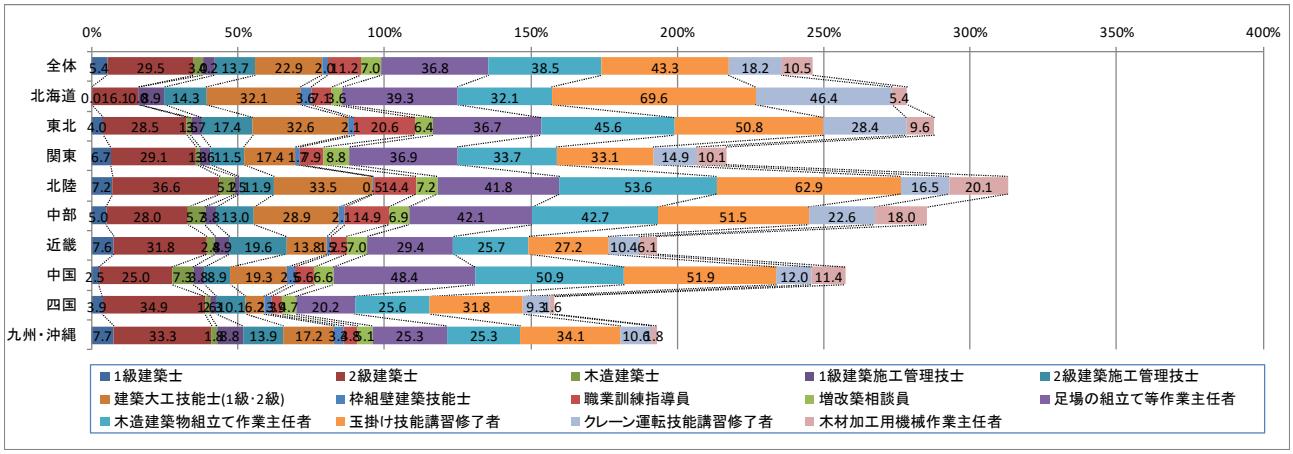


図 3.2.14 持っている資格(H28 年度)

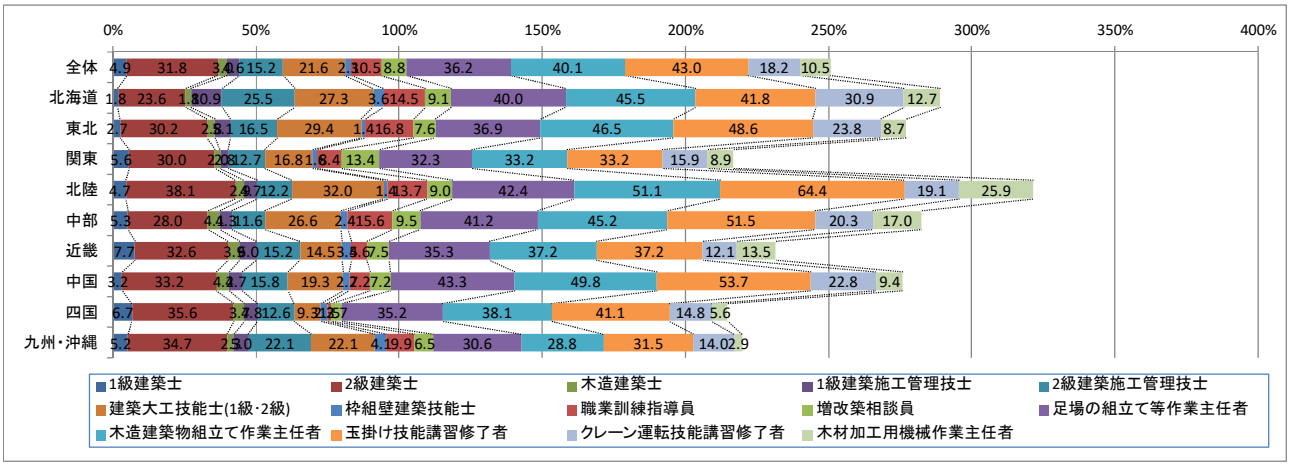


図 3.2.14♯ 持っている資格(H27 年度)

②大工職のみ回答　墨付けができますか。

墨付けについて「はい」と回答した割合が大きい地域は「北陸」(80.9%)，次いで「中部」(76.1%)。
墨付けについて「いいえ」と回答した割合が大きい地域は「北海道」(30.4%)，次いで「東北」(17.7%)。

	合計	(14)①墨付けができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	3253	69.9	15.9	14.3
北海道	56	58.9	30.4	10.7
東北	656	68.4	17.7	13.9
関東	780	66.9	17.1	16.0
北陸	194	80.9	13.9	5.2
中部	522	76.1	14.0	10.0
近畿	327	68.2	9.8	22.0
中国	316	69.9	16.5	13.6
四国	129	69.8	14.7	15.5
九州・沖縄	273	66.3	17.2	16.5

表 3.2.15 墨付け(H28 年度)　（割合%）

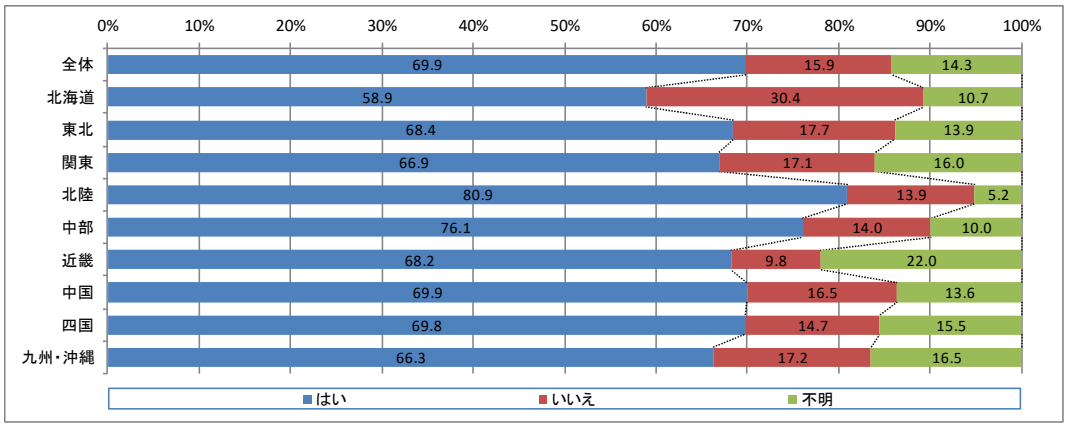


図 3.2.15 墨付け(H28 年度)

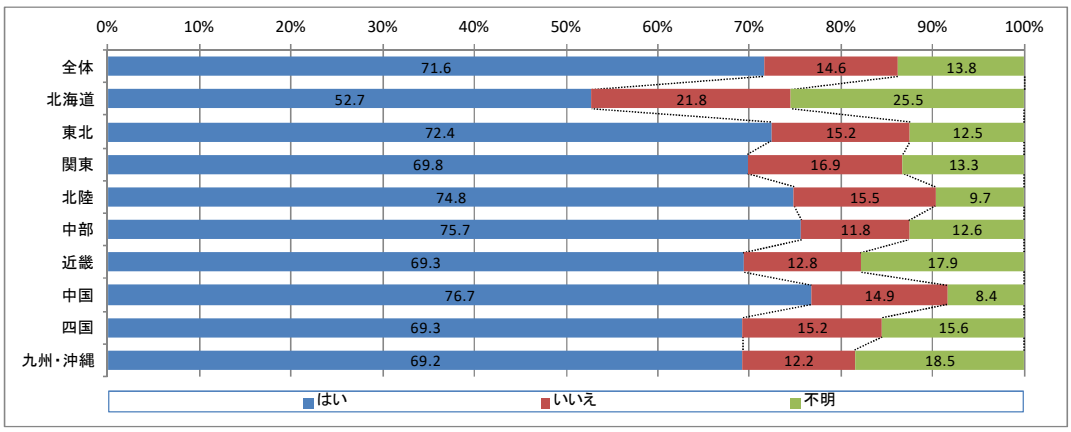


図 3.2.15♯ 墨付け(H27 年度)

③大工職のみ回答　今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（新築）

新築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が大きい地域は「東北」（31.4%），次いで「中部」（27.4%）。

「いいえ」と回答した割合が大きい地域は「北海道」（73.2%），「北陸」（68.0%）。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	3253	24.1	60.3	15.6
北海道	56	16.1	73.2	10.7
東北	656	31.4	53.8	14.8
関東	780	19.6	62.2	18.2
北陸	194	25.3	68.0	6.7
中部	522	27.4	61.5	11.1
近畿	327	16.5	59.6	23.9
中国	316	20.9	63.9	15.2
四国	129	22.5	61.2	16.3
九州・沖縄	273	27.1	56.0	16.8

表 3.2.16 手刻み加工の仕事（新築）（H28 年度）　（割合%）

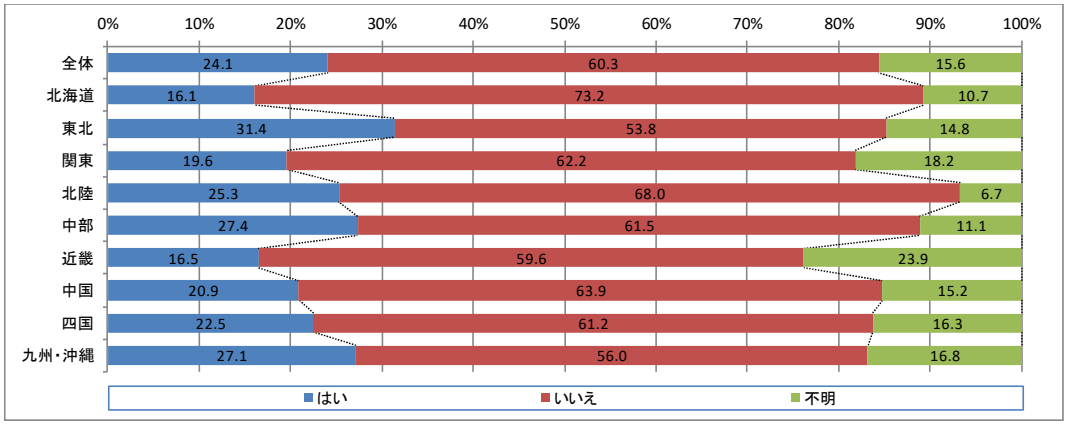


図 3.2.16 手刻み加工の仕事（新築）（H28 年度）

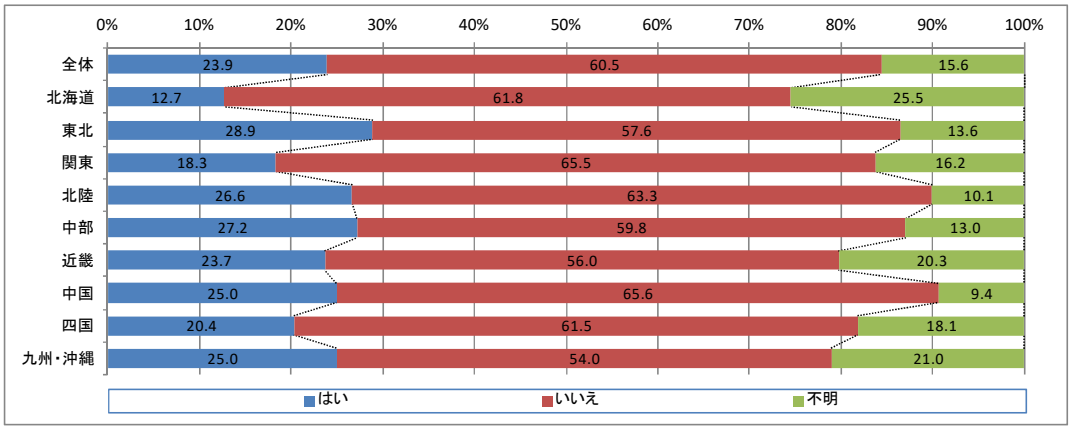


図 3.2.16♯ 手刻み加工の仕事（新築）（H27 年度）

④大工職のみ回答　今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（増改築）

増改築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が大きい地域は「中部」（52.7%），次いで「東北」（51.4%）。

「いいえ」と回答した割合が最も大きい地域は「北海道」（60.7%），次いで「北陸」（43.8%）。

増改築の手刻み加工の仕事は，「北海道」を除いて全国的に約４割以上が行っている。

前回調査（H27 年度）と比較すると，今回調査では「中部」の割合が増加しているが，他の地域ではほぼ同様の結果であった。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	3253	46.4	37.8	15.8
北海道	56	25.0	60.7	14.3
東北	656	51.4	33.2	15.4
関東	780	38.6	43.5	17.9
北陸	194	49.5	43.8	6.7
中部	522	52.7	36.0	11.3
近畿	327	44.0	32.1	23.9
中国	316	49.1	36.7	14.2
四国	129	43.4	40.3	16.3
九州・沖縄	273	48.0	34.4	17.6

表 3.2.17 手刻み加工の仕事（増改築）（H28 年度）　（割合%）

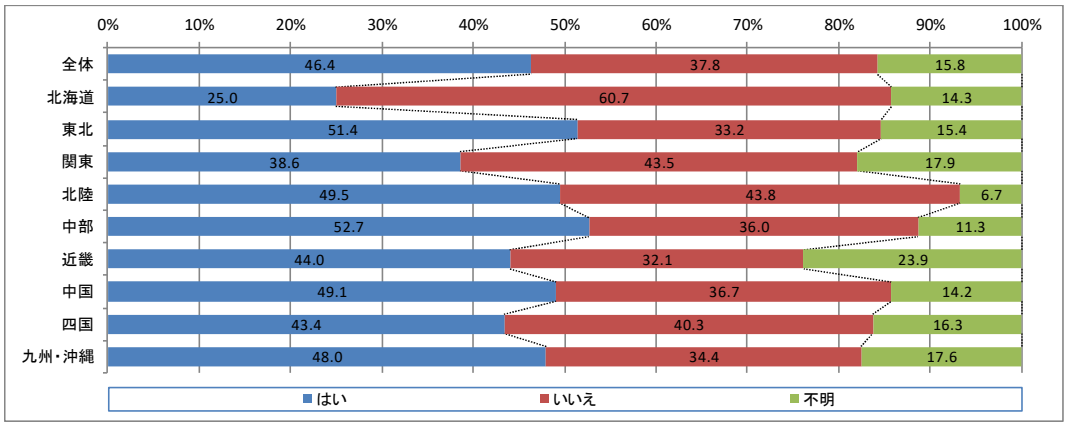


図 3.2.17 手刻み加工の仕事（増改築）（H28 年度）

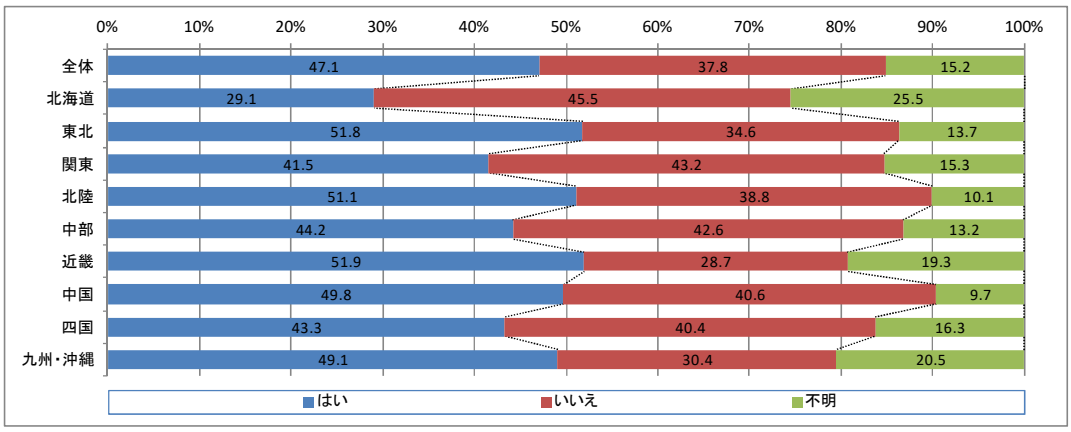


図 3.2.17♯ 手刻み加工の仕事（増改築）（H27 年度）

⑤大工職のみ回答　和室造作ができますか。

和室造作について「はい」と回答した割合が大きい地域は「北陸」(78.9%)，次いで「中部」(73.4%)。「いいえ」と回答した割合が大きい地域は「北海道」(42.9%)，次いで「東北」(23.9%)。

	合計	(14)④和室造作ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	3253	64.7	20.0	15.3
北海道	56	46.4	42.9	10.7
東北	656	61.1	23.9	14.9
関東	780	59.9	22.3	17.8
北陸	194	78.9	15.5	5.7
中部	522	73.4	16.1	10.5
近畿	327	63.3	14.4	22.3
中国	316	70.6	15.5	13.9
四国	129	64.3	19.4	16.3
九州・沖縄	273	59.3	22.0	18.7

表 3.2.18 和室造作(H28 年度)　（割合%）

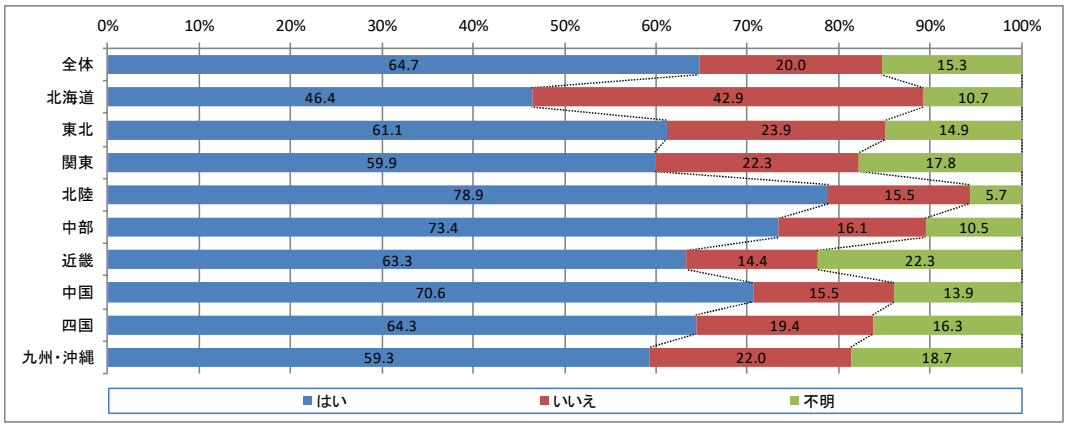


図 3.2.18 和室造作(H28 年度)

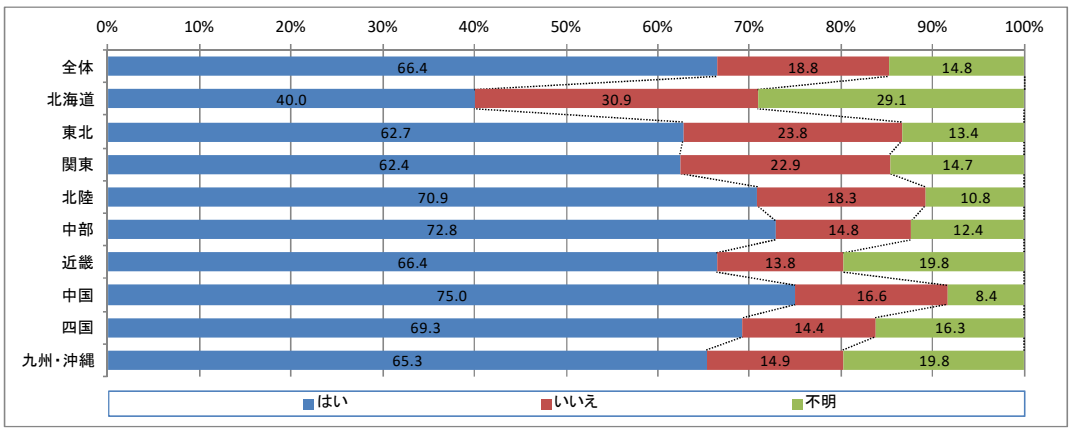


図 3.2.18♯ 和室造作(H27 年度)

⑥大工職のみ回答　2×4 工法の住宅の施工ができますか。

2×4 工法の住宅の施工について「はい」と回答した割合が大きい地域は「北海道」(42.9%)，次いで「中国」(32.6%)。

「いいえ」と回答した割合が大きい地域は「北陸」(66.5%)，次いで「九州・沖縄」(59.7%)。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	3253	26.7	56.4	16.9
北海道	56	42.9	44.6	12.5
東北	656	27.1	56.7	16.2
関東	780	24.5	56.4	19.1
北陸	194	25.3	66.5	8.2
中部	522	28.2	59.6	12.3
近畿	327	24.5	50.8	24.8
中国	316	32.6	50.6	16.8
四国	129	28.7	53.5	17.8
九州・沖縄	273	21.6	59.7	18.7

表 3.2.19 2×4 工法の住宅の施工(H28 年度)　(割合%)

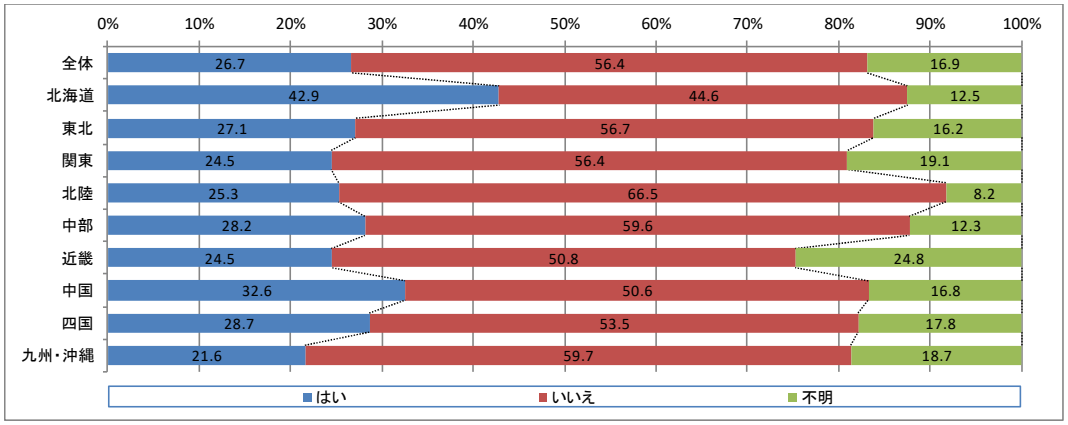


図 3.2.19 2×4 工法の住宅の施工(H28 年度)

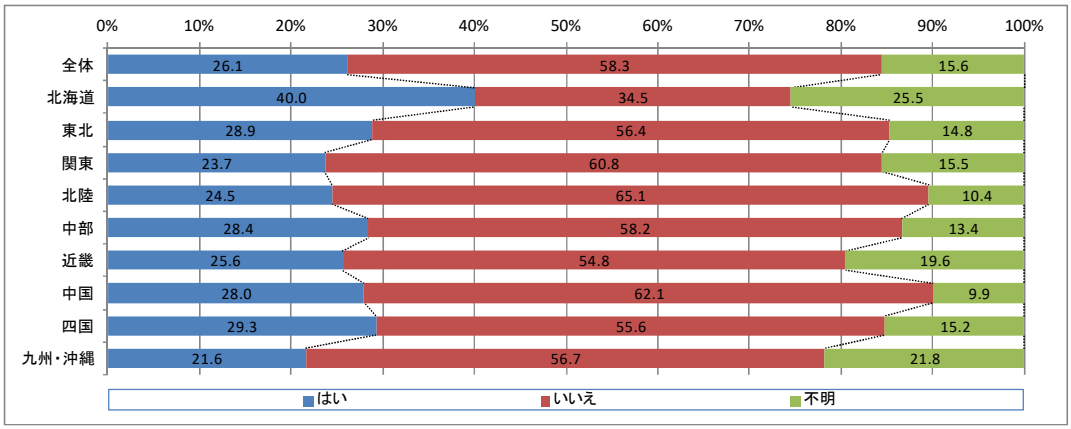


図 3.2.19♯　2×4 工法の住宅の施工(H27 年度)

（4）仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」，「まあ満足している」を合計した「満足している」割合が大きい地域は「四国」（64.4%），次いで「北海道」（64.3%）。

「あまり満足していない」，「満足していない」を合計した「満足していない」割合が最も高かった地域は「北陸」（34.0%），次いで「中国」（31.3%）。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	3253	10.8	48.9	23.5	5.4	11.4
北海道	56	14.3	50.0	19.6	5.4	10.7
東北	656	10.4	51.2	23.5	5.5	9.5
関東	780	9.9	46.2	24.5	6.7	12.8
北陸	194	11.9	49.0	23.2	10.8	5.2
中部	522	10.9	52.3	21.1	5.9	9.8
近畿	327	11.3	47.1	20.5	4.3	16.8
中国	316	8.2	49.4	27.8	3.5	11.1
四国	129	7.8	56.6	23.3	1.6	10.9
九州・沖縄	273	16.1	42.5	24.9	2.2	14.3

表 3.2.20 仕事の内容についての満足度(H28 年度)　（割合%）

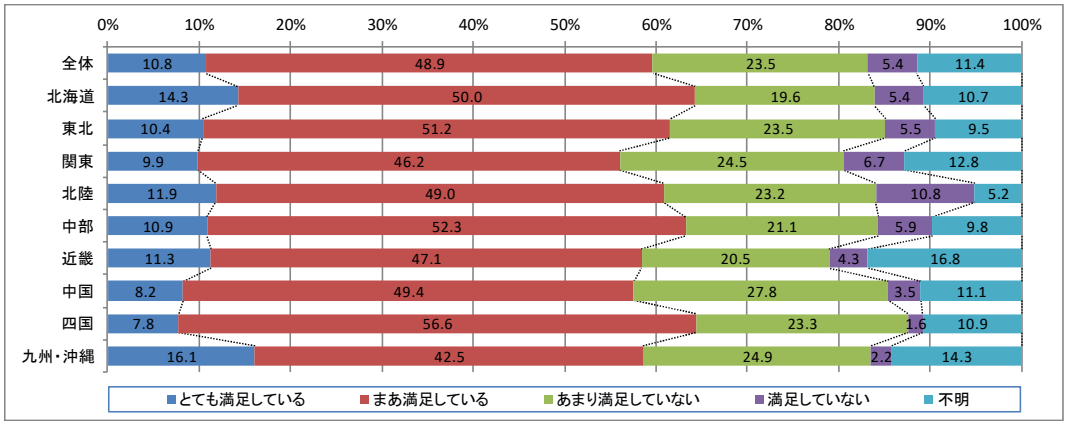


図 3.2.20 仕事の内容についての満足度(H28 年度)

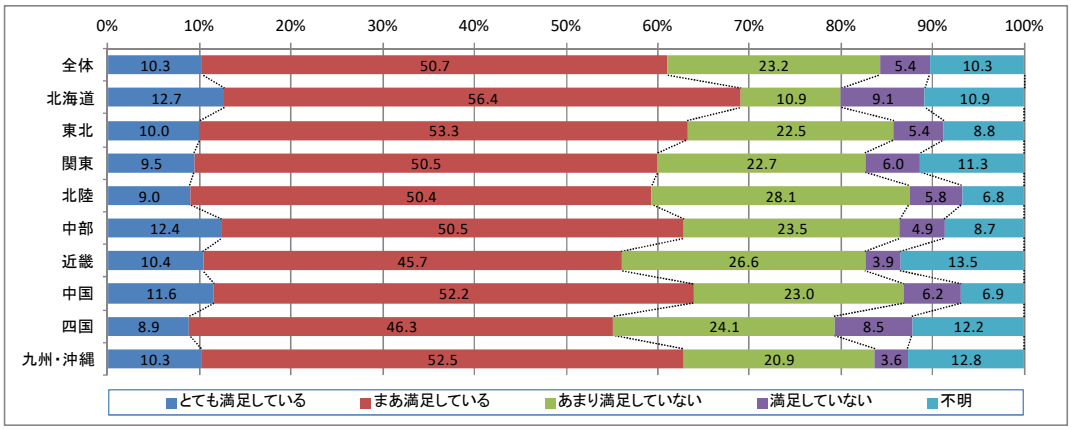


図 3.2.20♯ 仕事の内容についての満足度(H27 年度)

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」,「まあ満足している」を合計した「満足している」割合が大きい地域は「北海道」(55.4%)，次いで「北陸」(38.7%)。

「あまり満足していない」,「満足していない」を合計した「満足していない」割合が大きい地域は「中国」(59.8%)，次いで「北陸」(56.7%)。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	3253	4.1	31.4	38.1	15.5	11.1
北海道	56	3.6	51.8	21.4	14.3	8.9
東北	656	3.0	33.5	38.7	14.8	9.9
関東	780	3.7	28.3	37.3	18.1	12.6
北陸	194	4.6	34.0	35.1	21.6	4.6
中部	522	4.2	33.1	39.1	15.1	8.4
近畿	327	5.8	30.9	37.3	9.5	16.5
中国	316	3.5	26.3	39.9	19.9	10.4
四国	129	3.1	32.6	41.9	12.4	10.1
九州・沖縄	273	5.9	31.1	39.2	9.5	14.3

表 3.2.21 収入等についての満足度(H28 年度)　（割合%）

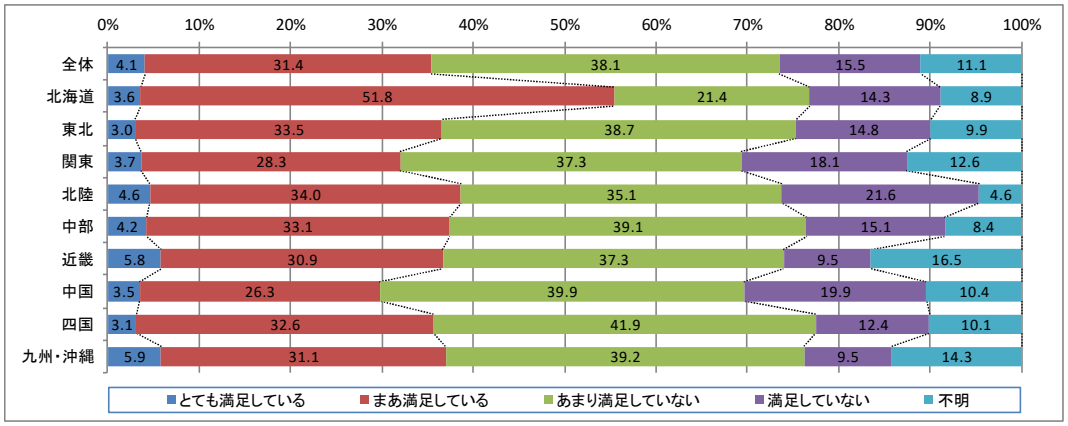


図 3.2.21 収入等についての満足度(H28 年度)

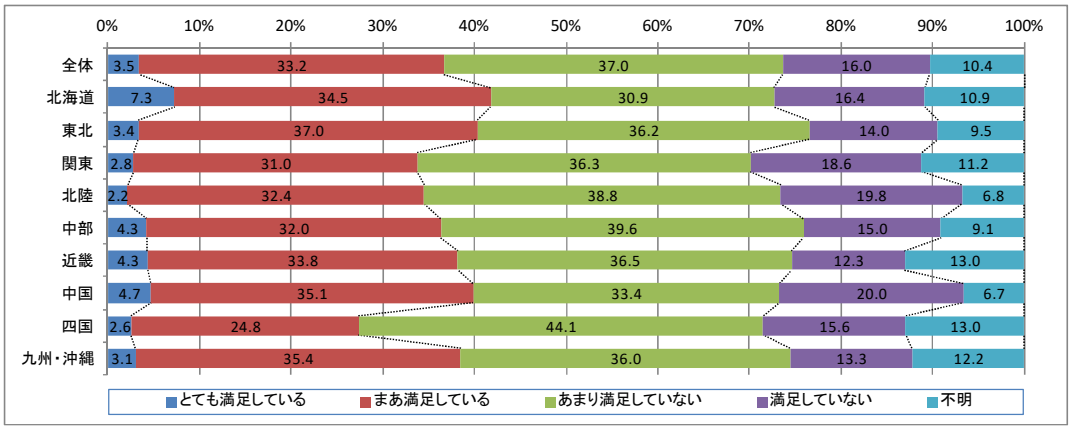


図 3.2.21＃ 収入等についての満足度(H27 年度)

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事が出来る限り続ける」と回答した割合が大きい地域は，「九州・沖縄」（53.5%），次いで「関東」（52.7%）。

いずれの地域においても「仕事が出来る限り続ける」の割合が最も大きく，次いで「65 歳で引退する」，「70 歳で引退する」の割合が大きい。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事が出来る限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体	3253	6.4	15.7	11.6	3.2	50.4	0.7	12.0
北海道	56	8.9	19.6	10.7	0.0	50.0	0.0	10.7
東北	656	7.3	16.3	12.2	4.9	46.8	1.2	11.3
関東	780	5.1	13.3	11.7	2.8	52.7	1.2	13.2
北陸	194	6.2	20.1	14.4	2.6	49.5	0.5	6.7
中部	522	6.5	18.8	10.3	2.3	52.5	0.4	9.2
近畿	327	5.8	14.7	12.8	3.4	46.8	0.0	16.5
中国	316	8.2	13.3	9.8	3.8	51.6	1.3	12.0
四国	129	4.7	17.1	14.0	4.7	48.1	0.0	11.6
九州・沖縄	273	6.2	14.7	9.5	1.8	53.5	0.0	14.3

表 3.2.22 何歳まで仕事を続ける予定か(H28 年度)　（割合%）

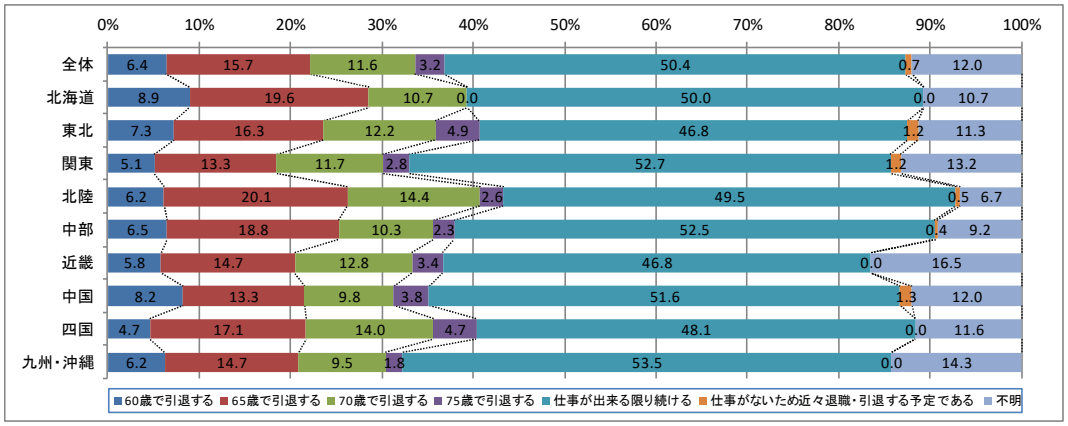


図 3.2.22 何歳まで仕事を続ける予定か(H28 年度)

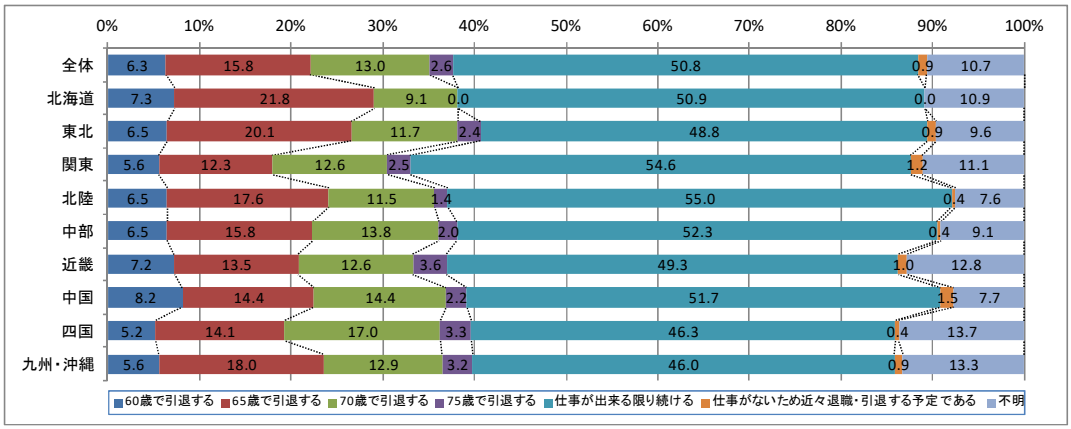


図 3.2.22♯ 何歳まで仕事を続ける予定か(H27 年度)

（５）担い手育成について

①現在，担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」と回答した割合が最も大きい地域は「北海道」(25.0%)，次いで「東北」(17.1%)。

「現在は育てていないが，人材がいれば育てたい」と回答した割合が大きい地域は「九州・沖縄」(45.8%)，次いで「四国」(44.2%)。

「現在は育てていないし，今後も育てる予定はない」と回答した割合が大きい地域は「中部」(33.7%)，次いで「中国」(33.5%)。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	3253	15.3	39.4	28.4	16.9
北海道	56	25.0	41.1	19.6	14.3
東北	656	17.1	42.2	22.7	18.0
関東	780	14.5	36.8	30.0	18.7
北陸	194	18.0	38.7	33.0	10.3
中部	522	15.5	37.0	33.7	13.8
近畿	327	14.7	36.7	28.4	20.2
中国	316	11.1	39.6	33.5	15.8
四国	129	13.2	44.2	27.9	14.7
九州・沖縄	273	15.4	45.8	20.5	18.3

表 3.2.23 担い手の育成状況(H28 年度)　（割合%）

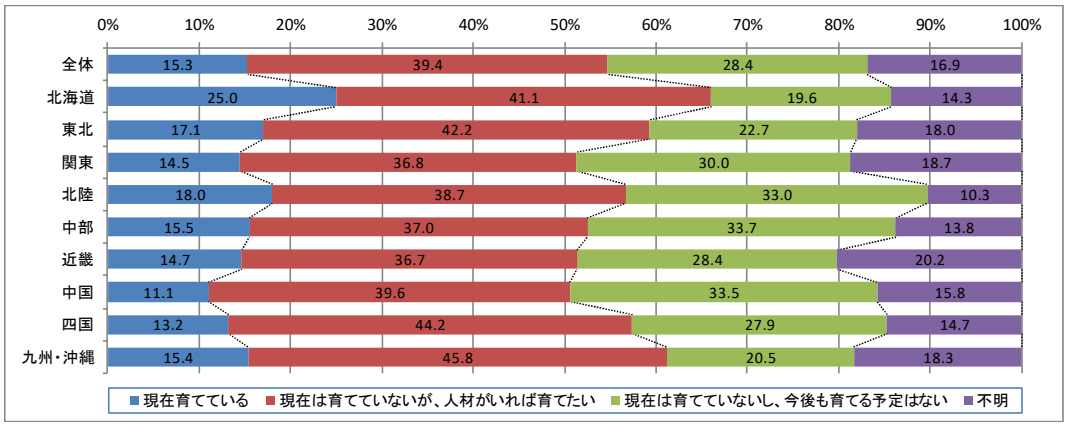


図 3.2.23 担い手の育成状況(H28 年度)

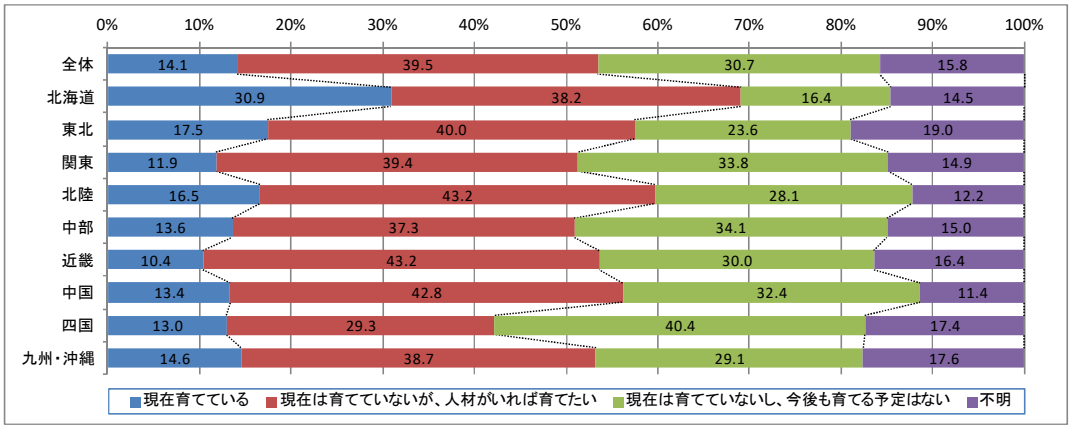


図 3.2.23♯ 担い手の育成状況(H27 年度)

②「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が大きい地域は「東北」（35.7%），次いで「中国」（22.9%）。

「正社員（弟子として）」と回答した割合が大きい地域は「北海道」，「中国」，「九州・沖縄」（71.4%）。

「一人親方等にあずける（職業訓練校）」と回答した割合が大きい地域は「北陸」（8.6%），次いで「東北」（2.7%）。

「一人親方等にあずける（弟子として）」と回答した割合が大きい地域は「近畿」（22.9%），次いで「四国」（17.6%）。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員（職業訓練校）	正社員（弟子として）	一人親方等にあずける（職業訓練校）	一人親方等にあずける（弟子として）	不明
全体	497	19.1	64.4	1.8	9.3	5.4
北海道	14	21.4	71.4	0.0	0.0	7.1
東北	112	35.7	56.3	2.7	3.6	1.8
関東	113	14.2	67.3	0.9	8.0	9.7
北陸	35	11.4	60.0	8.6	14.3	5.7
中部	81	13.6	69.1	0.0	12.3	4.9
近畿	48	6.3	62.5	2.1	22.9	6.3
中国	35	22.9	71.4	0.0	2.9	2.9
四国	17	17.6	52.9	0.0	17.6	11.8
九州・沖縄	42	16.7	71.4	2.4	7.1	2.4

表 3.2.24 育成期間の担い手の立場(H28 年度)　（割合%）

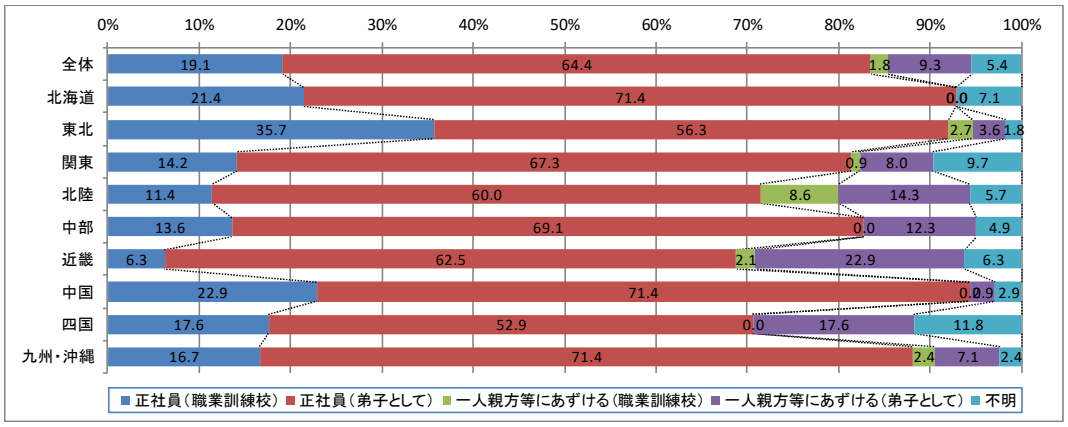


図 3.2.24 育成期間の担い手の立場(H28 年度)

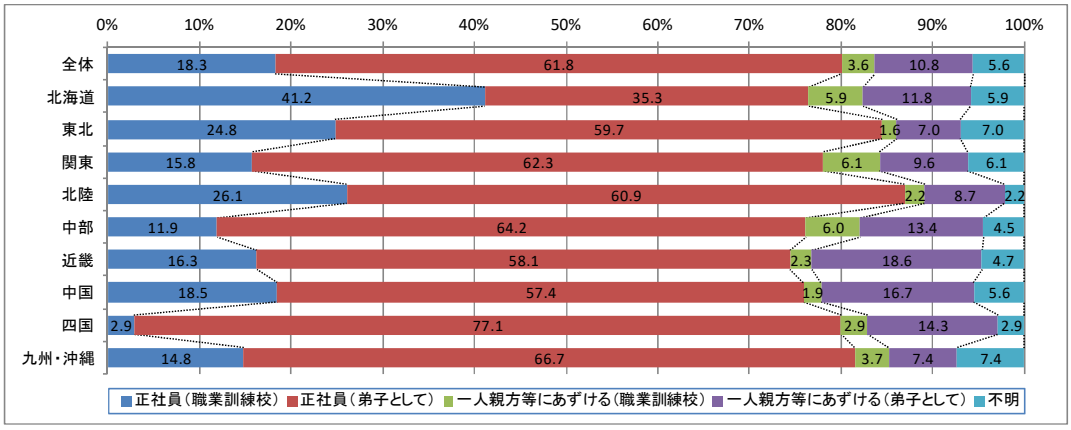


図 3.2.24♯ 育成期間の担い手の立場(H27 年度)

③「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

育成にかかる費用負担が「有る」と回答した割合が大きい地域は「北陸」(42.9%)，次いで「近畿」(33.3%)。

「無い」と回答した割合が大きい地域は「北海道」(21.4%)，次いで「中国」(20.0%)。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	497	27.4	14.3	58.4
北海道	14	14.3	21.4	64.3
東北	112	25.9	17.9	56.3
関東	113	28.3	15.0	56.6
北陸	35	42.9	2.9	54.3
中部	81	29.6	11.1	59.3
近畿	48	33.3	12.5	54.2
中国	35	14.3	20.0	65.7
四国	17	17.6	11.8	70.6
九州・沖縄	42	23.8	14.3	61.9

表 3.2.25 育成期間にかかる費用負担(H28 年度)　（割合%）

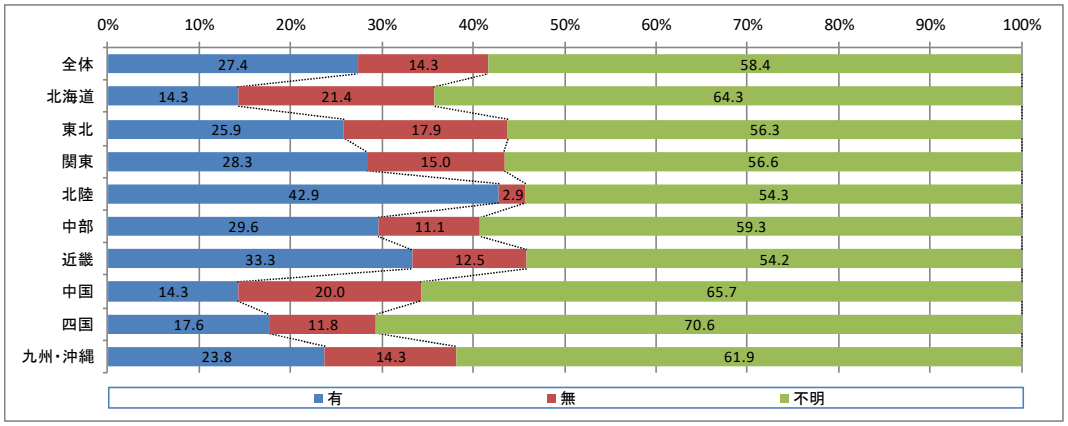


図 3.2.25 育成期間にかかる費用負担(H28 年度)

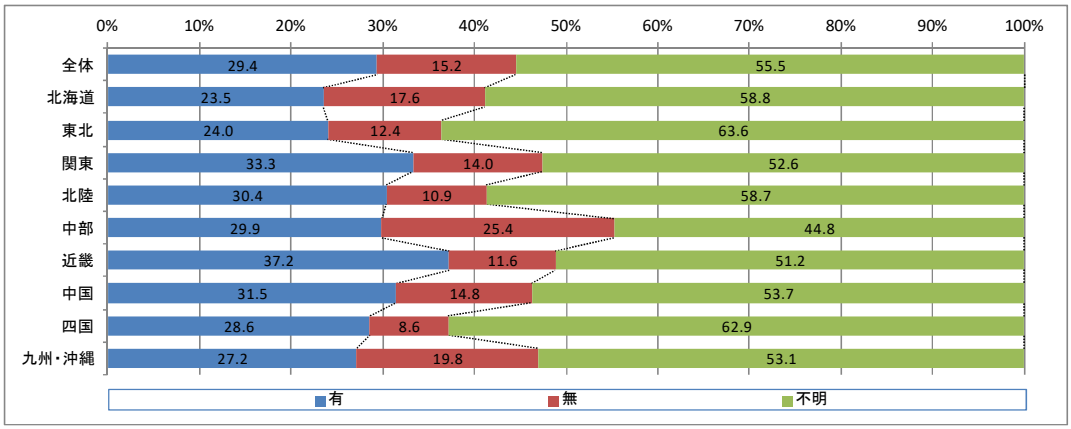


図 3.2.25♯ 育成期間にかかる費用負担(H27 年度)

④「4.現在は育てていないし，今後も育てる予定はない」のみ回答

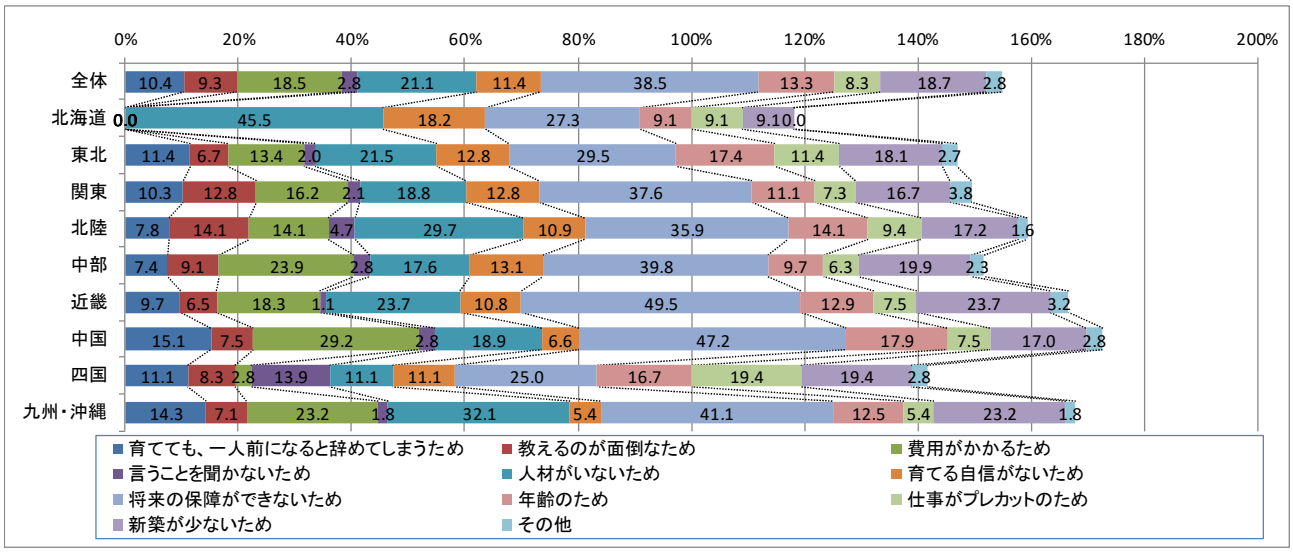
なぜ育てる予定はないのか。

育てる予定はない理由の回答した割合の合計値が大きいのは「中国」（172.6%），次いで「九州・沖縄」（167.9%）。

いずれの地域においても「将来に保証ができないため」，「人材がいないため」，「費用がかかるため」，「新築が少ないため」という回等の割合が大きい。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がいないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	925	10.4	9.3	18.5	2.8	21.1	11.4	38.5	13.3	8.3	18.7	2.8	14.6
北海道	11	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	18.2	27.3	9.1	9.1	9.1	0.0	27.3
東北	149	11.4	6.7	13.4	2.0	21.5	12.8	29.5	17.4	11.4	18.1	2.7	18.8
関東	234	10.3	12.8	16.2	2.1	18.8	12.8	37.6	11.1	7.3	16.7	3.8	13.2
北陸	64	7.8	14.1	14.1	4.7	29.7	10.9	35.9	14.1	9.4	17.2	1.6	20.3
中部	176	7.4	9.1	23.9	2.8	17.6	13.1	39.8	9.7	6.3	19.9	2.3	16.5
近畿	93	9.7	6.5	18.3	1.1	23.7	10.8	49.5	12.9	7.5	23.7	3.2	9.7
中国	106	15.1	7.5	29.2	2.8	18.9	6.6	47.2	17.9	7.5	17.0	2.8	9.4
四国	36	11.1	8.3	2.8	13.9	11.1	11.1	25.0	16.7	19.4	19.4	2.8	11.1
九州・沖縄	56	14.3	7.1	23.2	1.8	32.1	5.4	41.1	12.5	5.4	23.2	1.8	14.3

表 3.2.26 なぜ育てる予定はないのか(H28 年度)　（割合%）



2.2.26 なぜ育てる予定はないのか(H28 年度)

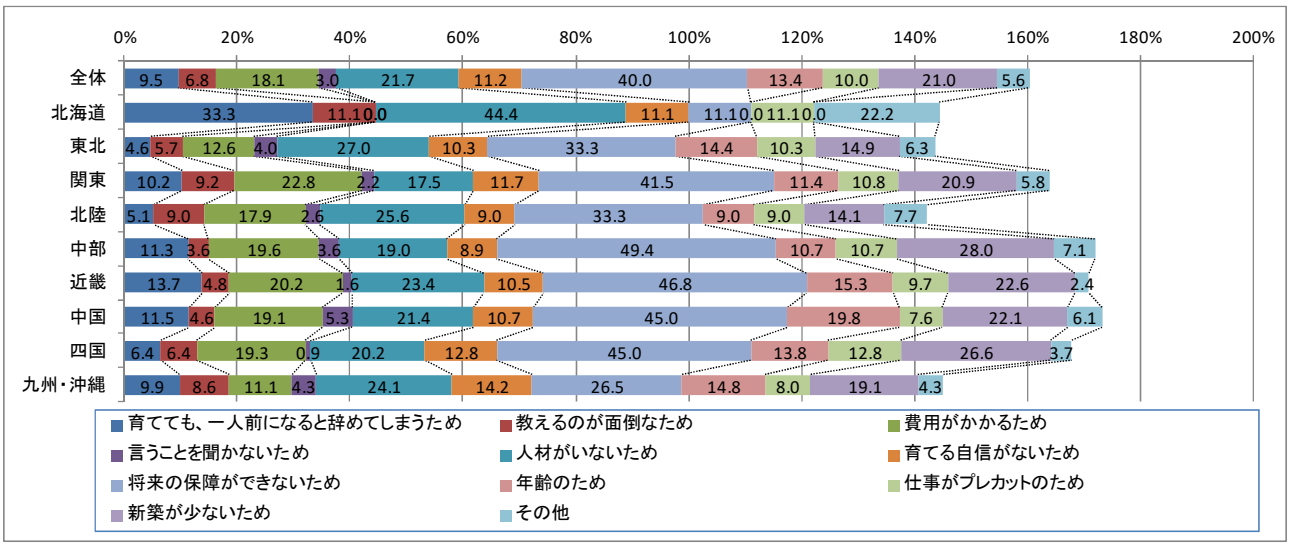


図 3.2.26#　なぜ育てる予定はないのか(H27 年度)

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について，１人／月当たりどの程度必要と考えますか。

担い手の育成にかかる費用の公的補助については，いずれの地域においても「10 万円／月」の割合が大きい。

		合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
			3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
	全体	3253	4.2	14.2	27.7	17.5	3.1	33.3
地域	北海道	56	3.6	23.2	21.4	12.5	3.6	35.7
	東北	656	4.4	14.2	27.6	15.1	1.7	37.0
	関東	780	3.6	12.6	26.0	18.7	3.3	35.8
	北陸	194	4.1	20.1	30.9	14.9	3.6	26.3
	中部	522	5.6	16.3	25.5	20.5	2.9	29.3
	近畿	327	3.7	12.2	28.7	20.5	4.3	30.6
	中国	316	4.7	13.6	31.0	15.5	3.2	32.0
	四国	129	3.1	13.2	31.0	14.0	7.0	31.8
	九州・沖縄	273	3.7	12.8	28.9	17.2	2.6	34.8

表 3.2.27 公的補助について，１人／月当たりどの程度必要か(H28 年度)　（割合%）

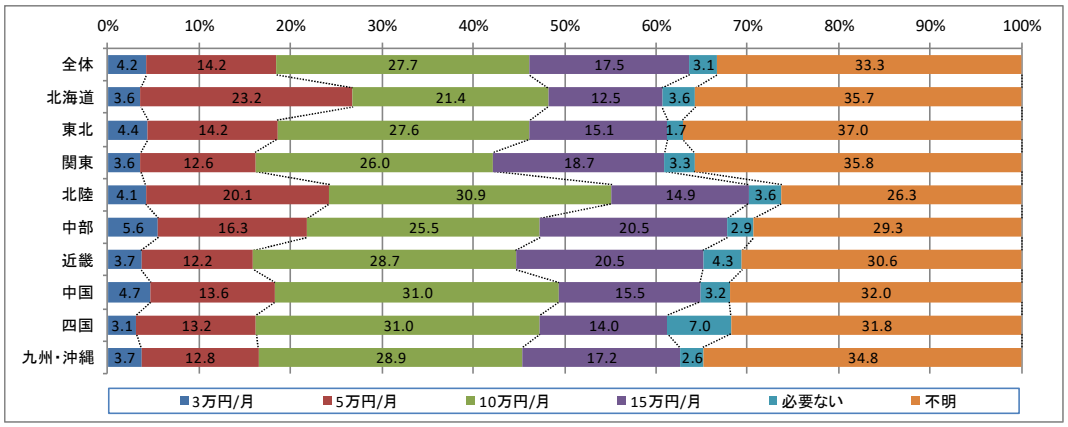


図 3.2.27 公的補助について，１人／月当たりどの程度必要か(H28 年度)

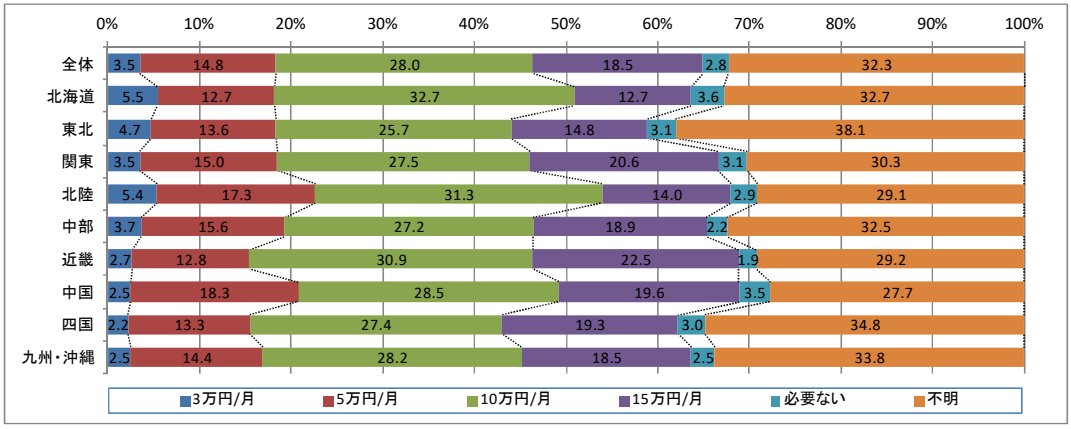


図 3.2.27♯ 公的補助について，１人／月当たりどの程度必要か(H27 年度)

3.　年齢別集計

（１）職業等について

①職種の経験年数

経験年数「3 年未満」の入職初期の大工は「30 代」（10.3%）より上の年齢層ではごく少数となるものの，「60 代」（0.2%）まで回答がみられた。

前回調査（H27 年度）と比較しても，年齢別の経験年数の構成はほぼ同様の結果となっている。

		合計	(4)職種の経験年数								
			3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明
全体		3253	12.0	7.6	25.2	23.2	15.3	13.3	3.2	0.2	0.5
年齢	10代	49	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	334	65.3	29.0	5.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
	30代	838	10.3	13.7	68.0	7.0	0.5	0.0	0.1	0.4	0.4
	40代	819	3.4	3.2	25.0	64.6	3.1	0.5	0.0	0.2	0.4
	50代	588	0.9	0.9	3.4	22.6	59.7	10.9	1.4	0.3	0.9
	60代	530	0.2	0.4	1.1	4.0	20.4	63.6	10.4	0.0	0.1
	70代以上	61	0.0	0.0	0.0	4.9	3.3	31.1	60.7	0.0	0.0

表 3.3.1 職種の経験年数（H28 年度）　（割合%）

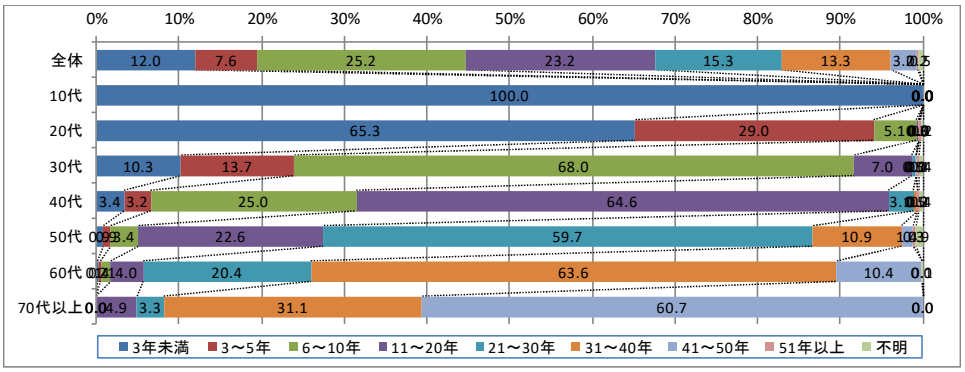


図 3.3.1 職種の経験年数（H28 年度）

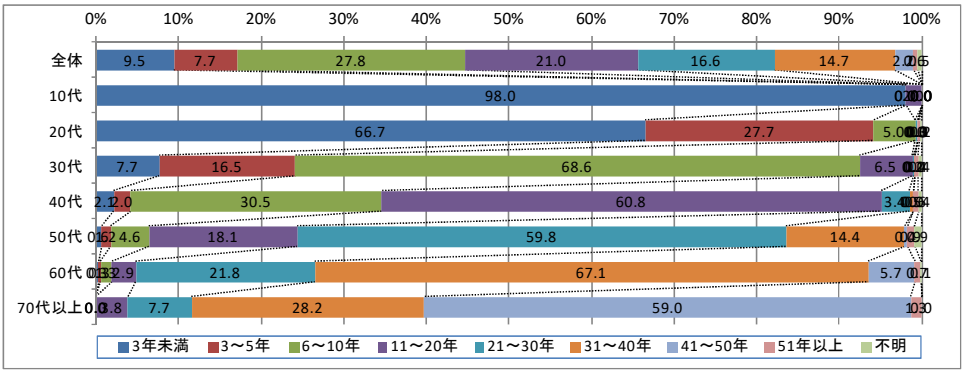


図 3.3.1♯ 職種の経験年数（H27 年度）

②職種においてベテランだと思いますか。

「ベテラン」と回答した割合が最も高い年代は「70 代以上」（59.0%）。

「ややベテラン」と回答した割合が最も高い年代は「50 代」および「60 代」（32.1%）。

「中堅」と回答した割合が最も高い年代は「30 代」（47.4%）。

「やや中堅」と回答した割合が最も高い年代は「30 代」（20.6%）。

「見習い」回答した割合が最も高い年代は「10 代」（100%）。

前回調査（H27 年度）では「70 代以上」の年齢層で「ベテラン」の割合に落ち込みが見られたが，今年度では年齢層が上がるにつれ，ベテラン度合いの自己評価が高くなる傾向がみられた。

		合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
			ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体		3253	19.8	20.5	32.6	11.0	13.2	3.0
年齢	10代	49	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20代	334	0.6	2.1	12.0	19.5	64.1	1.8
	30代	838	4.4	10.1	47.4	20.6	13.4	4.1
	40代	819	13.9	23.6	45.8	10.1	4.8	1.8
	50代	588	36.4	32.1	24.8	3.2	1.2	2.2
	60代	530	43.8	32.1	16.2	2.5	0.8	4.7
	70代以上	61	59.0	23.0	13.1	0.0	1.6	3.3

表 3.3.2 職種のベテラン度合（H28 年度）　（割合%）

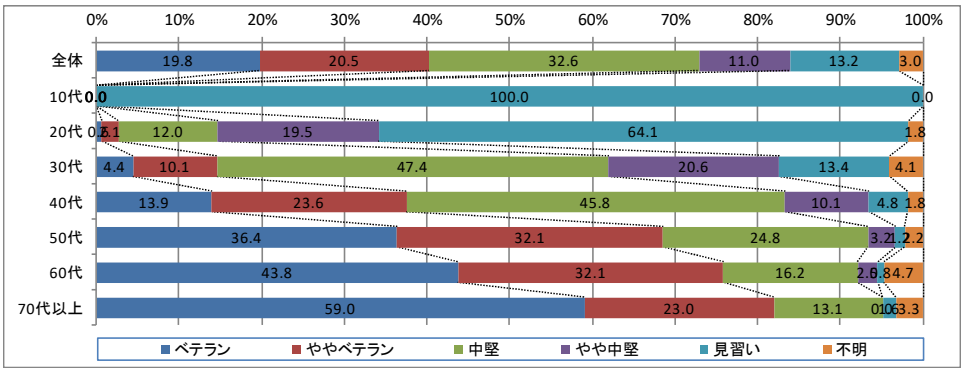


図 3.3.2 職種のベテラン度合（H28 年度）

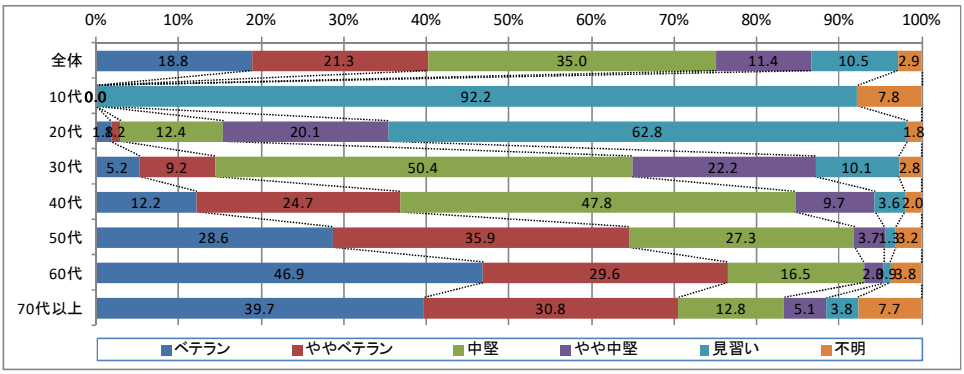


図 3.3.2♯ 職種のベテラン度合（H27 年度）

（２）雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

大工の雇用形態は，「10 代」から「40 代」までは「工務店社員」の割合が大きく，「50 代」以上の年齢層では「元請として仕事」が追い越して大きくなる。

「工務店社員」と回答した割合が大きい年齢層は「20 代」（76.3%）。

「外注常用（日当制）」と回答した割合が大きい年齢層は「60 代」（14.2%）。

「外注常用（坪請主体）」と回答した割合が最も高い年齢層は「40 代」（11.5%）。

「その都度契約」と回答した割合が最も高い年齢層は「50 代」（4.6%）。

「元請として仕事」と回答した割合が最も高い年齢層は「70 代以上」（83.6%）。

「その他（アルバイト等）」と回答した割合が最も高い年齢層は「20 代」（3.0%）。

前回調査（H27 年度）と比較すると，「10 代」において「その他（アルバイト等）」の割合が小さくなっており，「70 代以上」では「外注常用（日当制）」，「外注常用（坪請主体）」，「その都度契約」の割合が小さくなっている。

		合計	(6)あなたの雇用形態						
			工務店社員	外注常用（日当制）	外注常用（坪請主体）	その都度契約	元請として仕事	その他（アルバイト等）	不明
全体		3253	40.3	10.3	8.4	3.7	33.5	0.9	2.9
年齢	10代	49	69.4	6.1	0.0	0.0	12.2	2.0	10.2
	20代	334	76.3	8.7	1.5	0.0	6.0	3.0	4.5
	30代	838	51.9	9.9	9.8	4.4	21.6	0.6	1.8
	40代	819	37.6	8.2	11.5	4.4	35.8	0.7	1.8
	50代	588	25.3	11.9	7.1	4.6	47.3	0.7	3.1
	60代	530	20.9	14.2	9.1	3.4	48.1	0.4	4.0
	70代以上	61	8.2	4.9	0.0	1.6	83.6	0.0	1.6

表 3.3.3 雇用形態（H28 年度）　（割合%）

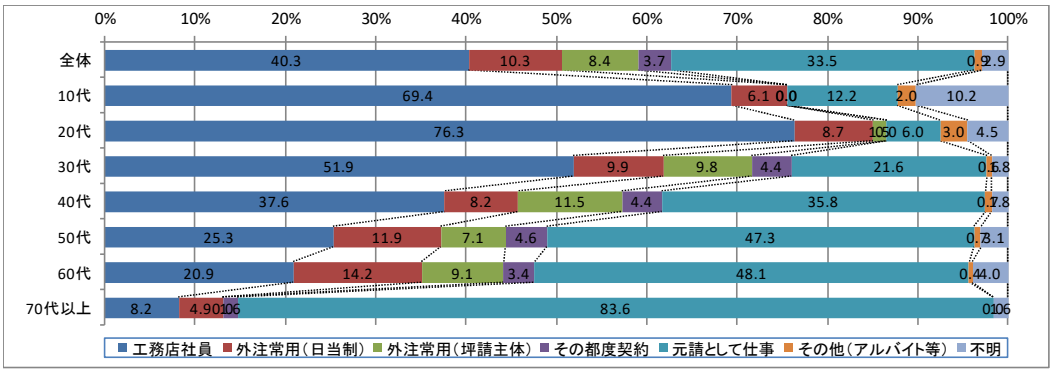


図 3.3.3 雇用形態（H28 年度）

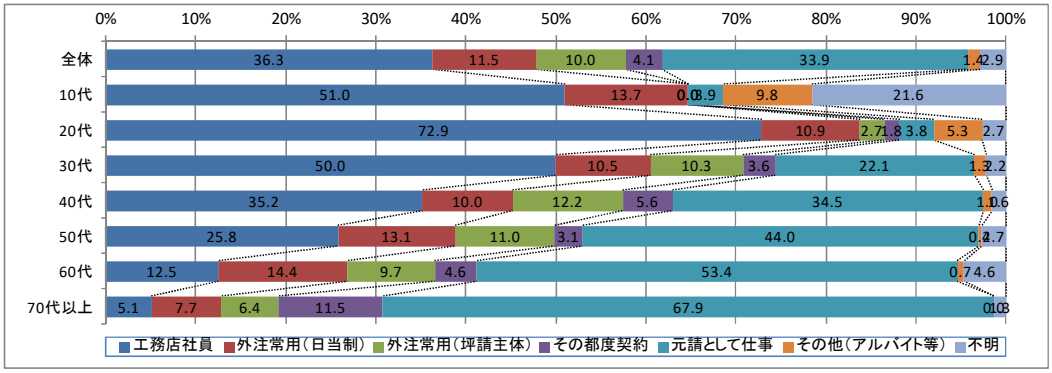


図 3.3.3♯ 雇用形態（H27 年度）

②就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合が大きい年齢層は「10 代」（57.1%）。

就業規則が「無い」と回答した割合が最も高い年齢層は「40 代」（56.9%）。

前回調査（H27 年度）と比較すると，「10 代」および「20 代」で就業規則が有ると回答した割合が大きくなっている。

		合計	(7)就業規則		
			有	無	不明
	全体	3253	29.2	50.0	20.8
年齢	10代	49	57.1	6.1	36.7
	20代	334	44.6	30.8	24.6
	30代	838	30.4	52.4	17.2
	40代	819	26.6	56.9	16.5
	50代	588	25.3	56.6	18.0
	60代	530	24.3	47.0	28.7
	70代以上	61	26.2	39.3	34.4

表 3.3.4 就業規則（H28 年度）　（割合%）

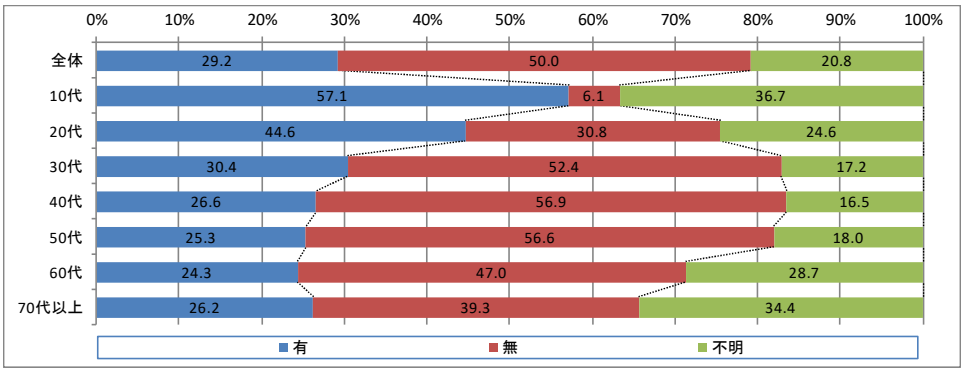


図 3.3.4 就業規則（H28 年度）

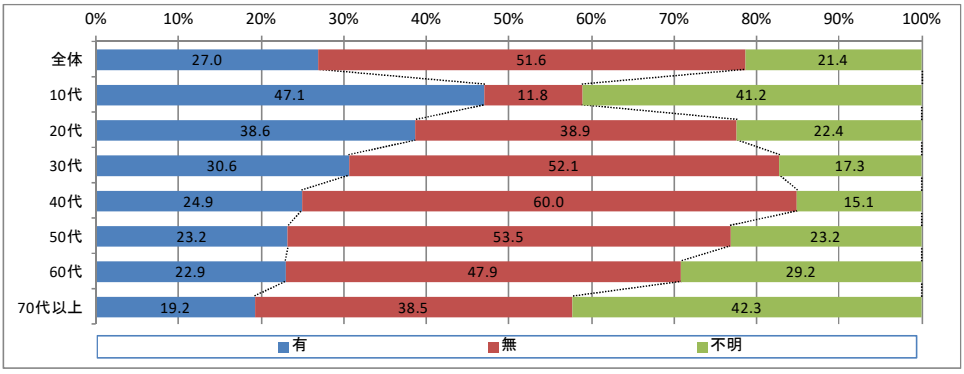


図 3.3.4♯ 就業規則（H27 年度）

③有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が大きい年齢層は「10 代」（51.0%）。

有給休暇が「無い」と回答した割合が大きい年齢層は「30 代」（69.8%）。

前回調査（H27 年度）から比較すると，有給休暇が「有る」と回答した割合は「10 代」で 39.2%から 51.0%に大きく増加がみられた。「20 代」以上の年齢層においても，わずかであるが増加している。

		合計	(8)有給休暇		
			有	無	不明
	全体	3253	15.3	61.7	23.0
年齢	10代	49	51.0	18.4	30.6
	20代	334	24.6	54.8	20.7
	30代	838	16.1	69.8	14.1
	40代	819	14.4	67.8	17.8
	50代	588	11.1	65.1	23.8
	60代	530	11.9	48.5	39.6
	70代以上	61	11.5	37.7	50.8

表 3.3.5 有給休暇（H28 年度）　（割合%）

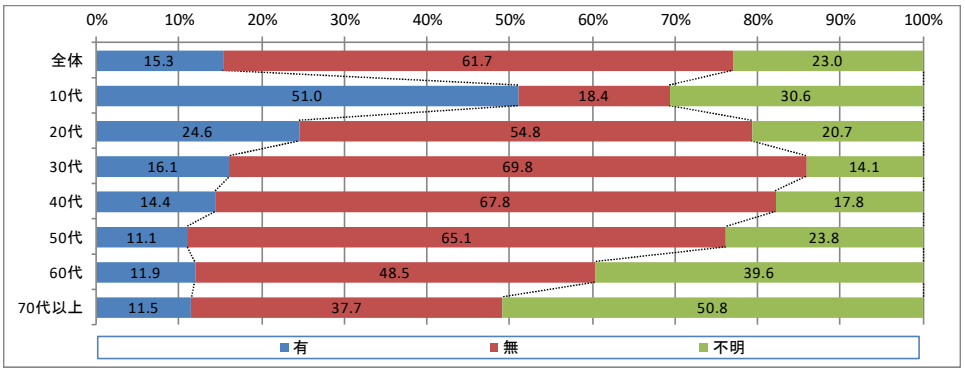


図 3.3.5 有給休暇（H28 年度）

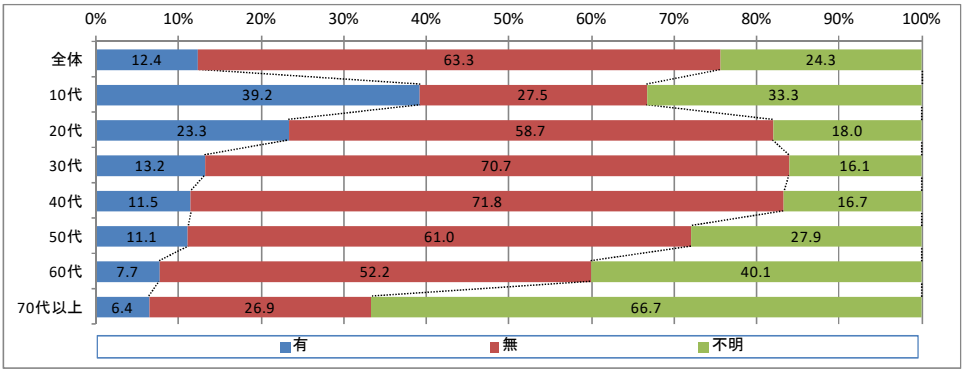


図 3.3.5♯ 有給休暇（H27 年度）

④年間就業日数

平均年間就業日数が最も多かった年代は，「20 代」（273.07 日），次いで「30 代」（271.58 日）。

平均年間就業日数が最も少なかった年代は，「70 代以上」（225.81 日），次いで「10 代」（237.35 日）。

前回調査（H27 年度）から比較すると，不明の割合が大きいものの，「10 代」の就業日数の平均値は減少しており，②就業規則や③有給休暇と合わせてみても，入職初期の若者の就労条件の整備が進みつつある状況が考えられる。

		合計	(9)年間就業日数							
			100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	平均
	全体	3253	2.9	0.8	0.5	5.7	18.5	26.2	45.5	266.22
年齢	10代	49	0.0	6.1	0.0	8.2	10.2	10.2	65.3	237.35
	20代	334	3.0	0.9	0.0	2.4	12.0	31.1	50.6	273.07
	30代	838	3.3	1.0	0.4	2.7	19.8	31.7	41.1	271.58
	40代	819	3.5	0.4	0.0	4.6	16.5	32.1	42.9	270.85
	50代	588	2.0	0.7	0.5	5.8	23.3	21.8	45.9	268.21
	60代	530	1.9	0.8	1.5	12.6	20.9	13.4	48.9	248.67
	70代以上	61	4.9	1.6	4.9	13.1	11.5	14.8	49.2	225.81

表 3.3.6 年間就業日数（H28 年度）　（割合%）

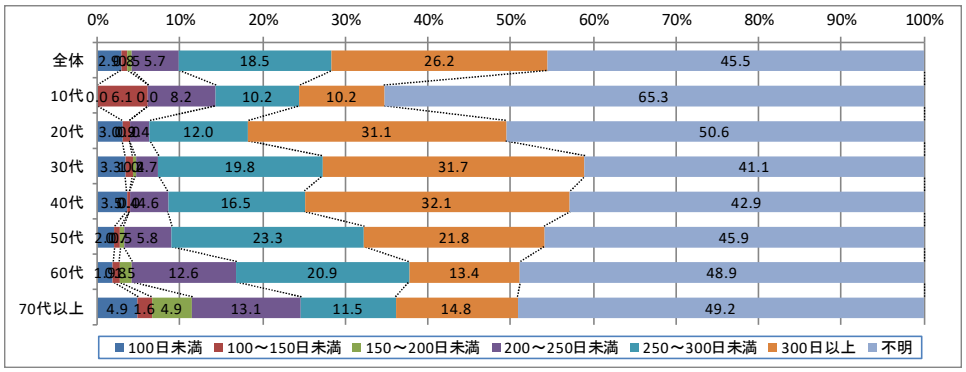


図 3.3.6 年間就業日数（H28 年度）

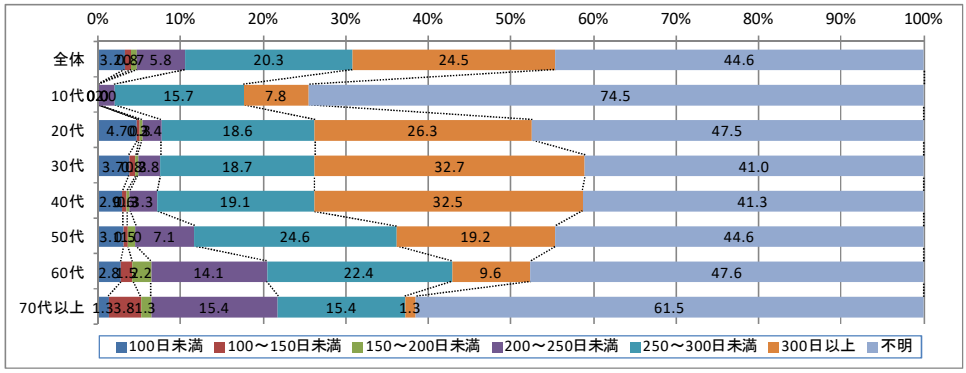


図 3.3.6♯ 年間就業日数（H27 年度）

⑤賃金の中に含まれ，自己負担となっているもの

自己負担となっているものの割合の合計値が大きい年齢層は「60 代」（265.3%），次いで「50 代」（259.0%）。

「全て所属する工務店が負担」と回答した割合が大きい年齢層は「20 代」（22.4%）。

前回調査（H27 年度）と比較すると，「10 代」では「電動工具」を自己負担すると回答した割合に減少が見られた。

		合計	(11)自己負担となっているもの						
			手道具	電動工具	クギ金物	車（保険含む）	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
	全体	3253	69.8	63.0	21.0	49.1	47.8	15.5	8.8
年齢	10代	49	57.1	28.6	6.1	20.4	18.4	22.4	16.3
	20代	334	71.0	55.1	4.8	36.2	32.9	14.1	6.9
	30代	838	73.4	66.0	19.8	50.1	48.1	15.8	5.4
	40代	819	68.6	64.0	24.8	51.2	49.7	17.5	8.3
	50代	588	69.0	64.1	23.5	50.9	51.5	15.6	9.9
	60代	530	69.1	64.2	24.9	54.2	53.0	12.1	12.5
	70代以上	61	65.6	57.4	29.5	44.3	49.2	14.8	19.7

表 3.3.7 自己負担となっているもの（H28 年度）　（割合%）

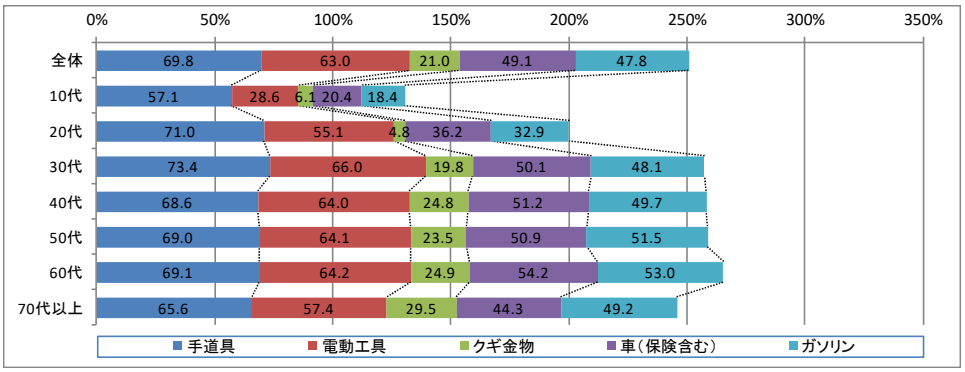


図 3.3.7 自己負担となっているもの（H28 年度）

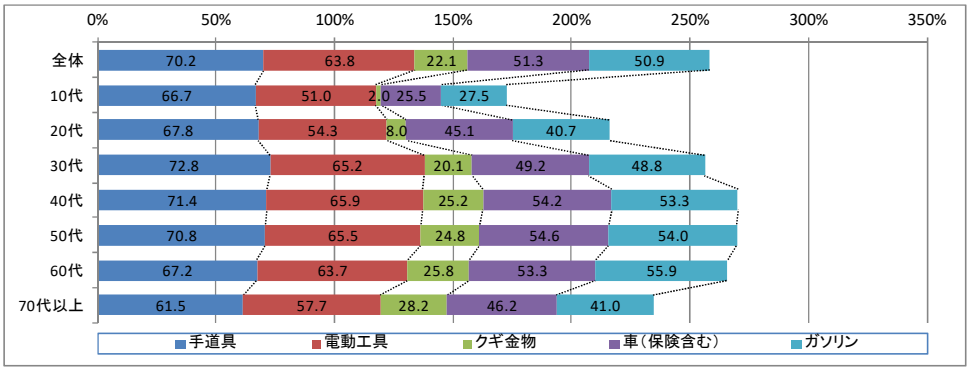


図 3.3.7♯ 自己負担となっているもの（H27 年度）

⑥おおよその賃金（諸経費が含まれた１日あたりの平均単価）

賃金の平均値が大きい年齢層は「50 代」（16,445 円），次いで「40 代」（16,250 円）。
賃金の平均値が小さい年齢層は「10 代」(8,440 円)，次いで「20 代」（10,455 円）

		合計	(12)1日あたりのおおよその賃金						
			8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明
全体		3253	6.2	7.7	35.2	33.8	9.2	2.3	5.7
年齢	10代	49	55.1	28.6	2.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	20代	334	30.8	26.9	25.4	6.9	1.2	0.0	8.7
	30代	838	3.6	8.5	46.7	29.0	6.6	2.5	3.2
	40代	819	1.8	4.6	31.9	38.1	12.8	4.6	6.1
	50代	588	1.4	2.4	30.3	45.6	14.5	1.5	4.4
	60代	530	3.2	3.6	36.6	41.7	8.1	0.9	5.8
	70代以上	61	1.6	1.6	36.1	41.0	8.2	0.0	11.5

表 3.3.8　１日当たりのおおよその賃金（H28 年度）　　（割合%）

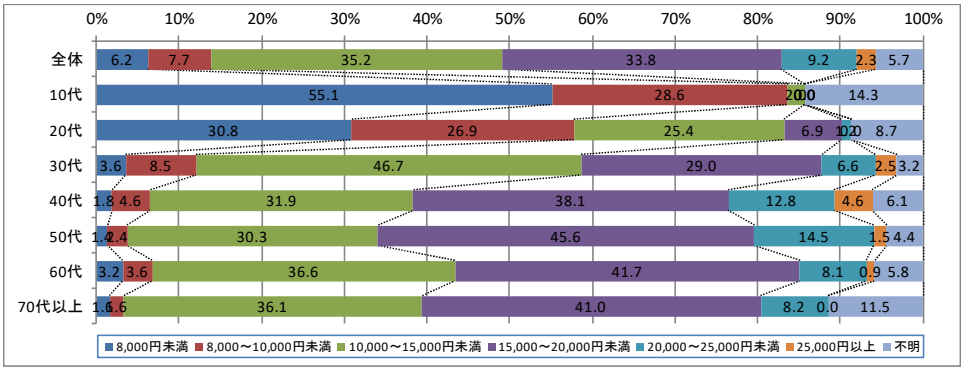


図 3.3.8　１日当たりのおおよその賃金（H28 年度）

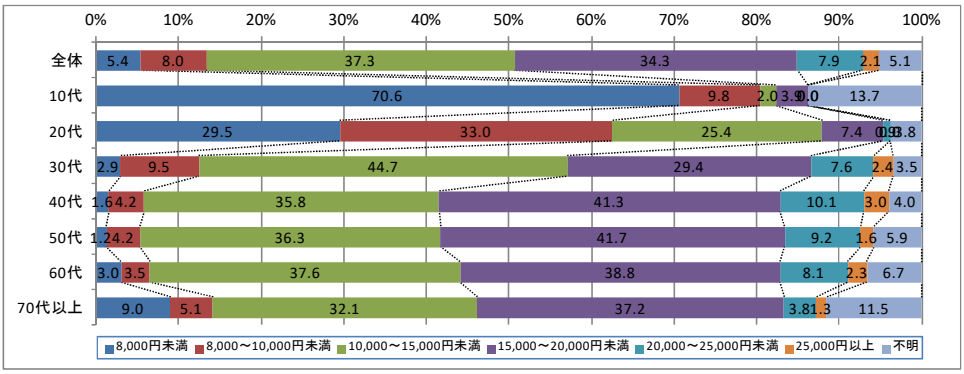


図 3.3.8♯　１日当たりのおおよその賃金（H27 年度）

（3）資格や技能について

①持っている資格

持っている資格の合計値が大きい年齢層は「70 代以上」（426.2%），次いで「60 代」（320.6%）。

持っている資格の合計値が小さい年齢層は「10 代」（53.1%），次いで「20 代」（116.2%）。

「10 代」が最も取得している資格は「玉掛け技能講習」（40.8%）。

「30 代」より上の年齢層になると「2 級建築士」，「足場の組立て等作業主任者」，「木造建築物組立て作業主任者」を中心として資格を取得している割合が大きくなる。

		合計	(13)お持ちの資格														
			1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級･2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体		3253	5.4	29.5	3.0	4.2	13.7	22.9	2.0	11.2	7.0	36.8	38.5	43.3	18.2	10.5	20.0
年齢	10代	49	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	40.8	6.1	0.0	53.1
	20代	334	0.9	11.1	0.6	0.0	3.9	22.2	0.3	0.3	0.0	15.9	11.7	37.1	10.8	1.5	44.6
	30代	838	2.9	27.1	1.3	3.3	10.5	25.9	1.2	7.0	3.3	32.1	35.6	47.9	16.6	8.0	20.5
	40代	819	6.7	34.8	2.0	4.5	11.8	20.8	1.2	7.2	6.2	38.7	40.7	44.1	17.8	8.8	17.1
	50代	588	11.4	33.8	4.1	7.1	21.1	21.3	2.4	12.6	10.2	42.0	44.0	41.5	22.4	13.3	13.8
	60代	530	4.7	32.8	7.5	4.3	18.9	24.5	4.5	25.7	11.9	49.1	53.0	42.3	22.8	18.5	13.2
	70代以上	61	4.9	44.3	8.2	8.2	31.1	36.1	4.9	52.5	36.1	67.2	52.5	34.4	16.4	29.5	8.2

表 3.3.9 持っている資格（H28 年度）　（割合%）

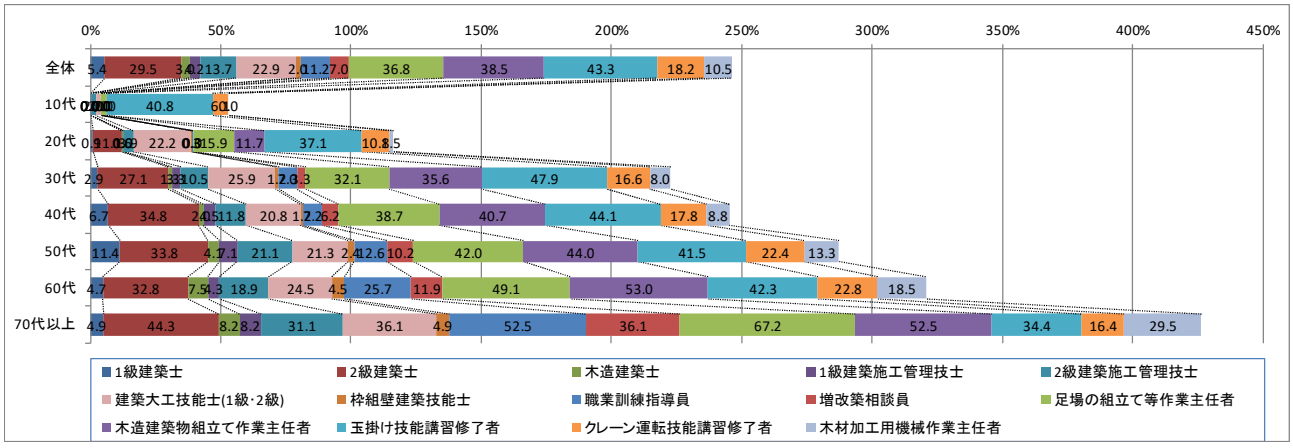


図 3.3.9 持っている資格（H28 年度）

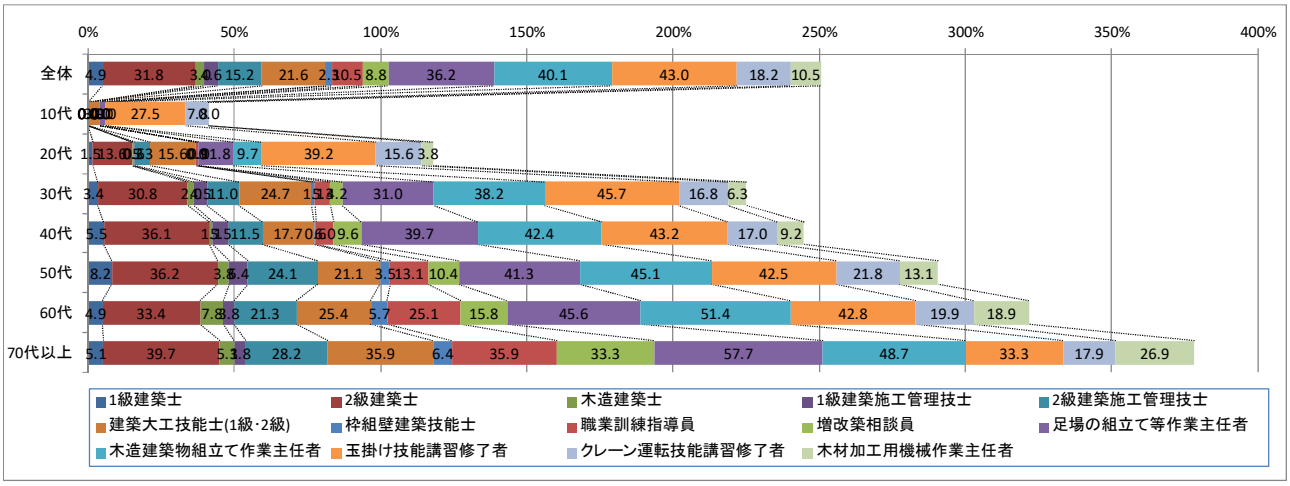


図 3.3.9♯ 持っている資格（H27 年度）

②大工職のみ回答　墨付けができますか。

墨付けについて「はい」と回答した割合が大きい年齢層は「60 代」(81.1%)，次いで「50 代」(79.8%)。
墨付けについて「いいえ」と回答した割合が大きい年齢層は「20 代」(48.2%)，次いで「10 代」(44.9%)。

		合計	(14)①墨付けができますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	69.9	15.9	14.3
年齢	10代	49	40.8	44.9	14.3
	20代	334	37.1	48.2	14.7
	30代	838	65.2	22.1	12.8
	40代	819	75.6	13.2	11.2
	50代	588	79.8	4.6	15.6
	60代	530	81.1	2.3	16.6
	70代以上	61	73.8	0.0	26.2

表 3.3.10 墨付け（H28 年度）　（割合%）

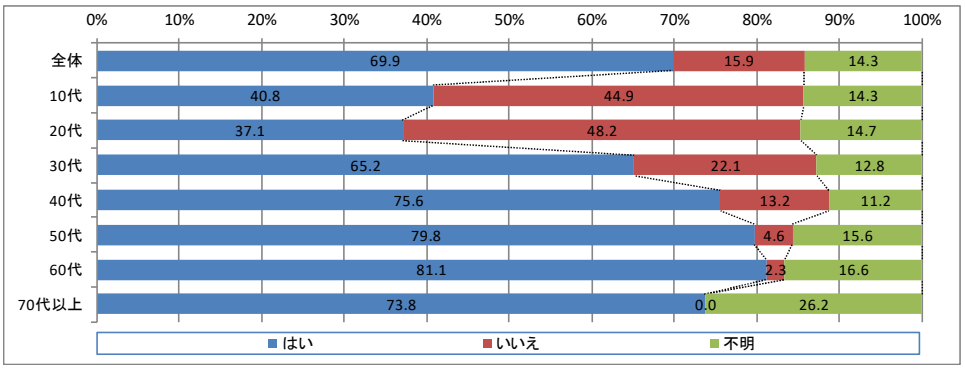


図 3.3.10 墨付け（H28 年度）

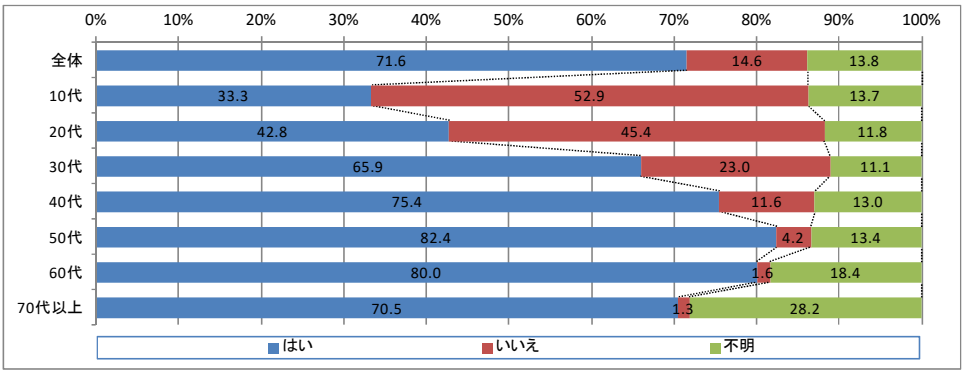


図 3.3.10♯ 墨付け（H27 年度）

③大工職のみ回答　今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（新築）

新築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が大きい年齢層は「60 代」および「70 代以上」（31.1%），次いで「50 代」（26.4%）。

新築の手刻み加工の仕事について「いいえ」と回答した割合が大きい年齢層は「10 代」（73.5%），次いで「40 代」（68.6%）。

前回調査（H27 年度）と比較すると，「はい」の割合は「10 代」では小さくなり，「70 代以上」では大きくなっている。

		合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
全体		3253	24.1	60.3	15.6
年齢	10代	49	6.1	73.5	20.4
	20代	334	26.3	56.9	16.8
	30代	838	22.6	65.2	12.3
	40代	819	19.0	68.6	12.3
	50代	588	26.4	56.6	17.0
	60代	530	31.1	48.7	20.2
	70代以上	61	31.1	39.3	29.5

表 3.3.11 手刻み加工の仕事（新築）（H28 年度）　（割合%）

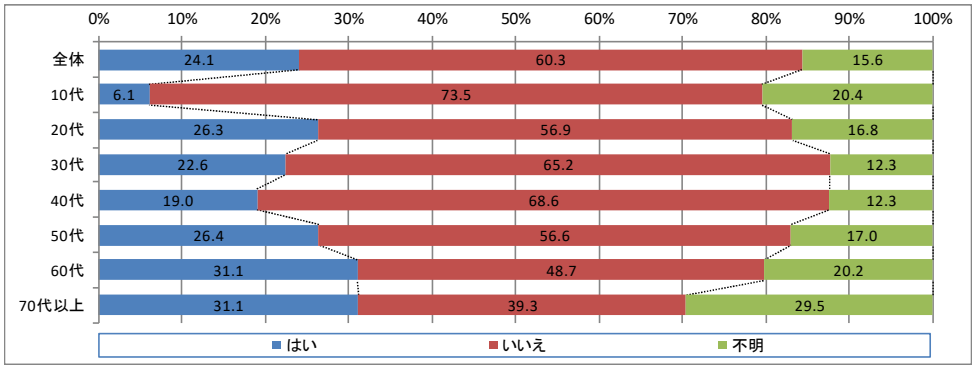


図 3.3.11 手刻み加工の仕事（新築）（H28 年度）

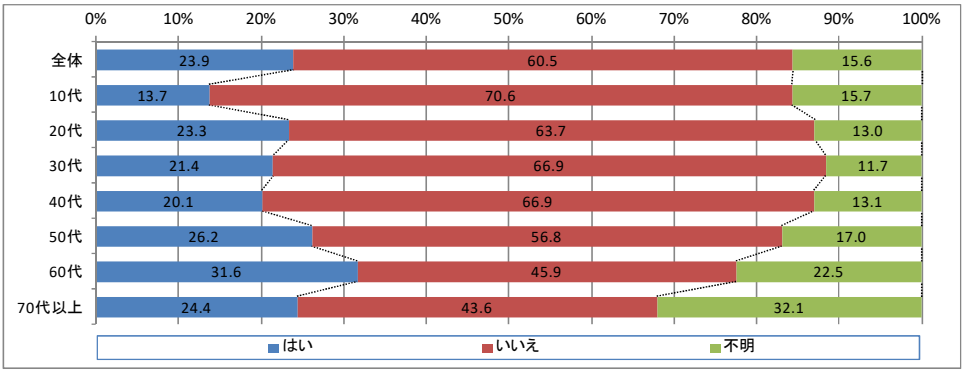


図 3.3.11♯ 手刻み加工の仕事（新築）（H27 年度）

④大工職のみ回答　今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（増改築）

増改築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が大きい年齢層は「70 代以上」（54.1%），次いで「50 代」（50.5%）。

増改築の手刻み加工の仕事について「いいえ」と回答した割合が大きい年齢層は「10 代」（67.3%），次いで「20 代」（4.9%）。

前回調査（H27 年度）と比較すると，「はい」の割合は「10 代」および「60 代」では小さくなり，「70 代以上」では大きくなっている。

		合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
全体		3253	46.4	37.8	15.8
年齢	10代	49	8.2	67.3	24.5
	20代	334	38.3	44.9	16.8
	30代	838	46.9	40.9	12.2
	40代	819	46.3	41.9	11.8
	50代	588	50.5	31.8	17.7
	60代	530	50.0	29.4	20.6
	70代以上	61	54.1	14.8	31.1

表 3.3.12 手刻み加工の仕事（増改築）（H28 年度）　（割合%）

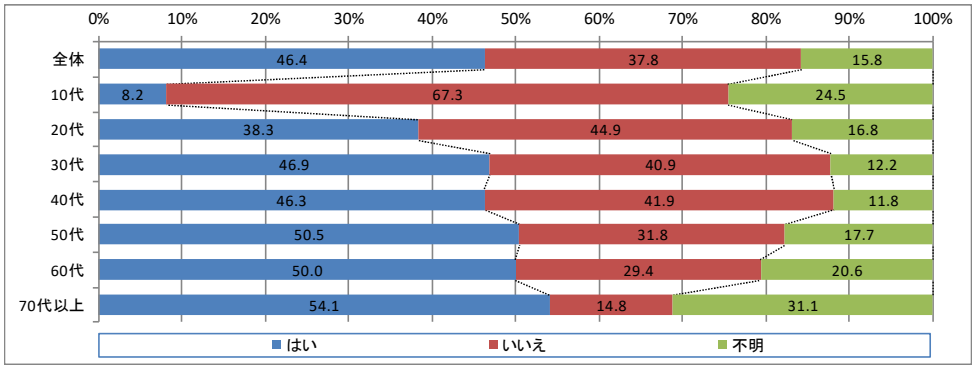


図 3.3.12 手刻み加工の仕事（増改築）（H28 年度）

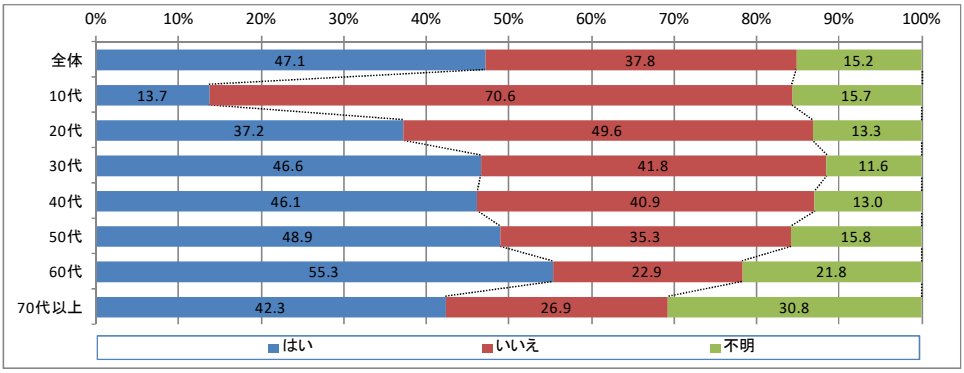


図 3.3.12♯ 手刻み加工の仕事（増改築）（H27 年度）

⑤大工職のみ回答　和室造作ができますか。

和室造作の技能について「はい」と回答した割合が大きい年齢層は「60 代」(79.1%)，次いで「50 代」(78.1%)。

和室造作の技能について「いいえ」と回答した割合が大きい年齢層は「10 代」(79.6%)，次いで「20 代」(65.6%)。

前回調査（H27 年度）においても同様の結果の傾向がみられた。

		合計	(14)④和室造作ができますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	64.7	20.0	15.3
年齢	10代	49	2.0	79.6	18.4
	20代	334	18.6	65.6	15.9
	30代	838	60.0	27.2	12.8
	40代	819	73.0	14.4	12.6
	50代	588	78.1	5.6	16.3
	60代	530	79.1	2.1	18.9
	70代以上	61	72.1	1.6	26.2

表 3.3.13 和室造作（H28 年度）　（割合%）

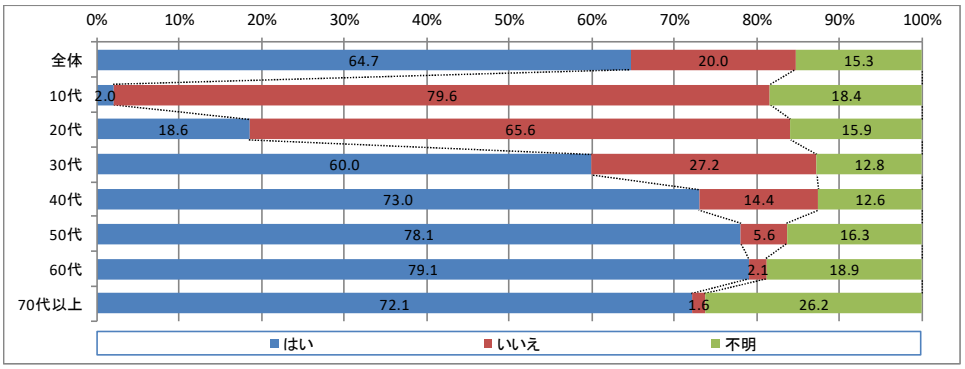


図 3.3.13 和室造作（H28 年度）

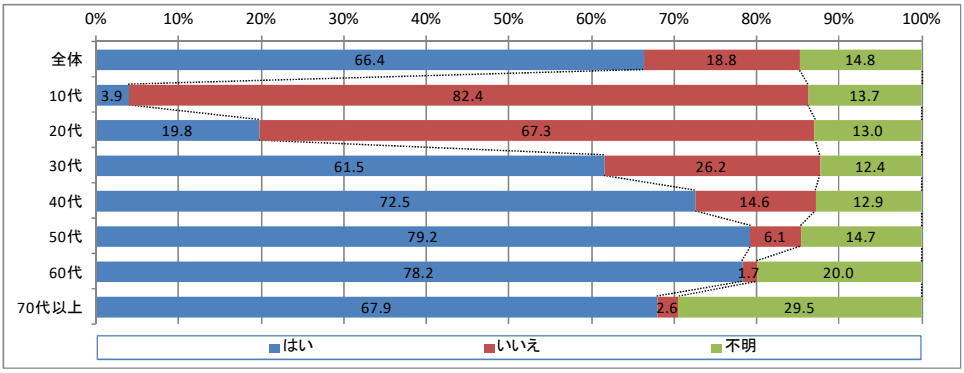


図 3.3.13♯ 和室造作（H27 年度）

⑥大工職のみ回答　2×4 工法の住宅の施工ができますか。

2×4 工法の住宅の施工技能について「はい」と回答した割合が高い年齢層は「60 代」（34.2%），次いで「50 代」（31.2%）。

2×4 工法の住宅の施工技能について「いいえ」と回答した割合が高い年齢層は「10 代」（73.5%），次いで「20 代」（68.6%）。

前回調査（H27 年度）においても同様の結果の傾向がみられた。

		合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	26.7	56.4	16.9
年齢	10代	49	6.1	73.5	20.4
	20代	334	13.8	68.6	17.7
	30代	838	22.3	64.2	13.5
	40代	819	29.9	57.1	12.9
	50代	588	31.1	50.0	18.9
	60代	530	34.2	44.0	21.9
	70代以上	61	24.6	42.6	32.8

表 3.3.14 2×4 工法の住宅の施工（H28 年度）　（割合%）

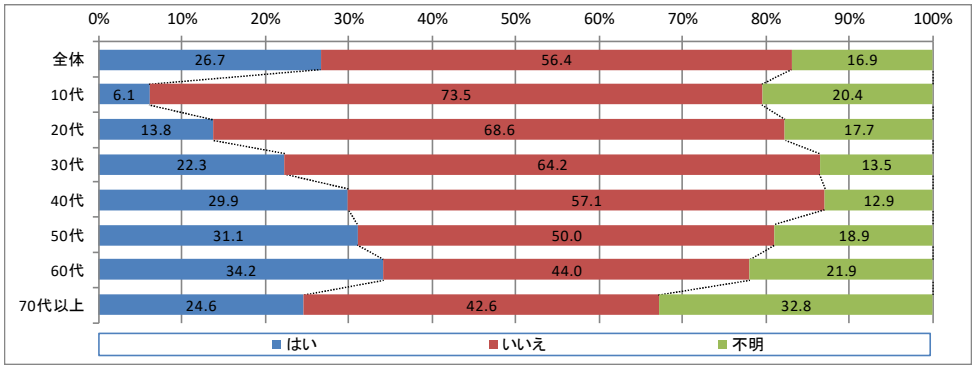


図 3.3.14 2×4 工法の住宅の施工（H28 年度）

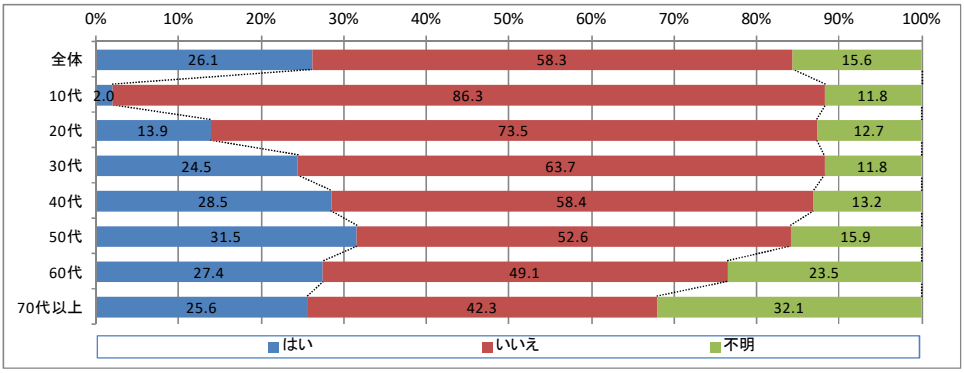


図 3.3.14♯　2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）

（4）仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」,「まあ満足している」を合計した「満足している」割合が大きい年齢層は「10代」（71.4%），次いで「20 代」（65.9%）。

「あまり満足していない」,「満足していない」を合計した「満足していない」割合が大きい年齢層は「40 代」（31.6%），次いで「30 代」（31.1%）。

前回調査（H27 年度）と比較すると，「10 代」で「とても満足している」の割合が 25.5%から 32.7%に増加した。また「70 代以上」においては「満足していない」の割合で 19.2%から 6.6%の減少が見られた。

		合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体		3253	10.8	48.9	23.5	5.4	11.4
年齢	10代	49	32.7	38.8	16.3	2.0	10.2
	20代	334	15.0	50.9	19.8	5.4	9.0
	30代	838	10.6	48.8	26.1	5.0	9.4
	40代	819	8.9	51.0	24.4	7.2	8.4
	50代	588	7.8	48.6	25.3	4.9	13.3
	60代	530	11.7	47.2	20.8	4.3	16.0
	70代以上	61	16.4	47.5	6.6	1.6	27.9

表 3.3.15 仕事の内容についての満足度（H28 年度）　（割合%）

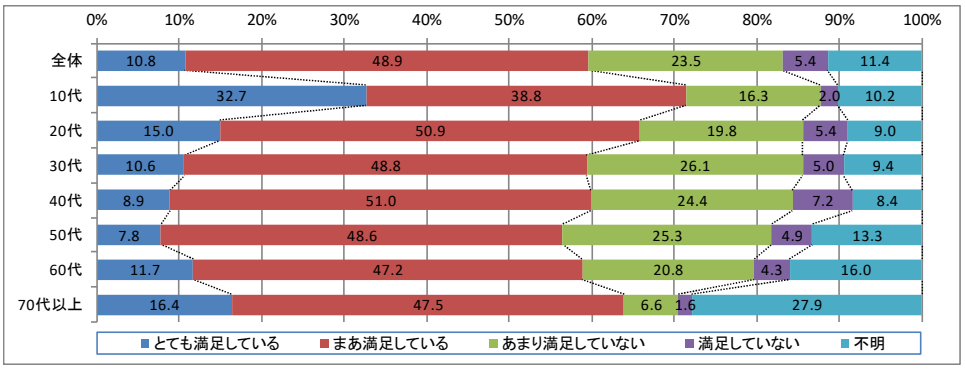


図 3.3.15 仕事の内容についての満足度（H28 年度）

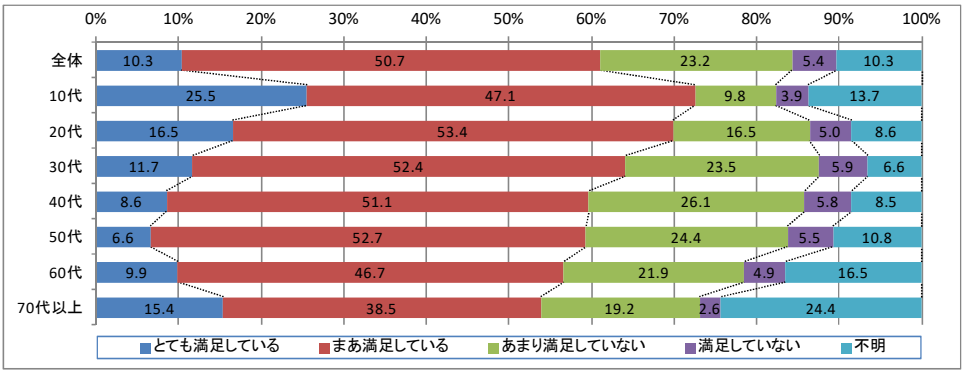


図 3.3.15♯ 仕事の内容についての満足度（H27 年度）

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」,「まあ満足している」を合計した「満足している」割合が大きい年齢層は「70代以上」（44.3%），次いで「20 代」（42.2%）。

「あまり満足していない」,「満足していない」を合計した「満足していない」割合が大きい年齢層は「40 代」（59.3%），次いで「10 代」（59.2%）。

前回調査（H27 年度）と比較すると，「10 代」では「満足している」の割合で 54.9%から 30.6%の減少が見られたが，他方で「20 代」では「満足している」の割合が 37.7%から 42.2%に増加している。

		合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体		3253	4.1	31.4	38.1	15.5	11.1
年齢	10代	49	14.3	16.3	34.7	24.5	10.2
	20代	334	5.7	36.5	29.3	20.4	8.1
	30代	838	4.4	32.0	39.4	15.3	8.9
	40代	819	3.9	28.6	43.7	15.6	8.2
	50代	588	3.1	29.4	39.3	15.5	12.8
	60代	530	3.6	33.6	34.3	12.8	15.7
	70代以上	61	0.0	44.3	19.7	8.2	27.9

表 3.3.16 収入等についての満足度（H28 年度）　（割合%）

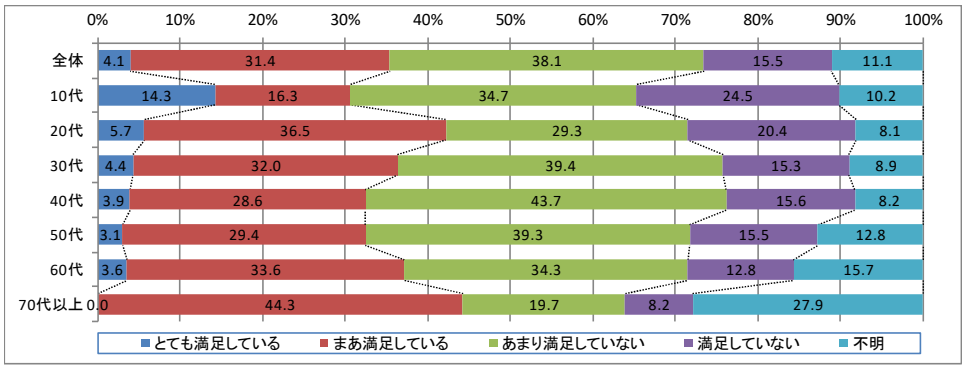


図 3.3.16 収入等についての満足度（H28 年度）

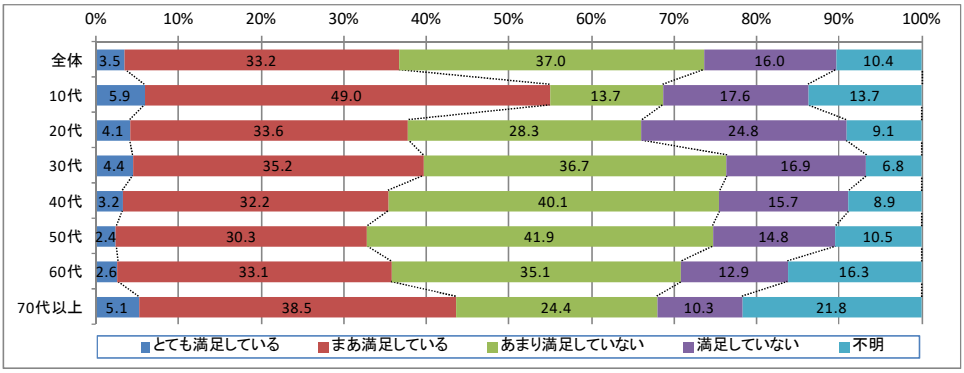


図 3.3.16♯ 収入等についての満足度（H27 年度）

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事が出来る限り続ける」と回答した割合が大きい年齢層は「20 代」(70.1%)，次いで「10 代」(61.2%)。また割合が小さい年齢層は「60 代」(32.3%)。

各年齢層で「仕事が出来る限り続ける」に次いで回答した割合が大きいのは，「10 代」～「50 代」までは「65 歳で引退する」であった。「60 代」では「70 歳で引退する」，「70 代以上」では「75 歳で引退する」の割合が大きい。

「仕事がないため，近々退職・引退する予定である」と回答した割合が大きい年齢層は「10 代」(2.0%)，次いで「20 代」(1.8%) であった。入職初期の「10 代」，「20 代」で退職を意識している。

		合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
			60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事が出来る限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体		3253	6.4	15.7	11.6	3.2	50.4	0.7	12.0
年齢	10代	49	8.2	14.3	2.0	0.0	61.2	2.0	12.2
	20代	334	5.7	8.7	1.2	1.2	70.1	1.8	11.4
	30代	838	10.5	16.1	5.4	0.2	57.4	0.5	9.9
	40代	819	7.2	19.5	7.4	1.3	54.0	1.1	9.4
	50代	588	5.8	21.8	14.8	2.6	41.7	0.2	13.3
	60代	530	0.2	8.9	32.5	10.4	32.3	0.6	15.3
	70代以上	61	0.0	0.0	1.6	24.6	44.3	0.0	29.5

表 3.3.17 何歳まで仕事を続ける予定か（H28 年度）　（割合%）

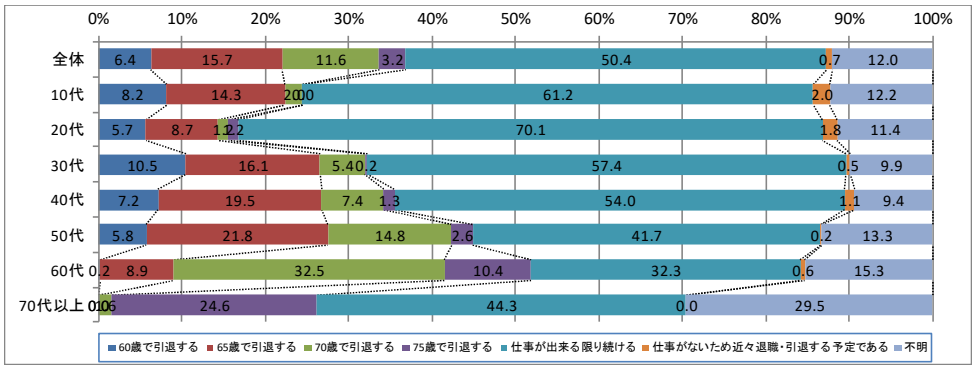


図 3.3.17 何歳まで仕事を続ける予定か（H28 年度）

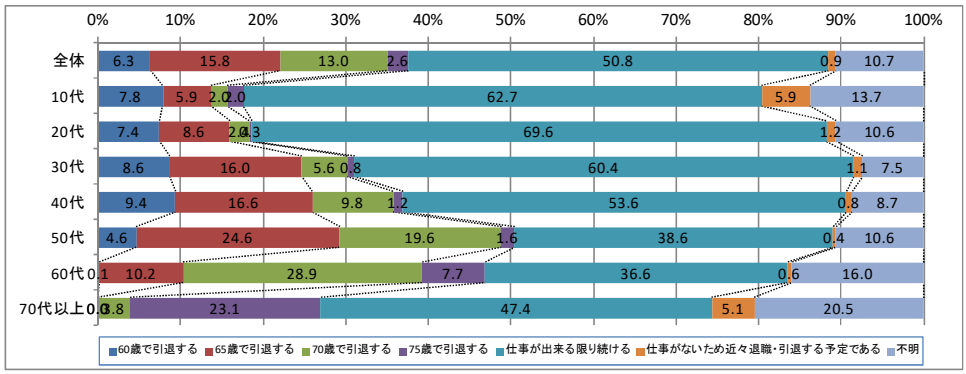


図 3.3.17♯ 何歳まで仕事を続ける予定か（H27 年度）

（５）担い手育成について

①現在，担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」と回答した割合が大きい年齢層は「70 代以上」(21.3%)，次いで「60 代」(19.6%)。

「現在は育てていないが，人材がいれば育てたい」と回答した割合が大きい年齢層は「30 代」(49.6%)，次いで「40 代」(48.4%)。

「現在は育てていないし，今後も育てる予定はない」と回答した割合が大きい年齢層は「60 代」(38.3%)，次いで「50 代」(35.9%)。

前回調査（H27 年度）と比較すると，「70 代以上」において「現在育てている」および「現在は育てていないが，人材がいれば育てたい」の割合が増加している。

		合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
			現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体		3253	15.3	39.4	28.4	16.9
年齢	10代	49	4.1	24.5	26.5	44.9
	20代	334	9.3	36.8	21.3	32.6
	30代	838	13.6	49.6	22.9	13.8
	40代	819	15.1	48.4	26.1	10.4
	50代	588	17.3	31.6	35.9	15.1
	60代	530	19.6	23.8	38.3	18.3
	70代以上	61	21.3	26.2	21.3	31.1

表 3.3.18 担い手の育成状況（H28 年度）　（割合%）

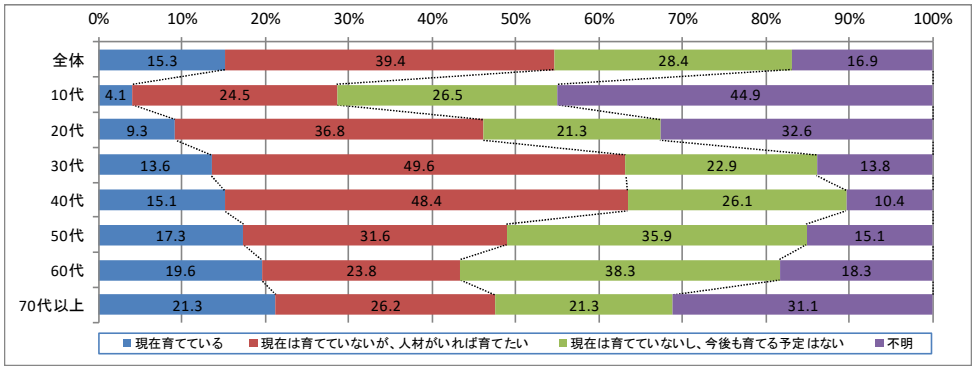


図 3.3.18 担い手の育成状況（H28 年度）

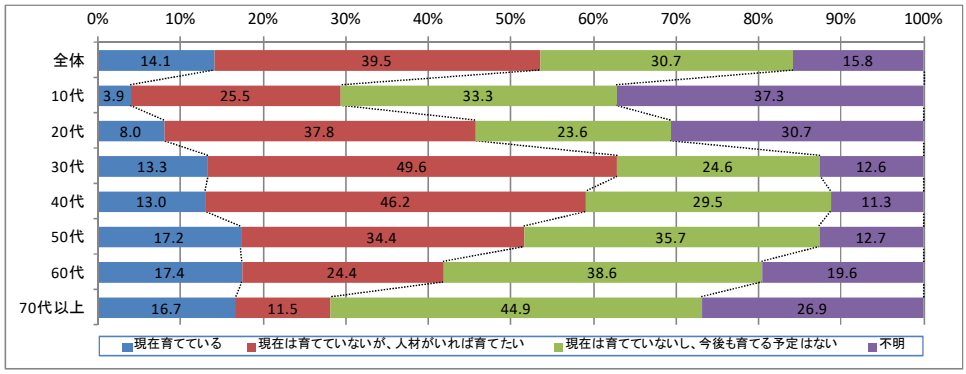


図 3.3.18♯ 担い手の育成状況（H27 年度）

②「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

「正社員(職業訓練校)」と回答した割合が大きい年齢層は「20 代」(32.3%)，次いで「30 代」(24.6%)。

「正社員（弟子として)」と回答した割合が大きい年齢層は「10 代」（100%），次いで「70 代以上」(76.9%)。

「一人親方等にあずける（職業訓練校)」と回答した割合が大きい年齢層は「50 代」（3.9%），次いで「60 代」（2.9%)。

「一人親方等にあずける（弟子として)」と回答した割合が大きい年齢層は「70 代以上」（15.4%)，「30 代」（14.9%)。

		合計	(19)育成期間の担い手の立場				
			正社員（職業訓練校）	正社員（弟子として）	一人親方等にあずける（職業訓練校）	一人親方等にあずける（弟子として）	不明
全体		497	19.1	64.4	1.8	9.3	5.4
年齢	10代	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20代	31	32.3	61.3	0.0	6.5	0.0
	30代	114	24.6	58.8	0.0	14.9	1.8
	40代	124	16.9	71.8	0.8	7.3	3.2
	50代	102	13.7	66.7	3.9	7.8	7.8
	60代	104	20.2	60.6	2.9	6.7	9.6
	70代以上	13	0.0	76.9	7.7	15.4	0.0

表 3.3.19 育成期間の担い手の立場（H28 年度）　（割合%）

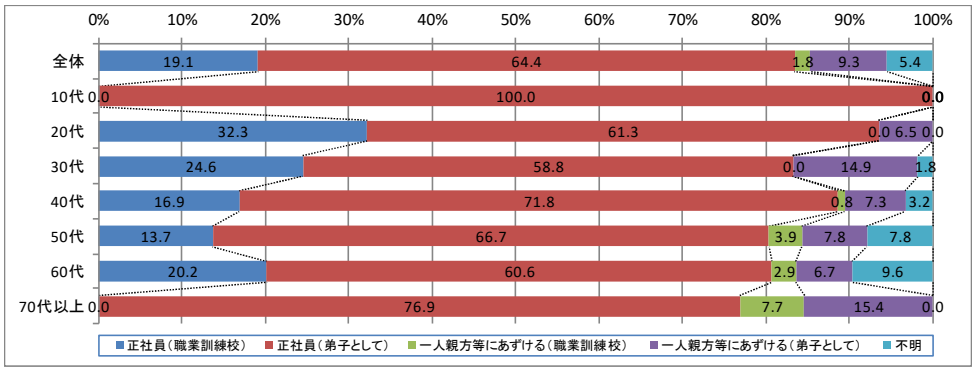


図 3.3.19 育成期間の担い手の立場（H28 年度）

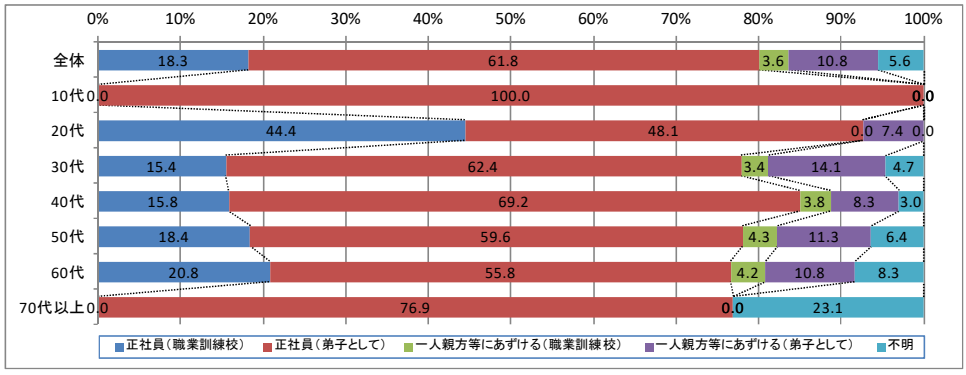


図 3.3.19♯ 育成期間の担い手の立場（H27 年度）

③「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

育成期間にかかる費用負担が「有る」と回答した割合が大きい年齢層は「40 代」(35.5%)，次いで「50 代」(31.4%)。

「無い」と回答した割合が大きい年齢層は，「30 代」(28.1%)。(回答件数の少ない「10 代」を除く)

		合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
			有	無	不明
全体		497	27.4	14.3	58.4
年齢	10代	2	0.0	50.0	50.0
	20代	31	16.1	19.4	64.5
	30代	114	23.7	28.1	48.2
	40代	124	35.5	8.9	55.6
	50代	102	31.4	7.8	60.8
	60代	104	24.0	10.6	65.4
	70代以上	13	23.1	15.4	61.5

表 3.3.20 育成期間にかかる費用負担（H28 年度）　（割合%）

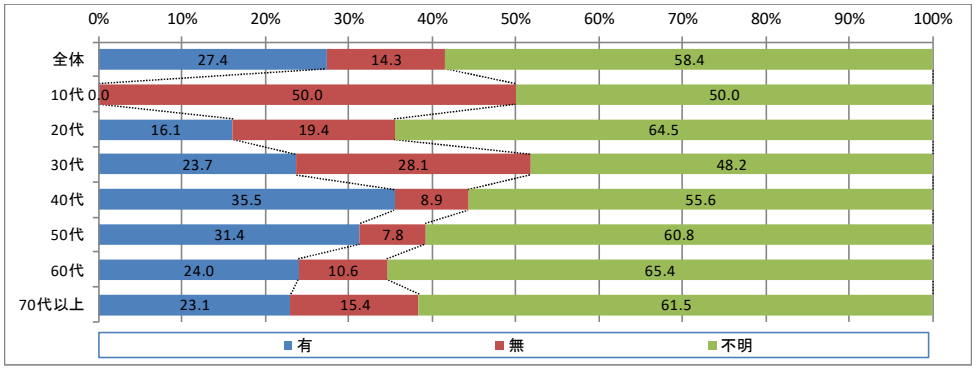


図 3.3.20 育成期間にかかる費用負担（H28 年度）

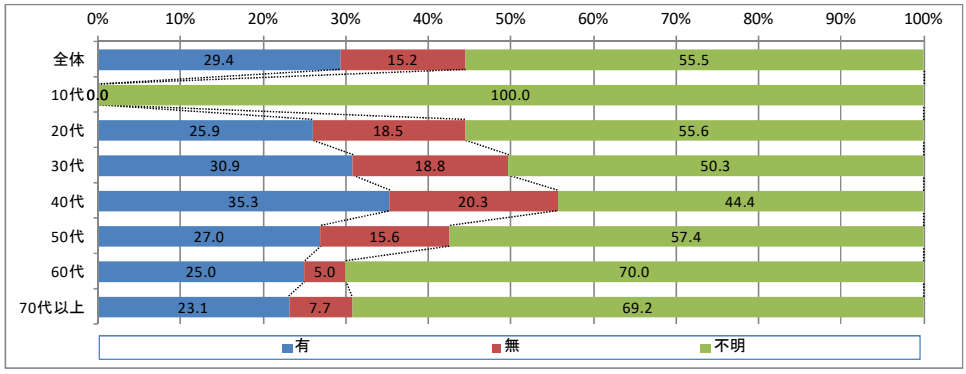


図 3.3.20♯ 育成期間にかかる費用負担（H27 年度）

④「4.現在は育てていないし，今後も育てる予定はない」のみ回答
なぜ育てる予定はないのか。

育てる予定がない理由としては「50 代」が最も多く回答しており，合計値は 169.7%。
「30 代」から「60 代」では「将来の保障ができないため」と回答した割合が大きい。
「70 代以上」では「年齢のため」（38.5%）の割合が大きい。

		合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
			育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がいないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
	全体	925	10.4	9.3	18.5	2.8	21.1	11.4	38.5	13.3	8.3	18.7	2.8	14.6
年齢	10代	13	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	46.2
	20代	71	2.8	9.9	8.5	1.4	18.3	21.1	9.9	14.1	1.4	1.4	5.6	31.0
	30代	192	12.5	16.1	26.6	4.7	26.6	15.6	33.9	2.1	9.4	14.6	2.6	13.0
	40代	214	10.7	10.3	21.5	2.3	21.0	12.1	47.7	1.4	7.0	22.0	4.2	9.3
	50代	211	11.4	8.5	19.4	2.8	20.9	10.0	49.3	10.4	9.5	24.6	2.8	13.3
	60代	203	9.9	3.0	11.8	2.0	19.7	5.4	37.9	37.4	10.8	20.2	1.0	14.8
	70代以上	13	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	38.5	0.0	23.1	0.0	23.1

表 3.3.21 なぜ育てる予定はないのか（H28 年度）　（割合%）

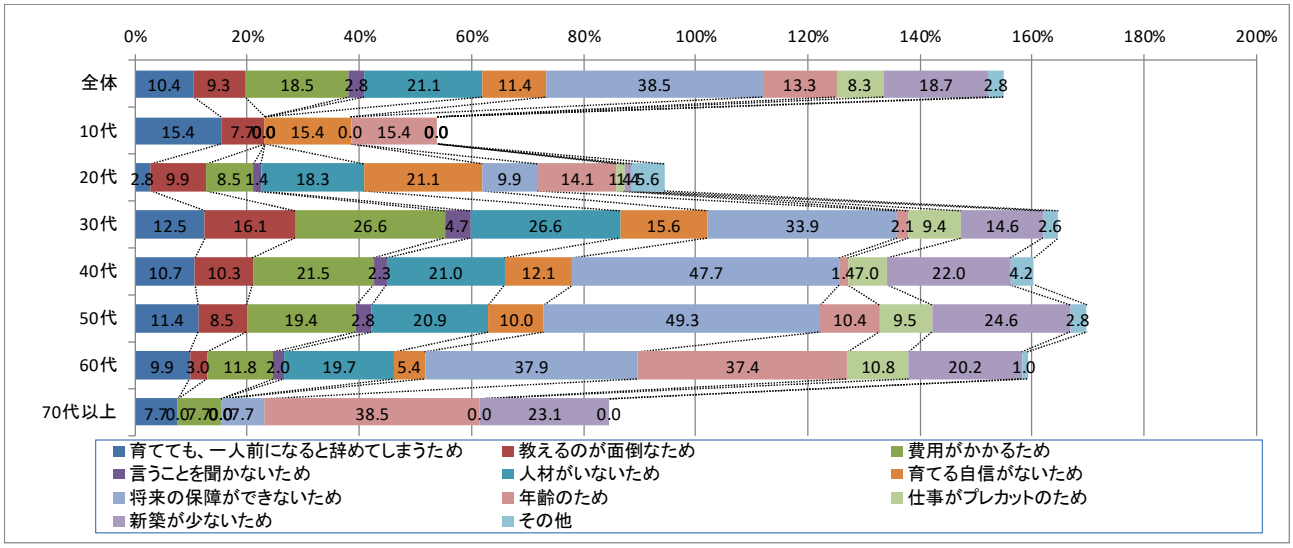


図 3.3.21 なぜ育てる予定はないのか（H28 年度）

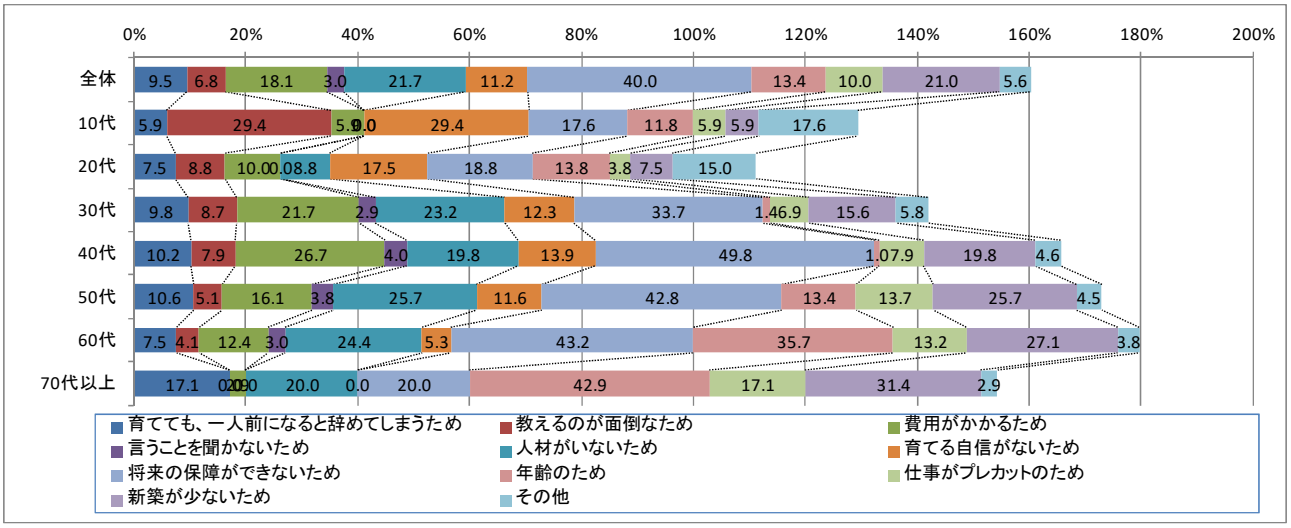


図 3.3.21♯ なぜ育てる予定はないのか（H27 年度）

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について，１人／月当たりどの程度必要と考えますか。

担い手の育成にかかる費用の公的補助については，「10 代」では「5 万円/月」（14.3%）の割合が大きく，「20 代」から「70 代以上」の年齢層では「10 万円/月」と回答した割合が大きかった。

		合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
			3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
全体		3253	4.2	14.2	27.7	17.5	3.1	33.3
年齢	10代	49	4.1	14.3	12.2	6.1	6.1	57.1
	20代	334	5.1	12.3	18.9	12.3	4.2	47.3
	30代	838	3.7	17.2	27.6	19.9	2.7	28.9
	40代	819	3.7	14.5	33.2	23.1	2.4	23.1
	50代	588	4.8	14.3	30.4	16.8	3.6	30.1
	60代	530	4.5	11.7	23.8	12.1	3.4	44.5
	70代以上	61	8.2	8.2	27.9	4.9	1.6	49.2

表 3.3.22 公的補助について，１人／月当たりどの程度必要か（H28 年度）　（割合%）

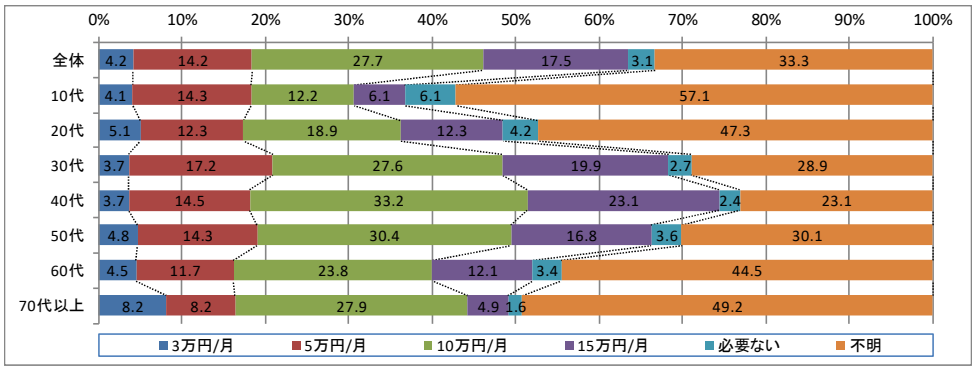


図 3.3.22 公的補助について，１人／月当たりどの程度必要か（H28 年度）

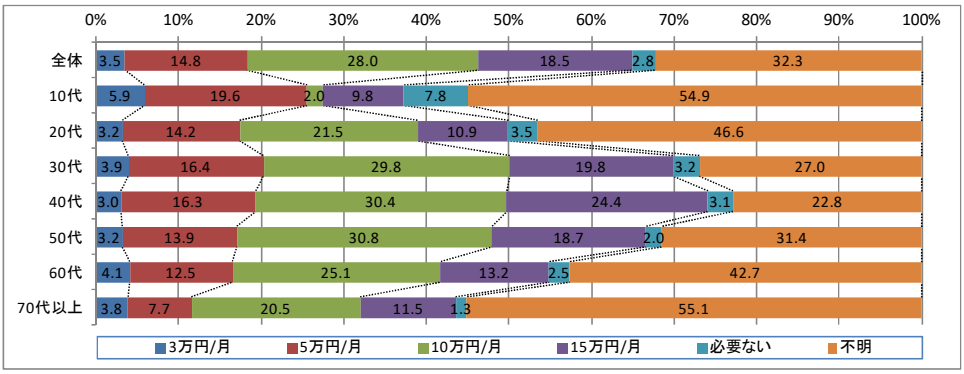


図 3.3.22ｷ 公的補助について，１人／月当たりどの程度必要か（H27 年度）

4.　経験年数別集計

（１）職業等について

①職種においてベテランだと思いますか。

「ベテラン」と回答した割合が大きい経験年数は「41～50 年」（52.5%）。
「ややベテラン」と回答した割合が大きい経験年数は「31～40 年」（37.8%）。
「中堅」と回答した割合が大きい経験年数は「11～20 年」（54.8%）。
「やや中堅」と回答した割合が大きい経験年数は「6～10 年」（41.7%）。
「見習い」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」（81.6%）。

		合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
			ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体		3253	19.8	20.5	32.6	11.0	13.2	3.0
経験年数	5年未満	391	0.8	0.8	3.6	11.0	81.6	2.3
	6～10年	247	1.6	3.2	31.6	41.7	20.2	1.6
	11～20年	820	5.5	13.0	54.8	18.0	4.4	4.3
	21～30年	755	17.1	29.0	44.9	5.7	2.0	1.3
	31～40年	497	36.6	37.8	20.9	2.4	0.2	2.0
	41～50年	432	52.5	27.3	13.2	1.9	1.2	3.9
	51年以上	103	50.5	21.4	17.5	1.9	1.0	7.8

表 3.4.1 職種のベテラン度合（H28 年度）　（割合%）

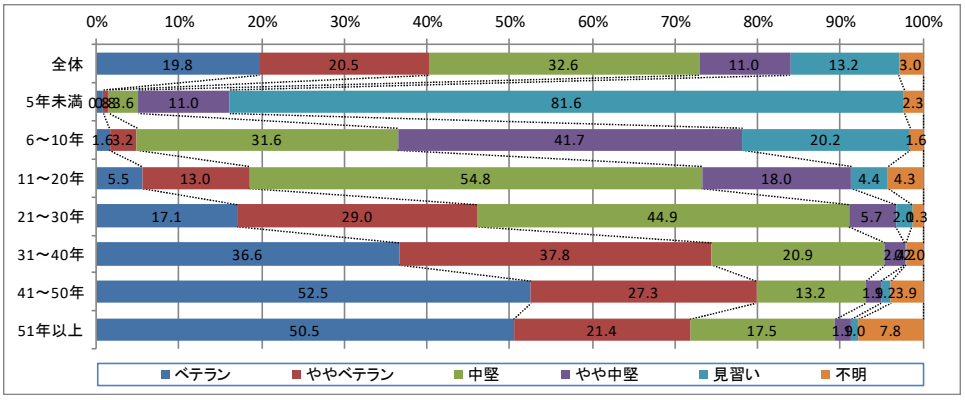


図 3.4.1 職種のベテラン度合（H28 年度）

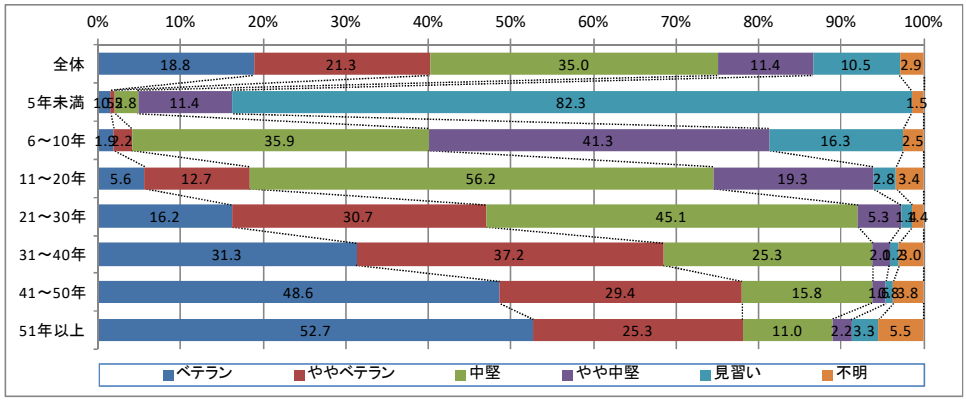


図 3.4.1♯ 職種のベテラン度合（H27 年度）

（２）雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

「工務店社員」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」（75.2%）。
「外注常用（日当制）」と回答した割合が大きい経験年数は「41～50 年」（14.4%）。
「外注常用（坪請主体）」と回答した割合が大きい経験年数は「21～30 年」（13.1%）。
「その都度契約」と回答した割合が大きい経験年数は「11～20 年」（5.0%）。
「元請として仕事」と回答した割合が大きい経験年数は「51 年以上」（62.1%）。
「その他（アルバイト等）」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」（3.1%）。

		合計	(6)あなたの雇用形態						
			工務店社員	外注常用（日当制）	外注常用（坪請主体）	その都度契約	元請として仕事	その他（アルバイト等）	不明
全体		3253	40.3	10.3	8.4	3.7	33.5	0.9	2.9
経験年数	5年未満	391	75.2	7.9	0.5	1.0	6.6	3.1	5.6
	6～10年	247	68.4	8.5	4.0	2.8	13.0	1.2	2.0
	11～20年	820	46.8	10.6	9.3	5.0	26.0	0.7	1.6
	21～30年	755	31.8	8.7	13.1	4.2	40.0	0.3	1.9
	31～40年	497	25.8	11.7	8.5	3.6	46.3	0.6	3.6
	41～50年	432	17.6	14.4	8.6	3.7	51.6	0.7	3.5
	51年以上	103	15.5	8.7	6.8	1.9	62.1	0.0	4.9

表 3.4.2 雇用形態（H28 年度）　（割合%）

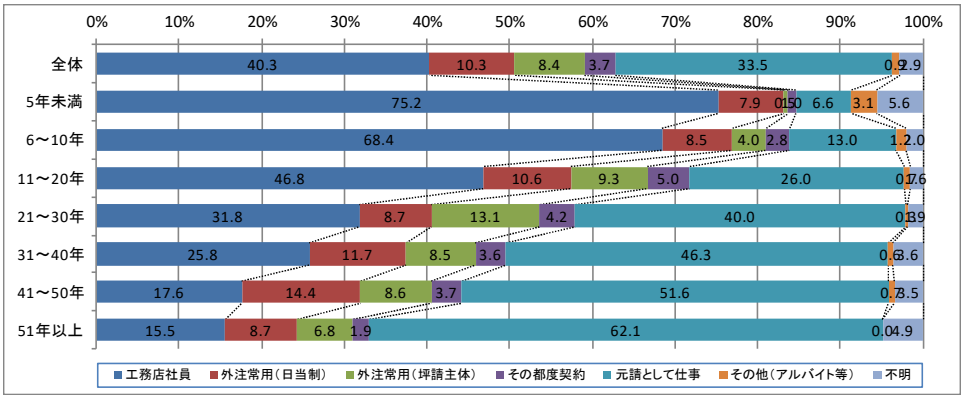


図 3.4.2 雇用形態（H28 年度）

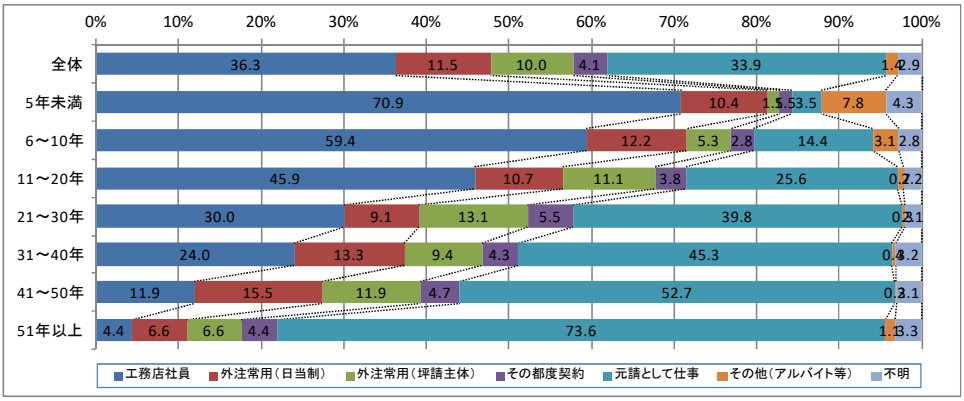


図 3.4.2♯ 雇用形態（H27 年度）

②就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」（46.3%）。
就業規則が「無い」と回答した割合が大きい経験年数は「21~30 年」（59.3%）。

		合計	(7)就業規則		
			有	無	不明
	全体	3253	29.2	50.0	20.8
経験年数	5年未満	391	46.3	28.6	25.1
	6～10年	247	37.2	40.1	22.7
	11～20年	820	28.9	54.6	16.5
	21～30年	755	25.2	59.3	15.5
	31～40年	497	22.3	52.9	24.7
	41～50年	432	25.7	49.8	24.5
	51年以上	103	27.2	36.9	35.9

表 3.4.3 就業規則（H28 年度）　（割合%）

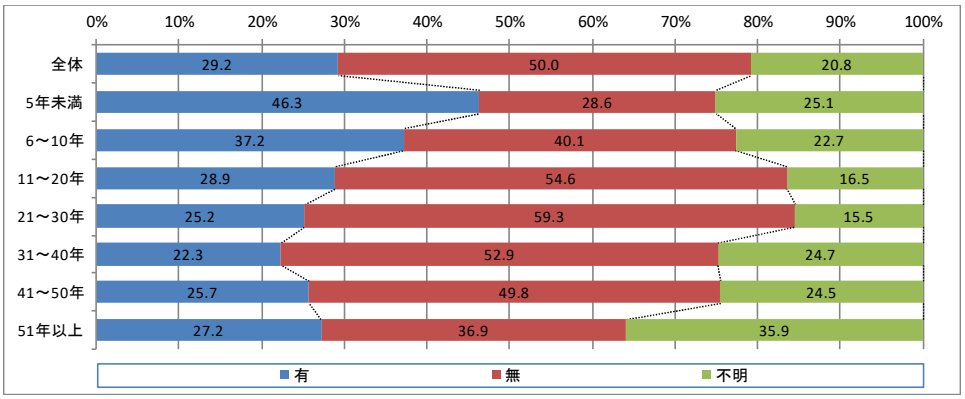


図 3.4.3 就業規則（H28 年度）

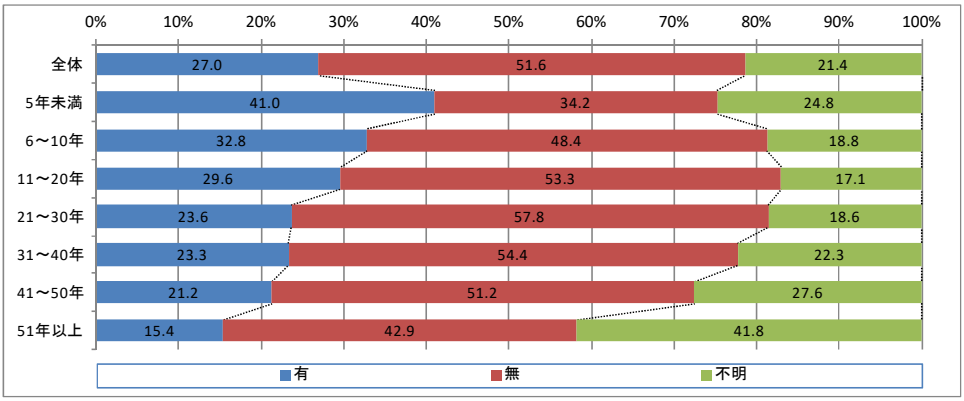


図 3.4.3♯ 就業規則（H27 年度）

③有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」（31.5%）。他方で，6 年以上の大工では 10%台あった。

有給休暇が「無い」と回答した割合が大きい経験年数は「11~20 年」（70.1%），次いで「21～30 年」（69.3%），「6～10 年」（66.0%）であり，経験年数 6 年～30 年の大工は約 70%が有給休暇がないという結果であった。

		合計	(8)有給休暇		
			有	無	不明
	全体	3253	15.3	61.7	23.0
経験年数	5年未満	391	31.5	46.8	21.7
	6～10年	247	17.4	66.0	16.6
	11～20年	820	14.5	70.1	15.4
	21～30年	755	13.0	69.3	17.7
	31～40年	497	10.5	59.4	30.2
	41～50年	432	10.9	51.9	37.3
	51年以上	103	12.6	38.8	48.5

表 3.4.4 有給休暇（H28 年度）　（割合%）

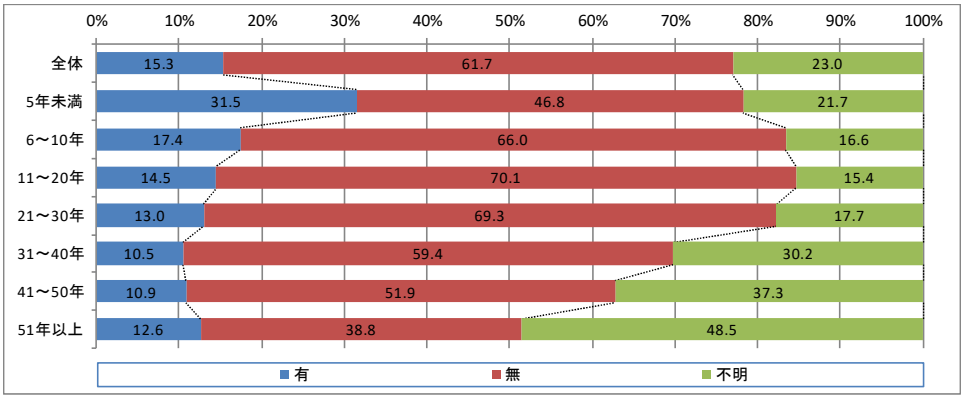


図 3.4.4 有給休暇（H28 年度）

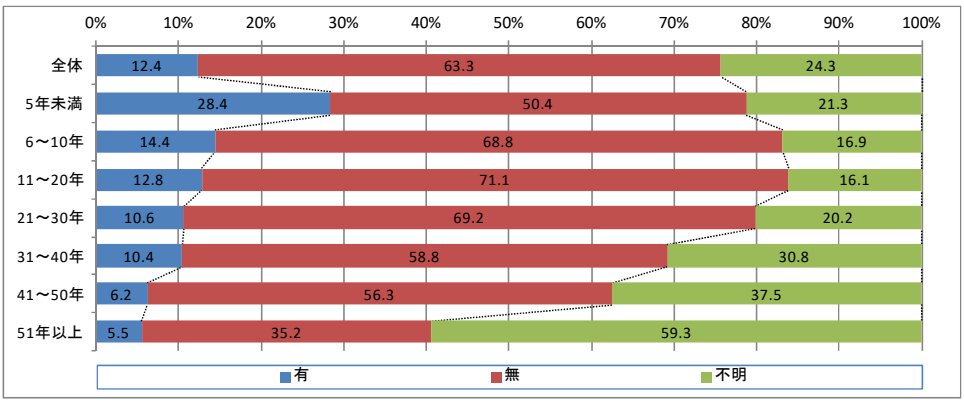


図 3.4.4♯ 有給休暇（H27 年度）

④年間就業日数

平均年間就業日数が最も多い経験年数は「11～20 年」で 273.58 日。

平均年間就業日数が最も少ない経験年数は「51 年以上」で 237.06 日。

		合計	(9)年間就業日数							
			100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	平均
	全体	3253	2.9	0.8	0.5	5.7	18.5	26.2	45.5	266.22
経験年数	5年未満	391	3.6	2.3	0.0	4.9	12.8	26.1	50.4	258.71
	6～10年	247	3.6	1.2	0.0	1.2	16.2	30.0	47.8	268.55
	11～20年	820	2.9	0.6	0.4	3.5	20.4	31.1	41.1	273.58
	21～30年	755	3.4	0.4	0.3	4.5	16.7	32.8	41.9	271.35
	31～40年	497	2.0	0.2	0.4	7.2	21.5	19.3	49.3	265.42
	41～50年	432	1.9	0.7	1.6	11.1	22.5	14.8	47.5	252.89
	51年以上	103	1.9	1.9	2.9	15.5	12.6	12.6	52.4	237.06

表 3.4.5 年間就業日数（H28 年度）　（割合%）

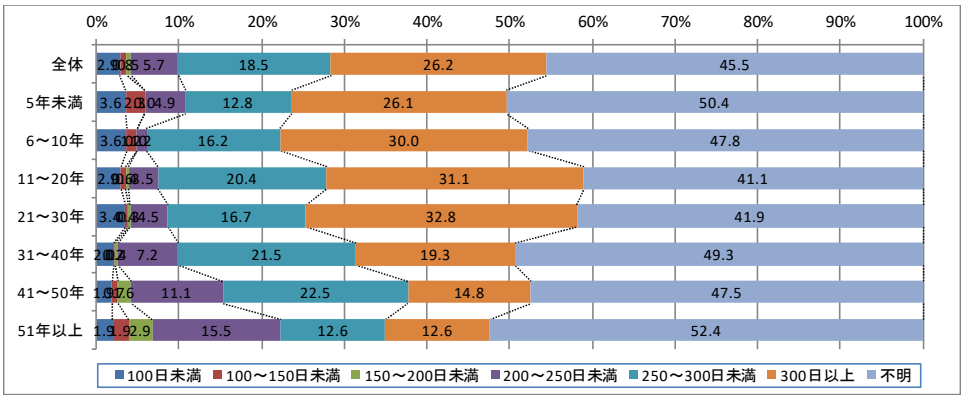


図 3.4.5 年間就業日数（H28 年度）

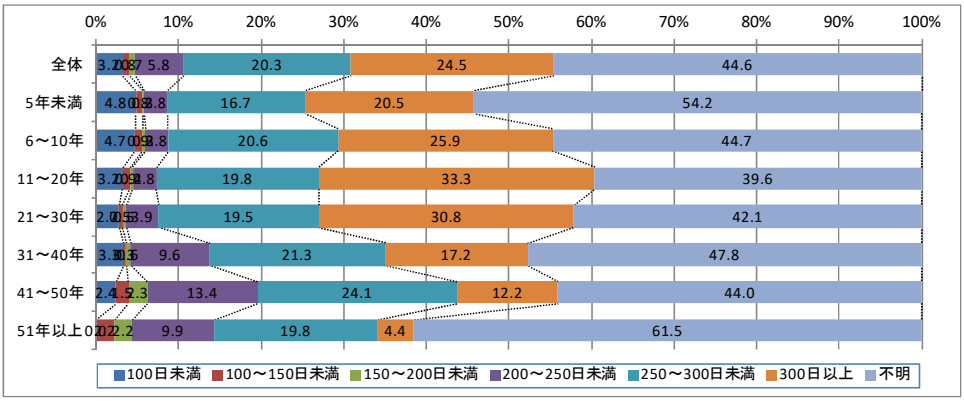


図 3.4.5♯ 年間就業日数（H27 年度）

⑤賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

賃金の中に含まれ、自己負担となっているものの割合の合計値が大きい経験年数は「41~50 年」(288.9%)。最も小さいのは「5 年未満」(189.3%)。

「手道具」、「電動工具」は 60～70%の大工が自己負担をしている。

「クギ金物」は経験年数「11～20 年」以上では約 2～3 割の大工が自己負担をしている。

「車 (保険含む)」、「ガソリン」は経験年数「11～20 年」以上の大工では約半数が自己負担している。

		合計	(11)自己負担となっているもの						
			手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
	全体	3253	69.8	63.0	21.0	49.1	47.8	15.5	8.8
経験年数	5年未満	391	67.3	49.4	4.9	36.1	31.7	16.9	7.2
	6～10年	247	65.6	54.7	9.3	35.6	36.0	19.4	8.5
	11～20年	820	73.3	67.4	21.2	51.8	49.6	15.6	6.1
	21～30年	755	69.0	65.3	26.4	51.1	50.5	15.9	8.7
	31～40年	497	68.4	62.2	23.3	50.7	50.9	16.1	11.3
	41～50年	432	73.1	70.1	28.9	58.8	57.9	10.6	10.0
	51年以上	103	61.2	55.3	26.2	47.6	47.6	15.5	20.4

表 3.4.6 自己負担となっているもの（H28 年度）　（割合%）

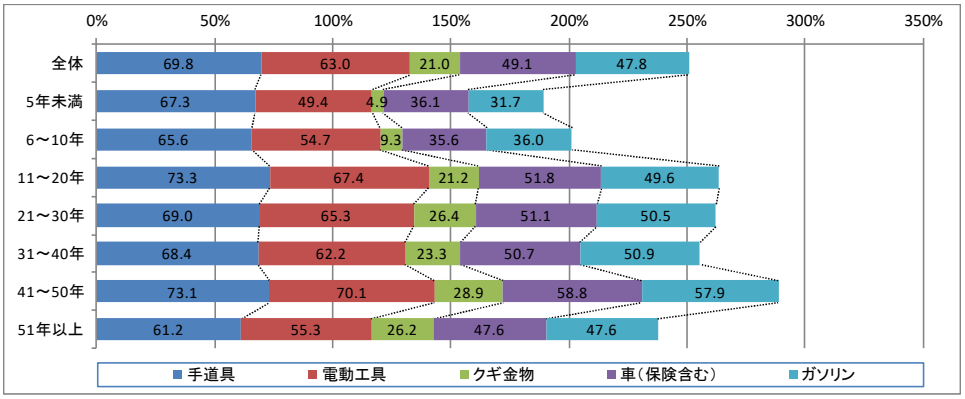


図 3.4.6 自己負担となっているもの（H28 年度）

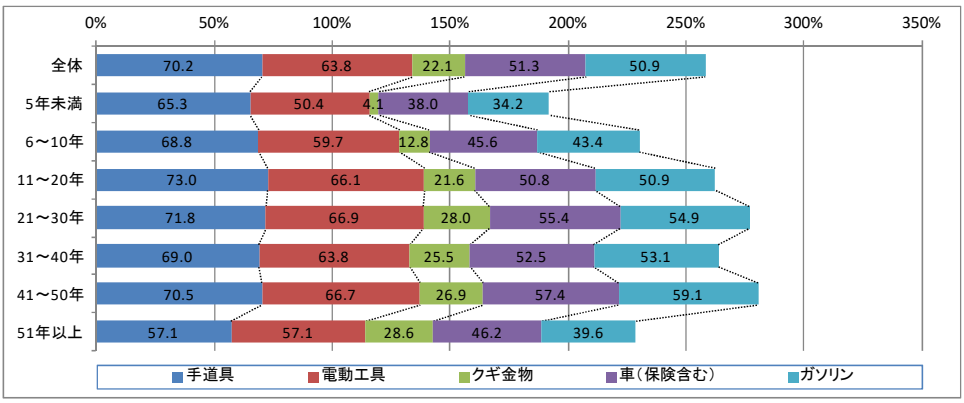


図 3.4.6♯ 自己負担となっているもの（H27 年度）

⑥おおよその賃金（諸経費が含まれた１日あたりの平均単価）

平均賃金が最も高かった経験年数は「21~30 年」で 16,739 円。

平均賃金が最も低かった経験年数は「5 年未満」で 9,764 円。

		合計	(12)1日あたりのおおよその賃金						
			8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明
全体		3253	6.2	7.7	35.2	33.8	9.2	2.3	5.7
経験年数	5年未満	391	37.6	31.5	18.4	3.3	0.5	0.5	8.2
	6～10年	247	5.3	13.0	57.1	13.8	3.6	0.0	7.3
	11～20年	820	1.1	5.2	44.8	34.1	8.0	2.6	4.1
	21～30年	755	1.3	2.9	28.5	43.0	14.2	4.9	5.2
	31～40年	497	1.4	2.4	31.0	45.1	13.5	1.6	5.0
	41～50年	432	2.8	3.2	35.9	42.4	8.8	0.7	6.3
	51年以上	103	3.9	2.9	35.0	38.8	9.7	1.9	7.8

表 3.4.7　１日当たりのおおよその賃金（H28 年度）　　（割合%）

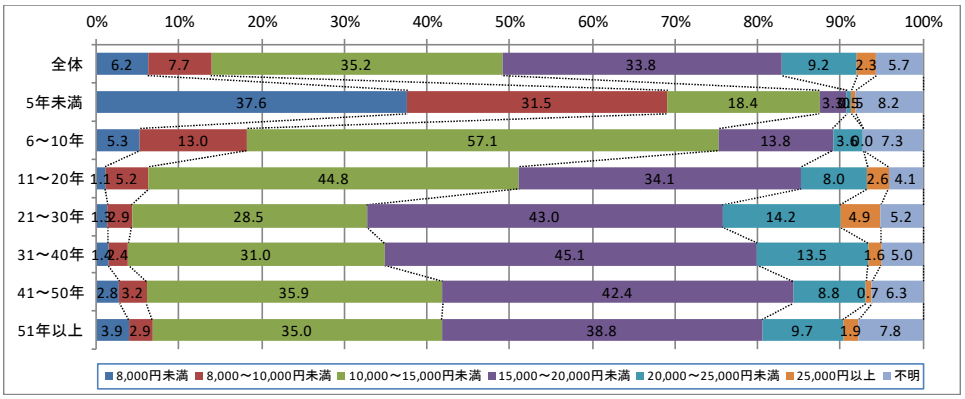


図 3.4.7　１日当たりのおおよその賃金（H28 年度）

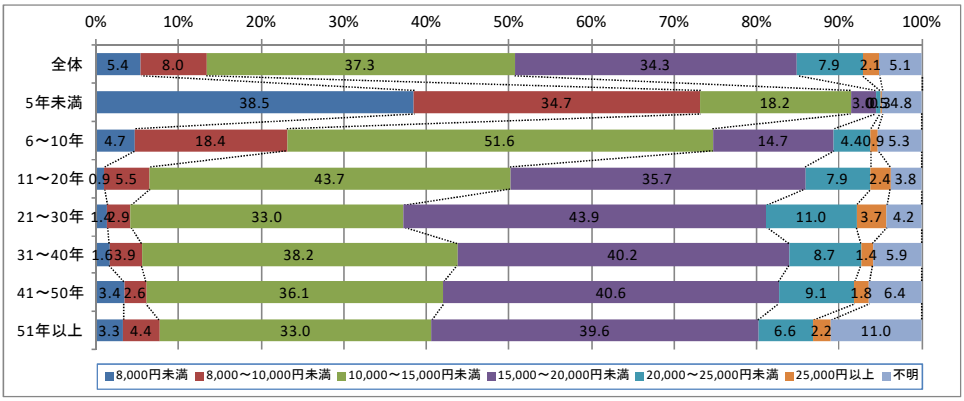


図 3.4.7♯　１日当たりのおおよその賃金（H27 年度）

（3）資格や技能について

①持っている資格

持っている資格の割合の合計が大きい経験年数は「51 年以上」で 376.7%。

持っている資格の割合の合計が小さい経験年数は「5 年未満」で 85.4%。

		合計	(13)お持ちの資格														
			1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級･2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
	全体	3253	5.4	29.5	3.0	4.2	13.7	22.9	2.0	11.2	7.0	36.8	38.5	43.3	18.2	10.5	20.0
経験年数	5年未満	391	1.3	5.9	0.5	0.5	2.0	9.5	0.0	0.5	0.3	11.0	5.9	35.0	11.8	1.3	52.2
	6～10年	247	4.5	22.7	1.2	2.8	10.5	26.3	1.2	1.6	0.4	22.3	21.1	43.7	14.6	3.6	27.1
	11～20年	820	4.3	30.6	1.3	5.1	11.8	27.3	1.8	7.8	4.6	37.2	40.5	49.0	17.2	8.7	15.5
	21～30年	755	7.9	36.8	1.9	4.5	13.6	19.5	1.1	7.5	7.0	38.8	41.7	41.7	17.2	9.8	15.5
	31～40年	497	9.9	33.6	5.8	6.0	19.9	21.7	2.2	13.9	10.1	43.9	45.5	42.3	24.5	13.9	13.1
	41～50年	432	3.2	33.1	6.9	3.7	20.4	30.8	5.6	30.3	13.2	50.2	58.3	44.2	20.6	19.7	13.2
	51年以上	103	2.9	37.9	8.7	3.9	23.3	29.1	3.9	35.9	26.2	61.2	50.5	41.7	24.3	27.2	11.7

表 3.4.8 持っている資格（H28 年度）　（割合%）

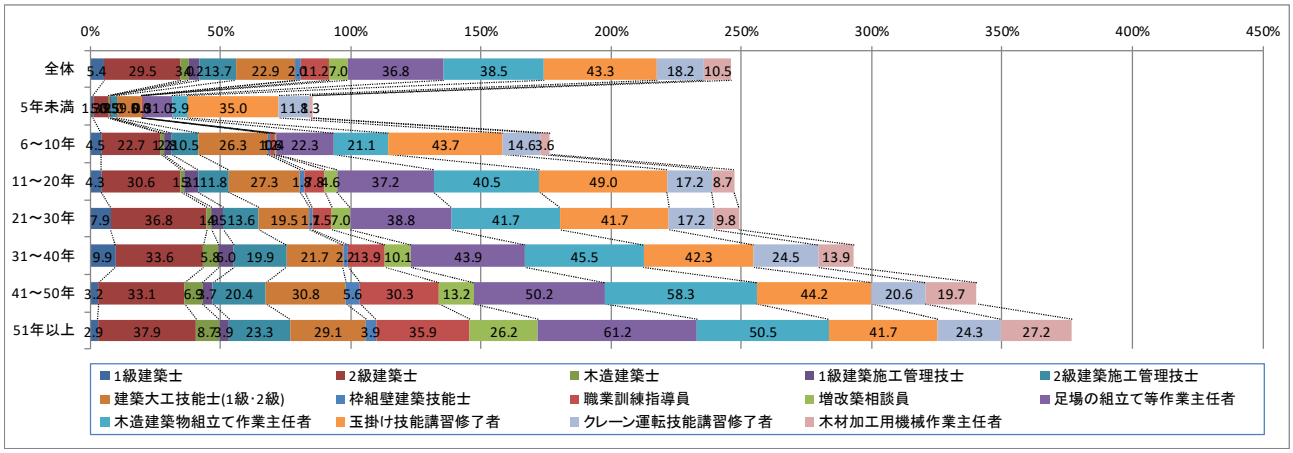


図 3.4.8 持っている資格（H28 年度）

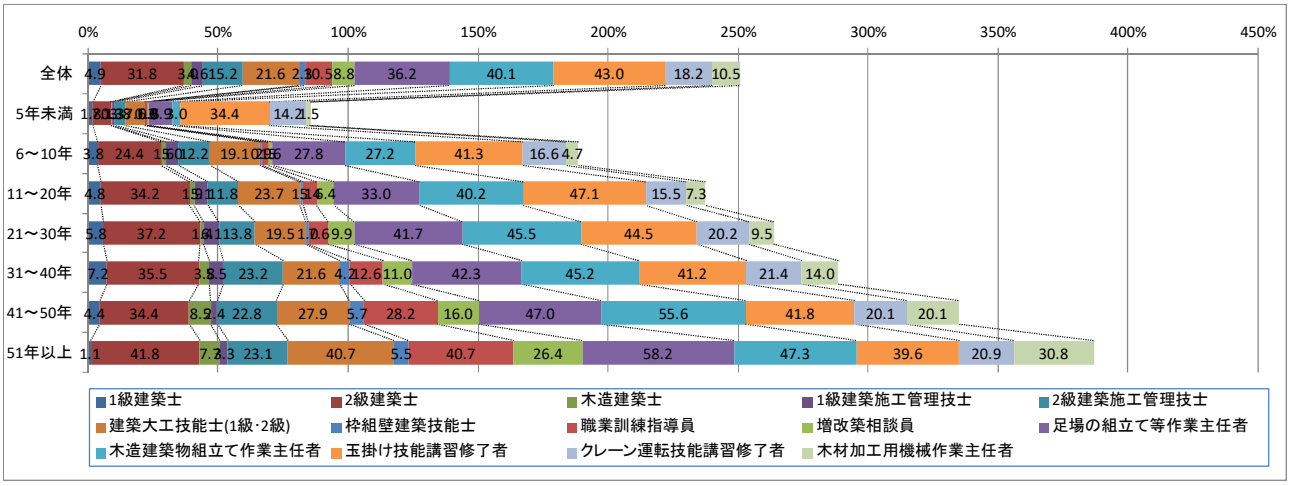


図 3.4.8♯ 持っている資格（H27 年度）

②大工職のみ回答　墨付けができますか。

墨付けについて「はい」と回答した割合が大きい経験年数は「41～50 年」(84.3%)。
墨付けについて「いいえ」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」(52.4%)。

		合計	(14)①墨付けができますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	69.9	15.9	14.3
経験年数	5年未満	391	30.7	52.4	16.9
	6～10年	247	43.3	38.9	17.8
	11～20年	820	69.9	17.7	12.4
	21～30年	755	82.3	6.6	11.1
	31～40年	497	81.5	3.0	15.5
	41～50年	432	84.3	0.5	15.3
	51年以上	103	77.7	1.0	21.4

表 3.4.9 墨付け（H28 年度）　（割合%）

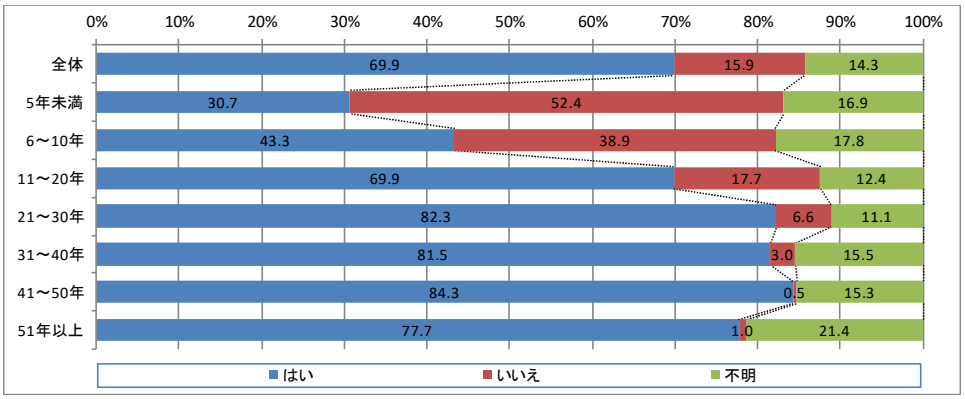


図 3.4.9 墨付け（H28 年度）

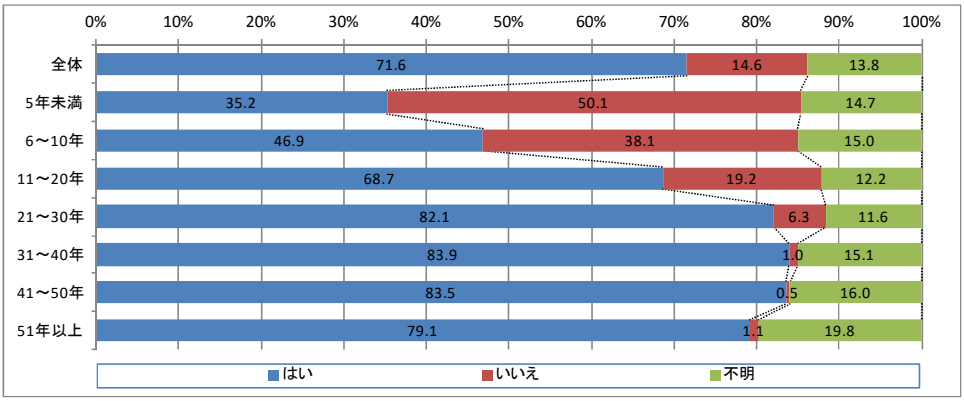


図 3.4.9♯ 墨付け（H27 年度）

③大工職のみ回答　今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（新築）

新築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が大きい経験年数は「51 年以上」（37.9%）。「いいえ」と回答した割合が大きい経験年数は「11～20 年」（67.8%）。

		合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	24.1	60.3	15.6
経験年数	5年未満	391	21.7	59.6	18.7
	6～10年	247	23.9	57.1	19.0
	11～20年	820	20.4	67.8	11.8
	21～30年	755	20.3	66.8	13.0
	31～40年	497	29.0	53.7	17.3
	41～50年	432	31.0	50.5	18.5
	51年以上	103	37.9	37.9	24.3

表 3.4.10 手刻み加工の仕事（新築）（H28 年度）　（割合%）

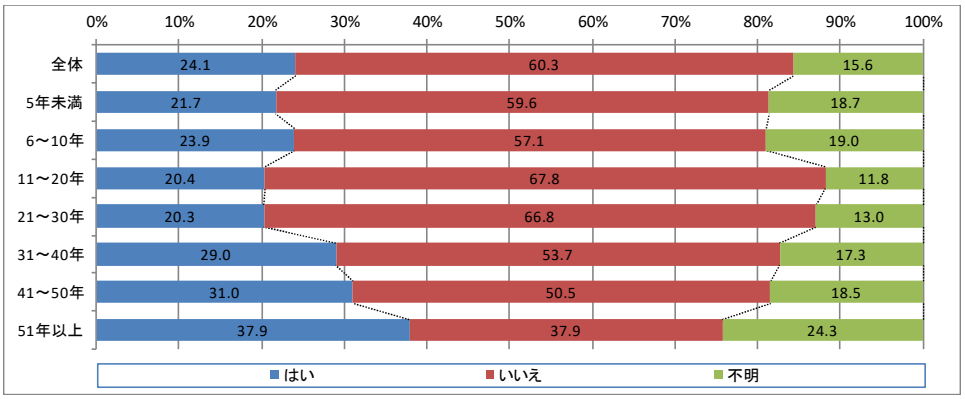


図 3.4.10 手刻み加工の仕事（新築）（H28 年度）

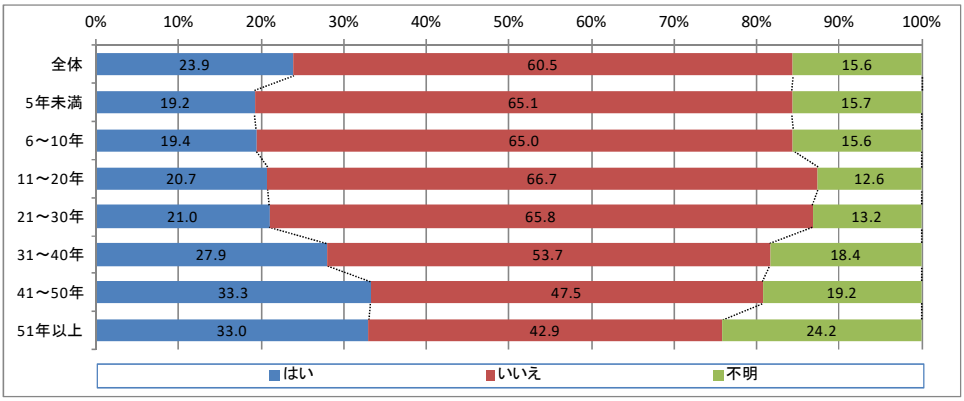


図 3.4.10♯ 手刻み加工の仕事（新築）（H27 年度）

④大工職のみ回答　今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（増改築）

増改築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が大きい経験年数は「41～50 年」（53.9%）。「いいえ」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」（50.6%）。

		合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
全体		3253	46.4	37.8	15.8
経験年数	5年未満	391	30.4	50.6	18.9
	6～10年	247	39.3	41.7	19.0
	11～20年	820	45.1	42.9	12.0
	21～30年	755	50.3	37.2	12.5
	31～40年	497	51.1	30.8	18.1
	41～50年	432	53.9	27.8	18.3
	51年以上	103	52.4	20.4	27.2

表 3.4.11 手刻み加工の仕事（増改築）（H28 年度）　（割合%）

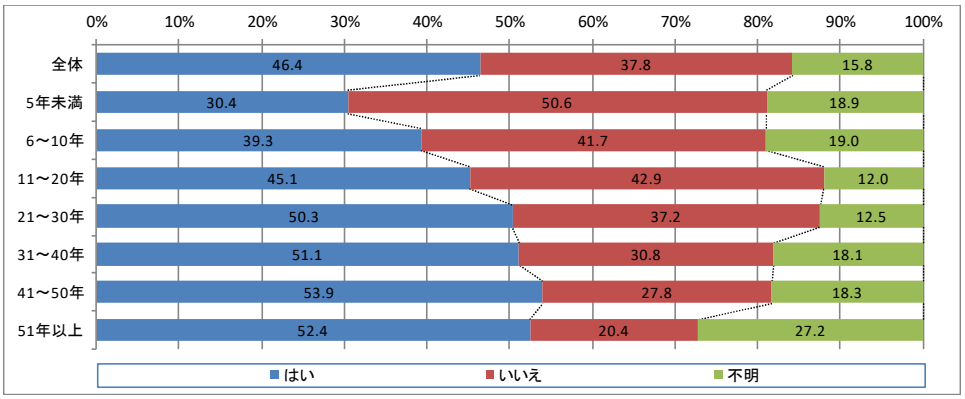


図 3.4.11 手刻み加工の仕事（増改築）（H28 年度）

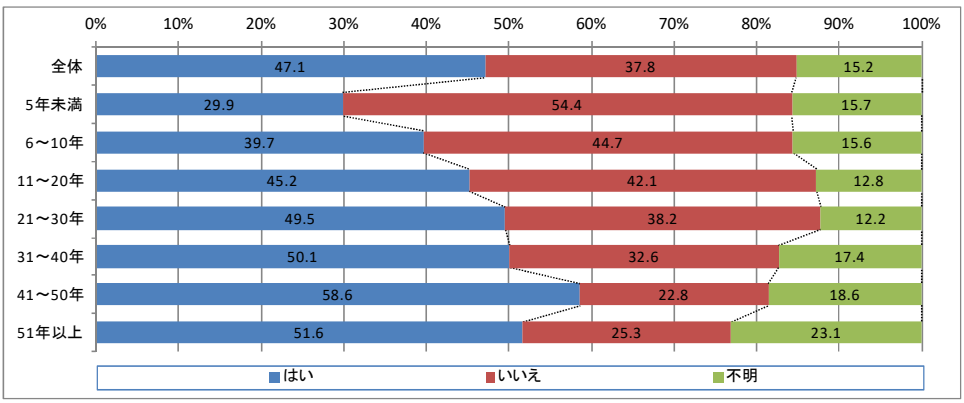


図 3.4.11♯ 手刻み加工の仕事（増改築）（H27 年度）

⑤大工職のみ回答　和室造作ができますか。

和室造作の技能について「はい」と回答した割合が大きい経験年数は「41～50 年」（82.2%）。「いいえ」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」（73.1%）。

		合計	(14)④和室造作ができますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	64.7	20.0	15.3
経験年数	5年未満	391	9.2	73.1	17.6
	6～10年	247	29.6	51.0	19.4
	11～20年	820	68.5	18.8	12.7
	21～30年	755	79.1	7.8	13.1
	31～40年	497	80.5	3.2	16.3
	41～50年	432	82.2	1.4	16.4
	51年以上	103	75.7	1.9	22.3

表 3.4.12 和室造作（H28 年度）　（割合%）

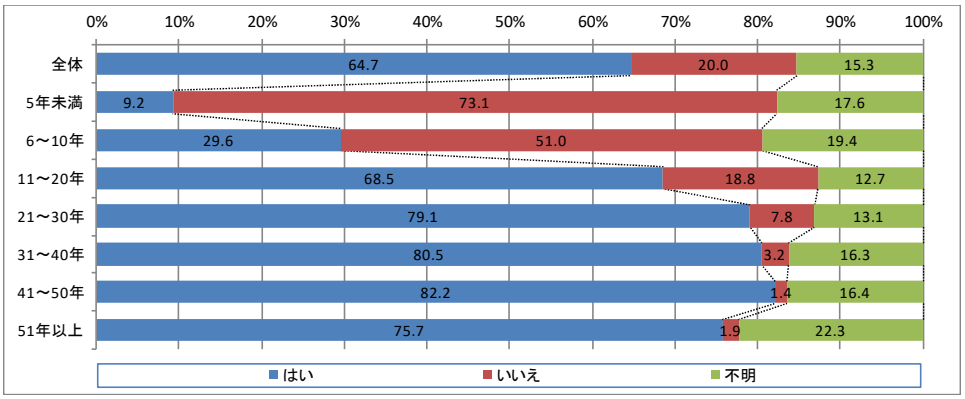


図 3.4.12 和室造作（H28 年度）

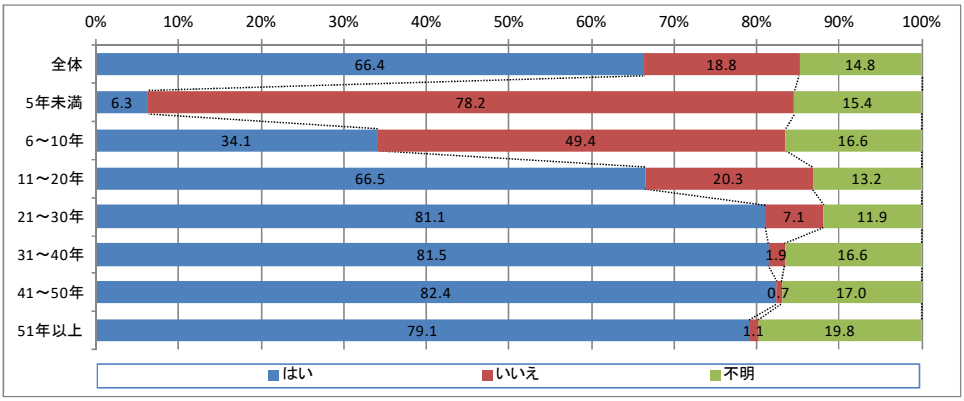


図 3.4.12♯ 和室造作（H27 年度）

⑥大工職のみ回答　2×4 工法の住宅の施工ができますか

2×4 工法の住宅の施工技能ついて「はい」と回答した割合が大きい経験年数は「41～50 年」(36.6%)。「いいえ」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」(69.6%)。

		合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		3253	26.7	56.4	16.9
経験年数	5年未満	391	11.5	69.6	18.9
	6～10年	247	17.0	62.8	20.2
	11～20年	820	24.3	62.3	13.4
	21～30年	755	31.3	55.2	13.5
	31～40年	497	31.4	49.5	19.1
	41～50年	432	36.6	43.1	20.4
	51年以上	103	30.1	43.7	26.2

表 3.4.13 2×4 工法の住宅の施工（H28 年度）　（割合%）

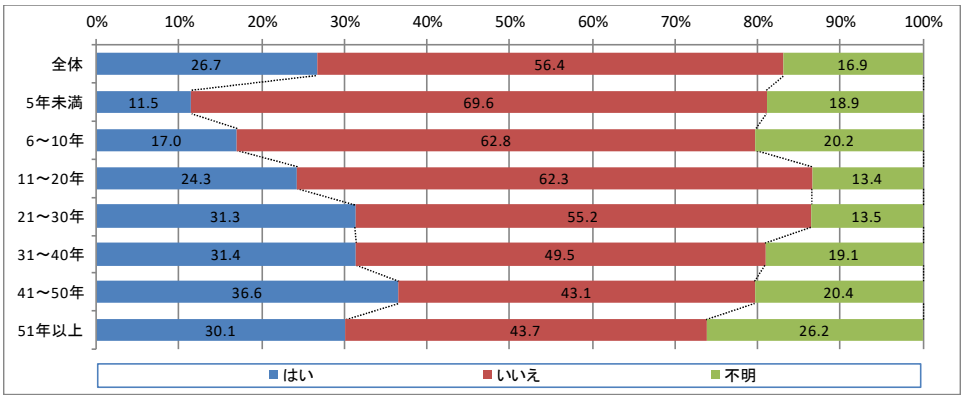


図 3.4.13 2×4 工法の住宅の施工（H28 年度）

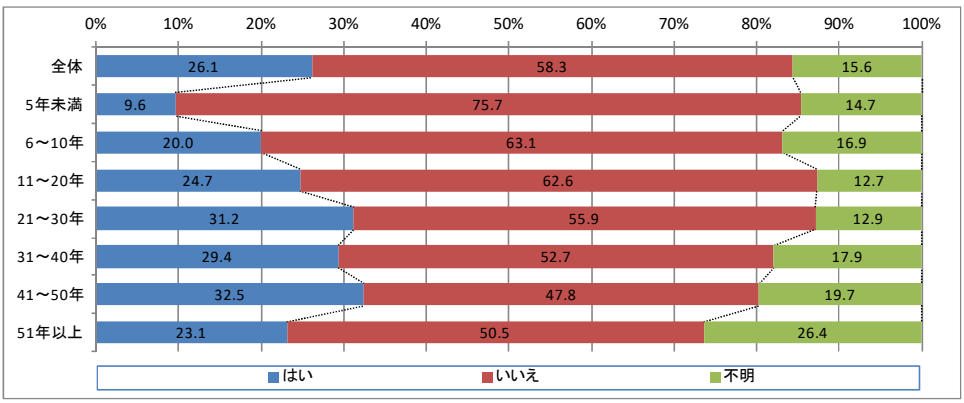


図 3.4.13♯　2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）

（4）仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」と回答した割合が最も高い経験年数は「5 年未満」（67.3%）。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30 年」（32.2%）。

		合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体		3253	10.8	48.9	23.5	5.4	11.4
経験年数	5年未満	391	18.9	48.3	18.2	5.1	9.5
	6～10年	247	10.1	49.4	23.1	4.5	13.0
	11～20年	820	8.5	51.0	25.5	6.1	8.9
	21～30年	755	10.1	49.0	26.5	5.7	8.7
	31～40年	497	7.8	49.1	24.1	5.4	13.5
	41～50年	432	11.3	45.4	22.2	5.1	16.0
	51年以上	103	16.5	47.6	9.7	1.9	24.3

表 3.4.14 仕事の内容についての満足度（H28 年度）　（割合%）

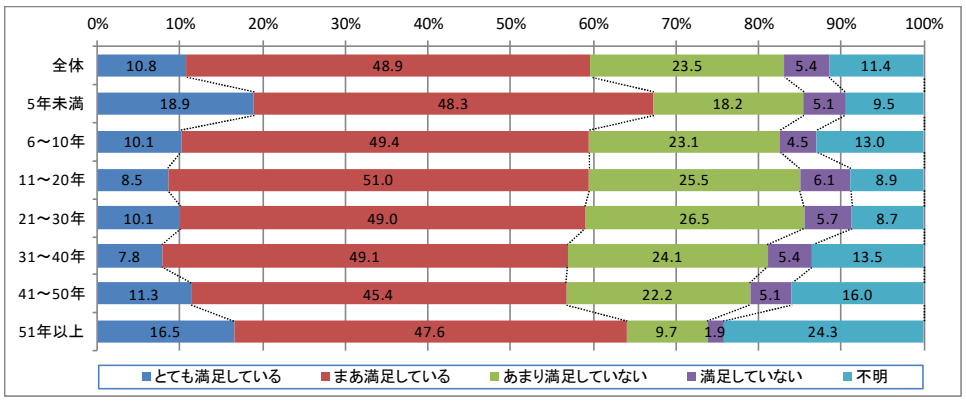


図 3.4.14 仕事の内容についての満足度（H28 年度）

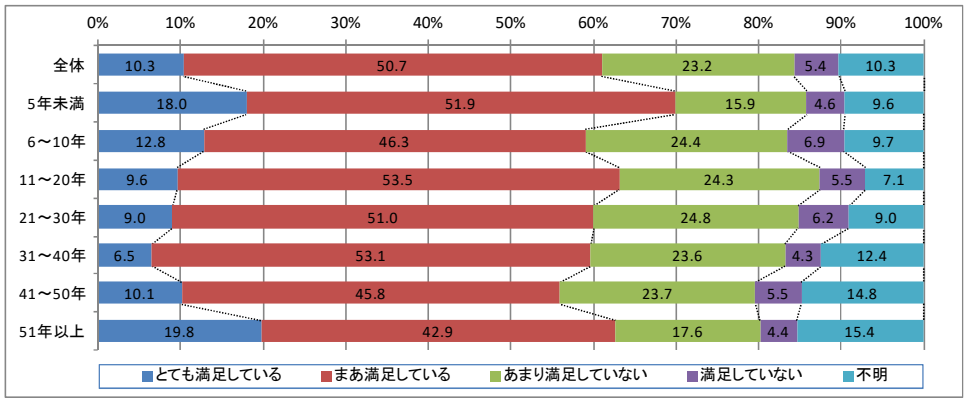


図 3.4.14♯ 仕事の内容についての満足度（H27 年度）

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」と回答した割合が大きい経験年数は「51 年以上」（46.6%）。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」と回答した割合が大きい経験年数は「11～20 年」（58.3%）。

		合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体		3253	4.1	31.4	38.1	15.5	11.1
経験年数	5年未満	391	7.4	33.2	28.9	21.2	9.2
	6～10年	247	3.6	34.8	34.8	13.8	13.0
	11～20年	820	4.0	29.4	43.5	14.8	8.3
	21～30年	755	3.8	30.9	40.9	16.0	8.3
	31～40年	497	2.8	31.8	37.4	14.9	13.1
	41～50年	432	3.2	29.2	37.5	14.4	15.7
	51年以上	103	3.9	42.7	23.3	5.8	24.3

表 3.4.15 収入等についての満足度（H28 年度）　（割合%）

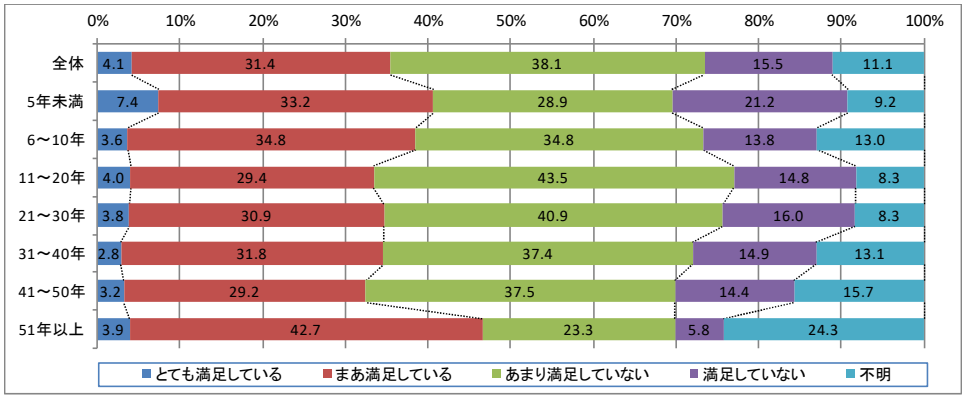


図 3.4.15 収入等についての満足度（H28 年度）

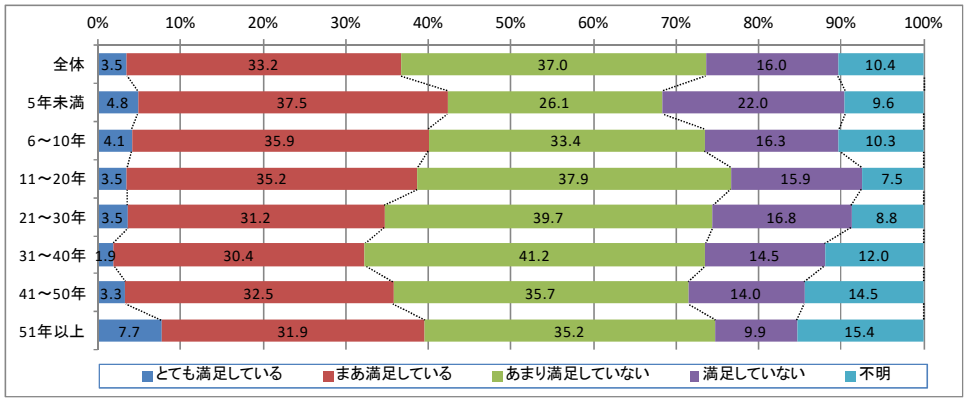


図 3.4.15♯ 収入等についての満足度（H27 年度）

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事が出来る限り続ける」と回答した割合が大きい経験年数は「5 年未満」(65.2%)。
「60 歳で引退する」の割合が大きいのは「11～20 年」(11.2%)。
「65 歳で引退する」の割合が大きいのは「31~40 年」(20.3%)。
「70 歳で引退する」の割合が大きいのは「41~50 年」(29.2%)。

		合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
			60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事が出来る限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
	全体	3253	6.4	15.7	11.6	3.2	50.4	0.7	12.0
経験年数	5年未満	391	7.4	9.5	3.3	1.0	65.2	1.5	12.0
	6～10年	247	5.7	14.6	3.2	0.8	58.7	2.0	15.0
	11～20年	820	11.2	17.6	5.9	0.6	54.5	0.6	9.6
	21～30年	755	6.8	19.9	8.6	1.7	53.4	0.5	9.1
	31～40年	497	3.8	20.3	19.9	2.8	39.8	0.2	13.1
	41～50年	432	0.5	8.6	29.2	11.3	34.5	0.7	15.3
	51年以上	103	0.0	3.9	16.5	16.5	39.8	0.0	23.3

表 3.4.16 何歳まで仕事を続ける予定か（H28 年度）　（割合%）

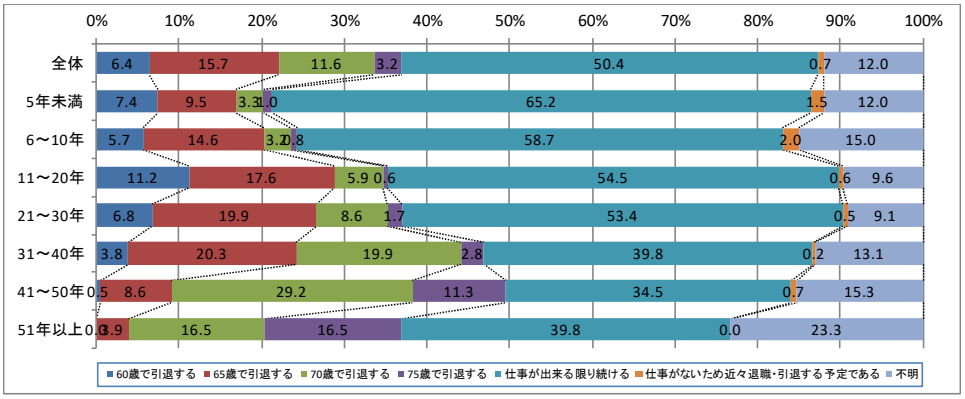


図 3.4.16 何歳まで仕事を続ける予定か（H28 年度）

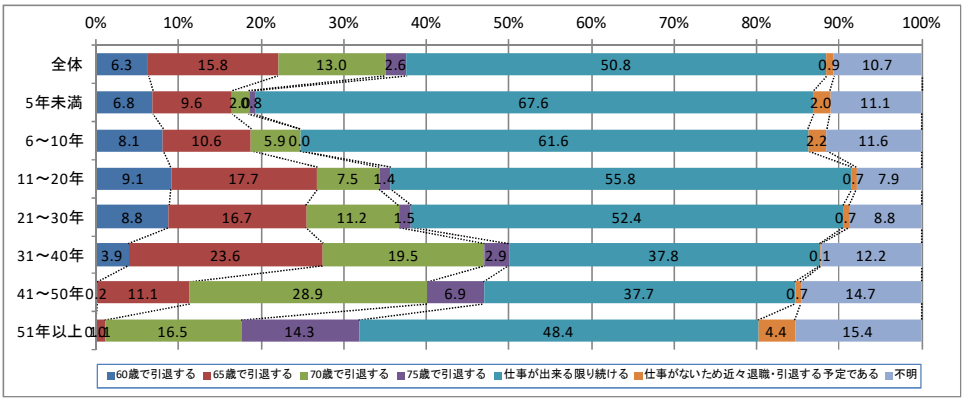


図 3.4.16♯ 何歳まで仕事を続ける予定か（H27 年度）

（５）担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50 年」（20.1%）。

「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」と回答した割合が最も高い経験年数は「11~20 年」（49.8%）。

「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」と回答した割合が最も高い経験年数は「31～40 年」（36.2%）。

		合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
			現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体		3253	15.3	39.4	28.4	16.9
経験年数	5年未満	391	7.9	32.7	21.5	37.9
	6～10年	247	11.3	45.7	21.1	21.9
	11～20年	820	13.9	49.8	25.7	10.6
	21～30年	755	17.4	45.2	27.4	10.1
	31～40年	497	17.7	30.4	36.2	15.7
	41～50年	432	20.1	26.2	35.6	18.1
	51年以上	103	17.5	25.2	33.0	24.3

表 3.4.17 担い手の育成状況（H28 年度）　（割合%）

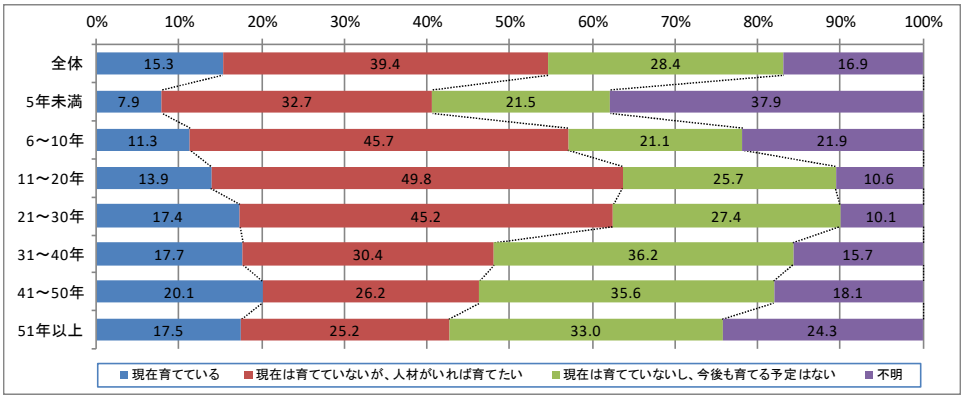


図 3.4.17 担い手の育成状況（H28 年度）

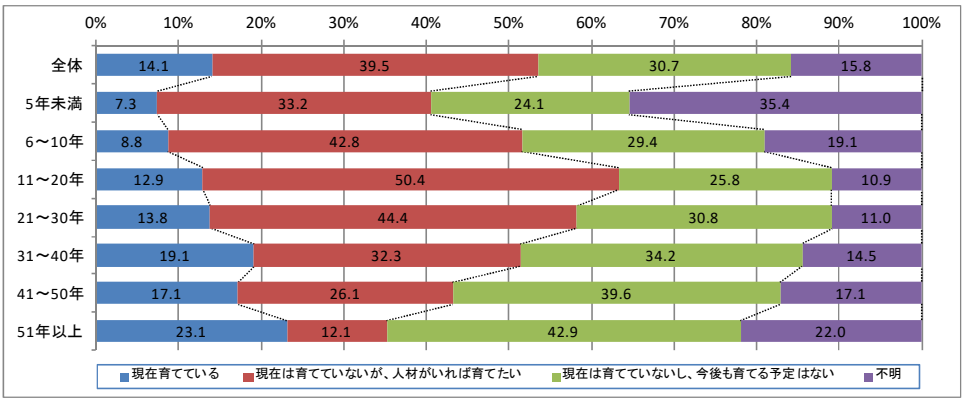


図 3.4.17♯ 担い手の育成状況（H27 年度）

②「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い経験年数は「5 年未満」（45.2%）。

「正社員（弟子として）」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30 年」（74.0%）。

「一人親方にあずける（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い経験年数は「51 年以上」（11.1%）。

「一人親方にあずける（弟子として）」と回答した割合が最も高い経験年数は「11~20 年」および「51 年以上」（16.7%）。

		合計	(19)育成期間の担い手の立場				
			正社員（職業訓練校）	正社員（弟子として）	一人親方等にあずける（職業訓練校）	一人親方等にあずける（弟子として）	不明
全体		497	19.1	64.4	1.8	9.3	5.4
経験年数	5年未満	31	45.2	48.4	0.0	6.5	0.0
	6～10年	28	28.6	60.7	0.0	10.7	0.0
	11～20年	114	21.1	58.8	0.0	16.7	3.5
	21～30年	131	15.3	74.0	0.8	5.3	4.6
	31～40年	88	14.8	68.2	3.4	8.0	5.7
	41～50年	87	17.2	60.9	3.4	5.7	12.6
	51年以上	18	5.6	61.1	11.1	16.7	5.6

表 3.4.18 育成期間の担い手の立場（H28 年度）　（割合%）

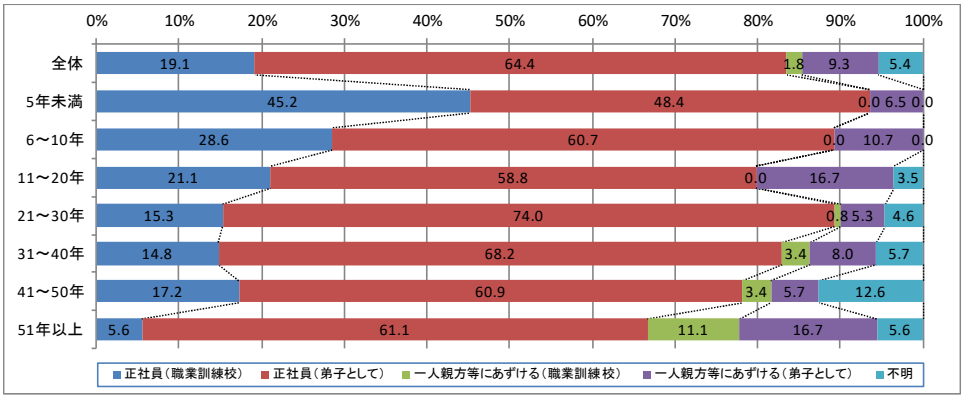


図 3.4.18 育成期間の担い手の立場（H28 年度）

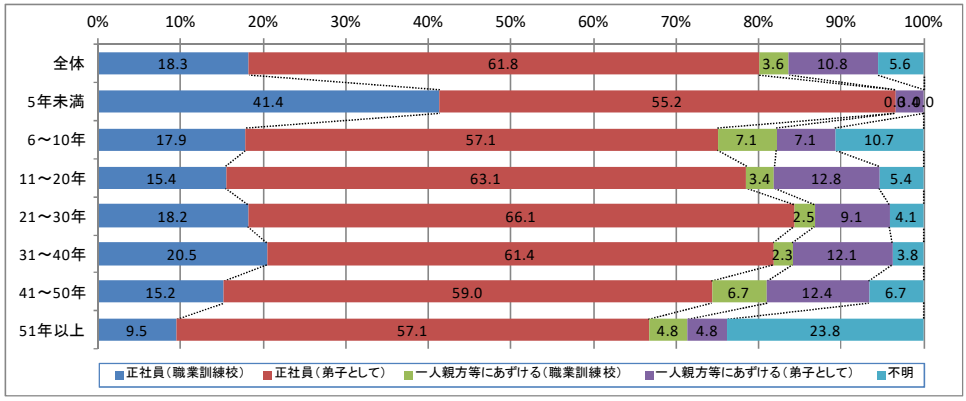


図 3.4.18♯ 育成期間の担い手の立場（H27 年度）

③「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

育成にかかる費用負担が「有る」と回答した割合が最も高い経験年数は「31～40 年」（35.2%）。「無い」と回答した割合が最も高い経験年数は「6～10 年」（25.0%）。

		合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
			有	無	不明
	全体	497	27.4	14.3	58.4
経験年数	5年未満	31	19.4	19.4	61.3
	6～10年	28	14.3	25.0	60.7
	11～20年	114	25.4	23.7	50.9
	21～30年	131	31.3	9.9	58.8
	31～40年	88	35.2	10.2	54.5
	41～50年	87	21.8	9.2	69.0
	51年以上	18	33.3	5.6	61.1

表 3.4.19 育成期間にかかる費用負担（H28 年度）　（割合%）

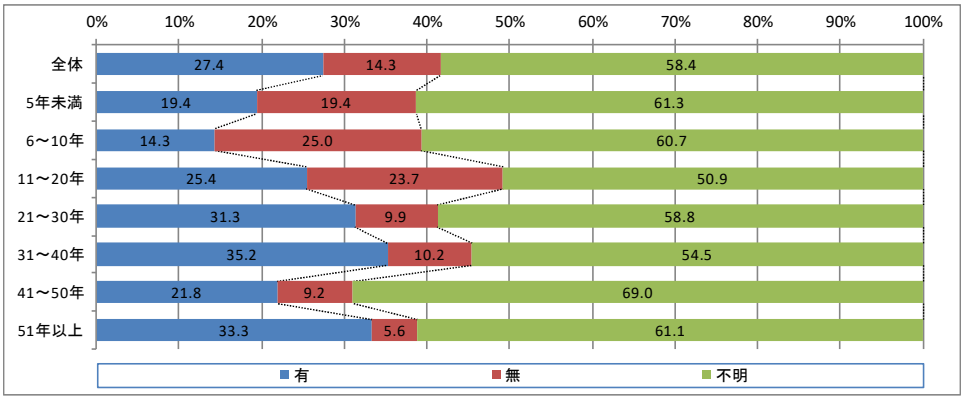


図 3.4.19 育成期間にかかる費用負担（H28 年度）

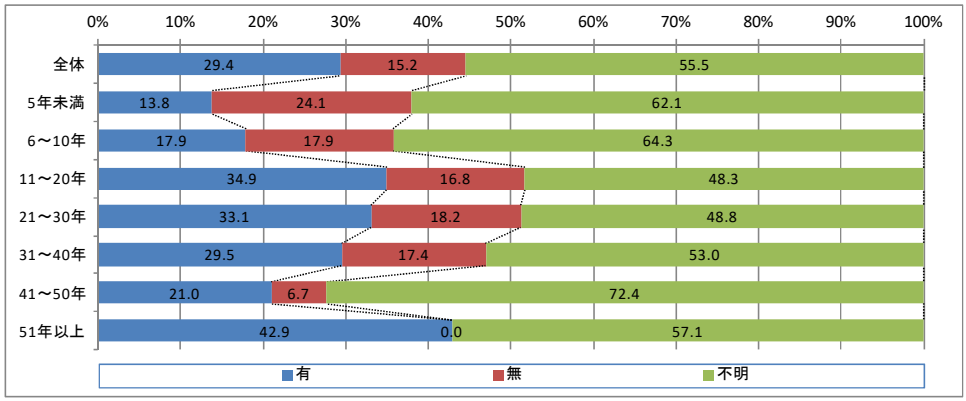


図 3.4.19♯ 育成期間にかかる費用負担（H27 年度）

④「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答
なぜ育てる予定はないのか。

「将来の保障ができないため」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30 年」（53.6%）。
「費用がかかるため」の割合が最も高いのは「11~20 年」（28.4%）。
「人材がいないため」の割合が最も高いのは「11~20 年」（28.4%）。

		合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
			育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がいないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
	全体	925	10.4	9.3	18.5	2.8	21.1	11.4	38.5	13.3	8.3	18.7	2.8	14.6
経験年数	5年未満	84	6.0	4.8	7.1	0.0	13.1	16.7	8.3	15.5	4.8	1.2	6.0	32.1
	6～10年	52	3.8	13.5	9.6	0.0	19.2	19.2	21.2	5.8	7.7	7.7	3.8	25.0
	11～20年	211	11.4	17.1	28.4	5.7	28.4	13.7	36.0	1.9	7.6	17.5	2.8	9.5
	21～30年	207	12.6	8.7	20.8	3.4	19.3	15.0	53.6	2.4	7.2	23.7	4.3	8.2
	31～40年	180	8.9	7.2	18.9	1.7	22.8	6.1	46.7	12.2	7.8	23.9	1.7	15.6
	41～50年	154	12.3	4.5	13.6	2.6	19.5	4.5	37.7	39.0	14.3	22.1	0.6	15.6
	51年以上	34	11.8	2.9	5.9	0.0	5.9	5.9	20.6	47.1	5.9	14.7	0.0	14.7

表 3.4.20 なぜ育てる予定はないのか（H28 年度）　（割合%）

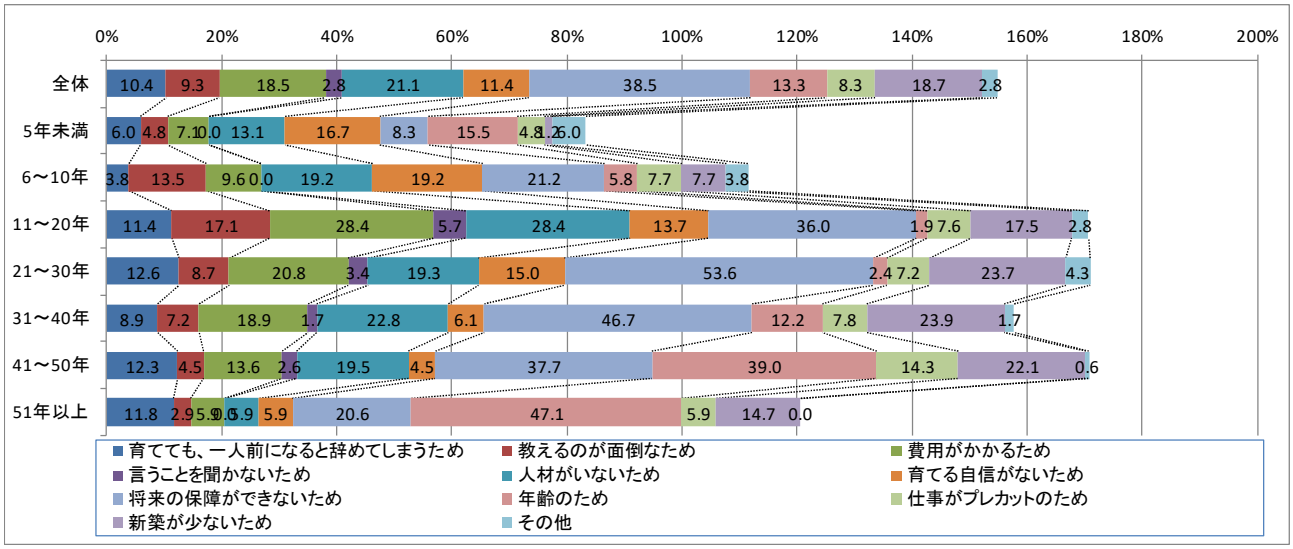


図 3.4.20 なぜ育てる予定はないのか（H28 年度）

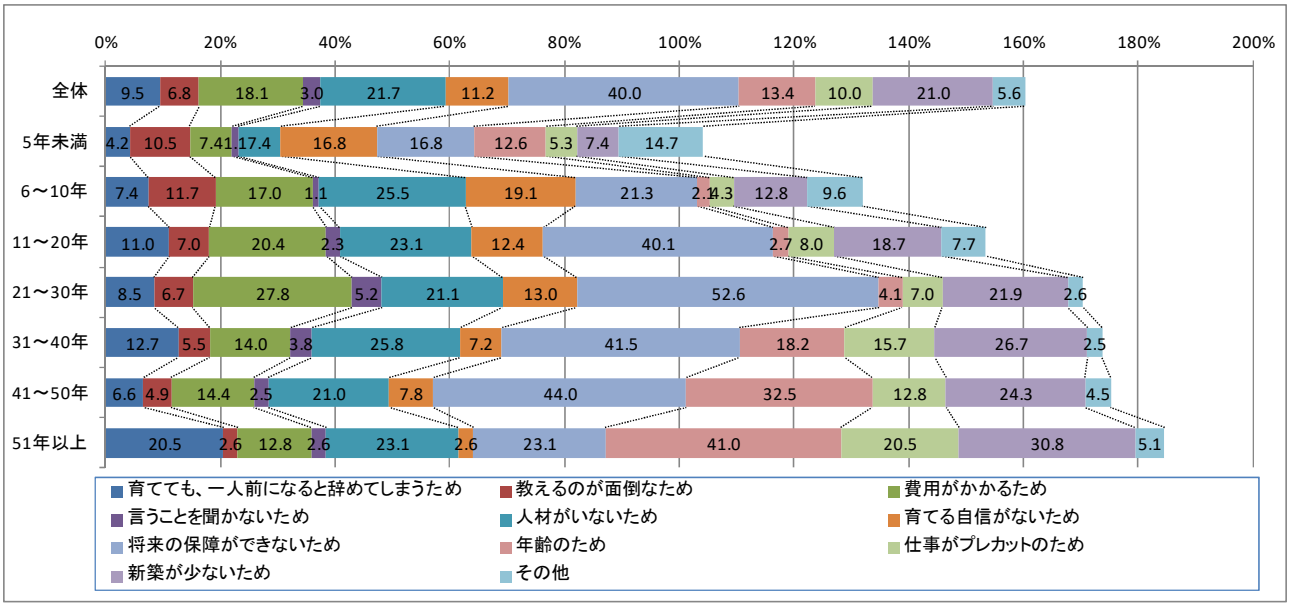


図 3.4.20♯ なぜ育てる予定はないのか（H27 年度）

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、１人／月当たりどの程度必要と考えますか。

「3 万円／月」と回答した割合が最も高い経験年数は「5 年未満」（5.4%）。
「5 万円／月」と回答した割合が最も高い経験年数は「11～20 年」（16.5%）。
「10 万円／月」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30 年」（32.6%）。
「15 万円／月」と回答した割合が最も高い経験年数は「21~30 年」（23.6%）。
「必要ない」と回答した割合が最も高い経験年数は「5 年未満」（4.6%）。

		合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
			3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
全体		3253	4.2	14.2	27.7	17.5	3.1	33.3
経験年数	5年未満	391	5.4	14.3	15.3	11.0	4.6	49.4
	6～10年	247	3.6	15.0	24.7	14.6	3.2	38.9
	11～20年	820	3.8	16.5	31.1	21.8	2.4	24.4
	21～30年	755	3.7	13.4	32.6	23.6	2.6	24.1
	31～40年	497	4.2	13.3	30.2	14.5	3.8	34.0
	41～50年	432	5.1	13.4	23.8	12.3	2.8	42.6
	51年以上	103	4.9	8.7	22.3	7.8	3.9	52.4

表 3.4.21 公的補助について、１人／月当たりどの程度必要か（H28 年度）　（割合%）

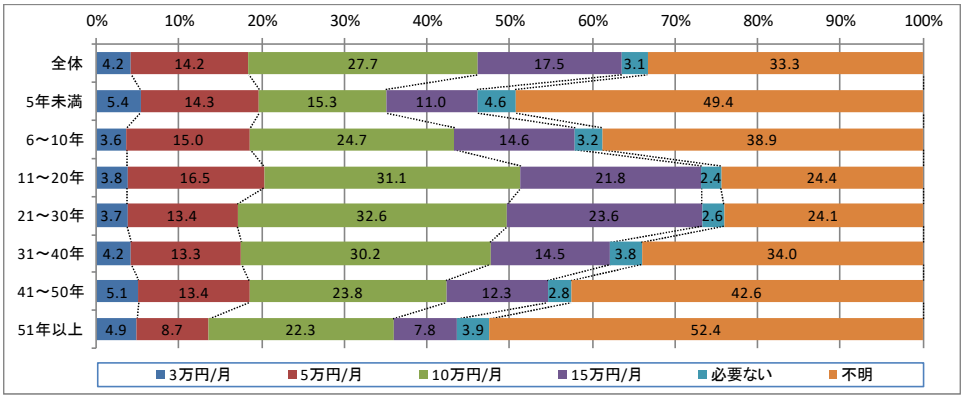


図 3.4.21 公的補助について、１人／月当たりどの程度必要か（H28 年度）

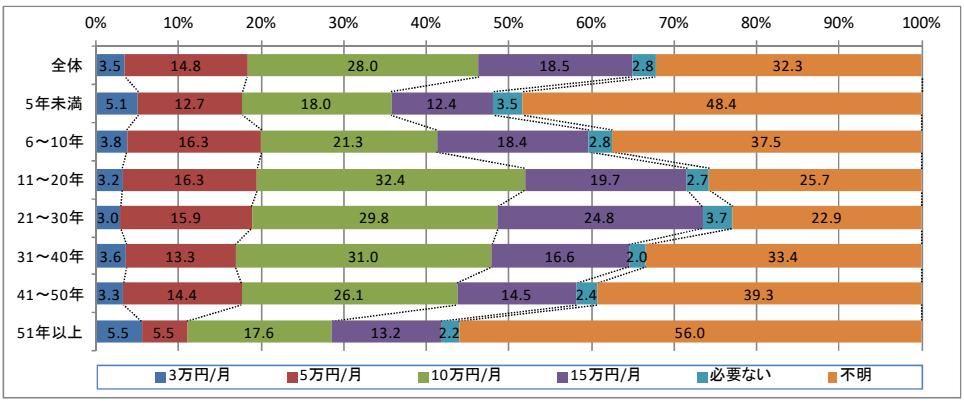


図 3.4.21♯ 公的補助について、１人／月当たりどの程度必要か（H27 年度）

5.　雇用形態別集計

（１）職業等について

①職種においてベテランだと思いますか。

「ベテラン」と回答した割合が大きい雇用形態は「元請として仕事」（32.3%）。
「ややベテラン」と回答した割合が大きい雇用形態は「元請として仕事」（26.9%）。
「中堅」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（44.5%）。
「やや中堅」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」（16.2%）。
「見習い」と回答した割合が大きい雇用形態は「その他（アルバイト等）」（51.7%）。

		合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
			ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
	全体	3253	19.8	20.5	32.6	11.0	13.2	3.0
雇用形態	工務店社員	1311	11.3	14.3	32.2	16.2	23.4	2.6
	外注常用（日当制）	336	17.0	20.2	36.3	13.4	10.1	3.0
	外注常用（坪請主体）	274	16.4	24.8	44.5	6.6	3.6	4.0
	その都度契約	120	16.7	24.2	40.0	10.8	5.8	2.5
	元請として仕事	1090	32.3	26.9	29.9	5.5	3.2	2.2
	その他（アルバイト等）	29	6.9	10.3	10.3	17.2	51.7	3.4

表 3.5.1 職種のベテラン度合（H28 年度）　（割合%）

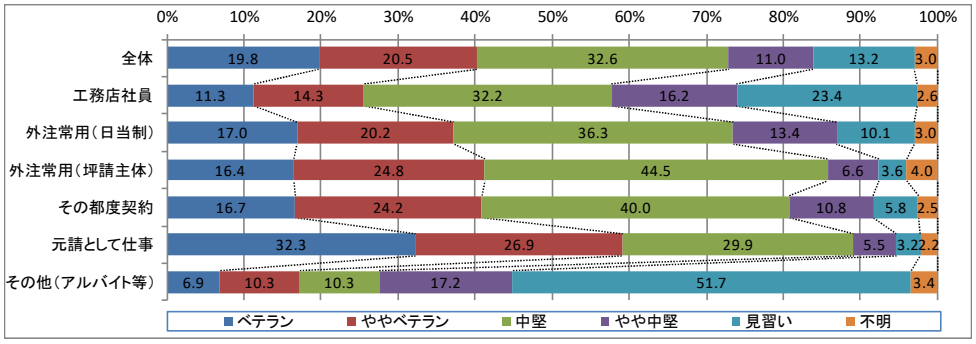


図 3.5.1 職種のベテラン度合（H28 年度）

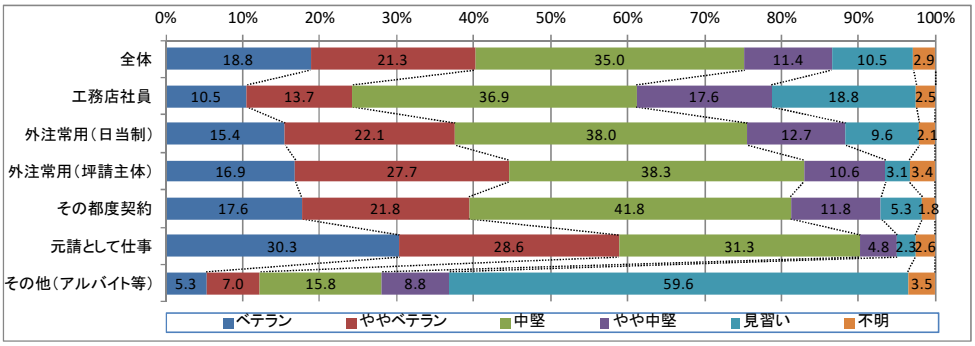


図 3.5.1♯ 職種のベテラン度合（H27 年度）

（２）雇用形態について

①就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」（45.1%）。
就業規則が「無い」と回答した割合が大きい雇用形態は「その都度契約」（66.7%）。

		合計	(7)就業規則		
			有	無	不明
	全体	3253	29.2	50.0	20.8
雇用形態	工務店社員	1311	45.1	32.8	22.1
	外注常用（日当制）	336	13.1	63.7	23.2
	外注常用（坪請主体）	274	10.2	73.0	16.8
	その都度契約	120	11.7	66.7	21.7
	元請として仕事	1090	23.4	61.2	15.4
	その他（アルバイト等）	29	20.7	48.3	31.0

表 3.5.2 就業規則（H28 年度）　（割合%）

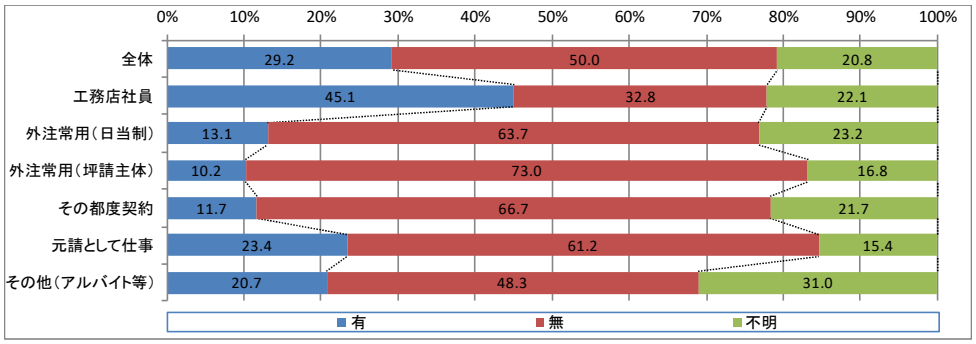


図 3.5.2 就業規則（H28 年度）

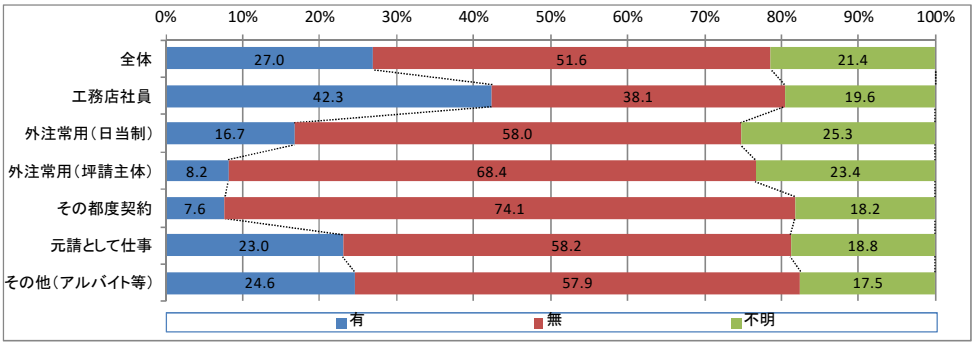


図 3.5.2♯ 就業規則（H27 年度）

②有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」（45.1%）。
「無い」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（73.0%）。

		合計	(7)就業規則		
			有	無	不明
	全体	3253	29.2	50.0	20.8
雇用形態	工務店社員	1311	45.1	32.8	22.1
	外注常用（日当制）	336	13.1	63.7	23.2
	外注常用（坪請主体）	274	10.2	73.0	16.8
	その都度契約	120	11.7	66.7	21.7
	元請として仕事	1090	23.4	61.2	15.4
	その他（アルバイト等）	29	20.7	48.3	31.0

表 3.5.3 有給休暇（H28 年度）　（割合%）

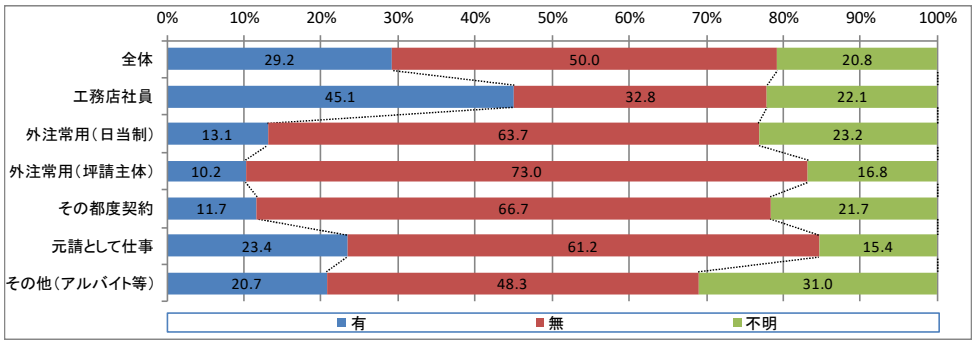


図 3.5.3 有給休暇（H28 年度）

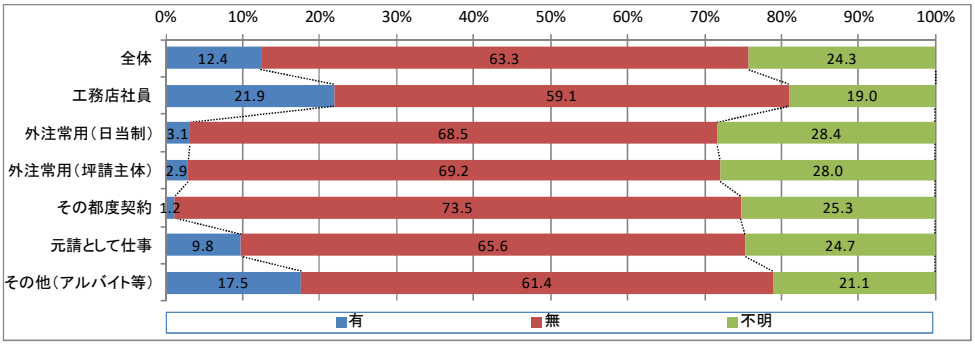


図 3.5.3＃ 有給休暇（H27 年度）

③年間就業日数

平均年間就業日数が多い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（276.54 日）。

平均年間就業日数が少ない雇用形態は「その他（アルバイト等）」（256.25 日）。

		合計	(9)年間就業日数							
			100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	平均
	全体	3253	2.9	0.8	0.5	5.7	18.5	26.2	45.5	266.22
雇用形態	工務店社員	1311	3.4	1.3	0.5	3.7	19.2	23.3	48.7	262.29
	外注常用（日当制）	336	1.2	0.6	0.9	9.2	19.6	29.2	39.3	269.67
	外注常用（坪請主体）	274	2.6	0.4	0.4	3.6	19.0	36.1	38.0	276.54
	その都度契約	120	3.3	0.0	0.0	4.2	18.3	35.8	38.3	274.46
	元請として仕事	1090	3.0	0.6	0.6	7.9	18.1	27.2	42.6	265.30
	その他（アルバイト等）	29	0.0	0.0	0.0	13.8	10.3	3.4	72.4	256.25

表 3.5.4 年間就業日数（H28 年度）　（割合%）

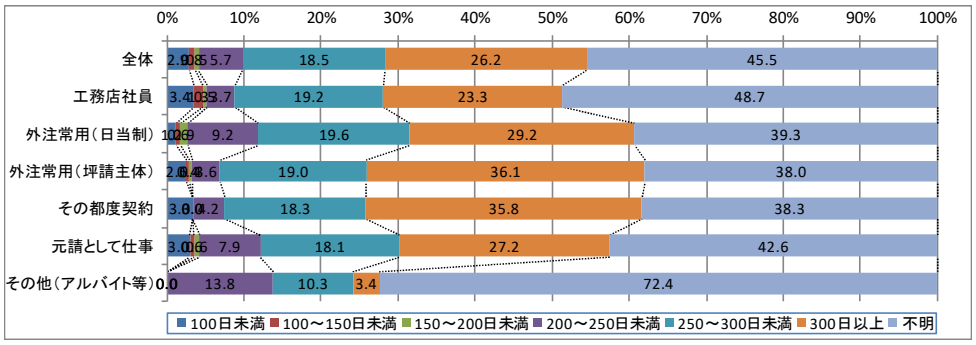


図 3.5.4 年間就業日数（H28 年度）

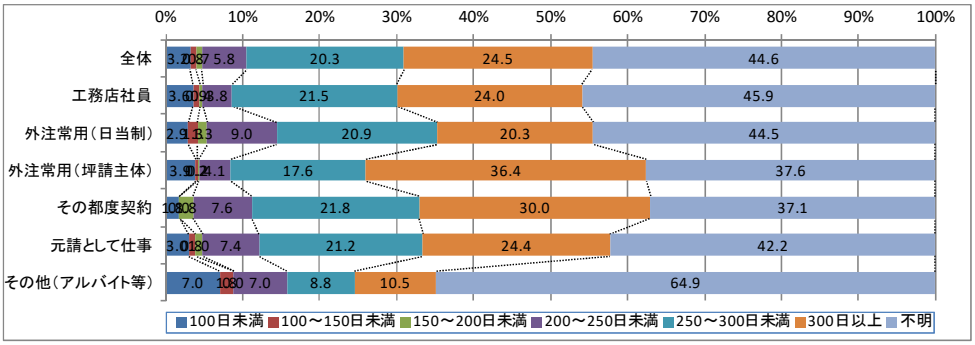


図 3.5.4♯ 年間就業日数（H27 年度）

④保険等について

１）年金保険

「厚生年金」の加入している割合は「工務店社員」（60.4%）。
「国民年金」の加入している割合は「外注常用（坪請主体）」（81.0%）。
「企業年金」の加入している割合は「外注常用（坪請主体」および「元請として仕事」（1.8%）。

		合計	(10-1)加入している年金			
			厚生年金	国民年金	企業年金	不明
	全体	3253	36.6	49.6	1.2	14.6
雇用形態	工務店社員	1311	60.4	28.1	0.5	12.7
	外注常用（日当制）	336	4.2	77.4	0.9	17.9
	外注常用（坪請主体）	274	4.0	81.0	1.8	14.6
	その都度契約	120	11.7	73.3	1.7	17.5
	元請として仕事	1090	31.3	57.4	1.8	12.3
	その他（アルバイト等）	29	13.8	55.2	0.0	31.0

表 3.5.5 年金保険（H28 年度）　（割合%）

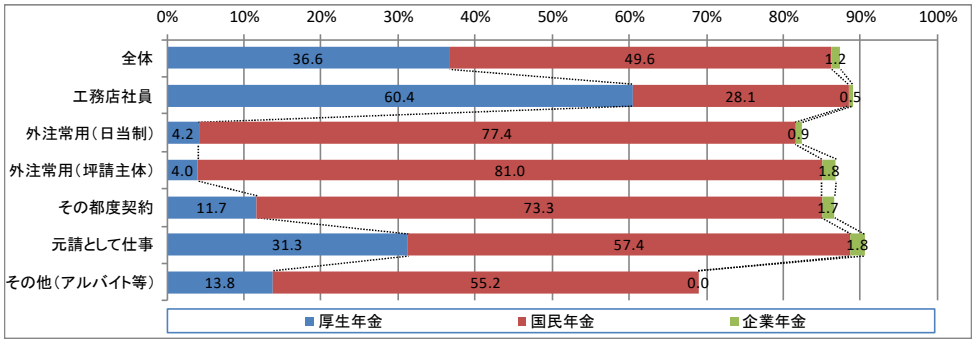


図 3.5.5 年金保険（H28 年度）

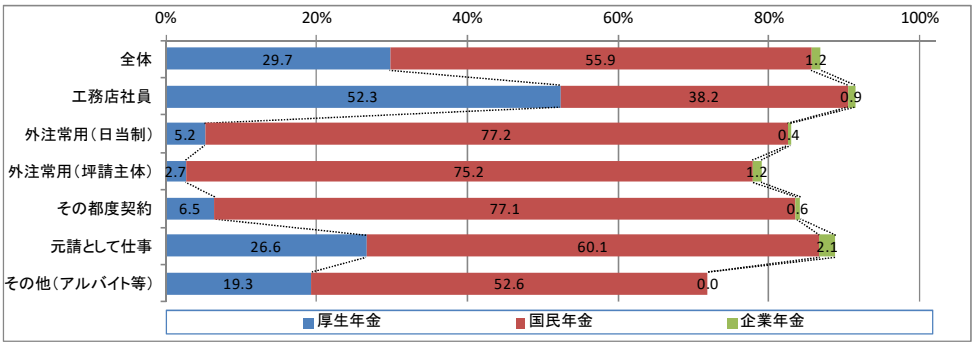


図 3.5.5♯ 年金保険（H27 年度）

２）労働保険

「雇用保険」の割合が大きいのは「工務店社員」（42.0%）。
「労災保険」の割合が大きいのは「元請として仕事」（45.7%）。
「一人親方労災保険」の割合が大きいのは「外注常用（坪請主体）」（65.0%）。

		合計	(10-2)加入している労働保険			
			雇用保険	労災保険	一人親方労災保険	不明
	全体	3253	22.5	33.8	26.9	28.9
雇用形態	工務店社員	1311	42.0	33.9	5.5	31.7
	外注常用（日当制）	336	4.5	19.9	40.5	38.7
	外注常用（坪請主体）	274	1.8	17.9	65.0	21.2
	その都度契約	120	5.8	19.2	60.0	21.7
	元請として仕事	1090	12.8	45.7	36.1	21.8
	その他（アルバイト等）	29	10.3	20.7	17.2	58.6

表 3.5.6 労働保険（H28 年度）　（割合%）

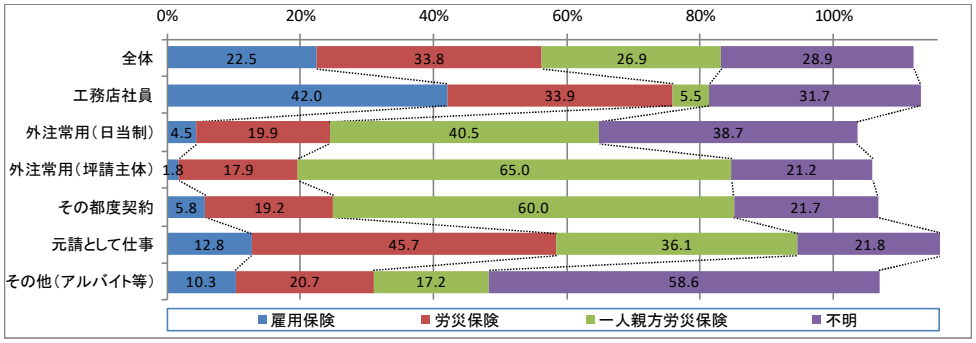


図 3.5.6 労働保険（H28 年度）

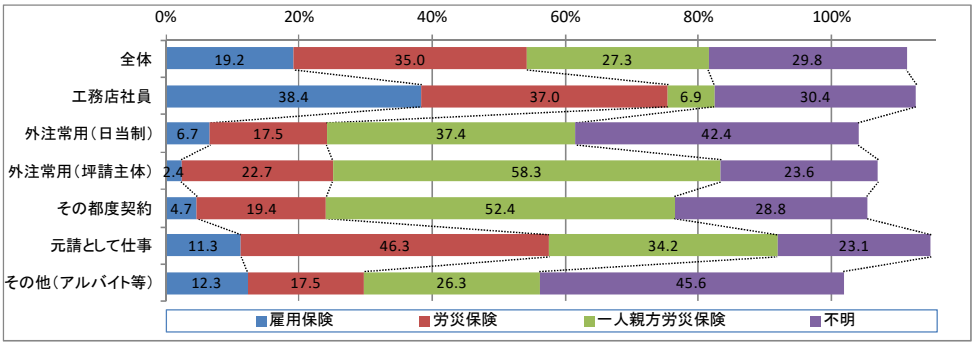


図 3.5.6♯ 労働保険（H27 年度）

３）健康保険

「国民健康保険」の割合が大きいのは「外注常用（日当制）」（38.4%）。
「組合健康保険（建設国保）」の割合が大きいのは「外注常用（坪請主体）」（52.6%）。
「組合健康保険（建設国保以外）」の割合が大きいのは「その都度契約」（4.2%）。
「その他の健康保険」の割合が大きいのは「工務店社員」（5.9%）。

		合計	(10-3)加入している健康保険				
			国民健康保険	組合健康保険（建設国保）	組合保険（建設国保以外）	その他の健康保険	不明
全体		3253	29.4	36.5	3.4	4.3	27.1
雇用形態	工務店社員	1311	29.4	27.8	3.7	5.9	33.9
	外注常用（日当制）	336	38.4	35.4	2.4	1.8	23.2
	外注常用（坪請主体）	274	31.4	52.6	1.8	0.7	13.9
	その都度契約	120	32.5	47.5	4.2	2.5	14.2
	元請として仕事	1090	26.9	43.4	4.0	4.9	21.4
	その他（アルバイト等）	29	37.9	20.7	0.0	0.0	41.4

表 3.5.7 健康保険（H28 年度）　（割合%）

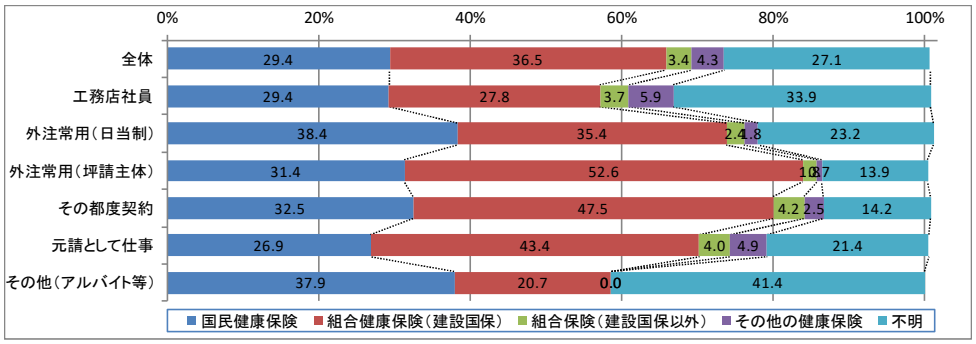


図 3.5.7 健康保険（H28 年度）

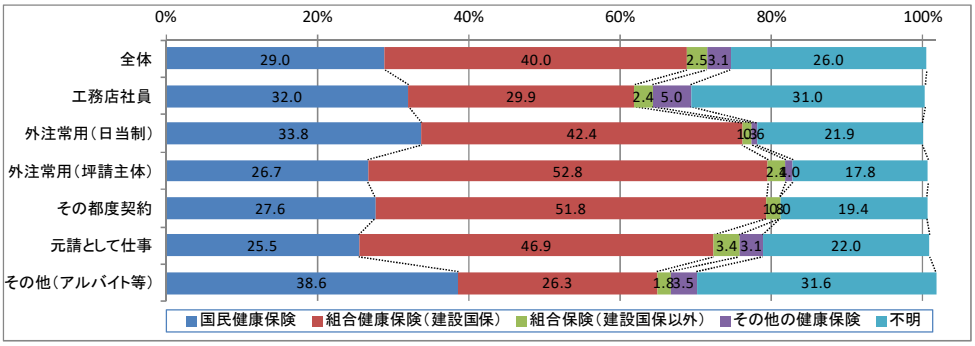


図 3.5.7♯ 健康保険（H27 年度）

⑤賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

自己負担となっているものの割合の合計が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（421.2%）。小さい雇用形態は「工務店社員」（188.8%）。

		合計	(11)自己負担となっているもの						
			手道具	電動工具	クギ金物	車（保険含む）	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
	全体	3253	69.8	63.0	21.0	49.1	47.8	15.5	8.8
雇用形態	工務店社員	1311	67.4	54.8	3.6	32.5	30.5	19.1	6.2
	外注常用（日当制）	336	85.1	83.9	18.5	74.7	76.8	2.4	5.4
	外注常用（坪請主体）	274	89.1	90.1	65.7	88.3	88.0	3.6	4.4
	その都度契約	120	87.5	89.2	47.5	78.3	79.2	3.3	4.2
	元請として仕事	1090	63.7	58.2	29.5	49.2	47.2	20.6	11.7
	その他（アルバイト等）	29	65.5	58.6	13.8	48.3	44.8	6.9	20.7

表 3.5.8 自己負担となっているもの（H28 年度）　（割合%）

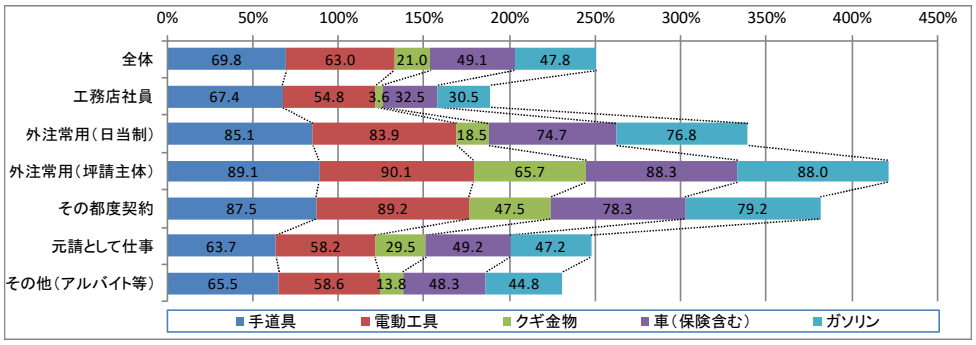


図 3.5.8 自己負担となっているもの（H28 年度）

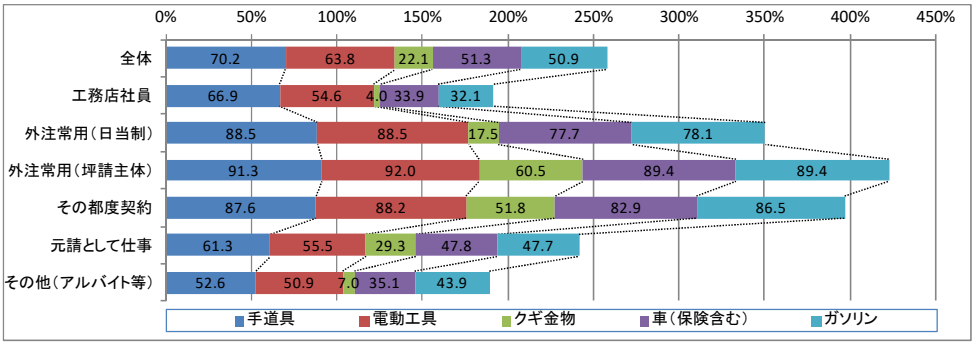


図 3.5.8♯ 自己負担となっているもの（H27 年度）

⑥おおよその賃金（諸経費が含まれた１日あたりの平均単価）

平均賃金が高いのは「外注常用（坪請主体）」で 17,196 円。

平均賃金が低いのは「その他（アルバイト等）」で 12,055 円。

		合計	(12)1日あたりのおおよその賃金						
			8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明
	全体	3253	6.2	7.7	35.2	33.8	9.2	2.3	5.7
雇用形態	工務店社員	1311	11.2	14.3	45.8	17.8	4.0	1.3	5.6
	外注常用(日当制)	336	4.2	5.1	38.4	42.9	4.8	0.6	4.2
	外注常用(坪請主体)	274	1.5	1.1	23.7	50.7	16.4	4.0	2.6
	その都度契約	120	3.3	2.5	30.0	45.0	13.3	2.5	3.3
	元請として仕事	1090	1.8	2.1	26.0	46.1	15.3	3.7	5.0
	その他(アルバイト等)	29	31.0	13.8	27.6	13.8	3.4	3.4	6.9

表 3.5.9 １日当たりのおおよその賃金（H28 年度）　（割合%）

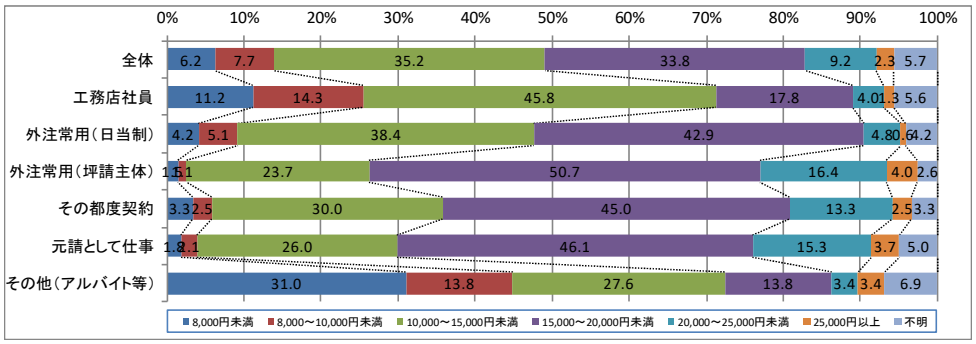


図 3.5.9 １日当たりのおおよその賃金（H28 年度）

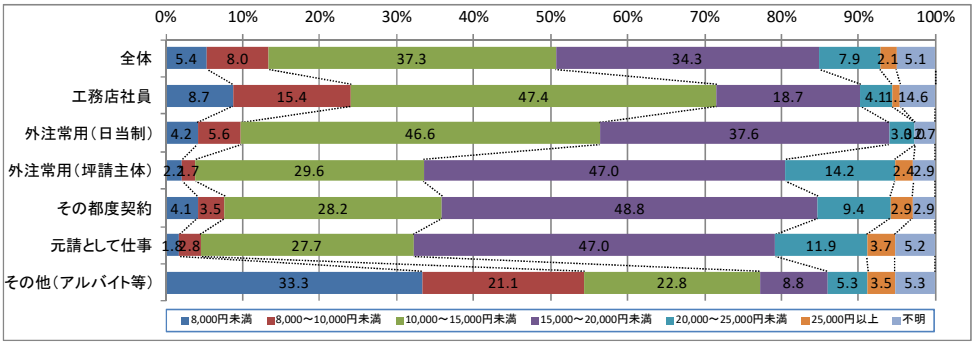


図 3.5.9♯ １日当たりのおおよその賃金（H27 年度）

（3）資格や技能について

①持っている資格

持っている資格の割合の合計値が大きいのは「元請として仕事」（321.1%）。

持っている資格の割合の合計値が小さいのは「その他（アルバイト等）」（144.8%）。

		合計	(13)お持ちの資格														
			1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級･2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
	全体	3253	5.4	29.5	3.0	4.2	13.7	22.9	2.0	11.2	7.0	36.8	38.5	43.3	18.2	10.5	20.0
雇用形態	工務店社員	1311	4.3	24.4	1.7	4.1	12.0	23.7	1.1	7.2	4.0	29.4	28.3	42.0	18.3	7.2	24.3
	外注常用(日当制)	336	3.0	20.8	2.1	1.5	8.0	19.0	2.1	9.5	3.0	32.4	38.4	40.2	12.8	7.7	28.0
	外注常用(坪請主体)	274	1.8	23.0	5.1	1.1	7.7	21.5	2.6	7.3	2.6	38.0	52.6	50.4	12.0	6.2	16.4
	その都度契約	120	0.0	24.2	2.5	2.5	5.8	22.5	0.8	8.3	6.7	31.7	45.8	45.8	13.3	11.7	23.3
	元請として仕事	1090	9.3	41.9	4.5	6.2	20.3	24.3	3.1	18.6	13.5	48.3	48.0	44.1	21.8	17.1	11.0
	その他(アルバイト等)	29	10.3	13.8	0.0	3.4	3.4	6.9	0.0	0.0	0.0	24.1	24.1	44.8	13.8	0.0	41.4

表 3.5.10 持っている資格（H28 年度）　（割合%）

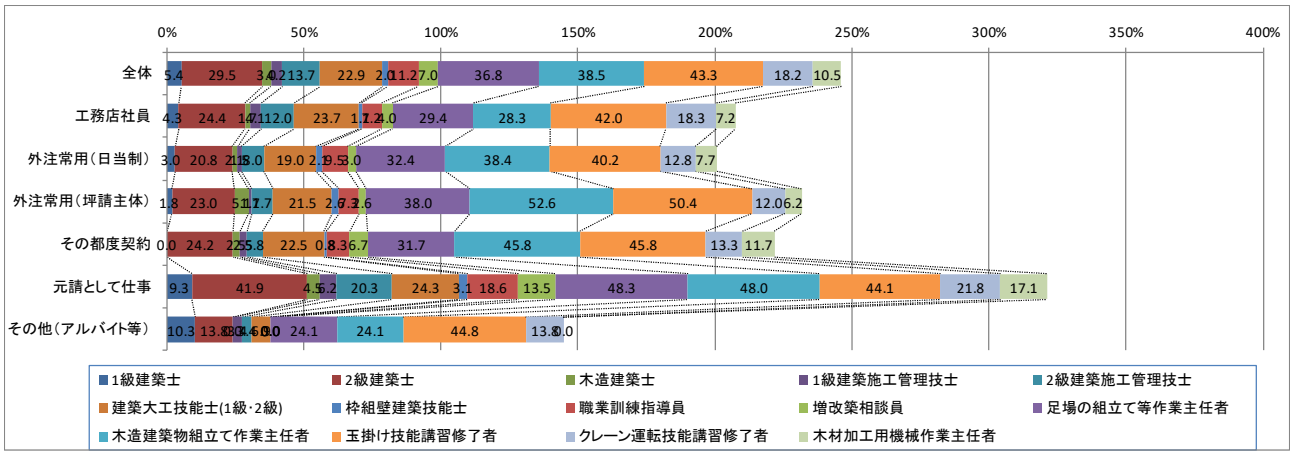


図 3.5.10 持っている資格（H28 年度）

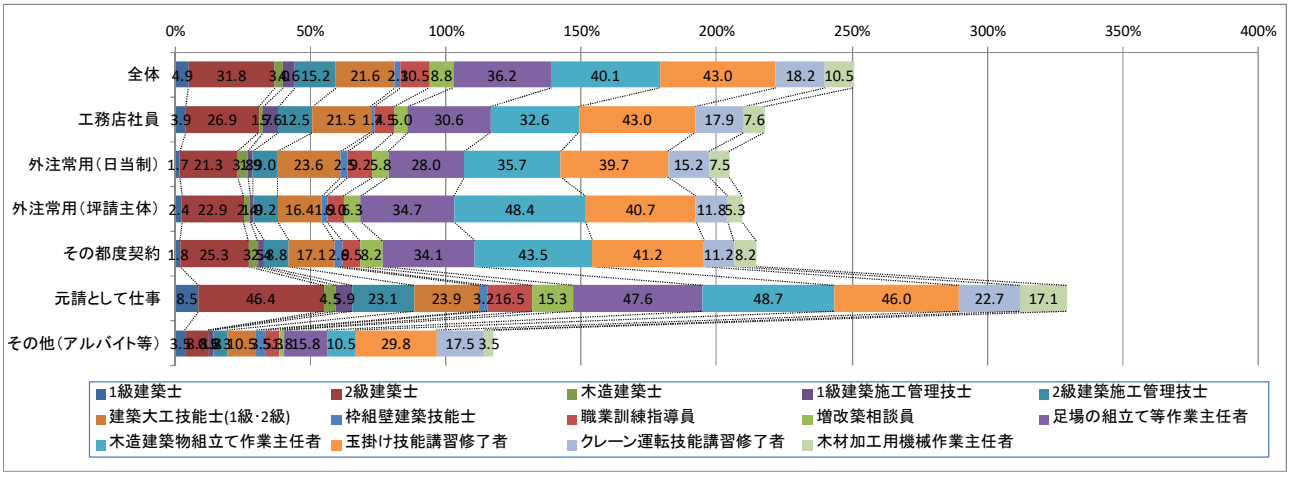


図 3.5.10♯ 持っている資格（H27 年度）

②大工職のみ回答　墨付けができますか。

墨付けについて「はい」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」および「その都度契約」（82.5%）。

「いいえ」と回答した割合が大きい雇用形態は「その他（アルバイト等）」（37.9%）。

		合計	(14)①墨付けができますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	69.9	15.9	14.3
雇用形態	工務店社員	1311	59.7	25.6	14.7
	外注常用（日当制）	336	71.4	15.8	12.8
	外注常用（坪請主体）	274	82.5	8.8	8.8
	その都度契約	120	82.5	7.5	10.0
	元請として仕事	1090	79.4	6.3	14.2
	その他（アルバイト等）	29	37.9	37.9	24.1

表 3.5.11 墨付け（H28 年度）　（割合%）

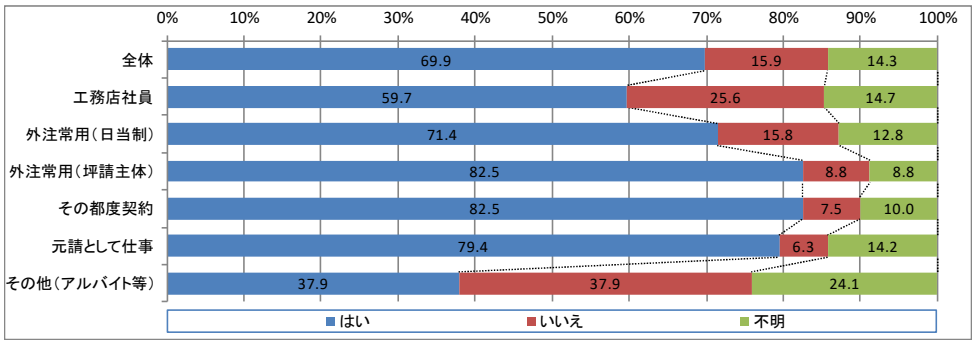


図 3.5.11 墨付け（H28 年度）

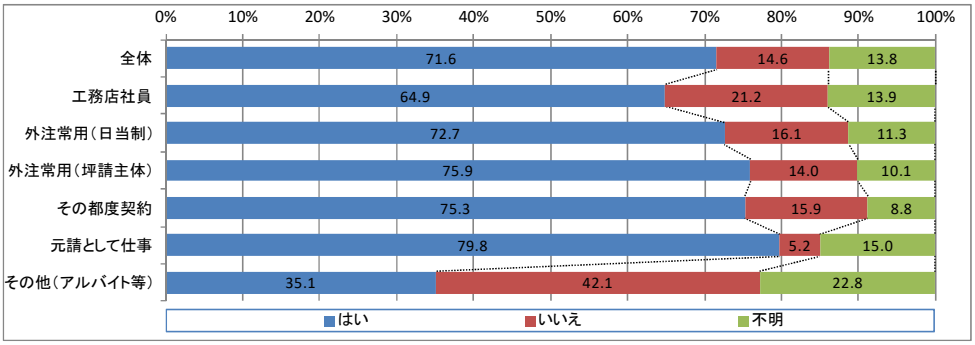


図 3.5.11♯ 墨付け（H27 年度）

③大工職のみ回答　今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（新築）

新築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」(27.7%)。「いいえ」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体)」(74.8%)。

		合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	24.1	60.3	15.6
雇用形態	工務店社員	1311	27.7	56.6	15.7
	外注常用(日当制)	336	18.2	66.7	15.2
	外注常用(坪請主体)	274	14.6	74.8	10.6
	その都度契約	120	19.2	70.8	10.0
	元請として仕事	1090	25.5	58.8	15.7
	その他(アルバイト等)	29	10.3	65.5	24.1

表 3.5.12 手刻み加工の仕事（新築）(H28 年度)　　（割合%）

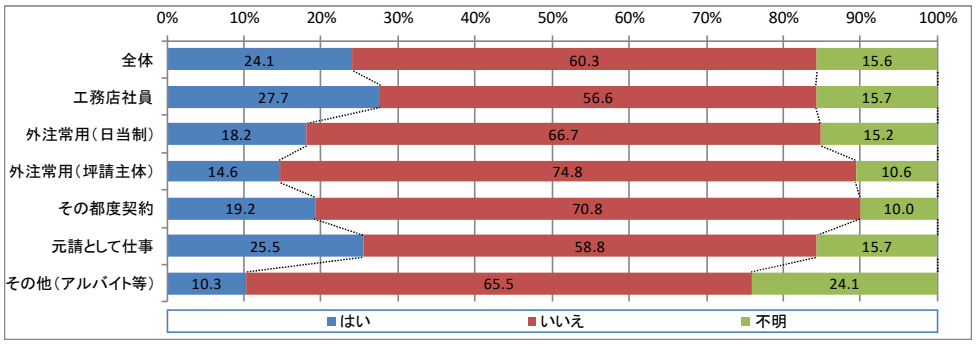


図 3.5.12 手刻み加工の仕事（新築）(H28 年度)

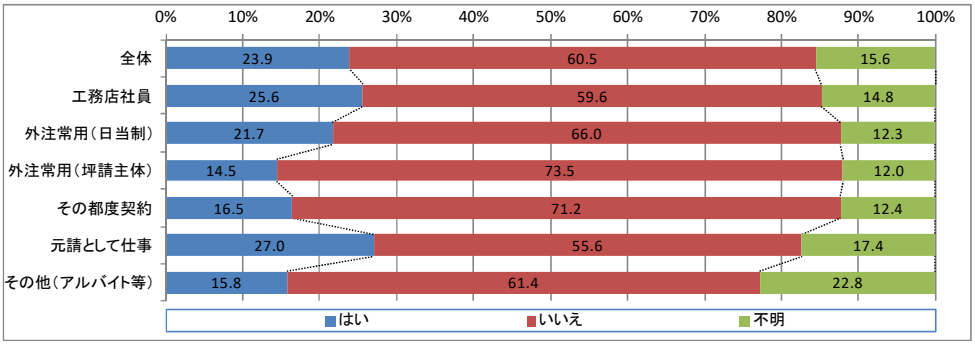


図 3.5.12ｃ 手刻み加工の仕事（新築）(H27 年度)

④大工職のみ回答　今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（増改築）

増改築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が大きい雇用形態は「元請として仕事」（56.5%）。

「いいえ」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（58.8%）。

		合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	46.4	37.8	15.8
雇用形態	工務店社員	1311	45.8	38.4	15.9
	外注常用（日当制）	336	37.2	47.9	14.9
	外注常用（坪請主体）	274	30.7	58.8	10.6
	その都度契約	120	41.7	47.5	10.8
	元請として仕事	1090	56.5	27.6	15.9
	その他（アルバイト等）	29	24.1	51.7	24.1

表 3.5.13 手刻み加工の仕事（増改築）（H28 年度）　（割合%）

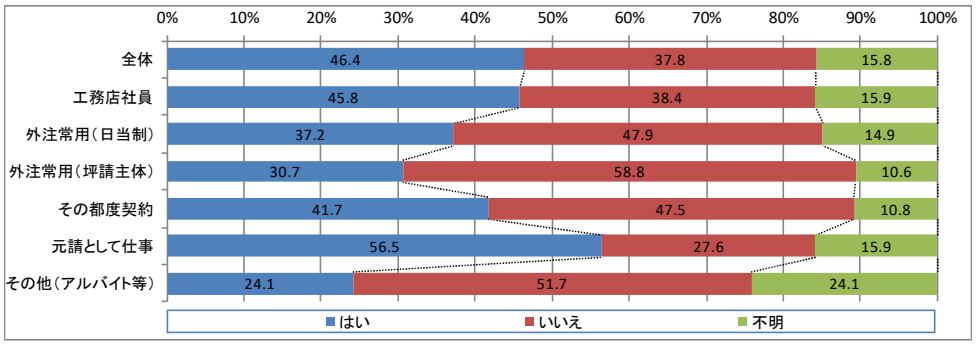


図 3.5.13 手刻み加工の仕事（増改築）（H28 年度）

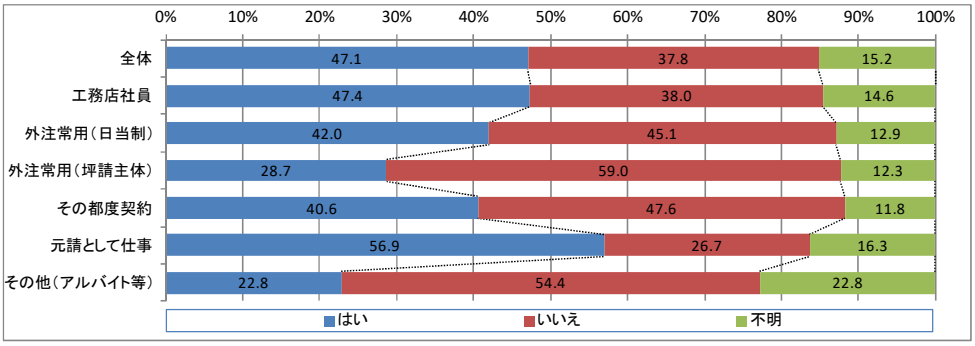


図 3.5.13♯ 手刻み加工の仕事（増改築）（H27 年度）

⑤大工職のみ回答　和室造作ができますか。

和室造作の技能について「はい」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（84.7%）。「いいえ」と回答した割合が大きい雇用形態は「その他（アルバイト等）」（62.1%）。

		合計	(14)④和室造作ができますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	64.7	20.0	15.3
雇用形態	工務店社員	1311	50.4	33.8	15.8
	外注常用（日当制）	336	68.8	17.3	14.0
	外注常用（坪請主体）	274	84.7	5.5	9.9
	その都度契約	120	77.5	11.7	10.8
	元請として仕事	1090	77.3	7.4	15.2
	その他（アルバイト等）	29	13.8	62.1	24.1

表 3.5.14 和室造作（H28 年度）　（割合%）

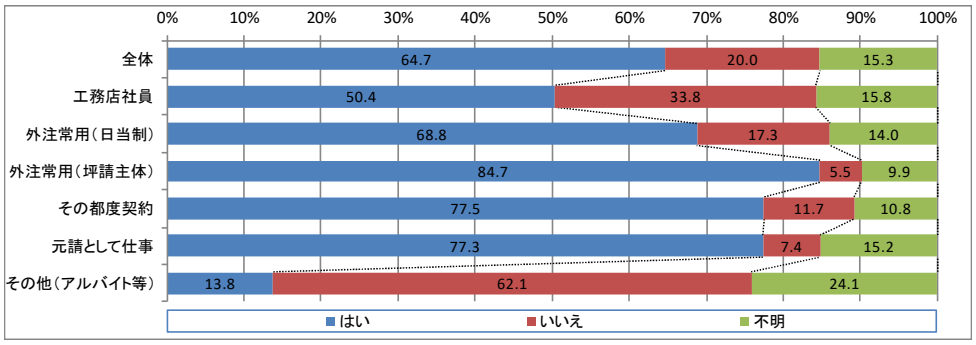


図 3.5.14 和室造作（H28 年度）

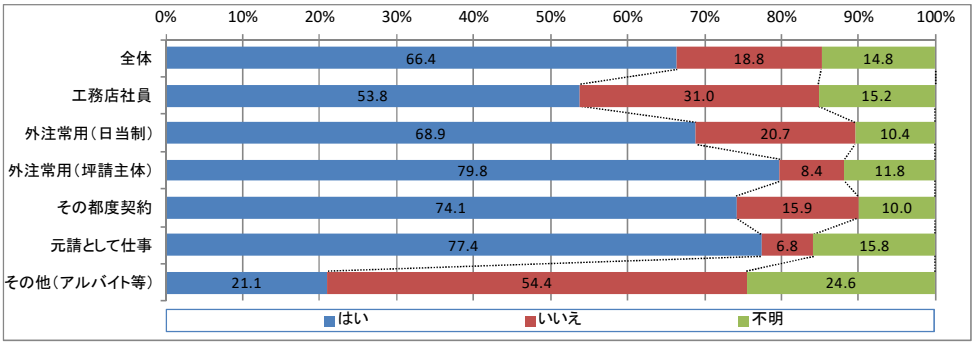


図 3.5.14♯ 和室造作（H27 年度）

⑥大工職のみ回答　2×4 工法の住宅の施工ができますか。

2×4 工法の住宅の施工の技能について「はい」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（44.5%）。

「いいえ」と回答した割合が大きい雇用形態は「その他（アルバイト等）」（65.5%）。

		合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	26.7	56.4	16.9
雇用形態	工務店社員	1311	19.9	62.7	17.4
	外注常用（日当制）	336	35.7	49.4	14.9
	外注常用（坪請主体）	274	44.5	45.3	10.2
	その都度契約	120	38.3	50.0	11.7
	元請として仕事	1090	27.3	55.4	17.2
	その他（アルバイト等）	29	10.3	65.5	24.1

表 3.5.15 2×4 工法の住宅の施工（H28 年度）　（割合%）

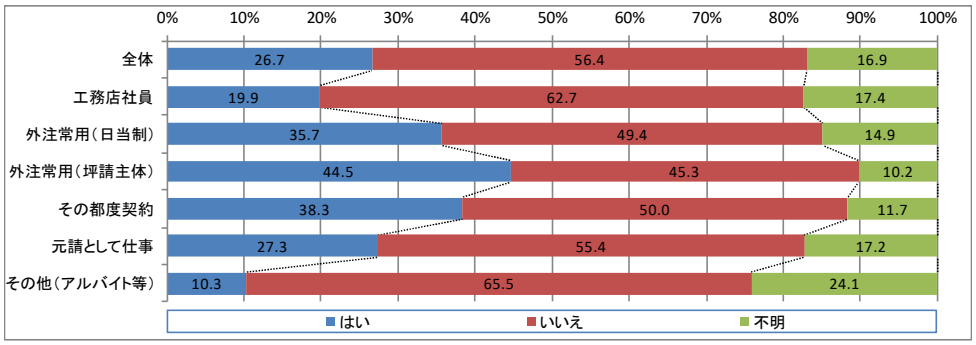


図 3.5.15 2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）

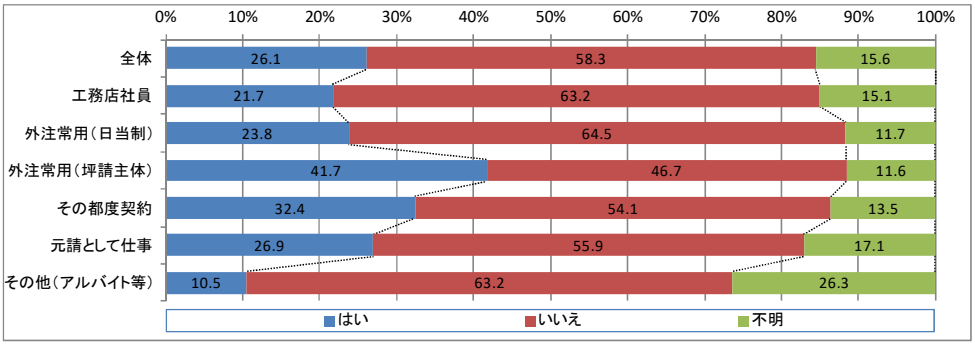


図 3.5.15♯ 2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）

（4）仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」の割合を合計した「満足している」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」（63.8%）。

「あまり満足していない」、「満足していない」の割合を合計した「満足していない」と回答した割合が大きい雇用形態は「その都度契約」（47.5%）。

		合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体		3253	10.8	48.9	23.5	5.4	11.4
雇用形態	工務店社員	1311	12.1	51.7	20.7	5.0	10.5
	外注常用（日当制）	336	6.5	47.9	26.8	7.4	11.3
	外注常用（坪請主体）	274	3.6	46.7	33.2	6.6	9.9
	その都度契約	120	5.0	40.8	42.5	5.0	6.7
	元請として仕事	1090	12.9	48.1	22.2	5.0	11.7
	その他（アルバイト等）	29	10.3	48.3	13.8	13.8	13.8

表 3.5.16 仕事の内容についての満足度（H28 年度）　（割合%）

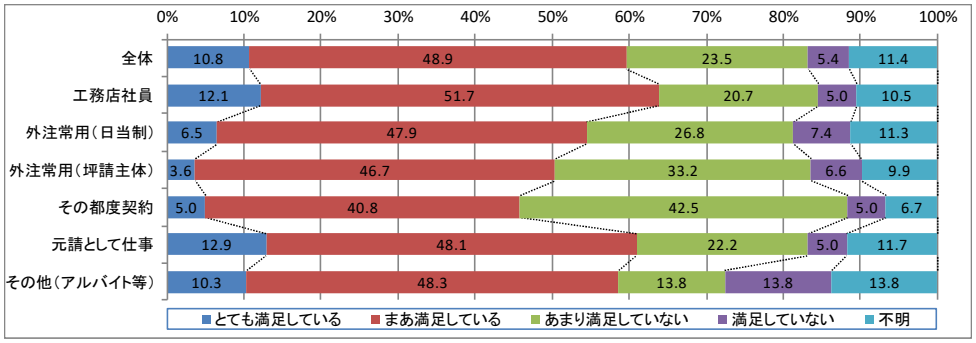


図 3.5.16 仕事の内容についての満足度（H28 年度）

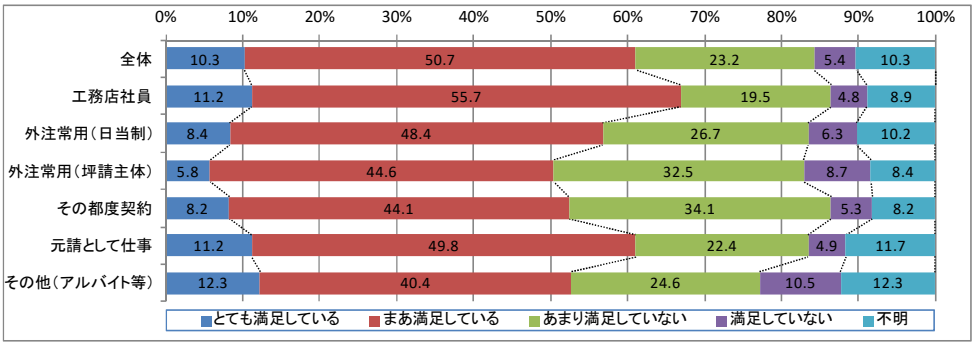


図 3.5.16♯ 仕事の内容についての満足度（H27 年度）

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」の割合を合計した「満足している」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」（39.4%）。

「あまり満足していない」、「満足していない」の割合を合計した「満足していない」と回答した割合が大きいのは「その都度契約」（70.8%）。

		合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体		3253	4.1	31.4	38.1	15.5	11.1
雇用形態	工務店社員	1311	5.0	34.3	34.8	15.7	10.1
	外注常用（日当制）	336	2.4	30.1	38.1	19.6	9.8
	外注常用（坪請主体）	274	1.5	22.3	46.4	20.4	9.5
	その都度契約	120	5.0	18.3	50.8	20.0	5.8
	元請として仕事	1090	3.9	32.1	39.4	12.6	11.9
	その他（アルバイト等）	29	3.4	37.9	27.6	17.2	13.8

表 3.5.17 収入等についての満足度（H28 年度）　（割合%）

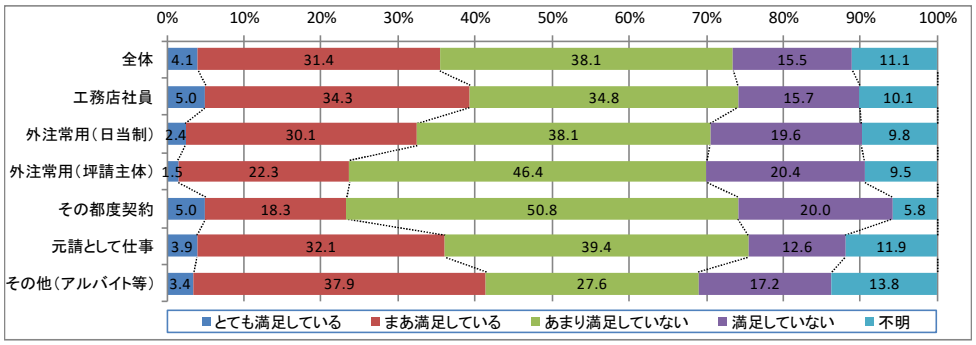


図 3.5.17 収入等についての満足度（H28 年度）

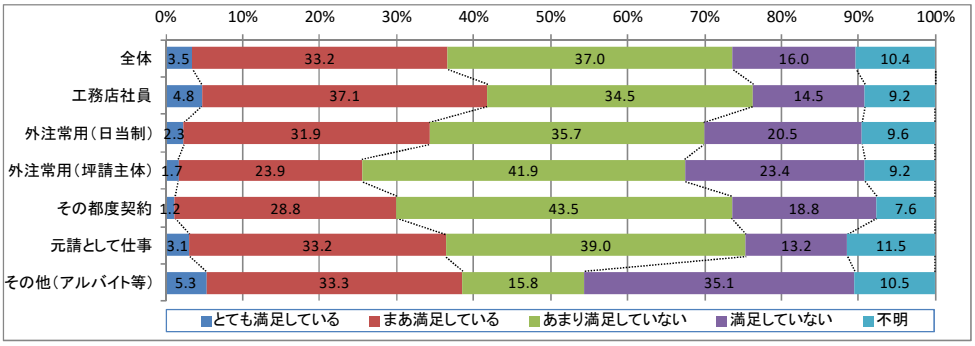


図 3.5.17♯ 収入等についての満足度（H27 年度）

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事が出来る限り続ける」と回答した割合が大きい雇用形態は「その都度契約」(56.7%)。
「60 歳で引退する」と回答した割合が大きい雇用形態は「その他（アルバイト等)」(10.3%)。
「65 歳で引退する」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」(18.1%)。
「70 歳で引退する」と回答した割合が大きい雇用形態は「元請として仕事」(15.2%)。
「75 歳で引退する」と回答した割合が大きい雇用形態は「元請として仕事」(6.0%)。

		合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
			60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事が出来る限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
	全体	3253	6.4	15.7	11.6	3.2	50.4	0.7	12.0
雇用形態	工務店社員	1311	7.4	18.1	7.7	1.3	53.0	0.8	11.7
	外注常用(日当制)	336	8.0	9.8	12.8	2.4	55.1	0.9	11.0
	外注常用(坪請主体)	274	3.3	17.2	13.9	3.3	52.2	0.0	10.2
	その都度契約	120	5.0	11.7	13.3	4.2	56.7	2.5	6.7
	元請として仕事	1090	5.4	15.1	15.2	6.0	45.9	0.5	11.9
	その他(アルバイト等)	29	10.3	17.2	0.0	3.4	41.4	6.9	20.7

表 3.5.18 何歳まで仕事を続ける予定か（H28 年度）　（割合%）

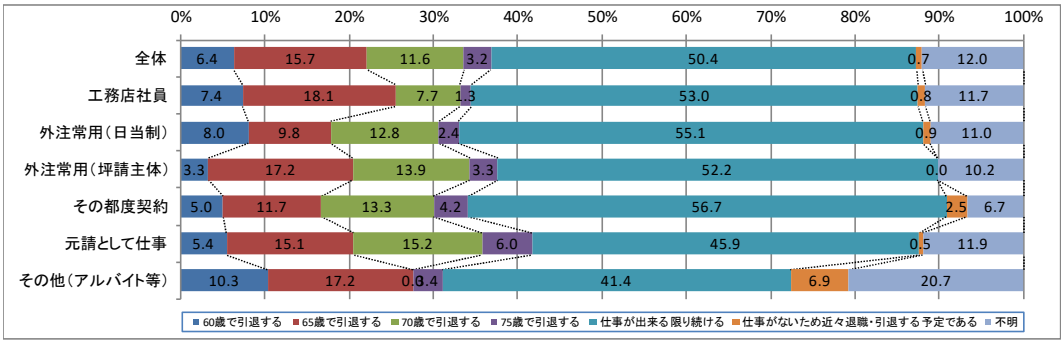


図 3.5.18 何歳まで仕事を続ける予定か（H28 年度）

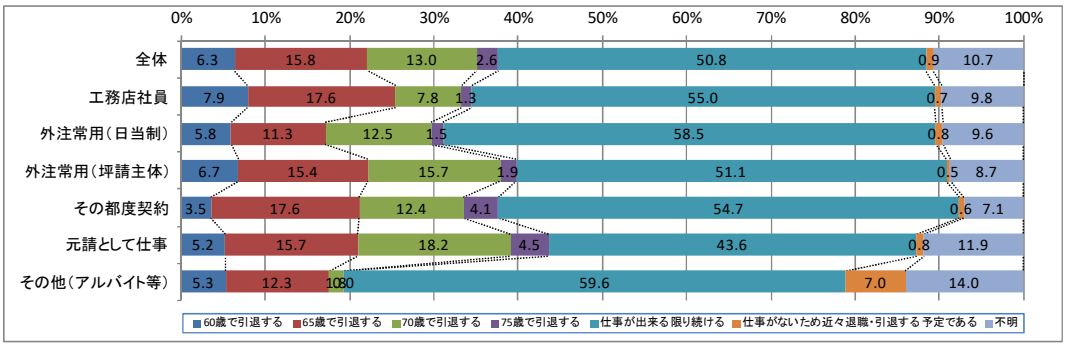


図 3.5.18♯ 何歳まで仕事を続ける予定か（H27 年度）

（５）担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」と回答した割合が大きい雇用形態は「元請として仕事」（20.2%）。

「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」の割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（43.8%）。

「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」の割合が大きいのは「外注常用（日当制）」（45.5%）。

		合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
			現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
	全体	3253	15.3	39.4	28.4	16.9
雇用形態	工務店社員	1311	15.6	40.5	22.7	21.1
	外注常用（日当制）	336	6.3	31.8	45.5	16.4
	外注常用（坪請主体）	274	11.3	43.8	35.4	9.5
	その都度契約	120	9.2	41.7	42.5	6.7
	元請として仕事	1090	20.2	40.6	27.0	12.3
	その他（アルバイト等）	29	3.4	24.1	31.0	41.4

表 3.5.19 担い手の育成状況（H28 年度）　（割合%）

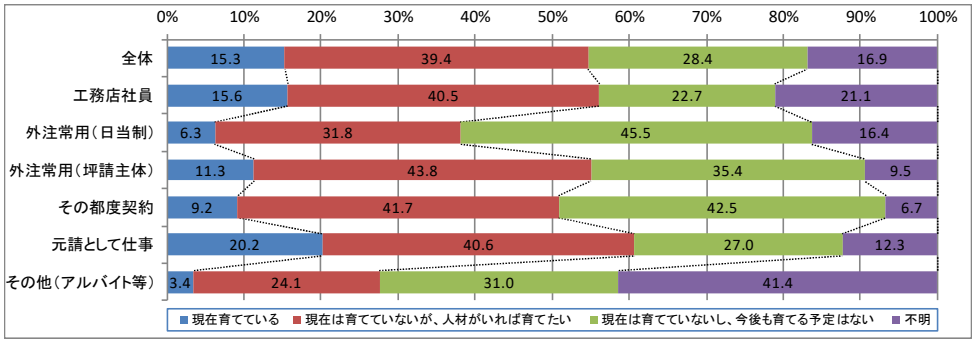


図 3.5.19 担い手の育成状況（H28 年度）

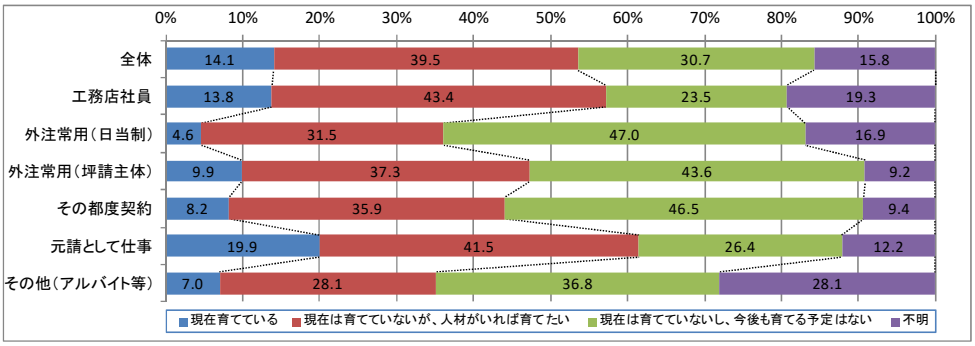


図 3.5.19♯ 担い手の育成状況（H27 年度）

②「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」（29.8%）。（回答数が 1 票のため「その他（アルバイト等）」（100%）を除く。）

「正社員（弟子として）」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（71.0%）。

「一人親方にあずける（職業訓練校）」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（日当制）」（4.8%）。

「一人親方にあずける（弟子として）」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（日当制）」（28.6%）。

		合計	(19)育成期間の担い手の立場				
			正社員（職業訓練校）	正社員（弟子として）	一人親方等にあずける（職業訓練校）	一人親方等にあずける（弟子として）	不明
全体		497	19.1	64.4	1.8	9.3	5.4
雇用形態	工務店社員	205	29.8	63.4	0.0	3.9	2.9
	外注常用（日当制）	21	0.0	42.9	4.8	28.6	23.8
	外注常用（坪請主体）	31	0.0	71.0	3.2	19.4	6.5
	その都度契約	11	9.1	63.6	0.0	27.3	0.0
	元請として仕事	220	13.2	68.2	3.2	10.0	5.5
	その他（アルバイト等）	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

表 3.5.20 育成期間の担い手の立場（H28 年度）　（割合%）

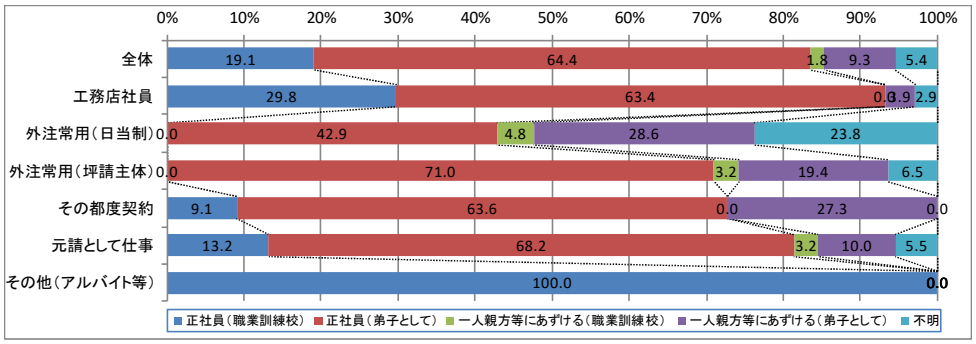


図 3.5.20 育成期間の担い手の立場（H28 年度）

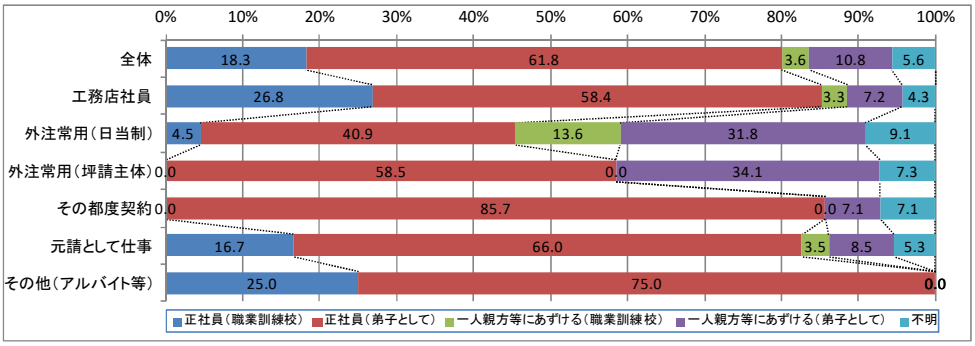


図 3.5.20♯ 育成期間の担い手の立場（H27 年度）

③「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

育成にかかる費用負担が「有る」と回答した割合が大きい雇用形態は「元請として仕事」(30.9%)。「無い」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（日当制)」(23.8%)。(回答数が 1 票のため「その他（アルバイト等)」(100%）を除く。)

		合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
			有	無	不明
	全体	497	27.4	14.3	58.4
雇用形態	工務店社員	205	23.9	21.0	55.1
	外注常用(日当制)	21	14.3	23.8	61.9
	外注常用(坪請主体)	31	41.9	16.1	41.9
	その都度契約	11	18.2	9.1	72.7
	元請として仕事	220	30.9	6.4	62.7
	その他(アルバイト等)	1	0.0	100.0	0.0

表 3.5.21 育成期間にかかる費用負担（H28 年度）　（割合%）

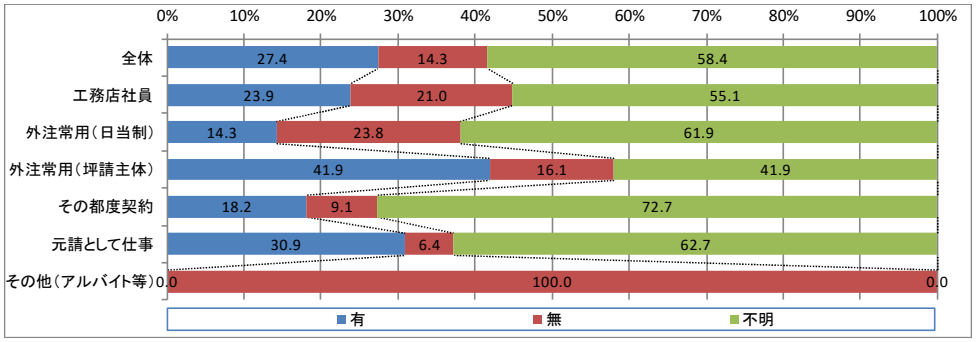


図 3.5.21 育成期間にかかる費用負担（H28 年度）

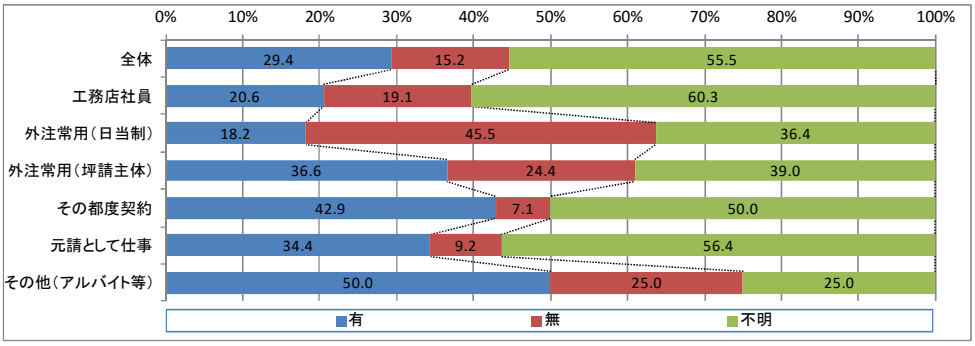


図 3.5.21♯ 育成期間にかかる費用負担（H27 年度）

④「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答
なぜ育てる予定はないのか。

「将来の保障ができないため」と回答した割合が大きい雇用形態は「その都度契約」（52.9%）。
「人材がいないため」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」（25.8%）。
「費用がかかるため」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（38.1%）。

		合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
			育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がいないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
	全体	925	10.4	9.3	18.5	2.8	21.1	11.4	38.5	13.3	8.3	18.7	2.8	14.6
雇用形態	工務店社員	298	9.4	10.1	11.7	1.7	22.1	15.1	26.2	8.1	6.7	14.1	3.4	18.8
	外注常用（日当制）	153	8.5	9.2	21.6	3.9	18.3	7.2	36.6	16.3	7.2	12.4	2.6	22.2
	外注常用（坪請主体）	97	9.3	7.2	38.1	3.1	25.8	11.3	46.4	17.5	14.4	13.4	2.1	8.2
	その都度契約	51	2.0	13.7	13.7	0.0	11.8	15.7	52.9	13.7	11.8	17.6	3.9	11.8
	元請として仕事	294	14.6	8.2	19.4	3.1	22.8	9.5	49.7	16.0	8.2	29.6	2.4	7.8
	その他（アルバイト等）	9	11.1	33.3	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2

表 3.5.22 なぜ育てる予定はないのか（H28 年度）　（割合%）

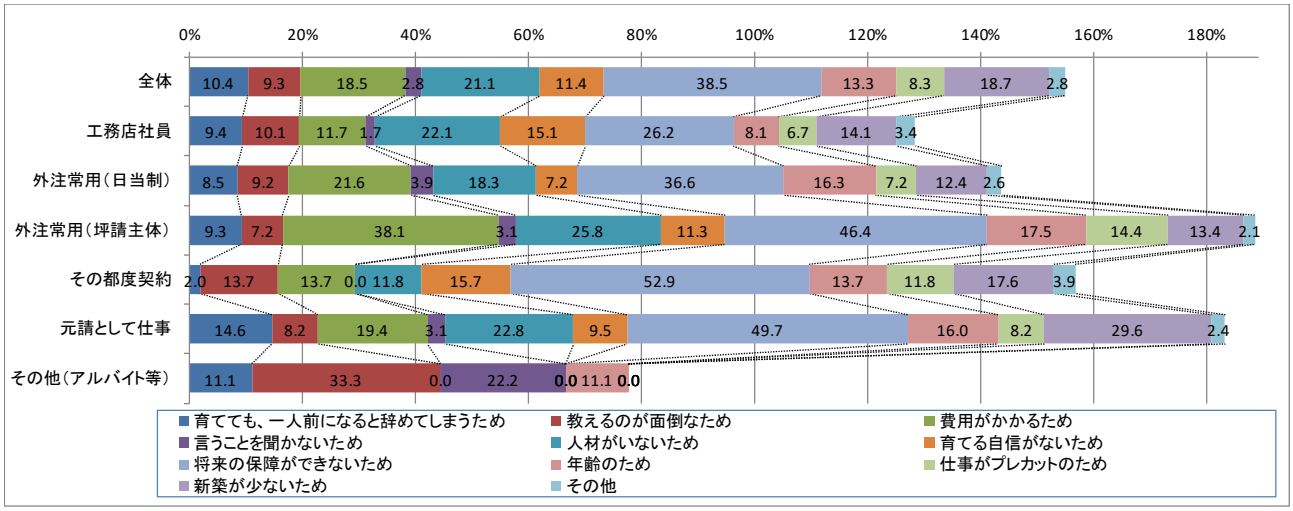


図 3.5.22 なぜ育てる予定はないのか（H28 年度）

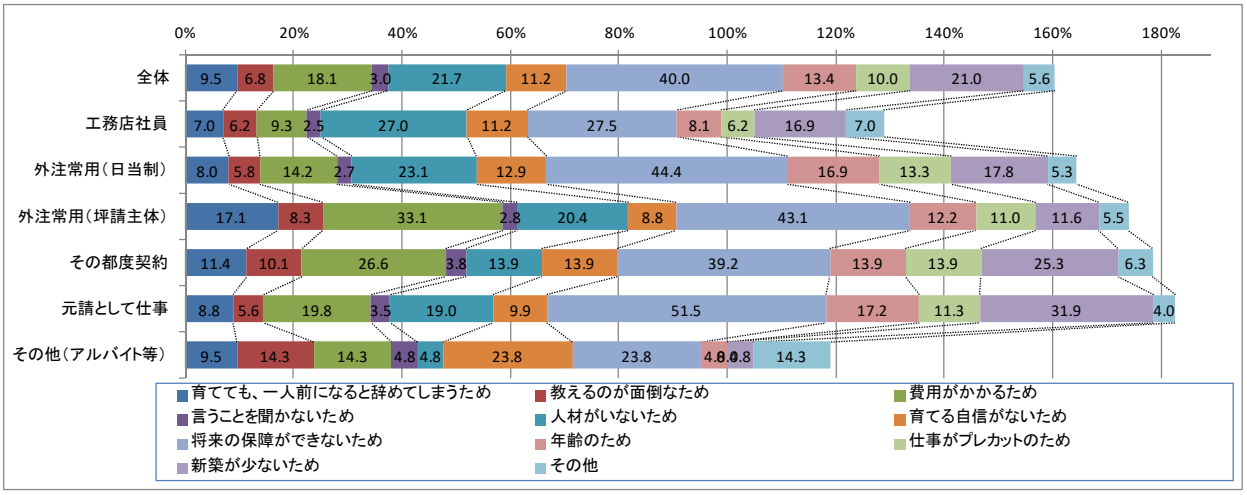


図 3.5.22＃ なぜ育てる予定はないのか（H27 年度）

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、１人／月当たりどの程度必要と考えますか。

「3 万円／月」と回答した割合が大きい雇用形態は「元請として仕事」（5.0%）。
「5 万円／月」と回答した割合が大きい雇用形態は「工務店社員」（15.5%）。
「10 万円／月」と回答した割合が大きい雇用形態は「その都度契約」（42.5%）。
「15 万円／月」と回答した割合が大きい雇用形態は「外注常用（坪請主体）」（23.4%）。
「必要ない」と回答した割合が大きい雇用形態は「その都度契約」（6.7%）。

		合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
			3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
	全体	3253	4.2	14.2	27.7	17.5	3.1	33.3
雇用形態	工務店社員	1311	4.5	15.5	22.5	13.9	3.4	40.2
	外注常用(日当制)	336	4.2	10.7	26.5	17.9	2.7	38.1
	外注常用(坪請主体)	274	0.4	15.3	35.0	23.4	1.5	24.5
	その都度契約	120	3.3	10.0	42.5	20.0	6.7	17.5
	元請として仕事	1090	5.0	14.7	32.7	20.7	3.0	23.9
	その他(アルバイト等)	29	3.4	6.9	13.8	10.3	3.4	62.1

表 3.5.23 公的補助について、１人／月当たりどの程度必要か（H28 年度）　（割合%）

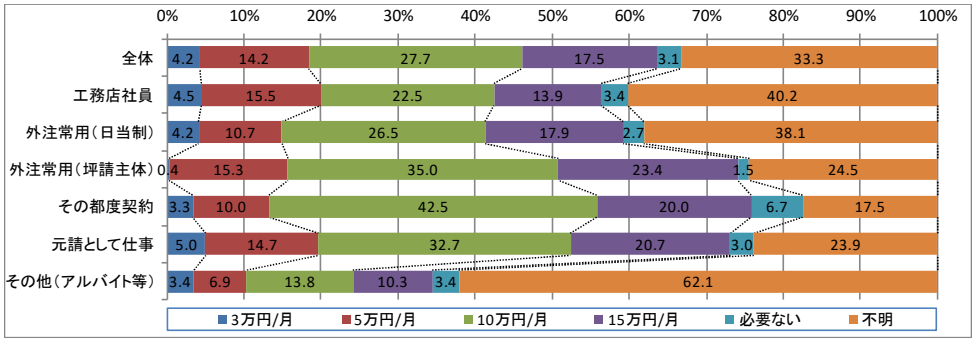


図 3.5.23 公的補助について、１人／月当たりどの程度必要か（H28 年度）

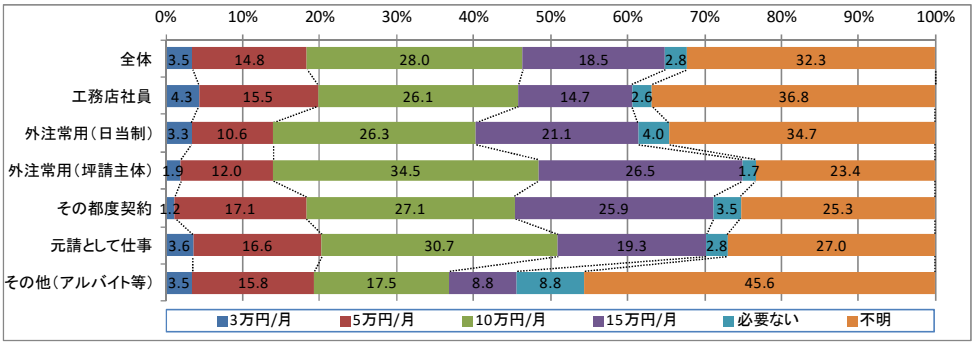


図 3.5.23ｷ 公的補助について、１人／月当たりどの程度必要か（H27 年度）

6.　賃金別集計

（１）職業等について

①職種においてベテランだと思いますか。

「ベテラン」と回答した割合が大きい賃金層は「25,000 円以上」（41.9%）。
「ややベテラン」と回答した割合が大きい賃金層は「20,000～25,000 円未満」（27.4%）。
「中堅」と回答した割合が大きい賃金層は「10,000～15,000 円未満」（40.6%）。
「やや中堅」と回答した割合が大きい賃金層は「8,000～10,000 円未満」（20.5%）。
「見習い」と回答した割合が大きい賃金層は「8,000 円未満」（72.4%）。

		合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
			ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
	全体	3253	19.8	20.5	32.6	11.0	13.2	3.0
賃金	8,000円未満	203	5.4	5.4	7.9	6.9	72.4	2.0
	8,000～10,000円未満	249	2.8	10.0	13.3	20.5	51.4	2.0
	10,000～15,000円未満	1144	15.5	19.1	40.6	14.9	6.7	3.1
	15,000～20,000円未満	1099	26.3	25.3	35.9	7.4	2.7	2.4
	20,000～25,000円未満	299	32.4	27.4	30.4	6.0	2.0	1.7
	25,000円以上	74	41.9	24.3	24.3	2.7	2.7	4.1

表 3.6.1 職種のベテラン度合（H28 年度）　（割合%）

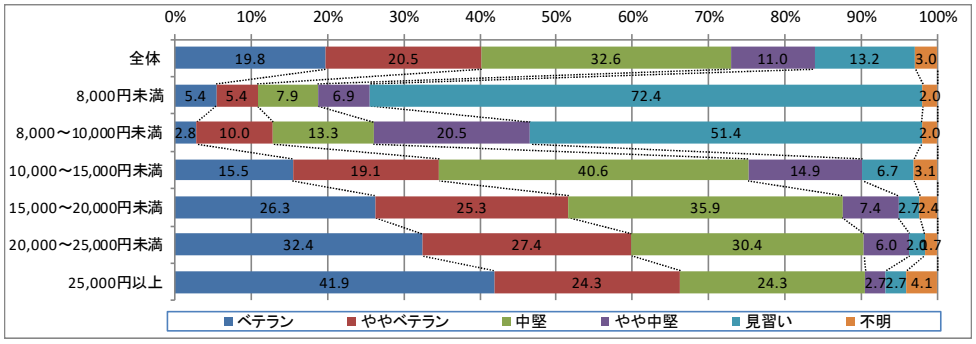


図 3.6.1 職種のベテラン度合（H28 年度）

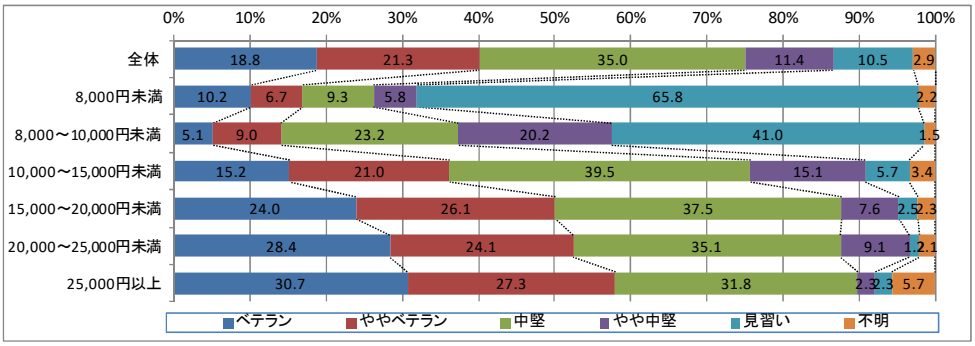


図 3.6.1♯ 職種のベテラン度合（H27 年度）

（２）資格や技能について

①持っている資格

持っている資格の割合の合計が大きい賃金層は「25,000 円以上」（308.1%）。

持っている資格の割合の合計が小さい賃金層は「8,000 未満」（118.7%）。

		合計	(13)お持ちの資格														
			1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級･2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
	全体	3253	5.4	29.5	3.0	4.2	13.7	22.9	2.0	11.2	7.0	36.8	38.5	43.3	18.2	10.5	20.0
賃金	8,000円未満	203	1.0	10.8	2.5	1.5	4.4	15.3	0.5	2.0	2.0	15.3	7.9	39.9	14.3	1.5	41.9
	8,000～10,000円未満	249	1.2	15.7	1.2	3.2	7.6	20.9	0.8	4.4	1.2	23.3	21.7	42.6	16.9	5.6	36.1
	10,000～15,000円未満	1144	4.1	28.4	1.9	4.0	14.2	27.5	1.9	13.7	5.3	36.9	40.5	46.8	21.0	10.2	17.0
	15,000～20,000円未満	1099	7.8	36.4	4.6	4.5	15.1	22.3	2.5	11.4	9.1	41.9	45.4	43.3	16.1	12.6	13.3
	20,000～25,000円未満	299	9.4	34.1	5.0	7.7	19.7	21.4	2.3	12.0	13.4	48.8	48.8	41.5	19.4	14.7	14.0
	25,000円以上	74	8.1	36.5	2.7	6.8	13.5	20.3	1.4	12.2	16.2	48.6	48.6	48.6	28.4	16.2	14.9

表 3.6.2 持っている資格（H28 年度）　（割合%）

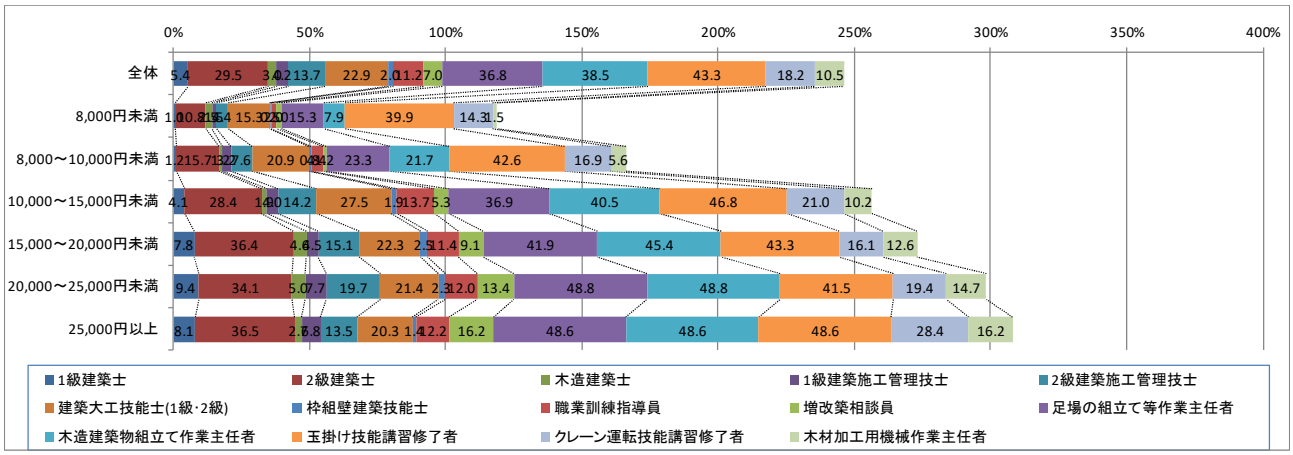


図 3.6.2 持っている資格（H28 年度）

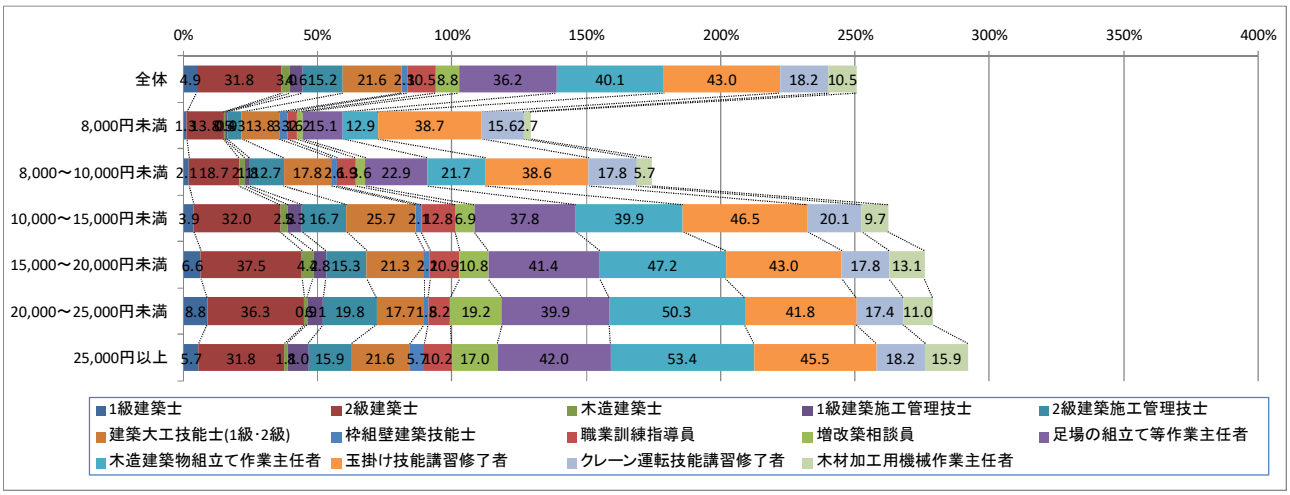


図 3.6.2♯ 持っている資格（H27 年度）

②大工職のみ回答　墨付けができますか。

墨付けについて「はい」と回答した割合が大きい賃金層は「15,000～20,000 円未満」（79.5%）。「いいえ」と回答した割合が大きい賃金層は「8,000 円未満」（49.3%）。

		合計	(14)①墨付けができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		3253	69.9	15.9	14.3
賃金	8,000円未満	203	37.9	49.3	12.8
	8,000～10,000円未満	249	48.2	38.2	13.7
	10,000～15,000円未満	1144	71.5	16.0	12.5
	15,000～20,000円未満	1099	79.5	7.8	12.6
	20,000～25,000円未満	299	78.6	8.4	13.0
	25,000円以上	74	74.3	8.1	17.6

表 3.6.3 墨付け（H28 年度）　（割合%）

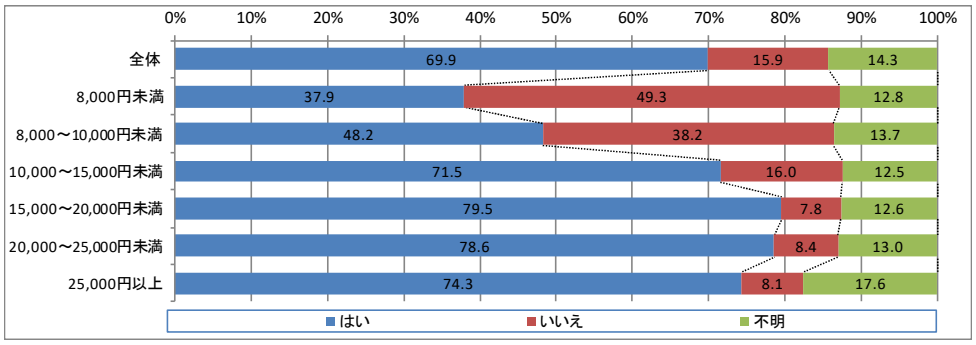


図 3.6.3 墨付け（H28 年度）

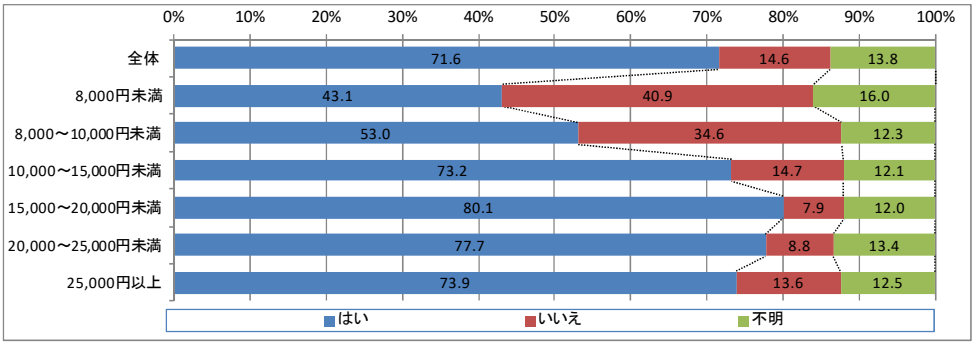


図 3.6.3♯ 墨付け（H27 年度）

③大工職のみ回答　今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（新築）

新築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が大きい賃金層は「10,000～15,000 円未満」（26.8%）。

「いいえ」と回答した割合が大きい賃金層は「20,000～25,000 円未満」（68.6%）。

		合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	24.1	60.3	15.6
賃金	8,000円未満	203	26.1	58.6	15.3
	8,000～10,000円未満	249	26.5	59.4	14.1
	10,000～15,000円未満	1144	26.8	59.4	13.8
	15,000～20,000円未満	1099	22.4	63.5	14.1
	20,000～25,000円未満	299	17.1	68.6	14.4
	25,000円以上	74	25.7	55.4	18.9

表 3.6.4 手刻み加工の仕事（新築）（H28 年度）　（割合%）

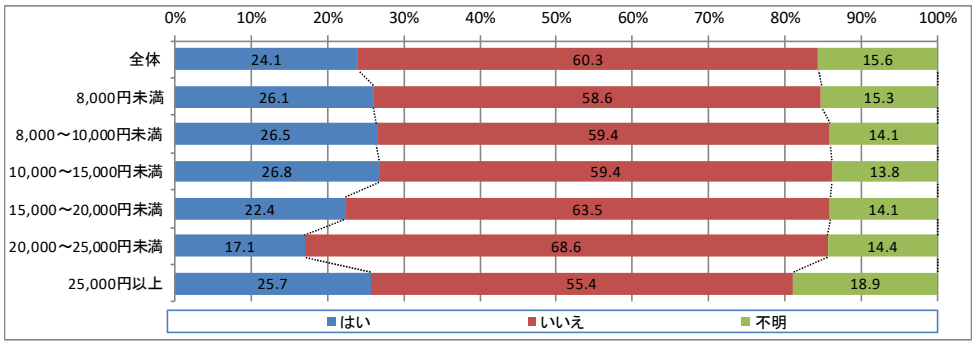


図 3.6.4 手刻み加工の仕事（新築）（H28 年度）

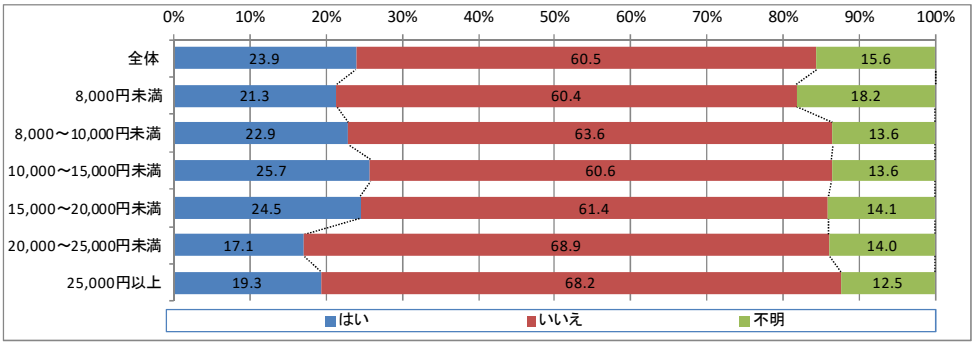


図 3.6.4♯ 手刻み加工の仕事（新築）（H27 年度）

④大工職のみ回答　今でも手刻み加工の仕事を年１棟以上行っていますか。（増改築）

増改築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が大きい賃金層は「10,000～15,000 円未満」（51.0%）。

「いいえ」と回答した割合が大きい賃金層は「8,000 円未満」（50.2%）。

		合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	46.4	37.8	15.8
賃金	8,000円未満	203	34.5	50.2	15.3
	8,000～10,000円未満	249	36.9	48.6	14.5
	10,000～15,000円未満	1144	51.0	34.8	14.2
	15,000～20,000円未満	1099	49.2	36.8	14.0
	20,000～25,000円未満	299	45.2	40.5	14.4
	25,000円以上	74	44.6	37.8	17.6

表 3.6.5 手刻み加工の仕事（増改築）（H28 年度）　（割合%）

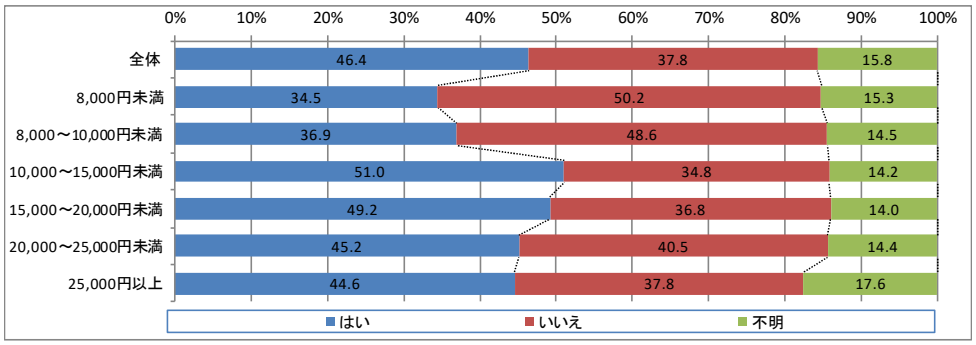


図 3.6.5 手刻み加工の仕事（増改築）（H28 年度）

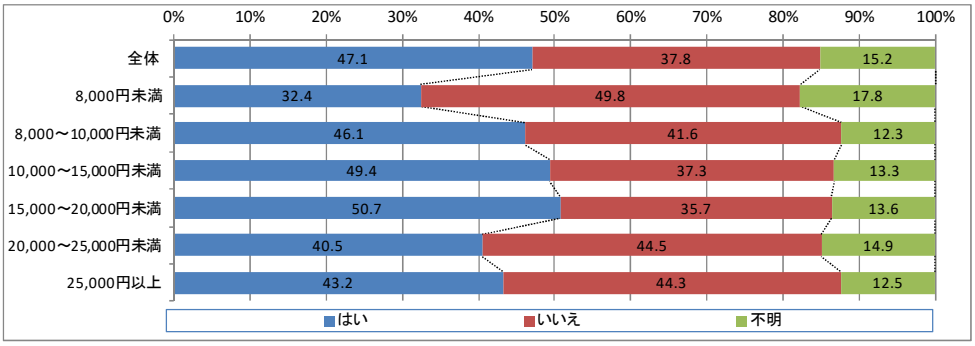


図 3.6.5♯ 手刻み加工の仕事（増改築）（H27 年度）

⑤大工職のみ回答　和室造作ができますか。

和室造作の技能について「はい」と回答した割合が大きい賃金層は「15,000～20,000 円未満」(78.3%)。「いいえ」と回答した割合が大きい賃金層は「8,000 円未満」(64.0%)。

		合計	(14)④和室造作ができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		3253	64.7	20.0	15.3
賃金	8,000円未満	203	23.2	64.0	12.8
	8,000～10,000円未満	249	31.3	53.8	14.9
	10,000～15,000円未満	1144	65.7	20.2	14.1
	15,000～20,000円未満	1099	78.3	8.4	13.4
	20,000～25,000円未満	299	76.9	9.4	13.7
	25,000円以上	74	77.0	5.4	17.6

表 3.6.6 和室造作（H28 年度）　（割合%）

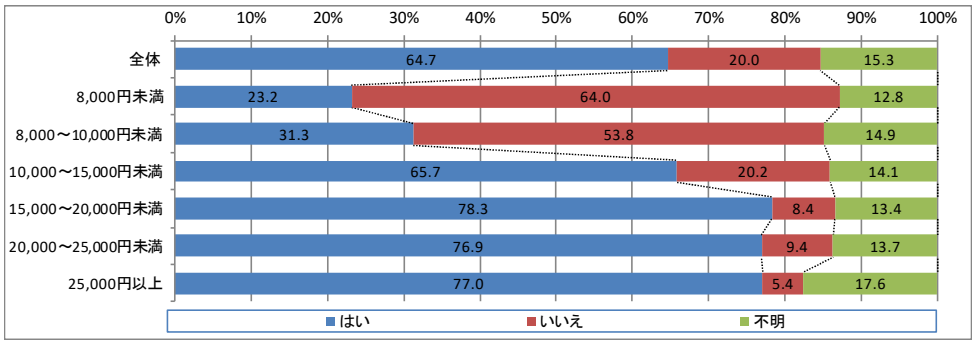


図 3.6.6 和室造作（H28 年度）

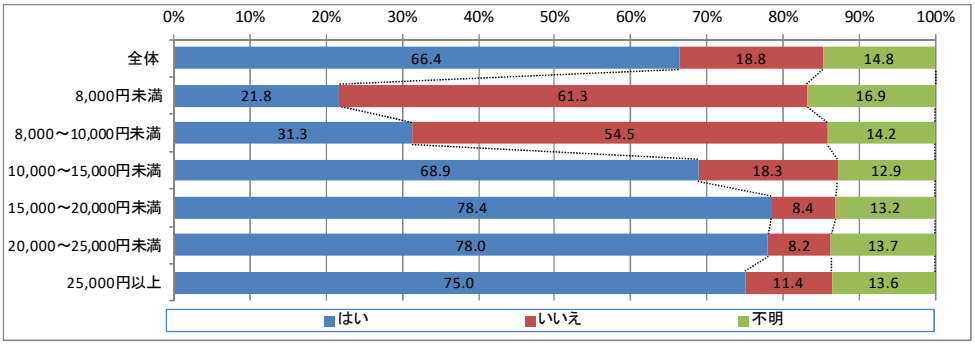


図 3.6.6♯ 和室造作（H27 年度）

⑥大工職のみ回答　2×4 工法の住宅の施工ができますか。

2×4 工法の住宅の施工の技能について「はい」と回答した割合が大きい賃金層は「25,000 円以上」(37.8%)。

「いいえ」と回答した割合が大きい賃金層は「8,000 円未満」(72.9%)。

		合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	3253	26.7	56.4	16.9
賃金	8,000円未満	203	11.3	72.9	15.8
	8,000～10,000円未満	249	15.7	68.3	16.1
	10,000～15,000円未満	1144	26.6	58.2	15.2
	15,000～20,000円未満	1099	31.4	53.3	15.3
	20,000～25,000円未満	299	33.4	51.5	15.1
	25,000円以上	74	37.8	44.6	17.6

表 3.6.7 2×4 工法の住宅の施工（H28 年度）　（割合%）

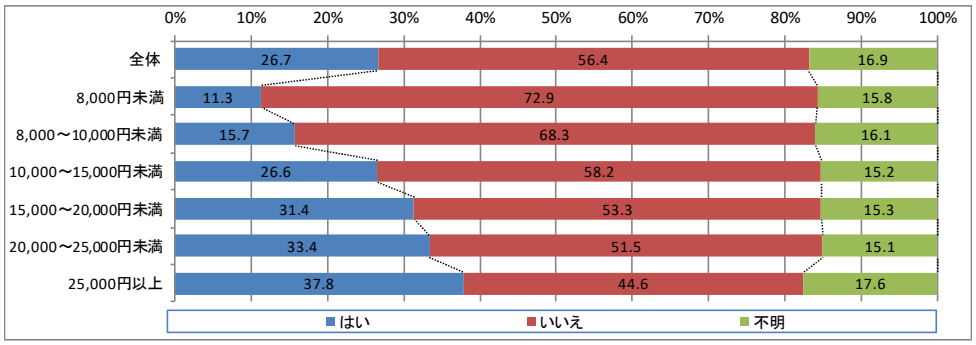


図 3.6.7 2×4 工法の住宅の施工（H28 年度）

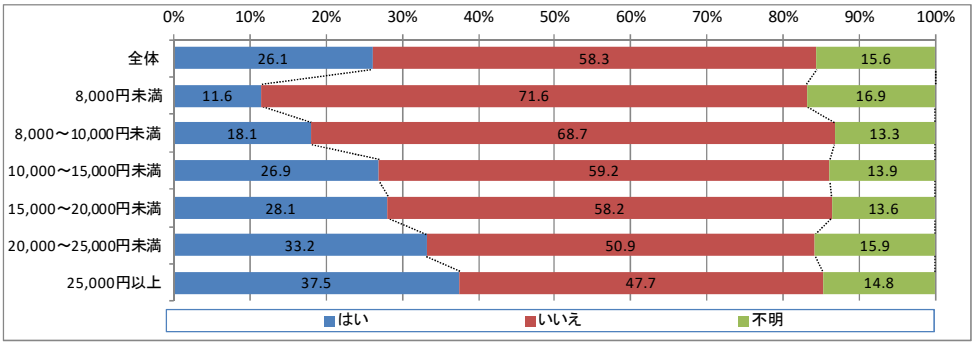


図 3.6.7♯　2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）

（３）仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」と回答した割合が最も高い賃金層は「25,000 円以上」（67.6%）。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」と回答した割合が最も高い賃金層は「8,000 円未満」（33.5%）。

		合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
	全体	3253	10.8	48.9	23.5	5.4	11.4
賃金	8,000円未満	203	18.2	42.4	26.1	7.4	5.9
	8,000～10,000円未満	249	13.3	45.0	27.3	6.0	8.4
	10,000～15,000円未満	1144	9.0	53.9	21.9	5.7	9.4
	15,000～20,000円未満	1099	9.5	48.2	25.6	5.5	11.3
	20,000～25,000円未満	299	12.0	51.8	22.4	2.7	11.0
	25,000円以上	74	25.7	41.9	14.9	6.8	10.8

表 3.6.8 仕事の内容についての満足度（H28 年度）　（割合%）

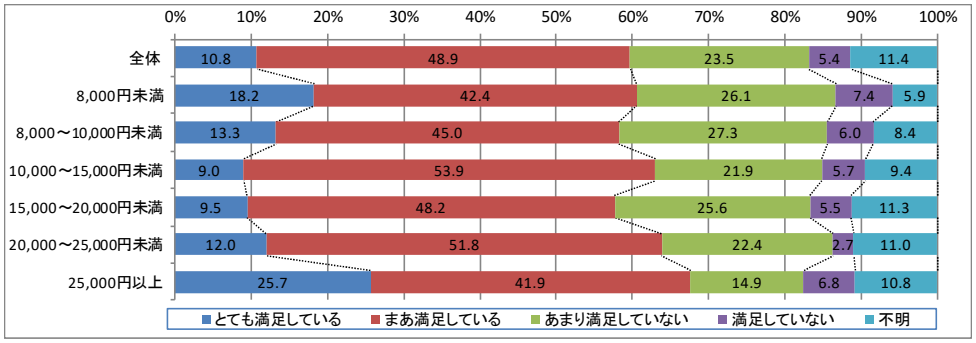


図 3.6.8 仕事の内容についての満足度（H28 年度）

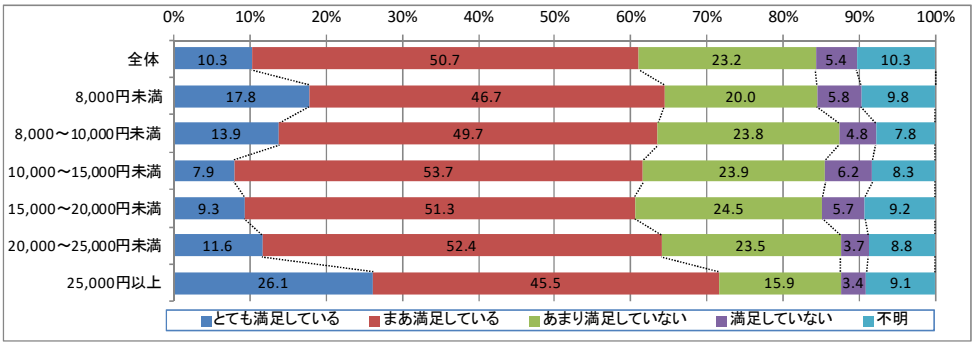


図 3.6.8♯ 仕事の内容についての満足度（H27 年度）

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」と回答した割合が大きい賃金層は「25,000 円以上」（59.5%）。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」と回答した割合が大きい賃金層は「8,000 円未満」（63.5%）。

		合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
	全体	3253	4.1	31.4	38.1	15.5	11.1
賃金	8,000円未満	203	7.4	23.2	32.0	31.5	5.9
	8,000～10,000円未満	249	4.4	31.7	33.3	22.5	8.0
	10,000～15,000円未満	1144	2.4	32.1	41.9	14.4	9.2
	15,000～20,000円未満	1099	3.7	30.7	40.1	15.1	10.4
	20,000～25,000円未満	299	4.0	39.1	36.1	9.7	11.0
	25,000円以上	74	17.6	41.9	18.9	10.8	10.8

表 3.6.9 収入等についての満足度（H28 年度）　（割合%）

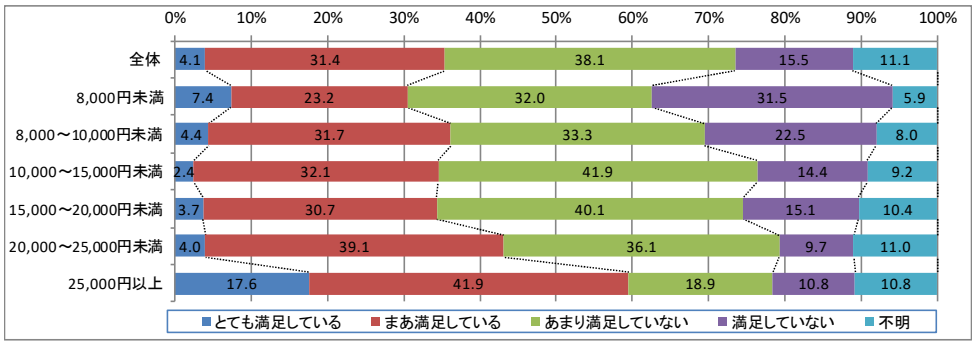


図 3.6.9 収入等についての満足度（H28 年度）

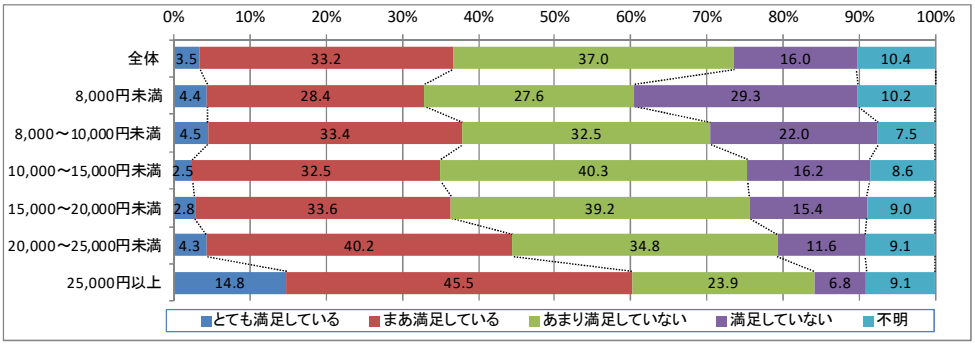


図 3.6.9♯ 収入等についての満足度（H27 年度）

資料編

目次

■アンケート調査　自由記述回答

１．設問（3）職種　【その他】の自由記述回答　資料編-1-
２．設問（10）-3 健康保険　【その他】の自由記述回答　資料編-9-
３．設問（21）なぜ育てる予定はないのですか【その他】の自由記述回答　資料編-10-
４．設問（23）担い手育成についての意見（自由記述）　資料編-11-

■「大工の実態」に関するアンケート調査（全体集計）

（3）職種…(MA)
4. その他

現場管理	495
設計	234
施工管理	184
現場監督	117
営業	101
管理	47
現場監理	37
工務店	31
監督	23
建築設計	23
学生	22
設計事務所	22
設計士	21
建築士	19
現場代理人	18
現場管理者	16
電工	16
設計・現場管理	14
建設会社	13
事務	13
会社役員	11
販売店	10
建設業	9
会社員	9
施工管理者	9
設計・施工管理	9
設計監理	9
管理者	8
設計・監理	8
工務店経営	8
施工監理	8
不動産業	8
工務	8
電気工事	8
監理	7
経営者	7
現場管理・設計	7
塗装工	7
工事管理	7
塗装	7
リフォーム業	6
公務員	6
設計・施工	6
設計・管理	6
ハウスメーカー	5
建築施工管理	5
経営	5
設計管理	5
設備設計	5
施工	5
営業職	4
官公庁	4
営業・管理	4
管理、営業	4
管工事	4
元請	4
管理職	4
建材屋	4
電気工事士	4
資材販売	4

（3）職種…(MA)
4. その他

内装工	4
事務職	4
工務店経営者	4
行政	4
役員	4
現場員	3
現場かんとく	3
建築営業	3
訓練生	3
現場	3
企画	3
建築会社	3
建築設備	3
屋根	3
営業・設計	3
メーカー	3
建設会社役員	3
住宅メーカー	3
積算	3
左官	3
不動産	3
住宅設計	3
販売	3
代表者	3
配管工	3
工務店社員	3
電気工事業	3
商社	3
電気工	3
住宅資材販売	3
大工ではない	3
施工管理技士	3
代表取締役	3
現場施工管理	3
検査	2
建築資材販売	2
空調設備	2
建材販売	2
現場カンリ	2
建築板金	2
卸売業	2
建材店	2
2級建築士	2
建材卸	2
IC	2
営業、施工管理	2
現場管理・営業	2
一級建築士	2
建設施工	2
ゼネコン	2
建材問屋	2
サッシ販売店	2
営業事務	2
監理者	2
監理技術者	2
管理・設計	2
建設会社代表	2
管理・営業	2
建設会社社員	2
建築設計士	2

（3）職種…(MA)
4. その他

プレカット	2
現場管理職	2
建材流通	2
建築事務所	2
ガス	2
建材メーカー	2
建材	2
CAD	2
代表	2
施工管理・設計	2
自営業	2
設備業	2
設備工事	2
設計補助	2
総合建設業	2
流通店	2
木材販売業	2
断熱施工	2
材木店	2
断熱工	2
地方公務員	2
無職	2
住宅営業	2
設計・現場管理補助	2
社長	2
現場代人	2
施行管理	2
設計・営業	2
専門学生	2
設計、現場管理	2
材木店、販売	2
内装	2
材木屋	2
職業訓練指導員	2
土木	2
工事監理	2
現場検査員	2
設計・現場監理	2
営業・設計・施工管理	1
ガス会社・リフォーム工事	1
リフォーム	1
建築リフォーム施工	1
家屋リフォーム	1
建設事務	1
建築会社勤務	1
建設資材販売、施工部	1
トータル監理	1
建設資材販売	1
会社役員（現場管理）	1
現場管理（会社員）	1
営業等	1
建設現場監督	1
建築会社社員	1
建設業代表（営業）	1
リフォーム施工管理	1
建設業管理	1
プレカット営業	1
建設業と設計	1
サッシ工	1
建設業（土木）	1

（3）職種…(MA)
4. その他

建築リフォーム専門	1
元大工	1
会社員（ゼネコン）	1
元請業者	1
屋根工事業	1
元請・現場管理	1
営業施工	1
現場管理他	1
営業・設計・監理	1
建設会社経営	1
営業（断熱材販売）	1
建設会社勤務	1
建築会社員	1
建設会社管理職	1
リフォーム会社	1
建設会社監理者	1
ポリテク	1
建設会社員	1
ハウスビルダー	1
建設会社・設計	1
すべて	1
建設会社・会社員	1
コーディネーター	1
建設会社（施工管理）	1
アフターメンテナンス	1
建設会社　施工管理	1
外装工事	1
見習い	1
会社代表	1
建材流通店	1
建築工事業社長	1
研究職	1
建築工事管理	1
検査業務	1
屋根・外壁・防水他	1
建材木材PC販売棚卸問屋営業	1
建築業代表者	1
建材販売営業	1
営業管理	1
建材販売・施工	1
営業・設計・工事監理	1
検査員	1
営業・工事	1
建材等卸売	1
営業、工務施工管理	1
現場管監	1
営業（建材）	1
建材商社	1
一級建築士・一級施工管理	1
建材卸売業	1
リフォーム内装	1
建材卸売	1
リフォーム経営	1
建材卸業	1
リフォーム営業、雑務	1
建販業	1
現場管理（見習い）	1
建築板金工	1
プレカット会社	1
建材メーカー営業	1

（3）職種…(MA)

4. その他

ハウスメーカー（ビルダー）	1
現場監理・設計	1
なんでもする	1
建材の卸売	1
ゼネコン・現場監理	1
建材、木材、住宅機器の配送	1
サッシ販売業	1
建築全般	1
サッシ業	1
建具職	1
カントク	1
建具工事業	1
エクステリア工事	1
建具	1
建築意匠設計	1
軽天工	1
各工事・全体	1
計画	1
開発営業	1
経理	1
現場管理、施工	1
現場監理・会社経営	1
会社経営	1
経営、現場管理	1
会社員　建築会社	1
現場管理兼営業	1
家具工	1
型枠大工	1
化学メーカー	1
建築設計業	1
屋根工事業・その他	1
訓練学生（ポリテクセンター岡山）	1
屋根工事	1
空調設備施工管理	1
建築現場管理	1
建築設計及び施工	1
営業職・管理	1
空調・電気工事施工	1
建築技術者	1
金属加工	1
営業現場	1
CADオペ	1
営業ほか	1
建築設計・検査	1
営業・設計・施工監理全般	1
技術職	1
営業・設計・現場管理	1
技術校	1
建築管理	1
技術営業	1
建築会社役員	1
技術	1
営業、施工、会社経営	1
基礎工事業	1
営業、現場管理	1
基礎・土木	1
営業（設備）	1
基礎・外構	1
営業（ガラス・サッシ）	1
基礎	1

（3）職種…(MA)
4. その他

一般建設請負業	1
建築設計・監理	1
一級建築士（設計）	1
現場監督員	1
意匠設計	1
建築請負一式	1
リフォーム専業	1
建築請負	1
リフォーム工事店	1
管理・監理	1
建築会社　社員	1
管理・監督・設計	1
リフォーム営業・工務	1
現場監督・設計	1
リフォーム営業	1
現場監督、管理	1
メーカー営業	1
建築資材・営業	1
ポリテクセンター千葉にて訓練中	1
管材・住設卸	1
ブローイング	1
管工事業	1
プレカット屋	1
管工事・設備	1
建築営業職、現場管理、工事管理	1
管工事・管理	1
建築営業（住宅リフォーム）	1
建築施工業社	1
パート	1
監理者・代表取締役	1
なし	1
建築施工管理技士・電気工事士	1
タイル施工業	1
現場管理、設計	1
現場管理（建築）	1
監理・監督	1
建築一般・設計	1
建築施工会社	1
サッシ施工	1
監督大工	1
サッシ建具販売施工	1
監督員	1
サッシメーカー	1
監督（現場）	1
カントク及び営業	1
建築士・現場監督	1
ガス事業者	1
建築士（設計）	1
建築一般	1
瓦工事	1
インテリアコーディネーター	1
学生（施工管理）6年	1
アシスタント	1
学生　※4月から入社	1
CM	1
建築士（1級）	1
確認検査業務	1
教育（教諭）	1
現場管理補助	1
求職中	1

（3）職種…(MA)
4. その他

木材・建材販売	1
職業訓練生	1
工務店社長	1
販売店営業	1
木材・製材・断熱施工	1
断熱材卸し業	1
雑用	1
断熱工事	1
工務店、現場管理	1
納入業務	1
電気設備工事業	1
断熱営業	1
事務：お客様係	1
断熱	1
施工管理・建具工	1
宅建士・現場管理	1
購買	1
大工見習い	1
工務店管理	1
大工以外（現場監督）	1
工事監督	1
熱絶縁	1
浄化槽販売・設置	1
大工しながら施工管理見習	1
住宅現場督	1
大工	1
不動産・リフォーム	1
大学生	1
事業主	1
代理人	1
施工管理共	1
代表取締役社長	1
施工・現場管理	1
代表取締役・営業・管理	1
発泡ウレタン・空調	1
内装仕上げ	1
工務店代表	1
内装仕上	1
工務店作業者	1
木材供給業者	1
工務店の転職	1
耐震補強工	1
工事業者	1
多能工	1
断熱内窓施工業者	1
測定サービス	1
職業訓練校講師	1
造園塗装業	1
電気通信工	1
造園	1
住宅資材販売会社	1
綜合企画	1
住宅建材メーカー	1
総合職	1
手伝い（大工の）	1
総合施工	1
防水工	1
内装業	1
事業主・設計士	1
窓屋	1

（3）職種…(MA)

4. その他

資材販売施工	1
窓メーカー	1
施工図作図	1
全般	1
電気メーカー	1
弋工	1
防音設計	1
専務	1
指導員	1
設備設計施工	1
鉄骨施工図作成	1
木建具工	1
左官（リフォーム綜合請負）	1
設備修繕業	1
工務店役員	1
設備施工	1
工務店積算	1
設備士	1
地場ゼネコン	1
設備工事業	1
工務店経営（現場管理）	1
内外塗装、多能工型施工店	1
工務店営業	1
設備工	1
工務店・現場監理	1
設備系	1
不動産管理	1
特定保険法人	1
工事監理者	1
設備	1
工員	1
東北電子専門学校	1
食品関係	1
設計従事者	1
電気通信設備工	1
設計者・店主	1
畳	1

10-3）加入している健康保険について…(MA)
4. その他の健康保険

社会保険	275
協会けんぽ	27
全国健康保険協会	16
厚生年金	3
全国土木建築国民健康保険組合	2
任意労災	1
個人年金	1
民間保健会社	1
後期高齢者医療保険	1
県民共済全労済	1
公務員	1
保険会社	1
公務員共済	1
共済保険	1
政府管掌協会健保	1
生命保険	1
建築国保	1
全労災？	1
土建	1
中建国保	1
厚生年金・社会保険	1
特別労災	1
厚生保険	1
夫の扶養	1
高期高令	1
忘れた	1
高令者医療保険	1
会社団体	1
グループ会社健康保険	1
傷害保険	1

（21）なぜ育てる予定はないのですか…(MA)
11. その他

自分が見習い中	13
会社都合	6
大工ではない	4
育てる立場ではない	3
仕事が少ない	2
なし	2
職人ではないので	1
持続性がない	1
育てる予定はない	1
一人親方で。	1
若手は辛抱しない。	1
営業職のため	1
ゆとりすぎるため。	1
会社の為　新入社員がいない	1
仕事の安定度の低さ	1
自営のため	1
育てるほど仕事がない	1
社員研修等がある為。	1
そういう職種ではない	1
社会的身分	1
業務が不透明な為	1
主人の手伝いだから	1
大工だけでなく全体を見なければいけないので、いろいろできる人材であれば。	1
全体的な仕事量がない。	1
日当が悪い	1
その環境にない為	1
建設業面白く無い	1
分野が違うため	1
現場管理している者が常に一人の為	1
サラリーマンなので	1
今から先は無なるため	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査（全体集計）

（23）担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。…(FA)

NO.	ご意見
1	サラリーマン年収よりやすい年収になってしまうので，親方になってもあまりいいものではないと思います。（直請けの人は別）
2	年々仕事の内容がかわり，材料が新しくなりかわりつつある。
3	大工でない為，担い手の箇所はお答えしておりません。
4	わからない。
5	若者の大工の数が少なく，将来が心配。
6	この業界に入ってる人材がとにかくいない。業界全体の古い慣習が原因である。
7	年の差や感じ方の違い。
8	若い人は職人に対するイメージが良くないため，就職しないのでイメージアップが重要だと思う。
9	人手が少なく感じているが，探す手段が無い。公的なものであれば考えたい。
10	工務店へ助成金の補助をして欲しいです。
11	ヨーロッパのように国策で育成しなければ，各業社の技術しかのこらない。
12	毎日の仕事が無い為，収入等が安定しない。
13	職人にきびしい時代。
14	大変重要な役割だと思っていますが，現状きびしいのは確かです。公的補助等沢山あればいいと思いま
15	見習いを大工に育てるのは非常にむずかしいです。私の所にも1名おりますが，こちらの言っていることが理解できない。職業訓練校を卒業してもこの程度ではこまります。基礎が出来ていないので，始めから言っています！
16	次の世代が今のままでは収入が少なすぎる。
17	正直あまり補助は考えてなかったけど，あったらうれしい（雇いやすい）
18	職人に将来性がない為すすめられない。請負が本当に負け仕事になっている。
19	単価の底上げ。
20	大変です！
21	人材が不足しており，現在も人員募集しているが来ないのが実態で苦労している。このままだんだんと人が減り，少数になってしまうと予想されるので何か手を打つ必要性があると感じている。
22	給料が安い・休日が少ない・仕事がきつい，なので仕事覚えたら少しでも給料高い会社に行きますよね。会社的には育てても・・・
23	収入が良ければ人は集まる。
24	育成するためには，建築工事費が今のままだと安すぎると思います。
25	職人になり手がない。冬期間など通年雇用が出来ない。
26	まず入職者が少ない。わがまま・自分勝手なやつが多い。親の育て方が悪い。
27	建設業界の労務賃金が高く出来ない。
28	育成以前に現職人の現状を改善しないことには，より良い育成に着手できないと思う。
29	大工になりたい若者がいない。
30	休日の確保，収入の安定，建設業の社会的高揚。
31	むかしより，建方にクレーンを使用する等，重労働ではなくなっていますが，若い方が続かないのが現状です。逆に年ぱいの方のがんばりがすごいです。
32	工期の問題がある。
33	新築と量が少ない為むずかしい。
34	担い手でもできる仕事を増やす。
35	国の制度が，ハウスメーカー・建売仕様なので本当の大工は不安となる。ビニールに囲まれた家がほとんどとなる。
36	資格取得する為の年数・費用を下げてもらえると良いかと思います。
37	育成よりも担い手をつくる事が重要だと思います。賃金が安い上に道具等の費用もだいぶかかるので，若い担い手は少ないです。賃金や補助等見なおしてもらいたいです。
38	大工になりたいと思い見習いに入っても，雇用形態にかかわらず，少ない賃金の中から道具をそろえなければ仕事が出来ない。（道具も高額）工法・建築物の性能も向上するにともない，そろえる道具も増え，若手は道具をそろえる事がなかなか出来ないのでは？イコール，続かない。会社等ですべてをそろえるのも難しい。本講習終了者でも雇用形態が違えば，手のかけ方が変わるのでは？請負施工者は手間が増えれば賃金は低下していく。
39	職人に魅力を感じる人が少なくなってしまったと思う。
40	建築業が夢のある職種だというイメージをつくる。「つらく給料も安い」というイメージをなくすよう働く。（業界団体等全般で）
41	今の若い子（20才未満）は，怒るとすねるし，親が怒ってくる。
42	現代の工法については，技術は必要だけど同じ汗を流すとすれば楽な仕事に行く方が多い。魅力ある職場環境づくりが必要。
43	国交省の大工育成事業が終わりますが，続けてほしいと思います。
44	大工育成（OBC)を行っていたのが2年前に中止になった。ぜひ再開してほしい。
45	利益をつぎ込んでいるので大変です。

■「大工の実態」に関するアンケート調査（全体集計）

（23）担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。…(FA)

NO.	ご意見
46	担い手育成の前に，仕事の確保がどうしたらいいかわからない。
47	外人の方が良いんじゃないでしょうか？日本人はハングリー精神がないので。
48	新規入職者講習会等の補助を多くして頂きたい。
49	昔と比べ生活に最低限のお金がかかる為，仕事のできない者に給料を払うことが難しい時代です。そういう事が若い職人不足につながっていると思う。育てる側にも経営者としての考え方がある。
50	専属の教官を付ける。人を交代しながら，本人を飽きさせない為に建設の職種を一定期間どんどん体験させて希望をとる。
51	人材不足。
52	若い人がいない。
53	技術の伝承になる様な建築物を国交省の方から排除されるような状態になっているのが何ともむなしい。日本古来の住宅がなくなってきています。
54	時代の流れと，手間のかかる仕事が少ない。
55	国的に建築（大工）の重要性を見直してもらい，省エネルギー製品だけでは正確な省エネルギー住宅はできないので，手厚い公的な補助と正しい指導が必要と思います。
56	純木造和風住宅の仕事が年々少なくなり非常に残念。昨年，75坪を新築したがなかなかむずかしかった。
57	担い手育成が補助金ピンハネありきの今の制度では長く続かない。大工が人並みに暮らせる収入が得られないと無理。
58	大工は高度な技術と技能が必要である事を世間に認識させ，技能に見合った報酬を保証することが制度的に必要ではないでしょうか。
59	大工さんの手がほしいです。
60	・育成にあたって労働単価が安すぎる　・助成，補助などもっと積極的に取り組んでほしい
61	仕事がすくなくなったため。
62	若手の育成に力をいれてほしい。
63	大工の単価が安い為，若い人材に安い給料しか払えない。結局最後はお金の問題に直面する。
64	この名前自体初めて知った。
65	訓練校（建築科）がどんどん無くなっている。受講者がいないから閉鎖するのは担い手不足・質の低下に拍車をかけていると思う。
66	費用がかかるのは仕方がない事。手に職を付けたいと思う若者が少ない。
67	若い子達に大工をアピールする！
68	建築にたずさわる全技術者の育成について，業界全体のバックアップが急務！
69	今までの様に仕事がなく，また組立だけの仕事にはあまり必要ではない。（基本的なことですが）
70	金銭的な問題以上に，経営者サイドの問題があると思う。経営者の一言一言が働く者の意欲をそいでいく。長く続けたいと思わないのではないか。金銭的に高ければ，それを我慢して続けるのかもしれない。
71	仕事量も少なく，1人で十分施工できるしその分仲間を増やして手伝ってもらう方が楽である。
72	将来的に，よい職業かどうかわからない。ますます厳しくなっていくのではないかと思う。
73	今は1人で出来てしまうくらいの仕事量しかないのでくやしい。自分達世代の情けなさを感じる。同じ世代で話す時，大体2人では仕事が余ってしまうとのこと。
74	プレカットのみで教えているのはおかしい。プレカットをやっていると技術の伝承も出来ない。プレカットをしないでいる事業所に補助を出してほしい。
75	基本給がそこそこ無いとやめて行く。
76	大手メーカーに発注する方が多い中，一般工務店に発注する方が少ない故，将来性がない為，逆に若い子が可愛想である。
77	数学の出来る子供は大工にならない！数学の出来ない子供は大工になれない。墨付けできない！
78	元請が下請工務店の独立を補助する時代が来ていると感じている。
79	工務店経営者ですが大工の育成は急務です。しかし，金の問題で育成したいが現実はそういかない現状です。
80	職人技術の向上が望める仕事（機械，プレハブ構法でない仕事）を増やせればいいと思う。
81	安い賃金しか払えないのに社員化は厳しいと思う（中小企業）。
82	本人のやる気次第によるところが大きいので工務店側からすると受け身になることがほとんどです。やる気ある子を見つけるための補助があると助かると思います。
83	昔ながらの建築技術の継承は必要だと強く思います。公的補助金等，大工さんになりやすい仕組みを作ってほしい。
84	行政で担い手育成を積極的に推進する必要がある。
85	現在の住宅は，プレカット工法があたりまえなので，専門職がやらなくてもできる住宅，施工と考えが当たり前の様です。人材育成について，家を建てる基礎知識（資格）を必要とする。
86	工期が短く（特にハウスメーカー）金額も少なく育成する余裕がない。
87	修行に没頭できる賃金がないと今の職人は続かないと思う。
88	育成側に負担がかかってしまうと，教えてもらう側ものびのびと仕事をしづらい。
89	ハウスメーカーに仕事を取られて大工としての仕事が少なくなっている！

■「大工の実態」に関するアンケート調査（全体集計）

（23）担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。…(FA)

NO.	ご意見
90	建設業は若者に人気がないと思われ，新人求人にも応募がない状況となっている。将来が心配です！
91	近年均単価が下落し，日々給料も上がらない中，良い腕を持つ，育てるための道具機械を購入することもためらいます。
92	現在の手間賃では育成は難しい（給料プラス道具代）。
93	人（若手）がいない？いくら給料払ってよいかわからない。
94	若い世代が若い世代を教えていくことが重要だと思う。高齢な方が次世代に教えることも当然必要ですが。
95	まずは若い人に興味を持ってもらいたい
96	高卒，新卒を入れてもすぐ辞める。
97	もっと関心を持ってもらうような，色々なイベント等をしてほしい。若い人たちがあまり興味がないようです。
98	自宅の手伝いなどしたことのない子供多いので応用がきかない。
99	若い職人が非常に少なくなってきているので早急に人材育成を考えなければと考えています。
100	大工育成塾から二人受け入れしたが二人とも一年持たなかった。むずかしいです。育成は。
101	建築業界の値下の為，人材を確保しても会社が存続できる可能性がほぼない。業界の高齢化により，人件費と生産コストを考えると利益がほぼ残らない。
102	公的補助は利用（悪用）される対象になる。建築士が大工を兼ねてくれれば。
103	大工日当4万，年収800万を確保しないと若者が建築現場に入ってこない。
104	見習い育成は費用，時間ともにかかる。個人でも利用しやすい公的補助があると助かる。（手続きや書類などが多いと利用しにくい）
105	育てられてない訳ですので育てられないのでは？
106	材料もKD材や新建材対応年数20～28年でプレハブと同じでごみを造っている。本物の木で在来工法のない現在では，取り付け屋を育てるにしか過ぎない。
107	職方の賃金が上がれば自然に担い手は育成できる。
108	今と昔では人の考え方が変わってきているから，時代に合った育成方法を考えなければならないと思いま
109	現状でどれだけ本気で大工になりたいと思う人がいるのか知りたい。
110	社寺建築の技術的なものの担い手が・・・
111	まずもって仕事の確保が最優先。仕事があれば育成もできるが，現状では育成できる環境があまりない。
112	工期が短いため若い職人さんを教える暇がない。先行きが見通せないので職人を雇いにくい。
113	ハローワークなどの職業訓練が長い。一ヶ月～三ヶ月ほどで道具の使い方，安全について教えていただければ応募しやすい。工務店に就職する際，素人，見習いとなり採用されにくい。
114	外国から人を入れるより，日本の若手を育てよ！！
115	日当が下がり現場の工程が少ないため教える時間がない。
116	地域（地場）企業・工務店への優遇及び補助金事業・大手HM等の賃金への調査及び措置（安すぎです）
117	元請会社等の利益増の為，下請単価の下落により担い手を育てるまでの単価が出ない。特に大工さんは安くなりすぎである。
118	条件が悪い仕事だからなる人がいないのでは？
119	若い人がどんどん目標として仕事に従事してほしい。金額・待遇等・将来性！！
120	国の助成がないと若手は育てるのが難しい。
121	育成環境をよくしてほしい。
122	職業訓練校が少ない。
123	在来工法が少ないので，担い手育成がこんなん！
124	教えている側が大変な思いをしていると思う。
125	仕事の腕，考え方，職人としての心構えなど伝えることのできる親方が必要だと思います。若い子たちの根性は正直，程無い子が多いと感じるこの時代に，若い子（志のある）たちに，仕事のできるカッコイイ親方が必要であると常に感じています。
126	担い手を育成できるだけの報酬を得られるよう，職人の社会的地位の向上が必要。大工職人自身の知識・技術の向上努力が必要。
127	将来が不安に感じる。
128	工期工賃に無理がある。若者がかわいそう（親方も）
129	先不安です。
130	職人（左官や板金）等の育成が必要だと思う。
131	私は個人事業主なんですが，最近の若い子は社会保障がないと入ってこないんです。休みも少ないし。
132	1人前になるには，やはり10年ぐらいかかります。それだけの期間をがまんできる者がいない。技術を出せる建物がなくなった。冬場の仕事の確保がむずかしい。
133	建築費・人工代等下がる一方で，技術向上の可能性と現場負担に対する工期・費用をどうしていくか？
134	大工の賃金が安い！（仕事つらい割に）（中・小のビルダーが安すぎる）
135	何人か育てたが数年でやめ，メーカーの下請になっている。墨付け和室階段ができないけど，私より収入は多い。サシカケ工事もプレカットにたのむとか。
136	世の中の大工がハウスメーカーの下請けにまわるので，全体的な単価が下がり元請でも昔の単価とはちがうので，育成に手を掛けてやれない事。

■「大工の実態」に関するアンケート調査（全体集計）

（23）担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。…(FA)

NO.	ご意見
137	本人の意思表示の形成。
138	一般木造住宅が少なく，技術的な仕事が少なくなり（多くはプレハブ住宅である）
139	素直な人間
140	家庭が持てるくらいの賃金が必要だと思う。
141	早く対策をしないと困ります。私の町では私（49歳）が一番若い大工です。
142	技能者として若年労働者を育てていく必要がある。
143	余りにも現在では金がかかり過ぎる。
144	一人前の大工職になるのには，年月もかかりますが，今の若い人はすぐに金を欲しがります。公的補助があればありがたいと思います。
145	訓練校で卒業した人材ほど職人に向かない。
146	機械化しすぎているので，本来の道具の使い方（手入れも）も少し学んでもらいたいと思います。
147	公的補助がないと，給与の二重払いで大工，左官共育成が難しくなる。急激な職人不足に備えてしっかりとした補助をお願いします。十刻み等の設備工具の設置購入についても補助をお願いします。
148	公的補助金が受けられるようにしてほしい。
149	今の若い者は，3Kの仕事を嫌がる。向上心がない者が多いように感じる。担い手が育ちにくいし人材の確保が困難である。
150	講習会現場への出る機会がない（余裕もない）。
151	現場の数（大工として勉強ができる）が少なくなるため，難しいと思います。
152	将来の保証ができないので無理は言えない。又，本人にやる気がないのでは？
153	若者にボーナスと納得のいく給与が出ればいいと思う。
154	人が少ない
155	担い手育成は国の制度等での支援が必要だと思います。若い大工が増える仕組みを考えないと建築業界は衰退する。現場任せはダメ。
156	見て覚えることだと3～5年程かかる。きちんと教えると2～3年で一人前になり教えた分だけ会社の利益に繋がる。安い賃金で効率良く人材が育つ。その前には事業者，親方の理解と中堅社員への教え方をきちんと教育する。教え方が上手いと人材が育ちやすいから。
157	週休二日の実施
158	最低賃金が決められているのはどんなものか？会社負担でかすぎ。
159	他業種と同じように週休二日制にしないと大工になる若手が少なくなっていくと思う。日本の建設業界の見直しに来ていると思います。
160	労働条件が厳しい為人が来ない（環境，人付き合い，賃金，労働時間）。
161	良さをアピールしたほうがいいと思う。
162	これからの職人不足が（建築業にとって）とても不安です・・・
163	アンケート（11）でも答えましたが職人の負担が多すぎる。
164	教員への大工職種の認識を高めてほしい。（大工は学力がなくても大丈夫等）
165	学生からの求人方法について，詳しい説明又は，手続方法の補助が欲しい。
166	大工になりたいけど，どうしたらよいかわからない若者が多く感じます。若い手を受け入れたいけど，機会が少ないです。
167	先のある会社になれば，大工をしたい人が増えると思います。
168	建築メーカへの仕事が流れ，一般工務店が減少し担い手がいないし，余力もない状況。
169	坪単価が低いので，育てたいが，現状無理です。
170	1棟仕上げるのに時間が欲しい。
171	収入が安く入ってこない。60歳前後の方が厳しく，続かない。
172	将来の安定性を示す事が必要。
173	今後の会社，社会（業界）の為には，最重要と考える。
174	ここ30年位，大工・左官等の1日の賃金が少ない。かと云って建築費が3割以上上がるのも良くない。経営者の意識がない。会社で利益を上げなければそれなりの支払必要。
175	金が安すぎる。国があるていど，1人対して育成のため金出さないとならない。大工の道具は，自分持ち。だれもならない。実際計算すると1日8000円にしかならないとかある。（町の工事）でもう少し考えた方よい。
176	職人さんからは弟子を養う余裕（金銭的に）などない！という声を多く聞くので，費用不足は切実のことと思います。
177	国がもっと必要性を強調すべきで，労働力を外国人に向けるべきでないように思います。
178	労働環境・賃金あげ，他の職業よりも劣っている。
179	賃金低下の為，担い手に，手が廻らない。
180	ハローワークに求人を出しているが，70才代の人とかしかTEL来ない。だれかいませんか？
181	在来工法をやったことがない，手道具を使わない若い大工が増えている。在来工法や手道具を使う仕事をこれからも増やしていきたいし，増えてほしい。

■「大工の実態」に関するアンケート調査（全体集計）

（23）担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。…(FA)

NO.	ご意見
182	求人するも応募がなかなかなく，好待遇で求人（給与面等）しても難しい（ここ2～3年前から）状況が続いています。（段々と状況は悪くなっている） 出来る人材を早期に育成し，就業時間，休日等の労働条件を改善する事が今後の担い手を育成する最大の課題と考えています。
183	建設業のコストUP
184	職人を増やすためにも，助成をして欲しい。
185	学校教育の方針変更。点数評価をあまりしない。職人の地位向上。（大工と認められるなら，部課長級の所得が得られる様）
186	建築の専門職に従事している人々は，今後，企業の社員化され大きな資本の会社で，一貫施工されている様な気がします。プレハブリケーションの本頼の意味が示すとおりかもしれません。
187	パワハラが恐いです。
188	手刻みが少ない。
189	考え方はいろいろあるだろうけど，日本は今減速の時代に入っていてマーケットそのものが落ちていて，明るい見通しが持てない。なので，1年1年の見極めをしながら進めている。育成については必要だと思うけど，育成には時間がかかるのでマーケットとのバランスを考えてしまう。
190	仕事量及び給料が上がると自然と人材は集まるものです。特に地方部では，人材を確保しても仕事量は減る一方である。
191	一人前になるには長い年月を要するが，公共工事労務単価を見ても低すぎて，若年層にとって魅力のある職種ではない。もっと労務単価を上げるべき。
192	社会の常識から教えなければならない。負担が大変です。
193	長続き出来ない子が多い。
194	クレーム顧客近隣が多い為。
195	毎月の仕事が無い。
196	ゆとり世代だと言われているが，仕事の内容はさほどかわらない。本人のやる気にさせる様にしむける。
197	分かりやすい講習でした。
198	育成には時間がかかり，もっと訓練校を増やしてほしい。
199	大工学校の設立と大工資格等の新設がないと，業界の担い手はむずかしいと思う。
200	担い手を育成する指導者の育成も必要と思います。
201	若手不足が目に見えているので，若手育成のため建築業界の底上げがしたい。（下請けの坪単価含め）
202	若い大工は社員になるより，一人親方になりたいと思う。
203	魅力ある職業になるには，賃金も大事ですが，週休2日（完全）の充実も必要だと思う。
204	費用には，1人あたり30万～50万がかかる様です！
205	十分な利益を得ないと，人材育成はできないと思います。適正単価以上でなければ担い手育成はできな
206	ゆとり世代の教育はむずかしいですね・・・
207	ちょっとわからないです。
208	見習を育てようと思うと，まず手間受けでは難しいと思います。うちは元請けですが，なかなか大変な所が多いです。
209	今の大工の日当や賃金で弟子に給金を払いながら修行させるのは難しい。また，従来の見て学べ的な教え方では育成に時間がかかる上，若い人も嫌気がしてやめてしまう。これが今の現状だと思う。職人の育成機関を作り，中・高・大といった受験教育以外の進路の選択肢も学校から子供達に提示していくような施策が必要だと思う。
210	今の若者はすぐ辞める。
211	仕事の単価がやすいので，教える時間が少ない。
212	各業界・メーカー等の展示会，研修会の情報を提供して頂きたい。（国内・海外の展示会etc）
213	事業の後継者がいれば全てを渡します。
214	近くに夜間学校みたいなのがほしい。
215	他産業と同等以上の条件がなければ若い人が来ない。
216	今迄に6人ほど育成したが全員ハウスの下請大工になり棟梁にならない。技術を上げる考えがない。（一生かけてやる気）
217	大工育成のための学校。育成機関を各地域で立上必要。
218	担い手育成も大事だと思いますが，新しいスキルの習得も大事な気もします。
219	人材を見付けれない。建築業に人が集まらない。
220	工期と単価に余裕がない今の建築業界では，若手を一から育成することは容易なことではありません。職安の通過の有無に関係無く，公的補助が受けられるような社会の制度を早期に整備していただきたい。
221	会社だけでは，新入社員教育はきびしい。
222	年配の人が元気が良すぎて若い人がついて来ない。若い人が楽しくないと思う。
223	機械化された今，昔の大工技術は新築以外では必要だが新築の場合は，図面が見れてある程度の事ができれば良いので，どの様に担い手を育てるかがその会社によってちがってくるのでは。
224	コストダウンで手間が下げられてしまう為，スピードが必要となる。育成したくても仕事を教える，学ぶ時間がない。組立大工としてしか将来性がない。

■「大工の実態」に関するアンケート調査（全体集計）

（23）担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。…(FA)

NO.	ご意見
225	大手B，大手HMがなくなれば，職人になる若者（技術者）も増えるのでは。現在は，取り付け屋ばかり。
226	仕事が少なくなっているので，大工をしたいといわれてもこまる。そして家たてる費用がすくなくなっているのでむり。
227	人材がいればすぐにでも育てたいです。
228	職人の賃金体系を日給月給から，完全に月給制にしないとダメだと思う。他の産業にくらべ時間給にすれば，大分安いと思う。
229	大工職人は，道具をそろえるのにお金がかかるので，弟子はお金の面が大変だとおもう。
230	職人の仕事がいかに魅力的か学生にアピールすること。
231	新築工事の減少，景気の悪化により担い手の「暇」が増えるため，雇用する事が難しい。
232	建築業界全体で担い手育成や社員教育を整え，自己負担や無研修をなくしていかなければ良い人材や良い建築には結びつかないと思います。
233	建築志望の担い手がどこにいるのかがわからないのでアプローチできない。
234	人を育てるのは時間・お金がかかります。ようやく1人前になるとやめてしまいます。育て損です。
235	育成に時間がかかるので，賃金が他の業種より安くなってしまう。
236	ネット等でマッチングできるようにしてほしい。
237	職人を作業員の差，世間では低く見られる。将来の仕事が安定していない。今の仕事は道具が多いのでたいへん。
238	少人数でこなす現場では，若手の分まで一人前の大工がカバーして仕事している。作業ロスの分を担い手育成費用をあてる等。
239	専門学校の様な正規の教育の仕組みが必要だと思う。IT関係の様な，美理容師の様な扱いをしないと生徒も集まらないのではないか。
240	親方らしい人材が少ない（ほぼいない）
241	大工さんが確実にいなくなるので，何らかの行政的方策が必要です。平均賃金を上げるのが一番だと思いますが，それには請負額が上がる必要があります。今のところ各社で危機感をもって育成，確保していくしかないですね…。
242	仕様書等の本を読ませて実務面との整合性を覚えさせてキッチリとした正しい技術を身に付けさせていきたいが，稼ぐのが精一杯で，とりあえず仕事（実務）優先で勉強させられない。発注者側の安かろう主義（自治体）がダメ。談合賛成。親方一人がフトコロに入れる訳がない（性善説）給料ボーナスとして支払える。
243	日本の政策等で住宅建築や技術職にたずさわる魅力をアピールし，若い人がやりたいと思える様にするべき。
244	大工になりたいという若者がいますか？大工を見てプロのスポーツ選手のようにあこがれがもてないではないですか。
245	今の補助金は他人を迎え入れた時もらえるが，身内を入れた時は補助金が無い。担い手を育てる事は同じだから，同じように補助金がもらえるようにしてほしい。
246	少なくなると分かっている（言っている）のに現場任せの何の対策もしない会社に不満。
247	建築業界の入口がはっきしていない。個人が多く業界が不透明な部分が多い。
248	単価の底上げ
249	現場予算が乏しい。営業にばかり予算を費やし，現場管理がずさんな所が多い。わけもわからず，施工費をけずっていき，担い手育成どころではない（下請の場合）大工さんも施工講習は必要（わけがわからず施工している方が多い）
250	大工として年間・月給で育てていくべきだ。
251	担い手不足は大変深刻な問題だと思います。公的な補助を早く整備してほしいです。
252	大工の人気がなさすぎ！！
253	国で助成してくれるのであれば助かるし，もっと担い手を育てたい。
254	職人より会社員が生活が安定しているため育たない
255	2～3年は赤字だと思う。
256	各会社において担い手育成について協会や仲間と協議して，運営して行かなければむずかしいと思いま
257	公的資金が必要と思います。
258	私の様な育成にたずさわる者の立場としては，相互の歩み寄り（若者[請負う意識]と企業[育てる体制，若者に対する理解]との）が必要で公的補助に依存し過ぎるのは問題と考えます。
259	若い人間が働きやすい環境を国や県でも考えてほしい
260	担い手育成については，よくわかりません
261	若者の不足。地域に魅力がない。
262	小学校～高校の先生が大工などの職人に関する知識が少ない。現状を知らない。面白さを知らない。⇒その為に子供達・青年が知る機会がない。
263	若手の職人が少なすぎる。
264	設計及び工事監理での生活の将来が見透かせないので人に推すめられない。教育する時間がとれない。
265	給料もそこそこ良く，みりょくがあり，誇りを持てるような職種になれば良いと思う
266	そもそも希望する若い人がいない

■「大工の実態」に関するアンケート調査（全体集計）

（23）担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。…(FA)

NO.	ご意見
267	やる気がない人間が多い
268	ハウスメーカーや会社の仕事で建材はあつかえるが墨付けなど加工しておさめる仕事ができる若い子がいない。大工手間が安く1人前になるためには良い見習いをしなければならない本当の大工のなりてがいない
269	大工になりたい人材をとにかく紹介してもらいたい。
270	請負額もだんだんと，下落方向にあります。その中で人材を育成するという事は，経営者側も，かなり負担が大きくなります。行政でその点をある程度手助けして頂ければありがたいと思います。
271	(22)公的補助はたくさんあればあったがいい。職人の賃金低下が問題だと思う。
272	教育機関の充実，賃金up，イメージ戦略
273	職人が一部のところではいますが，もっと手厚い補助がないと，自営的なところでは全く無理です。
274	金額的にも時間的にも難しいと思う。安く早くは人を育てないと思います。
275	若い職人さんがいない。いつ仕事がきれるかわからないのでなかなか担い手育成まで手がまわらない
276	3Kイメージが強い業界なので今の平均的な賃金ベースでは若い子はやりたがらないと思う。もっとイメージアップ等も含めた行政等の支援があればと思います。
277	若い人材が少ない
278	人材がいないために職業訓練校も無くなり心配です。
279	若者の建築関係への関心が低くこの先業界全体が人手不足になると思います。
280	育成は必要で，大事なことですが，何をするにもお金はかかります。そのためにも公的補助は必ず必要です。そうしなければ，このまま職人さんは減り続けるでしょう。
281	現状では，今後技術が終わる。
282	仕事が少なくなっているため，覚えられる経験が少ないので残念！
283	3Kなので若い担い手はいなく，すぐに育ったら，建売とかにながれてしまいます。現実は育成ではなく，今現在使い易いよう仕事を教える方向になっています。技術や伝統を教える事はないのが現況です！
284	手道具，電動工具を買うことが出来ない！
285	他の組合，工務店，会社等にて，取り組みをしているところがあったらその内容を知りたい。
286	賃金upかな・・・
287	プレカットが多くなり，これからの職人は大変だと思います。ただの組立テ職人でしかないと思う。
288	育てて行く事が大切である。
289	今までの在来工法が在来工法ではなくなるため。
290	国がもっと大々的に動くべき。弟子を探すのも大変だと聞きました。若い人材が足りてません。左官は特にひどいです。国保なくす動きより人材をどうにかして欲しい。
291	育てる方の育成方法，人間性も教えていくべきと思います。
292	今の時代，お金は必要！！
293	まじめに働く人があれば育てたい。
294	・会社では大工は育成しています（大工塾（国）と連携して）・社内にてすみつけ，きざみも行っています
295	国からの補助金等，職人育成への金銭的な補助及び地位の向上を図っていただきたい（最低賃金の取り決め等）。
296	人手不足です
297	現場数の確保が難しい。
298	現在の状況ではなかなか難しいと思います。公的な補助や政策による環境改善を願わずにはいられませ
299	働きながら学校（訓練校）に通うことをより充実させる。
300	伝統建築をしなくなり，大工がつまらなくなっている。作業員ばかりで職人のいない家造り。
301	大工の訓練・育成をビジネスとして出来るようにしないと若手の大工がいなくなると思います。
302	公的補助は税金から支出されるもので，本人の為にも納税者の為にも良くないと思います。
303	これからの人に特に大工はやらせたくない
304	元請ならば良いのですが，手間取りの時は手間が出ない！
305	安定した収入と休日等の形が必要である。
306	今の木造建築は戸建はハウスメーカーや建売，リホームはリホーム屋に仕事をたのむ人がほとんどなので，これからやる人はかわいそうかな。
307	担い手として息子を育て，現在は親方として頑張っている。
308	育成機関を作って欲しい。
309	若い人材不足は深刻だと思うが，社会的地位が低い建設業の人材像は，今後無いと思うので，難しい。
310	人材が入ってもすぐやめられる。人材がいない。
311	第三者として見るに，大工さんの手間が（実状）安すぎると思う。基礎工，電気工，設備工，内装工の方が，単価が良いと思われる。原因はハウスメーカー大工手間に問題がある。

平成２８年度　国土交通省補助事業
住宅市場整備推進等事業
大工・職人の実態に関するアンケート調査　報告書

平成２９年３月
一般社団法人　木を活かす建築推進協議会
〒107-0052　東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F
TEL:03-3560-2882　FAX:03-3560-2878　URL: http://www.kiwoikasu.or.jp